

袋井市
高齢者の生活と意識に関する調査
調査結果報告書

令和 8 年 3 月

袋井市

目 次

I	調査の概要.....	4
1	調査の目的.....	4
2	調査対象.....	4
3	実施方法.....	4
4	回収結果.....	4
5	調査結果の表示方法.....	5
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果.....	10
問1	調査対象者様ご本人のことについて.....	10
問2	からだを動かすことについて.....	20
問3	食べることについて.....	29
問4	毎日の生活について.....	35
問5	地域での活動について.....	56
問6	あなたとまわりの人の「たすけあい」について.....	73
問7	健康について.....	75
問8	認知症について.....	85
問9	介護保険サービスなどについて.....	89
問10	その他について.....	100
III	生活機能判定結果.....	112
1	機能別リスク該当者割合の分析.....	112
2	日常生活.....	123
IV	在宅介護実態調査結果.....	130
1	【A票】調査対象者様ご本人のことについて.....	130
2	【B票】主な介護者の方について.....	146
V	今後に向けての課題.....	160
1	家族構成とライフスタイルの課題.....	160
2	高齢者の生きがいづくりの課題.....	162

3	介護保険サービスの課題.....	163
4	情報提供の課題.....	164
5	生活機能評価からみる課題.....	164
VI	自由意見.....	170
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	170
2	在宅介護実態調査.....	189
VII	資料編.....	202
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票.....	202
2	在宅介護実態調査 調査票.....	218

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、令和9年度を初年度とする「第11次高齢者保健福祉計画及び第10期介護保険事業計画（令和9年度～令和11年度）」の策定にあたり、健康や日頃の生活状態、介護保険サービスの利用状況や意向等を把握し、計画策定のための基礎資料とします。

2 調査対象

調査区分	調査対象
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	市内在住の要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者 （一般高齢者、事業対象者、要支援認定者）
在宅介護実態調査	市内在住で在宅生活の要介護認定者

※事業対象者：日常生活、運動、栄養などから評価される基本チェックリストにより生活機能の低下がみられ、要支援状態となるおそれがある高齢者。介護予防・生活支援サービス事業の対象者。

※要支援認定者：日常生活上の基本的動作については、ほぼ自分で行うことが可能であるが、掃除などの複雑な動作、あるいは、運動機能の衰えにより、部分的な支援を要する状態の方。

※要介護認定者：入浴や排せつ、食事などの基本的動作についても、自分で行うことが困難であり、何らかの介護を要する状態、もしくは、支援を必要とする状態にある方。

3 実施方法

- 調査方法：郵送配布・郵送回収
- 調査期間：令和8年1月14日（水）から2月2日（月）まで

4 回収結果

調査区分	配布数	回答者数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	2,796 通	1,785 通	63.8%
在宅介護実態調査	788 通	371 通	47.1%

5 調査結果の表示方法

- 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の回答者数の合計と単純集計（全体）の回答者数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものに下線を引いています。（無回答を除く）

I 調査の概要

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査結果

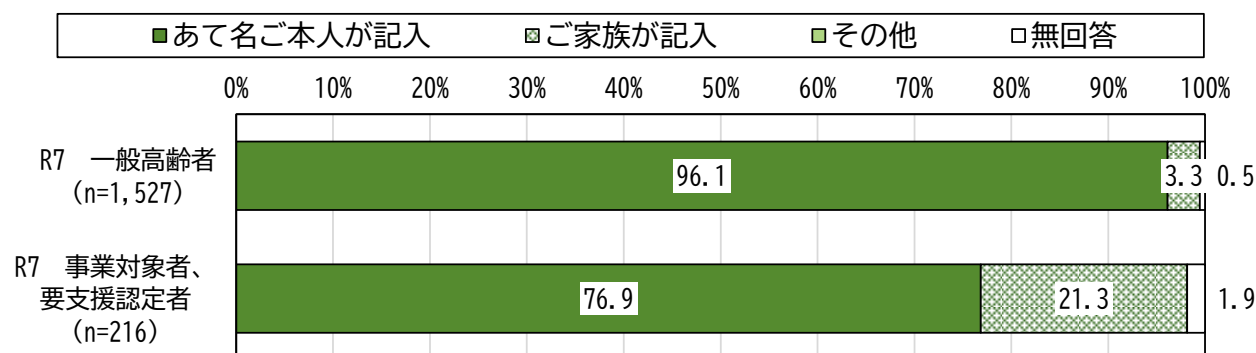
Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果

問1 調査対象者様ご本人のことについて

(1) この調査票を記入されたのはどなたですか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「あて名ご本人が記入」が96.1%、「ご家族が記入」が3.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「あて名ご本人が記入」が76.9%、「ご家族が記入」が21.3%となっています。

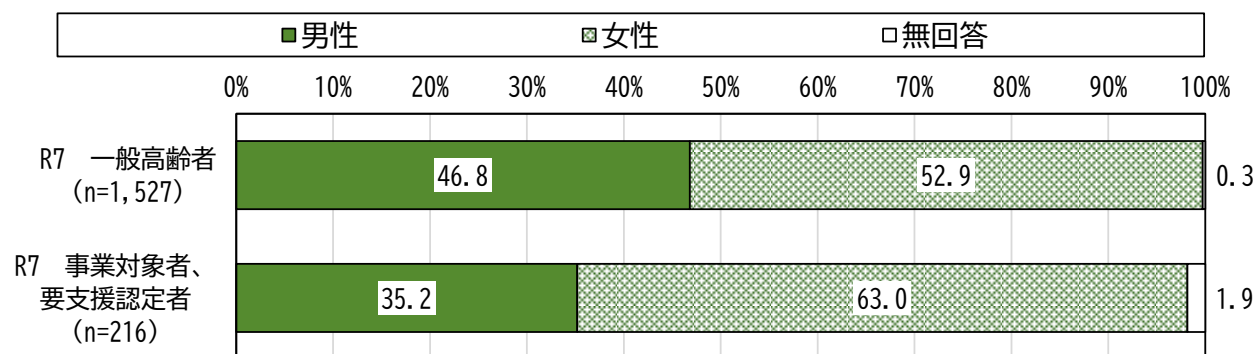


(2) ご本人の性別・年齢について教えてください。

①性別 (☑は1つ)

一般高齢者では、「男性」が46.8%、「女性」が52.9%となっています。

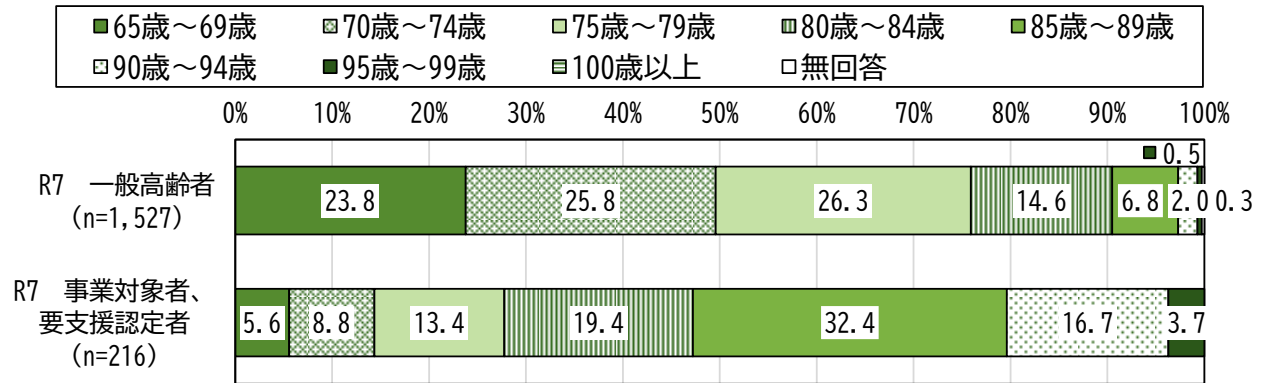
事業対象者、要支援認定者では、「男性」が35.2%、「女性」が63.0%となっています。



②年齢（☑は1つ） ※1月1日現在の年齢をお答えください。

一般高齢者では、「75歳～79歳」が26.3%と最も高く、次いで「70歳～74歳」が25.8%、「65歳～69歳」が23.8%となっています。

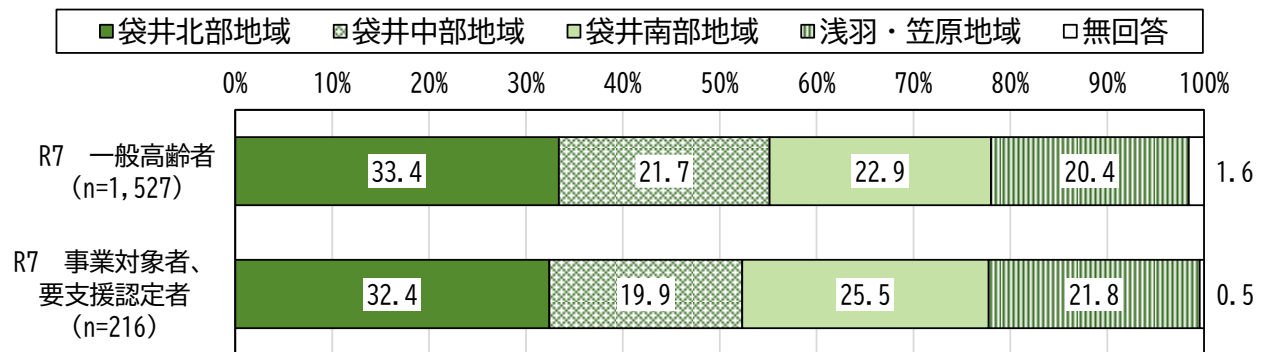
事業対象者、要支援認定者では、「85歳～89歳」が32.4%と最も高く、次いで「80歳～84歳」が19.4%、「90歳～94歳」が16.7%となっています。



(3) ご本人のお住まいはどの地域ですか。（☑は1つ）

一般高齢者では、「袋井北部地域」が33.4%と最も高く、次いで「袋井南部地域」が22.9%、「袋井中部地域」が21.7%、「浅羽・笠原地域」が20.4%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「袋井北部地域」が32.4%と最も高く、次いで「袋井南部地域」が25.5%、「袋井中部地域」が19.9%、「浅羽・笠原地域」が21.8%となっています。

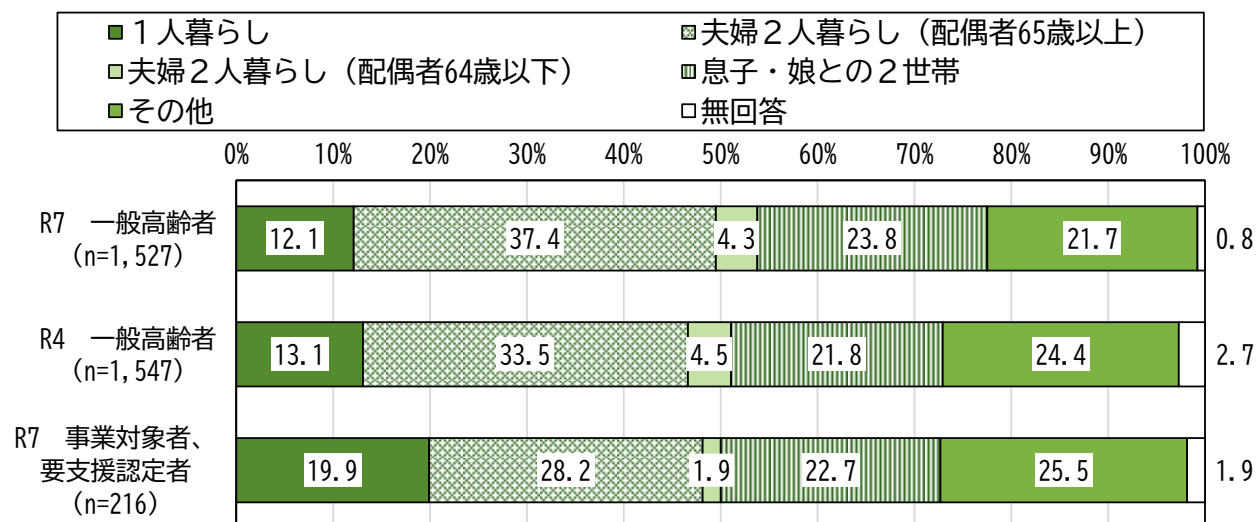


(4) 家族構成をお教えてください。(☑は1つ)

一般高齢者では、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 37.4%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が 23.8%、「1人暮らし」が 12.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 28.2%と最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が 22.7%、「1人暮らし」が 19.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」、「息子・娘との2世帯」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「1人暮らし」が高くなっています。

年齢別でみると、65歳～89歳では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が、90歳～99歳では「息子・娘との2世帯」が最も高くなっています。

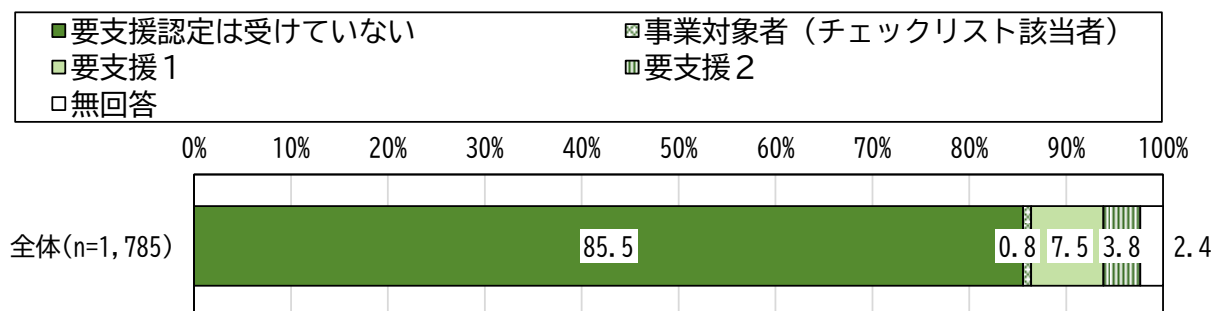
居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「1人暮らし」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		1,785	13.2	36.0	3.9	23.4	22.3	1.2
性別	男性	804	10.1	40.5	6.0	20.6	22.0	0.7
	女性	970	16.0	32.5	2.1	25.5	22.6	1.4
年齢別	65歳～69歳	377	8.8	36.6	9.0	17.5	27.6	0.5
	70歳～74歳	422	10.0	39.8	3.8	22.7	23.0	0.7
	75歳～79歳	442	13.6	42.3	1.4	25.6	15.6	1.6
	80歳～84歳	274	17.5	32.5	2.6	24.1	22.6	0.7
	85歳～89歳	177	19.8	30.5	3.4	24.9	19.8	1.7
	90歳～94歳	70	21.4	8.6	0.0	34.3	34.3	1.4
	95歳～99歳	16	18.8	0.0	0.0	43.8	37.5	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	12.3	33.9	3.7	26.2	23.5	0.3
	袋井中部地域	380	12.1	40.0	4.5	20.8	21.3	1.3
	袋井南部地域	414	16.7	38.4	3.1	20.5	19.8	1.4
	浅羽・笠原地域	370	11.6	33.8	4.6	25.7	23.2	1.1

(5) 現在の要支援認定の状況（要支援度）について教えてください。（☑は1つ）

全体では、「要支援認定は受けていない」が85.5%、「事業対象者（チェックリスト該当者）」が0.8%、「要支援1」が7.5%、「要支援2」が3.8%となっています。

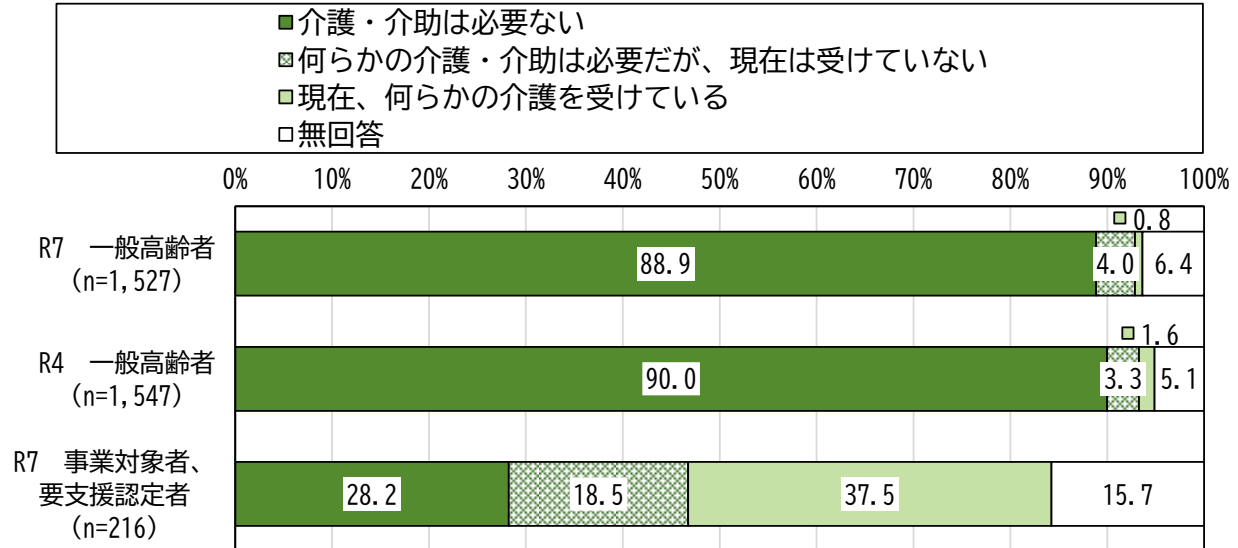


（６）あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（☑は１つ）

一般高齢者では、「介護・介助は必要ない」が88.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が28.2%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が18.5%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が37.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



【（６）で「介護・介助は必要ない」以外を回答された方にお伺いします。】

（６）－① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。（☑はいくつでも）

一般高齢者では、「骨折・転倒」が21.9%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」が16.4%、「がん（悪性新生物）」が15.1%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」と「心臓病」がともに13.7%、「関節の病気（リウマチ等）」と「視覚・聴覚障害」がともに11.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「高齢による衰弱」が21.5%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が19.8%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」が15.7%、「心臓病」が14.9%、「糖尿病」が13.2%となっています。

区分	回答者数（件）	脳卒中（脳出血・脳梗塞など）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気（肺炎等）	関節の病気（リウマチ等）	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
R7 一般高齢者	73	13.7	13.7	15.1	6.8	11.0	9.6	4.1	9.6	5.5	11.0	21.9	4.1	16.4	15.1	0.0	4.1
R7 事業対象者、要支援認定者	121	15.7	14.9	5.0	5.8	6.6	8.3	4.1	13.2	3.3	9.1	19.8	5.8	21.5	13.2	2.5	9.1

単位：％

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別、要介護度別】

性別でみると、男性では「脳卒中（脳出血・脳梗塞など）」が、女性では「骨折・転倒」が最も高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳以上で「高齢による衰弱」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「高齢による衰弱」が高くなっています。

要介護度別でみると、要支援認定者では「骨折・転倒」と「高齢による衰弱」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	（脳卒中 （脳出血・脳梗塞など）	心臓病	がん（悪性新生物）	呼吸器の病気 （肺炎・肺気腫等）	関節の病気 （リウマチ等）	認知症 （アルツハイマー病等）	パーキンソン病	糖尿病	腎疾患（透析）	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他	不明	無回答
全体		200	16.0	14.0	9.5	6.5	8.0	9.0	4.0	12.0	4.0	9.5	21.0	5.0	19.0	13.5	1.5	7.0
性別	男性	76	19.7	17.1	10.5	6.6	5.3	15.8	1.3	13.2	5.3	13.2	11.8	3.9	17.1	14.5	2.6	5.3
	女性	121	14.0	12.4	9.1	6.6	9.9	5.0	5.8	10.7	3.3	7.4	25.6	5.8	19.8	13.2	0.8	8.3
年齢別	65歳～69歳	18	11.1	22.2	22.2	5.6	0.0	11.1	5.6	11.1	11.1	27.8	5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	5.6
	70歳～74歳	27	29.6	0.0	11.1	11.1	14.8	3.7	11.1	7.4	11.1	7.4	11.1	3.7	0.0	18.5	0.0	3.7
	75歳～79歳	30	36.7	0.0	20.0	6.7	6.7	6.7	3.3	10.0	3.3	6.7	20.0	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7
	80歳～84歳	42	14.3	9.5	11.9	7.1	9.5	7.1	4.8	21.4	0.0	4.8	28.6	9.5	14.3	11.9	2.4	4.8
	85歳～89歳	53	9.4	17.0	0.0	3.8	9.4	13.2	1.9	9.4	3.8	9.4	28.3	5.7	28.3	17.0	1.9	9.4
	90歳～94歳	22	0.0	45.5	0.0	9.1	4.5	13.6	0.0	13.6	0.0	9.1	9.1	9.1	40.9	22.7	0.0	13.6
	95歳～99歳	8	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	62.5	0.0	0.0	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	75	13.3	12.0	12.0	9.3	9.3	10.7	2.7	14.7	4.0	9.3	24.0	8.0	14.7	13.3	2.7	6.7
	袋井中部地域	33	15.2	24.2	9.1	3.0	15.2	6.1	6.1	12.1	3.0	12.1	12.1	3.0	36.4	18.2	0.0	6.1
	袋井南部地域	53	18.9	11.3	13.2	7.5	5.7	13.2	1.9	11.3	1.9	9.4	20.8	3.8	18.9	9.4	1.9	3.8
	浅羽・笠原地域	37	16.2	13.5	0.0	2.7	2.7	2.7	8.1	8.1	8.1	8.1	18.9	2.7	13.5	16.2	0.0	13.5
要介護度別	一般高齢者	73	13.7	13.7	15.1	6.8	11.0	9.6	4.1	9.6	5.5	11.0	21.9	4.1	16.4	15.1	0.0	4.1
	事業対象者	7	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	28.6
	要支援認定者	114	16.7	15.8	4.4	5.3	7.0	7.9	4.4	12.3	3.5	8.8	21.1	6.1	21.1	13.2	2.6	7.9

【(6) において「現在、何らかの介護を受けている」と回答された方にお伺いします。】

(6) - ② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「配偶者（夫・妻）」が50.0%と最も高く、次いで「息子」が16.7%、「娘」と「孫」がともに8.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「介護サービスのヘルパー」が35.8%と最も高く、次いで「息子」が34.6%、「配偶者（夫・妻）」が29.6%、「娘」が21.0%、「子の配偶者」が17.3%となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービス の ヘル パー	その他	無 回 答
R7 一般高齢者	12	50.0	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	33.3	0.0
R7 事業対象者、 要支援認定者	81	29.6	34.6	21.0	17.3	1.2	2.5	35.8	6.2	2.5

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別、要介護度別】

性別でみると、男性では「配偶者（夫・妻）」が、女性では「息子」が最も高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、70歳～79歳で「配偶者（夫・妻）」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「配偶者（夫・妻）」が、浅羽・笠原地域で「介護サービスのヘルパー」が高くなっています。

要介護度別でみると、一般高齢者では「配偶者（夫・妻）」が、事業対象者では「子の配偶者」が、要支援認定者では「介護サービスのヘルパー」が最も高くなっています。

単位：％

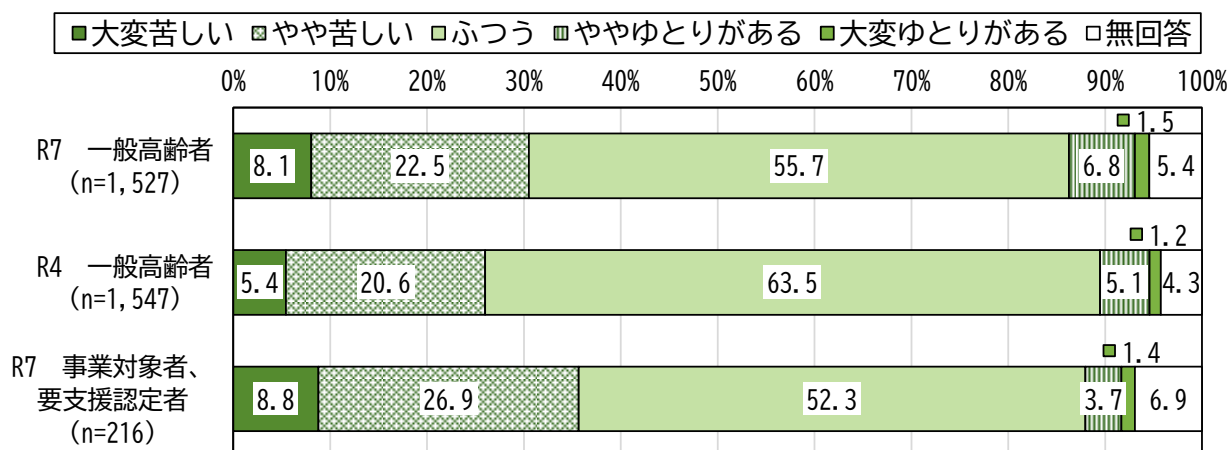
区分		回答者数 (件)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護 サービスの ヘルパー	その他	無 回答
全体		97	33.0	30.9	19.6	14.4	2.1	2.1	29.9	10.3	3.1
性別	男性	35	37.1	20.0	11.4	17.1	0.0	0.0	28.6	14.3	2.9
	女性	60	31.7	36.7	25.0	13.3	3.3	3.3	28.3	8.3	3.3
年齢別	65歳～69歳	8	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5
	70歳～74歳	10	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	20.0	0.0
	75歳～79歳	16	62.5	12.5	12.5	6.3	0.0	6.3	25.0	12.5	6.3
	80歳～84歳	19	36.8	21.1	47.4	15.8	10.5	0.0	15.8	15.8	0.0
	85歳～89歳	26	11.5	42.3	15.4	23.1	0.0	0.0	53.8	7.7	0.0
	90歳～94歳	12	8.3	66.7	25.0	8.3	0.0	0.0	25.0	0.0	8.3
	95歳～99歳	6	16.7	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	37	29.7	37.8	27.0	13.5	0.0	0.0	29.7	10.8	2.7
	袋井中部地域	15	33.3	33.3	13.3	26.7	0.0	0.0	33.3	6.7	6.7
	袋井南部地域	22	40.9	18.2	13.6	18.2	0.0	9.1	22.7	9.1	0.0
	浅羽・笠原地域	22	27.3	31.8	18.2	4.5	9.1	0.0	36.4	13.6	4.5
要介護度別	一般高齢者	12	50.0	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	33.3	0.0
	事業対象者	3	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	要支援認定者	78	30.8	34.6	20.5	15.4	1.3	2.6	37.2	5.1	2.6

(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”が30.6%、「ふつう」が55.7%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”が8.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、“苦しい”が35.7%、「ふつう」が52.3%、“ゆとりがある”が5.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、“苦しい”が増加しています。



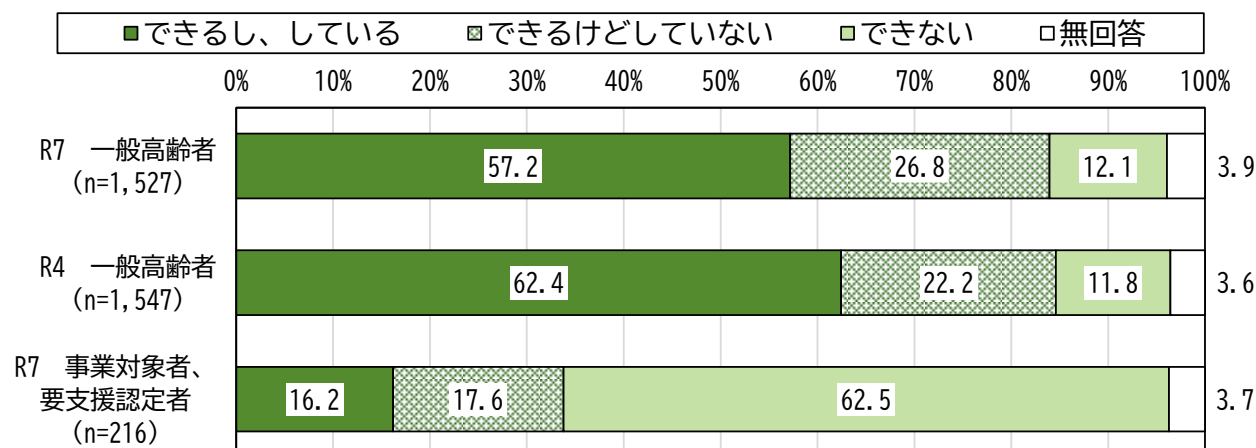
問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「できるし、している」が57.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が26.8%、「できない」が12.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できない」が62.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.6%、「できるし、している」が16.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が減少しています。

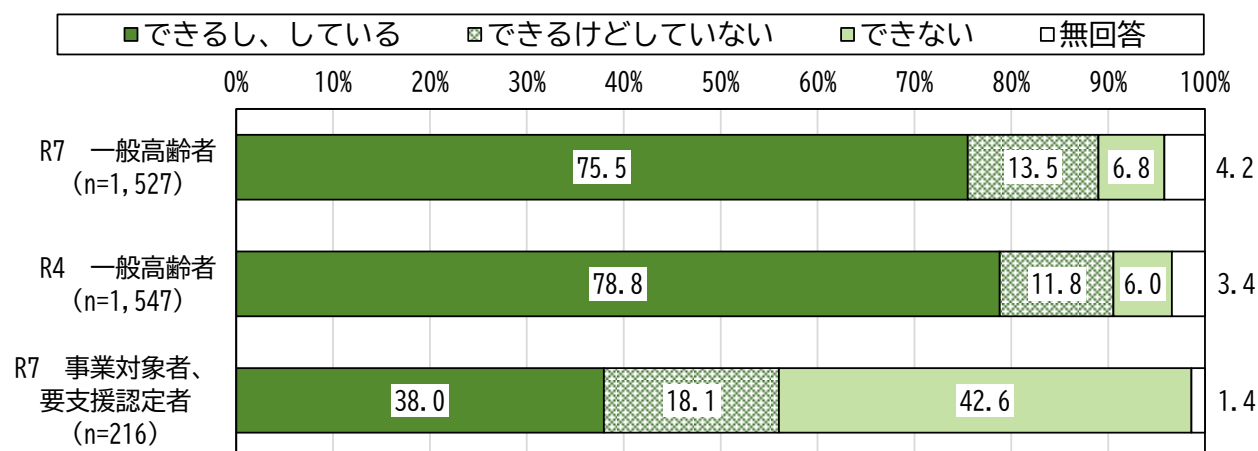


(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「できるし、している」が75.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が13.5%、「できない」が6.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できない」が42.6%と最も高く、次いで「できるし、している」が38.0%、「できるけどしていない」が18.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が減少しています。

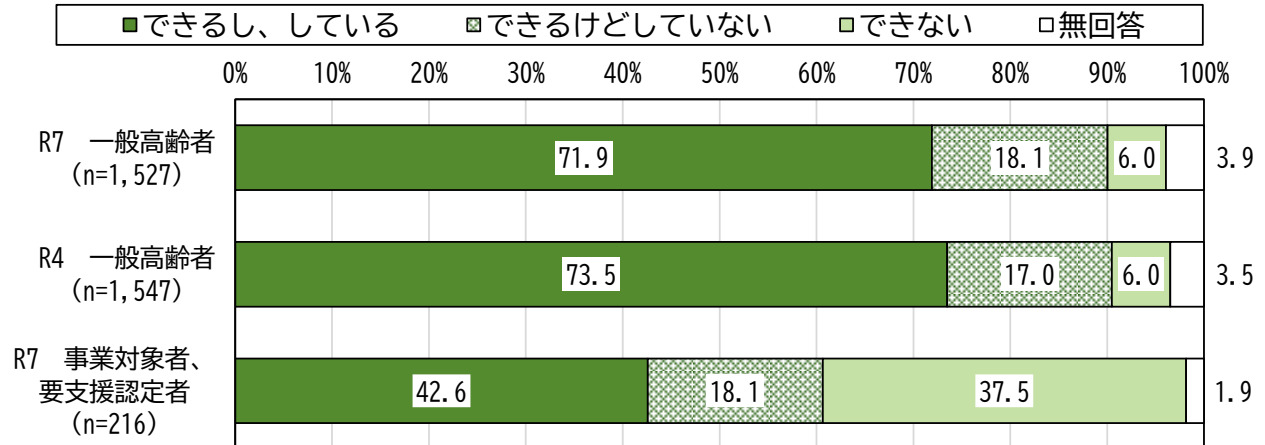


(3) 15分位続けて歩いていますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「できるし、している」が71.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が18.1%、「できない」が6.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が42.6%と最も高く、次いで「できない」が37.5%、「できるけどしていない」が18.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が減少しています。

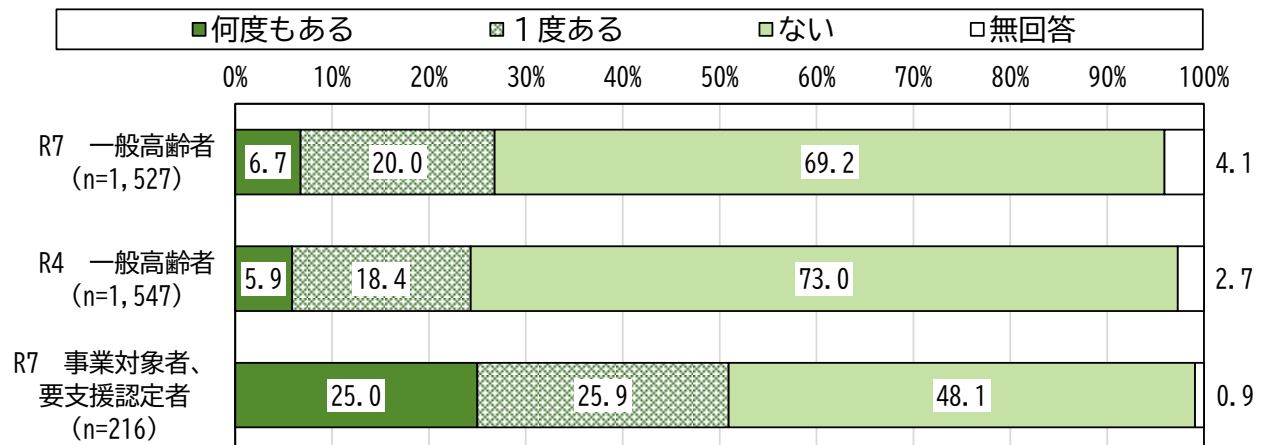


(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「ない」が69.2%と最も高く、次いで「1度ある」が20.0%、「何度もある」が6.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「ない」が48.1%と最も高く、次いで「1度ある」が25.9%、「何度もある」が25.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「ない」が減少しています。

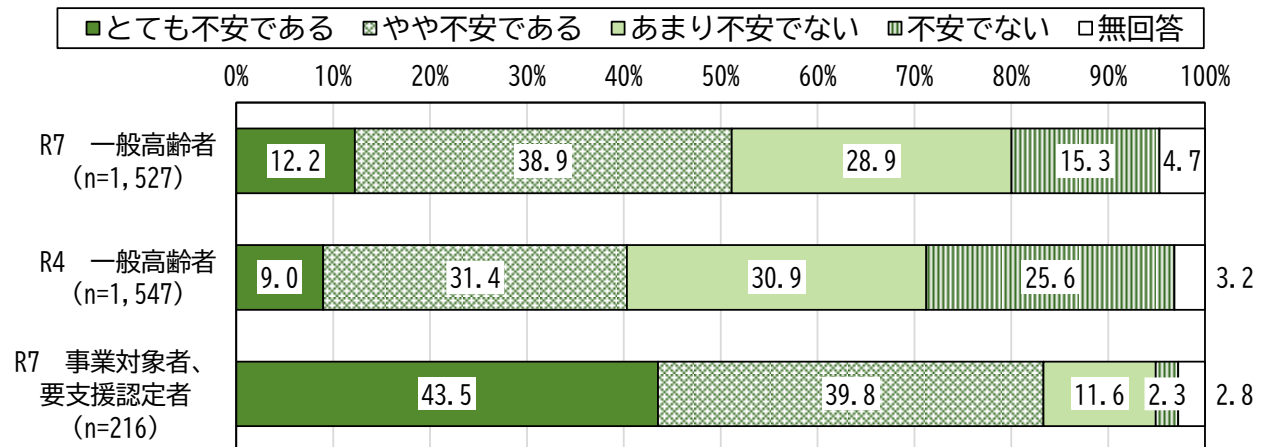


(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(図は1つ)

一般高齢者では、「とても不安である」と「やや不安である」をあわせた“不安である”が51.1%、「あまり不安でない」と「不安でない」をあわせた“不安でない”が44.2%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、“不安である”が83.3%、“不安でない”が13.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、“不安である”が増加しています。

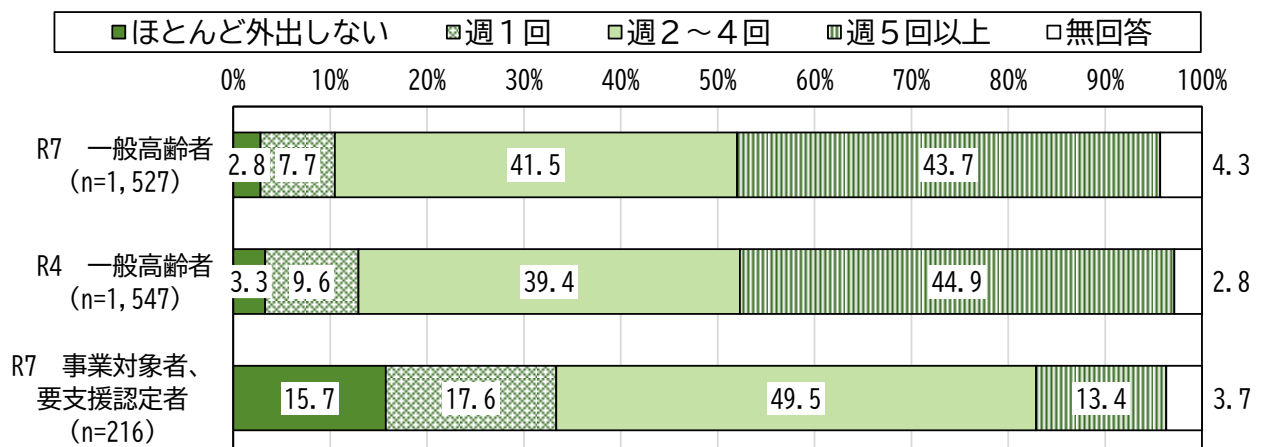


(6) 週に1回以上は外出していますか。(図は1つ)

一般高齢者では、「週5回以上」が43.7%と最も高く、次いで「週2～4回」が41.5%、「週1回」が7.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「週2～4回」が49.5%と最も高く、次いで「週1回」が17.6%、「ほとんど外出しない」が15.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「週2～4回」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性では「週5回以上」が、女性では「週2～4回」が最も高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「週5回以上」が低くなる傾向があります。また、他に比べ、90歳～99歳で「ほとんど外出しない」が高くなっています。

居住地区別でみると、袋井北部地域と袋井中部地域では「週5回以上」が、袋井南部地域と浅羽・笠原地域では「週2～4回」が最も高くなっています。

単位：％

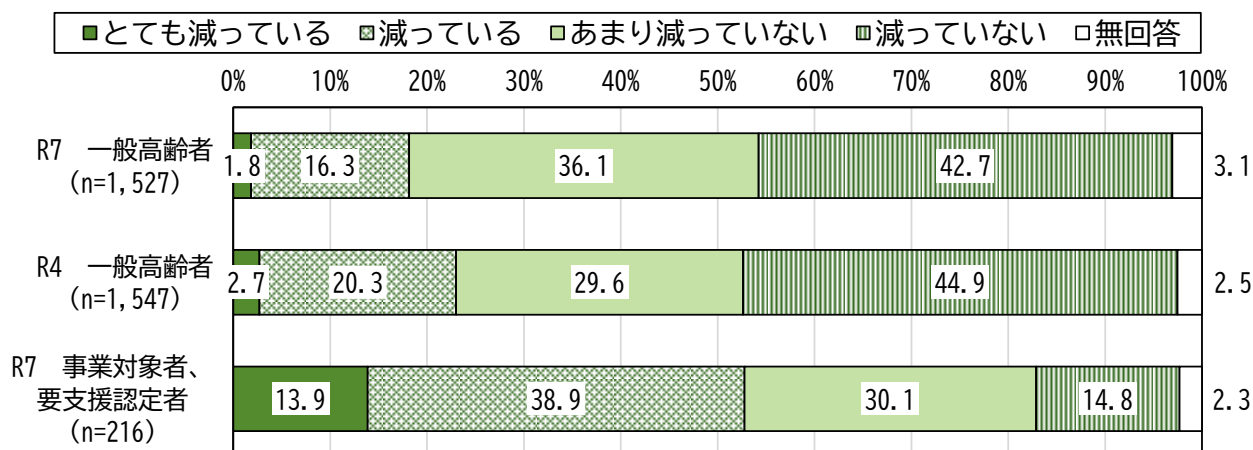
区分		回答者数 (件)	ほとんど 外出しない	週 1 回	週 2 ～ 4 回	週 5 回 以上	無 回 答
全体		1,785	4.4	8.9	42.6	39.7	4.4
性別	男性	804	4.4	7.1	36.8	47.6	4.1
	女性	970	4.5	10.3	47.4	33.2	4.5
年齢別	65歳～69歳	377	1.6	5.0	29.4	59.9	4.0
	70歳～74歳	422	2.4	6.4	43.1	44.5	3.6
	75歳～79歳	442	4.1	6.8	47.5	38.5	3.2
	80歳～84歳	274	5.5	12.4	46.7	27.0	8.4
	85歳～89歳	177	9.0	17.5	49.7	19.8	4.0
	90歳～94歳	70	15.7	20.0	47.1	12.9	4.3
	95歳～99歳	16	18.8	18.8	31.3	25.0	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	4.6	9.4	40.0	41.1	4.9
	袋井中部地域	380	5.5	8.7	38.2	43.2	4.5
	袋井南部地域	414	4.1	8.7	43.7	39.1	4.3
	浅羽・笠原地域	370	3.5	8.6	49.2	35.4	3.2

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「とても減っている」と「減っている」をあわせた“減っている”が18.1%、「あまり減っていない」と「減っていない」をあわせた“減っていない”が78.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、“減っている”が52.8%、“減っていない”が44.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、“減っていない”が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“減っている”が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ“減っている”が高くなっています。

居住地区別でみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分		回答者数 (件)	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体		1,785	3.4	19.3	35.4	38.8	3.1
性別	男性	804	2.4	17.0	35.2	42.7	2.7
	女性	970	4.2	21.1	35.7	35.7	3.3
年齢別	65歳～69歳	377	1.9	13.5	26.8	55.4	2.4
	70歳～74歳	422	2.1	14.9	38.9	42.2	1.9
	75歳～79歳	442	2.7	17.9	38.5	39.1	1.8
	80歳～84歳	274	3.3	23.0	38.7	28.8	6.2
	85歳～89歳	177	7.3	31.6	34.5	22.0	4.5
	90歳～94歳	70	11.4	34.3	32.9	15.7	5.7
	95歳～99歳	16	12.5	37.5	37.5	6.3	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	2.9	18.7	36.8	38.5	3.1
	袋井中部地域	380	2.4	21.3	34.7	37.9	3.7
	袋井南部地域	414	5.3	19.8	34.1	37.9	2.9
	浅羽・笠原地域	370	3.5	18.1	35.1	40.8	2.4

(8) どのような用件で外出していますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「買い物」が88.5%と最も高く、次いで「医療機関への通院」が71.5%、「散歩」が45.5%、「仕事」が40.5%、「外食」が37.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「医療機関への通院」が81.5%と最も高く、次いで「買い物」が64.4%、「散歩」が38.0%、「通いの場への参加」が21.3%、「外食」が18.5%となっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	買 い 物	仕 事	医 療 機 関 へ の 通 院	外 食	旅 行	散 歩	通 い の 場 へ の 参 加	学 習 活 動	ス ポ ー ツ ・ 健 康 づ く り 活 動	地 域 活 動	そ の 他	し な い 外 出 は ほ と ん ど	無 回 答
R7 一般高齢者	1,527	88.5	40.5	71.5	37.5	22.9	45.5	15.6	11.8	24.8	21.5	5.2	0.3	2.0
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	64.4	11.6	81.5	18.5	4.2	38.0	21.3	7.4	7.4	10.2	10.6	3.7	1.4

＜一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算＞

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「仕事」、「地域活動」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「通いの場への参加」、「学習活動」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「通いの場への参加」が高くなる傾向があります。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「仕事」が低く、「散歩」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	買い物	仕事	医療機関への通院	外食	旅行	散歩	通いの場への参加	学習活動	健康づくり活動・スポーツ活動	地域活動	その他	外出はほとんどしない	無回答
全体		1,785	85.4	36.8	72.9	34.8	20.4	44.4	16.2	11.2	22.4	20.2	5.9	0.7	2.0
性別	男性	804	81.6	44.4	68.3	33.0	18.7	48.0	8.3	4.2	21.9	27.4	4.5	0.9	1.9
	女性	970	88.6	30.7	77.1	36.6	22.0	41.5	22.8	16.8	22.8	14.4	7.1	0.5	2.0
年齢別	65歳～69歳	377	89.9	56.5	64.2	48.3	32.6	41.4	8.0	10.1	23.6	25.7	4.5	0.3	1.6
	70歳～74歳	422	91.7	44.5	71.1	39.8	24.2	46.0	13.5	10.7	25.8	21.3	6.4	0.2	1.2
	75歳～79歳	442	87.8	32.8	75.3	35.3	19.7	48.6	18.3	13.3	22.4	21.5	6.1	0.7	1.4
	80歳～84歳	274	82.5	21.5	77.4	26.3	13.1	49.3	21.9	12.0	23.4	16.4	6.2	0.7	4.0
	85歳～89歳	177	73.4	16.4	81.9	19.8	6.8	38.4	23.2	9.0	16.9	13.0	4.5	2.3	2.3
	90歳～94歳	70	60.0	20.0	77.1	10.0	4.3	30.0	28.6	11.4	10.0	12.9	11.4	1.4	4.3
	95歳～99歳	16	43.8	37.5	68.8	0.0	0.0	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	85.2	37.8	69.8	33.9	20.6	41.4	13.6	9.4	22.5	21.0	6.3	0.5	2.6
	袋井中部地域	380	86.3	39.7	73.4	36.1	22.6	43.2	16.1	11.8	21.3	22.4	3.9	0.8	1.6
	袋井南部地域	414	85.3	29.7	77.5	35.3	18.8	50.5	18.1	11.8	25.6	20.3	7.2	0.5	1.0
	浅羽・笠原地域	370	85.1	40.3	72.7	34.6	19.7	44.6	18.1	13.2	20.0	17.8	6.2	0.8	2.2

(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「自動車（自分で運転）」が77.4%と最も高く、次いで「徒歩」が53.0%、「自動車（人に乗せてもらう）」が20.4%、「自転車」が15.0%、「電車」が10.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「自動車（人に乗せてもらう）」が52.8%と最も高く、次いで「徒歩」が37.0%、「自動車（自分で運転）」が26.4%、「タクシー」が16.7%、「歩行器・シルバーカー」が16.2%となっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	徒歩	自転車	バイク	自動車（自分で運転）	自動車（人に乗せてもらう）	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす（カート）	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
R7 一般高齢者	1,527	53.0	15.0	2.9	77.4	20.4	10.1	5.0	0.5	0.2	0.1	0.9	4.1	0.9	1.9
R7 事業対象者、要支援認定者	216	37.0	6.0	0.9	26.4	52.8	4.6	8.3	6.0	1.4	1.9	16.2	16.7	6.0	1.4

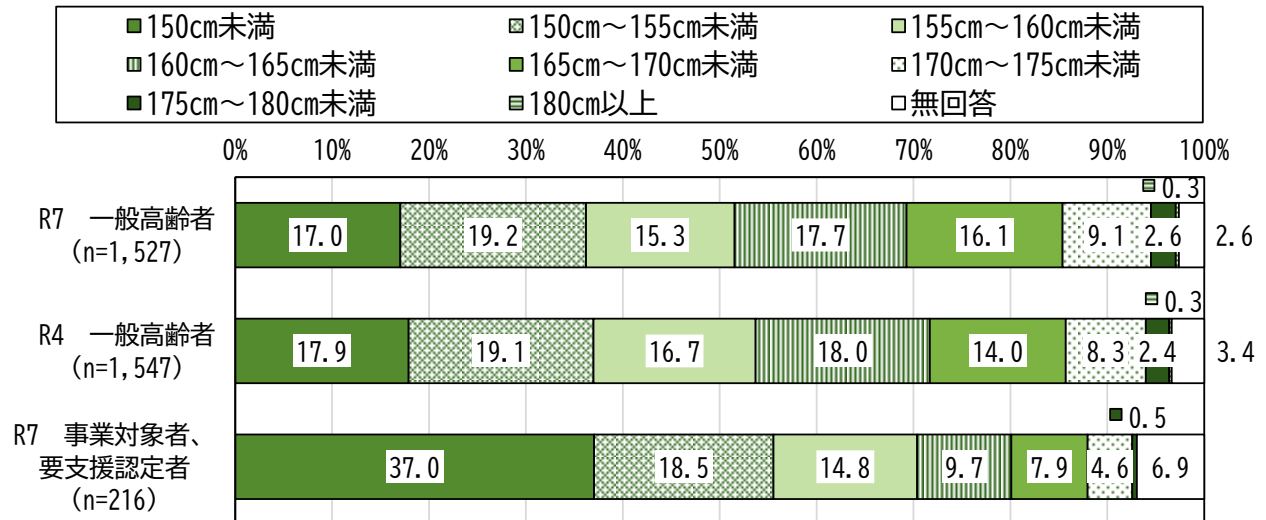
問3 食えることについて

(1) あなたの身長・体重をお教えてください。(それぞれ数値を記入)

①身長

一般高齢者では、「150cm～155cm 未満」が 19.2%と最も高く、次いで「160cm～165cm 未満」が 17.7%、「150cm 未満」が 17.0%となっています。

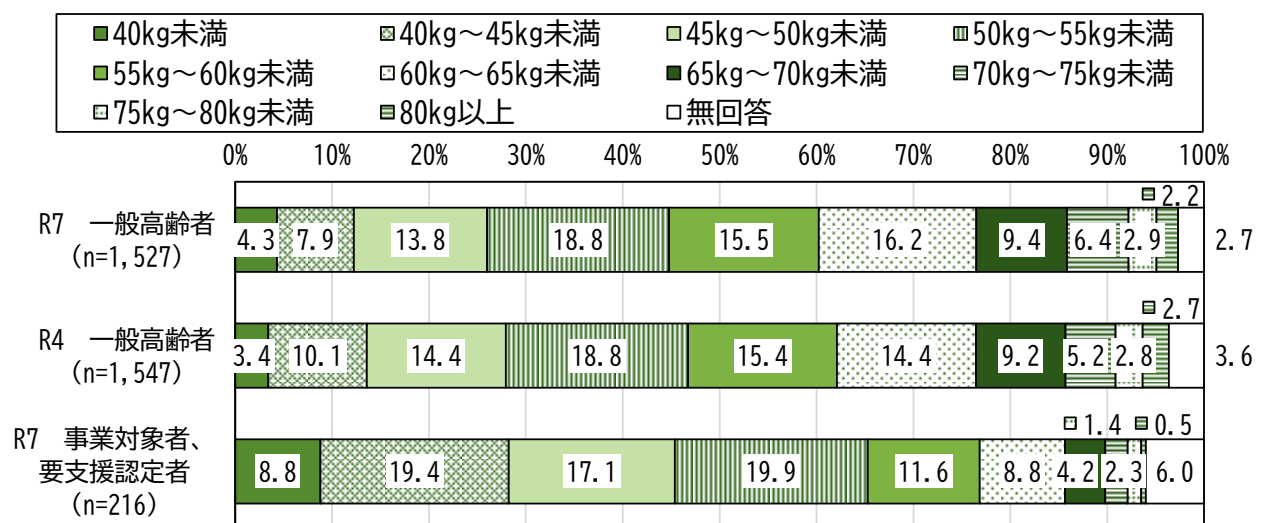
事業対象者、要支援認定者では、「150cm 未満」が 37.0%と最も高く、次いで「150cm～155cm 未満」が 18.5%、「155cm～160cm 未満」が 14.8%となっています。



②体重

一般高齢者では、「50kg～55kg 未満」が 18.8%と最も高く、次いで「60kg～65kg 未満」が 16.2%、「55kg～60kg 未満」が 15.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「50kg～55kg 未満」が 19.9%と最も高く、次いで「40kg～45kg 未満」が 19.4%、「45kg～50kg 未満」が 17.1%となっています。

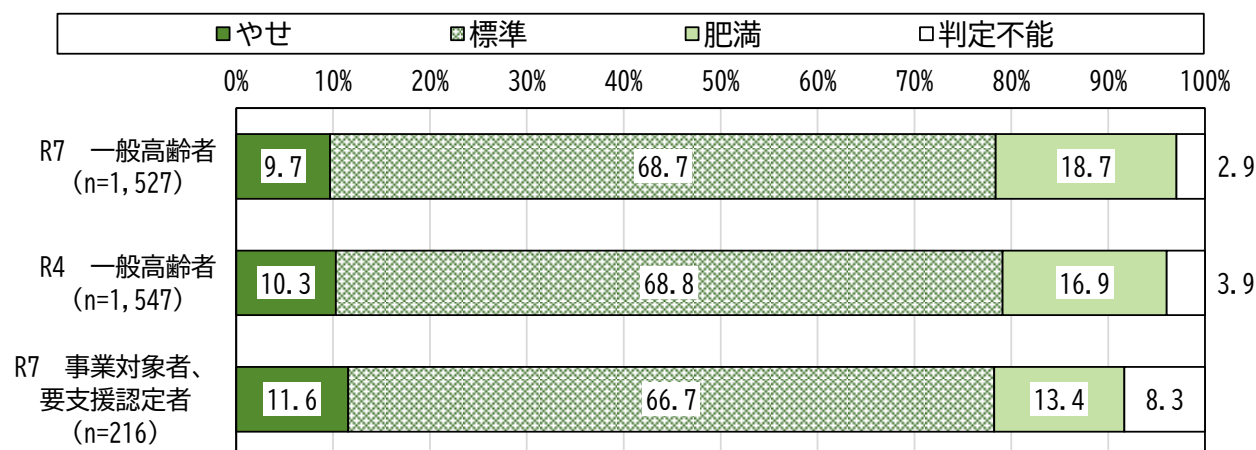


③BMI

一般高齢者では、「標準」が68.7%と最も高く、次いで「肥満」が18.7%、「やせ」が9.7%となっています。

事業対象者では、「標準」が66.7%と最も高く、次いで「肥満」が13.4%、「やせ」が11.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「肥満」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「やせ」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「やせ」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽・笠原地域で「肥満」が高くなっています。

単位：％

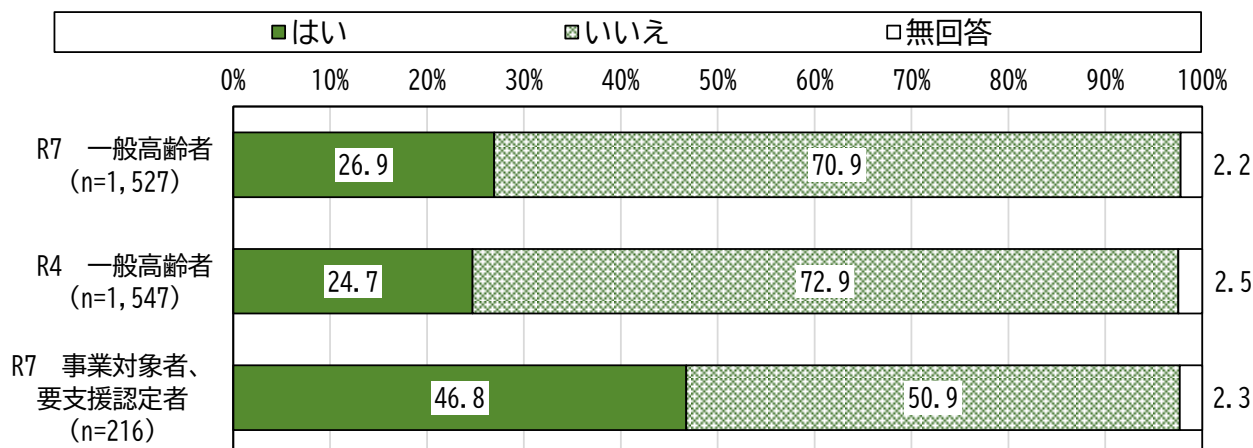
区分		回答者数 (件)	や せ	標 準	肥 満	判 定 不 能
全体		1,785	10.1	68.2	17.9	3.8
性別	男性	804	5.5	72.1	19.7	2.7
	女性	970	13.8	65.1	16.6	4.5
年齢別	65歳～69歳	377	7.7	65.0	25.2	2.1
	70歳～74歳	422	6.9	72.3	19.2	1.7
	75歳～79歳	442	10.2	68.8	18.8	2.3
	80歳～84歳	274	13.5	64.2	13.5	8.8
	85歳～89歳	177	14.1	71.8	8.5	5.6
	90歳～94歳	70	18.6	62.9	8.6	10.0
	95歳～99歳	16	12.5	68.8	12.5	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	10.4	68.8	16.5	4.3
	袋井中部地域	380	10.5	67.6	18.4	3.4
	袋井南部地域	414	10.1	69.3	16.4	4.1
	浅羽・笠原地域	370	8.6	66.5	21.9	3.0

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「はい」が26.9%、「いいえ」が70.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が46.8%、「いいえ」が50.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「はい」が増加しています。



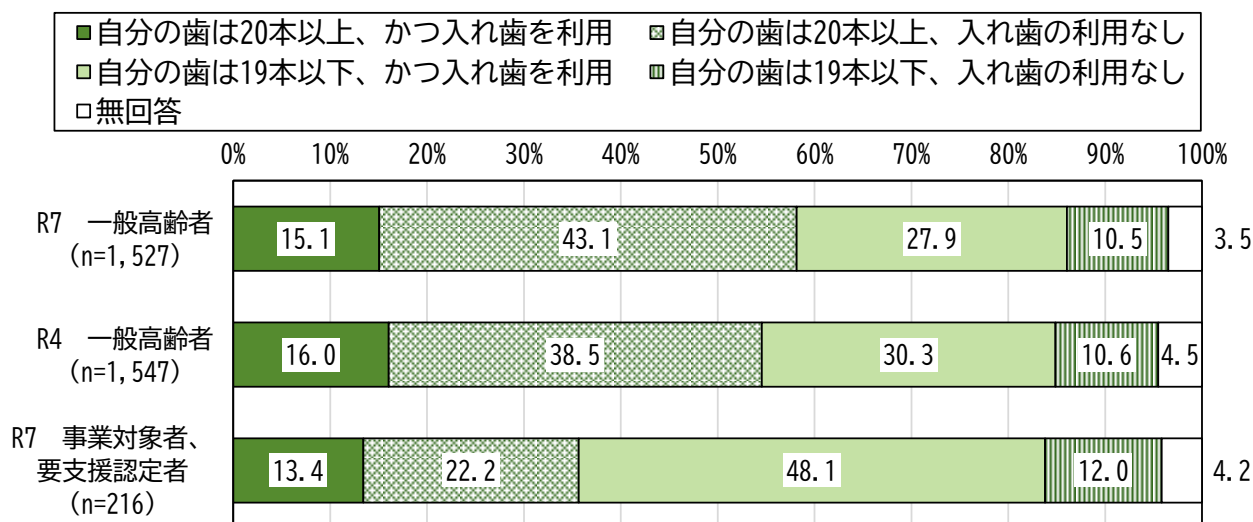
(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(☑は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

一般高齢者では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が43.1%と最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が27.9%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.1%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が10.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が48.1%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が22.2%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.4%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が12.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が増加しています。

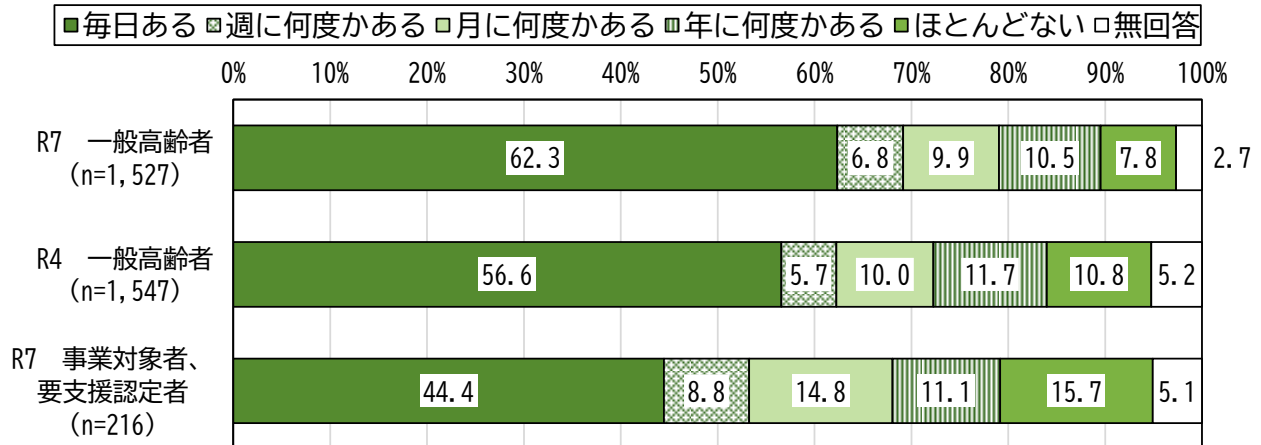


(4) どなたかと食事をとる機会がありますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「毎日ある」が62.3%と最も高く、次いで「年に何度かある」が10.5%、「月に何度かある」が9.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「毎日ある」が44.4%と最も高く、次いで「ほとんどない」が15.7%、「月に何度かある」が14.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「毎日ある」が増加しています。



【再掲】問1（4）家族構成

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

単位：％

区分		回答者数 (件)	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
全体		1,785	13.2	36.0	3.9	23.4	22.3	1.2
性別	男性	804	10.1	40.5	6.0	20.6	22.0	0.7
	女性	970	16.0	32.5	2.1	25.5	22.6	1.4
年齢別	65歳～69歳	377	8.8	36.6	9.0	17.5	27.6	0.5
	70歳～74歳	422	10.0	39.8	3.8	22.7	23.0	0.7
	75歳～79歳	442	13.6	42.3	1.4	25.6	15.6	1.6
	80歳～84歳	274	17.5	32.5	2.6	24.1	22.6	0.7
	85歳～89歳	177	19.8	30.5	3.4	24.9	19.8	1.7
	90歳～94歳	70	21.4	8.6	0.0	34.3	34.3	1.4
	95歳～99歳	16	18.8	0.0	0.0	43.8	37.5	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	12.3	33.9	3.7	26.2	23.5	0.3
	袋井中部地域	380	12.1	40.0	4.5	20.8	21.3	1.3
	袋井南部地域	414	16.7	38.4	3.1	20.5	19.8	1.4
	浅羽・笠原地域	370	11.6	33.8	4.6	25.7	23.2	1.1

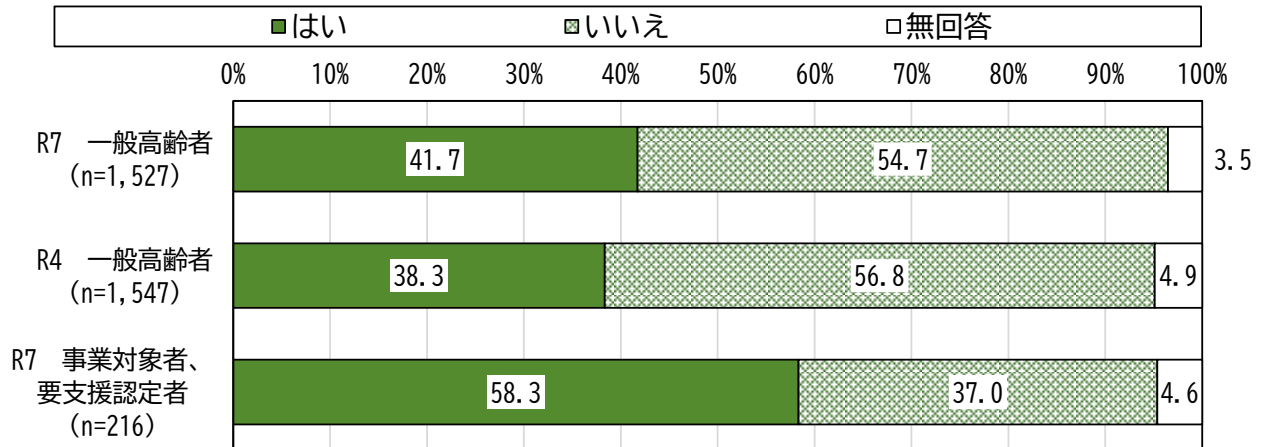
問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「はい」が41.7%、「いいえ」が54.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が58.3%、「いいえ」が37.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「はい」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【外出頻度との関係】

外出頻度との関係を見ると、物忘れが多いと感じている人（「はい」）は、感じていない人（「いいえ」）に比べ、外出の頻度が少ない傾向が見られます。

単位：%

区分		回答者数（件）	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		1,785	4.4	8.9	42.6	39.7	4.4
多 物 忘 れ	はい	784	6.1	10.3	47.4	34.3	1.8
	いいえ	933	3.3	7.6	39.2	46.2	3.6

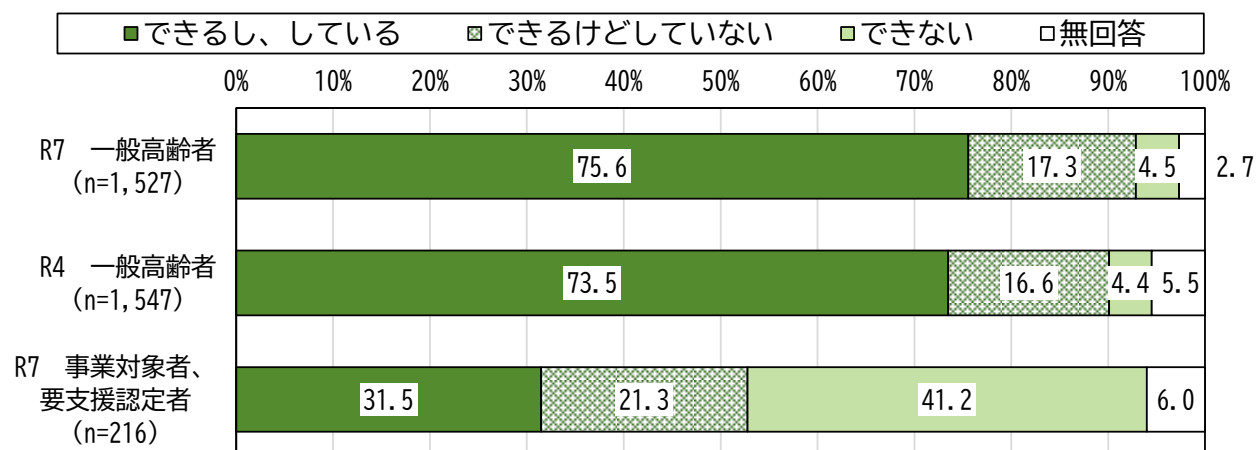
(2) 日常生活について、次の①～⑤のそれぞれの項目について、あてはまるものに☑をつけてください。(各項目に、☑はひとつずつ)

①バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

一般高齢者では、「できるし、している」が75.6%、「できるけどしていない」が17.3%、「できない」が4.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できない」が41.2%と最も高く、次いで「できるし、している」が31.5%、「できるけどしていない」が21.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「できない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「できるけどしていない」、「できない」が高くなる傾向があります。

居住地区別でみると、大きな差はみられません。

単位：％

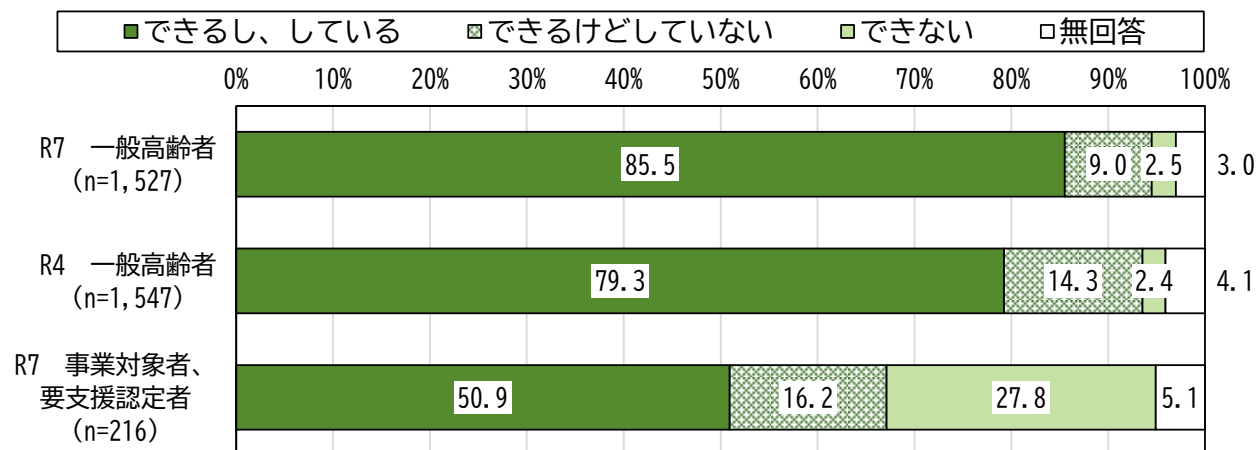
区分		回答者数 (件)	できる しているし、	できる けどして	できない	無 回答
全体		1,785	69.6	17.9	9.2	3.2
性別	男性	804	73.6	17.7	6.5	2.2
	女性	970	67.0	18.0	11.4	3.5
年齢別	65歳～69歳	377	81.7	14.9	1.6	1.9
	70歳～74歳	422	77.5	16.8	3.6	2.1
	75歳～79歳	442	76.0	16.1	6.1	1.8
	80歳～84歳	274	64.2	19.0	10.9	5.8
	85歳～89歳	177	44.6	26.6	24.3	4.5
	90歳～94歳	70	20.0	25.7	45.7	8.6
	95歳～99歳	16	0.0	31.3	62.5	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	68.1	18.9	9.2	3.7
	袋井中部地域	380	70.3	17.9	10.0	1.8
	袋井南部地域	414	69.8	18.1	8.9	3.1
	浅羽・笠原地域	370	71.6	15.7	9.5	3.2

②自分で食品・日用品の買物をしていますか。

一般高齢者では、「できるし、している」が 85.5%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が 9.0%、「できない」が 2.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が 50.9%と最も高く、次いで「できない」が 27.8%、「できるけどしていない」が 16.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「できるけどしていない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「できるけどしていない」、「できない」が高くなる傾向があります。

居住地区別でみると、大きな差はみられません。

単位：％

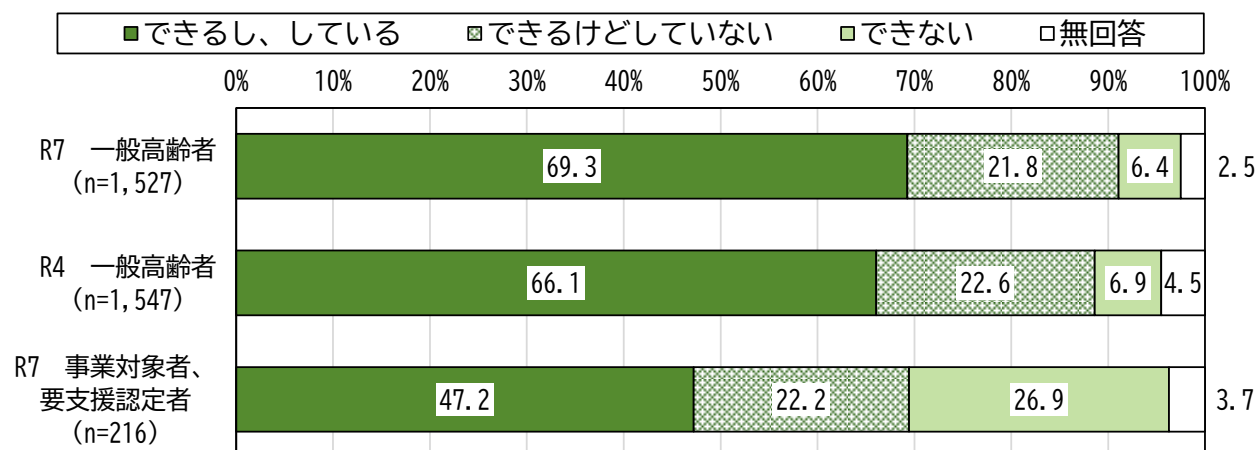
区分		回答者数 (件)	できる し、 している	できる けどして いない	でき ない	無 回 答
全体		1,785	81.0	10.0	5.7	3.3
性別	男性	804	77.1	14.8	5.0	3.1
	女性	970	84.6	6.0	6.3	3.1
年齢別	65歳～69歳	377	90.2	6.9	1.3	1.6
	70歳～74歳	422	88.4	6.4	2.8	2.4
	75歳～79歳	442	83.3	10.0	3.4	3.4
	80歳～84歳	274	75.9	11.7	6.9	5.5
	85歳～89歳	177	63.3	16.9	14.7	5.1
	90歳～94歳	70	52.9	18.6	25.7	2.9
	95歳～99歳	16	25.0	31.3	37.5	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	81.4	9.5	4.4	4.6
	袋井中部地域	380	80.3	11.1	7.1	1.6
	袋井南部地域	414	81.9	9.9	5.3	2.9
	浅羽・笠原地域	370	80.0	9.5	7.3	3.2

③自分で食事の用意をしていますか。

一般高齢者では、「できるし、している」が 69.3%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が 21.8%、「できない」が 6.4%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が 47.2%と最も高く、次いで「できない」が 26.9%、「できるけどしていない」が 22.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「できるけどしていない」、「できない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「できない」が高くなる傾向があります。

居住地区別でみると、大きな差はみられません。

単位：％

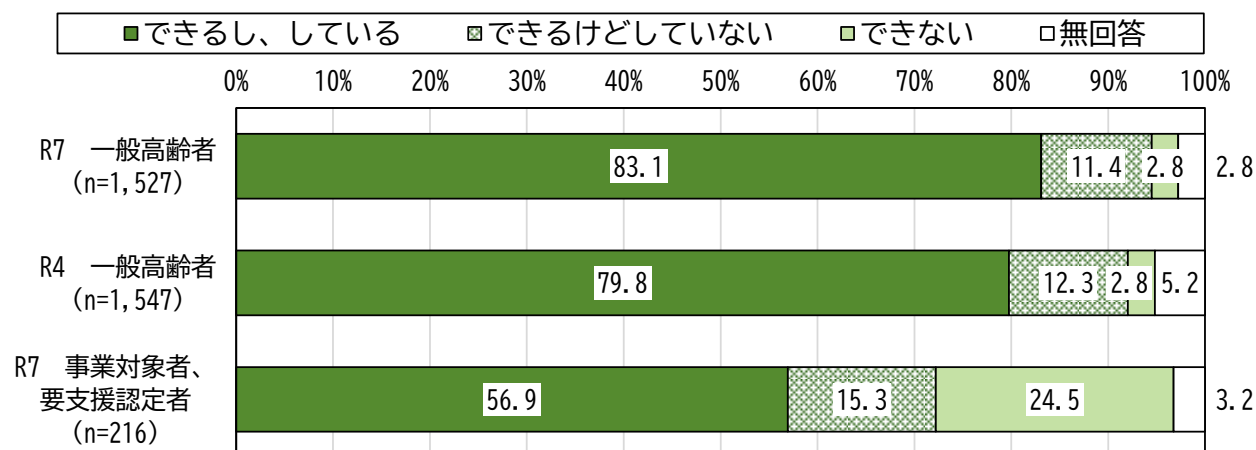
区分		回答者数 (件)	でき ているし、	でき ない けどして	でき ない	無 回 答
全体		1,785	66.7	21.7	8.9	2.7
性別	男性	804	41.3	41.2	14.7	2.9
	女性	970	87.9	5.6	4.1	2.4
年齢別	65歳～69歳	377	73.7	21.0	3.4	1.9
	70歳～74歳	422	70.9	20.4	6.6	2.1
	75歳～79歳	442	66.1	23.1	9.3	1.6
	80歳～84歳	274	64.6	20.8	9.9	4.7
	85歳～89歳	177	55.4	24.9	15.3	4.5
	90歳～94歳	70	51.4	18.6	25.7	4.3
	95歳～99歳	16	31.3	31.3	31.3	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	67.6	20.1	8.5	3.7
	袋井中部地域	380	64.5	23.4	9.7	2.4
	袋井南部地域	414	65.0	22.7	10.4	1.9
	浅羽・笠原地域	370	67.8	22.7	7.6	1.9

④自分で請求書の支払いをしていますか。

一般高齢者では、「できるし、している」が 83.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が 11.4%、「できない」が 2.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が 56.9%と最も高く、次いで「できない」が 24.5%、「できるけどしていない」が 15.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「できるけどしていない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「できるけどしていない」、「できない」が高くなる傾向があります。

居住地区別でみると、大きな差はみられません。

単位：％

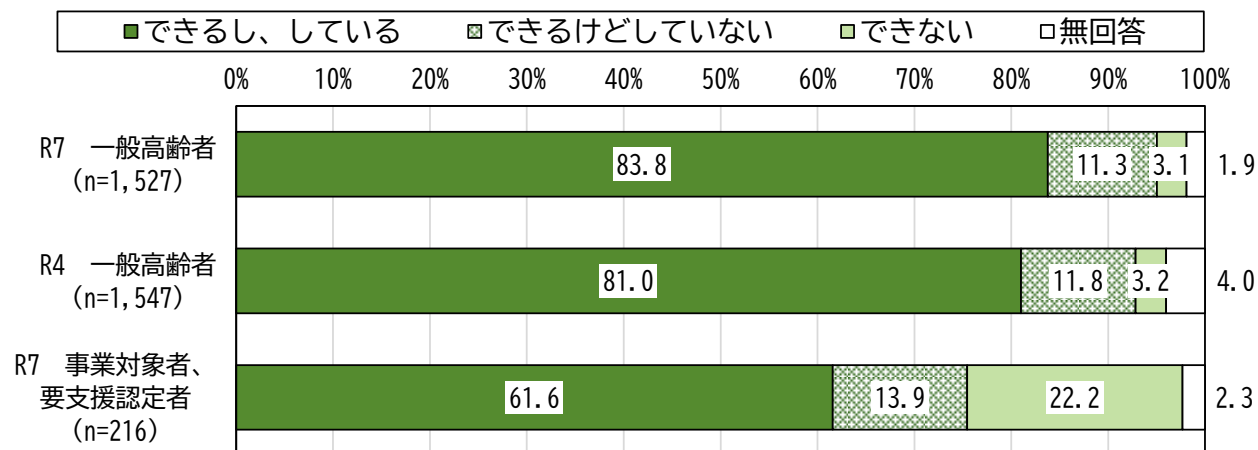
区分		回答者数 (件)	できる しているし、	できない けどして	できない	無回答
全体		1,785	79.6	11.9	5.6	2.9
性別	男性	804	72.4	18.8	6.0	2.9
	女性	970	85.8	6.2	5.3	2.8
年齢別	65歳～69歳	377	86.7	9.3	1.6	2.4
	70歳～74歳	422	85.3	10.0	2.4	2.4
	75歳～79歳	442	83.3	10.6	4.1	2.0
	80歳～84歳	274	72.3	15.3	7.3	5.1
	85歳～89歳	177	67.2	17.5	12.4	2.8
	90歳～94歳	70	57.1	17.1	21.4	4.3
	95歳～99歳	16	31.3	18.8	50.0	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	78.4	13.3	4.9	3.4
	袋井中部地域	380	80.8	12.1	5.8	1.3
	袋井南部地域	414	78.7	12.6	5.8	2.9
	浅羽・笠原地域	370	82.4	8.1	6.5	3.0

⑤自分で預貯金の出し入れをしていますか。

一般高齢者では、「できるし、している」が 83.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が 11.3%、「できない」が 3.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「できるし、している」が 61.6%と最も高く、次いで「できない」が 22.2%、「できるけどしていない」が 13.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「できるし、している」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「できるけどしていない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「できるけどしていない」、「できない」が高くなる傾向があります。

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽・笠原地域で「できるけどしていない」が低くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	でき ているし、	でき ない けどして	でき ない	無 回 答
全体		1,785	80.6	11.7	5.6	2.1
性別	男性	804	72.5	19.5	6.1	1.9
	女性	970	87.5	5.4	5.2	2.0
年齢別	65歳～69歳	377	85.4	10.9	1.9	1.9
	70歳～74歳	422	87.7	8.1	2.6	1.7
	75歳～79歳	442	82.8	11.8	4.3	1.1
	80歳～84歳	274	77.4	12.0	6.6	4.0
	85歳～89歳	177	70.1	15.8	12.4	1.7
	90歳～94歳	70	54.3	27.1	15.7	2.9
	95歳～99歳	16	25.0	12.5	56.3	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	79.7	11.6	5.8	2.9
	袋井中部地域	380	78.7	12.9	7.4	1.1
	袋井南部地域	414	81.2	13.0	4.3	1.4
	浅羽・笠原地域	370	83.8	8.9	5.4	1.9

(3) ごみ出しで困難を感じていることはありますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「困難を感じていることはない」が 79.5%と最も高く、次いで「ごみ集積所までの運搬が困難」が 4.9%、「分別することが難しい」が 4.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「困難を感じていることはない」が 38.0%と最も高く、次いで「ごみ集積所までの運搬が困難」が 26.9%、「分別することが難しい」が 12.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

単位：％

区分	回答者数 (件)	難分別 し別 いす ること が	運搬 が集 困積 所ま での	常 収 に 集 出 せ や 収 集 時 間	人 が ご み 出 し を 頼 め る	そ の 他	こ 困 と 難 は を 感 じ て い る	無 回 答
R7 一般高齢者	1,527	4.7	4.9	1.4	1.8	4.3	79.5	5.4
R4 一般高齢者	1,547	5.2	4.8	1.3	1.0	5.4	79.4	7.4
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	12.5	26.9	10.6	4.2	24.1	38.0	6.0

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ごみ集積所までの運搬が困難」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、85歳～94歳で「ごみ集積所までの運搬が困難」が高くなっています。

居住地区別でみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分		回答者数 (件)	難 分 別 し る こ と が	運 ご み 搬 が 集 積 所 ま で の	帯 収 に 出 せ な い 日 や 集 積 時 間	人 ご み が 出 ない を 頼 め る	そ の 他	こ 困 と は を 感 じ て い る	無 回 答
全体		1,785	5.9	7.9	2.6	2.2	6.8	73.9	5.8
性別	男性	804	6.3	5.2	2.4	1.2	5.1	79.0	4.5
	女性	970	5.7	10.1	2.9	2.9	8.4	69.9	6.6
年齢別	65歳～69歳	377	4.2	2.1	1.1	1.3	3.2	85.9	3.2
	70歳～74歳	422	4.5	4.5	2.1	1.4	4.0	81.8	4.5
	75歳～79歳	442	6.1	6.3	2.0	1.6	5.9	76.9	5.2
	80歳～84歳	274	6.9	9.9	3.6	3.3	8.0	66.1	10.2
	85歳～89歳	177	6.8	22.0	5.6	3.4	14.7	53.7	5.6
	90歳～94歳	70	17.1	27.1	5.7	8.6	20.0	30.0	11.4
	95歳～99歳	16	6.3	6.3	6.3	0.0	31.3	56.3	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	6.8	7.8	3.1	2.0	6.3	73.1	6.1
	袋井中部地域	380	6.1	6.6	2.6	2.6	7.6	74.5	4.7
	袋井南部地域	414	4.3	8.9	2.4	2.4	6.0	75.8	5.6
	浅羽・笠原地域	370	6.5	8.9	2.4	1.9	7.8	72.2	5.7

(4) 必要な物の購入はどのようにしていますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「自分で買い物に行く」が 89.7%と最も高く、次いで「宅配・通販を利用している」が 28.6%、「家族・友人等に連れて行ってもらう」が 22.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「家族・友人等に連れて行ってもらう」が 56.9%と最も高く、次いで「自分で買い物に行く」が 42.1%、「宅配・通販を利用している」が 29.2%となっています。

また、「買い物ができず困っている」は、一般高齢者で 0.3%、事業対象者、要支援認定者で 6.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「自分で買い物に行く」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分で 買い物に 行く	家族・友人等 に連れて 行く	宅配・ 通販を 利用して	移動 販売を 利用して	買い物 ができず 困って	無 回答
R7 一般高齢者	1,527	89.7	22.7	28.6	1.9	0.3	2.0
R4 一般高齢者	1,547	86.7	22.9	25.7	2.5	0.2	3.6
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	42.1	56.9	29.2	9.7	6.0	6.0

＜一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算＞

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「家族・友人等に連れて行ってもらう」、「宅配・通販を利用している」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「自分で買い物に行く」、「宅配・通販を利用している」が低くなる傾向が、「家族・友人等に連れて行ってもらう」が高くなる傾向があります。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「家族・友人等に連れて行ってもらう」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	自分で 買い物に 行く	家族・友人等 に連れて 行く	宅配・通販 を利用して	移動販売 を利用して	買い物 が できず 困って	無 回 答
全体		1,785	83.4	27.3	28.7	3.0	1.0	2.6
性別	男性	804	87.8	18.0	23.9	1.1	0.9	2.4
	女性	970	80.1	34.7	33.0	4.4	1.1	2.7
年齢別	65歳～69歳	377	95.0	13.8	36.6	0.8	0.5	2.1
	70歳～74歳	422	92.9	16.1	31.0	0.7	0.2	1.7
	75歳～79歳	442	87.6	25.6	27.8	2.7	0.5	1.4
	80歳～84歳	274	77.0	33.9	25.5	5.8	1.8	4.7
	85歳～89歳	177	58.8	57.1	19.2	6.8	4.0	2.8
	90歳～94歳	70	41.4	65.7	20.0	5.7	1.4	7.1
	95歳～99歳	16	25.0	62.5	12.5	18.8	0.0	12.5
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	84.3	25.4	30.8	2.4	1.0	2.9
	袋井中部地域	380	83.9	28.4	26.6	3.2	1.8	1.8
	袋井南部地域	414	80.9	30.7	29.0	4.1	0.7	1.7
	浅羽・笠原地域	370	84.3	24.6	28.1	2.2	0.5	3.5

(5) 食料品や日用品の買い物で、不便や不安を感じていることはありますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「特に不便や不安はない」が 66.1%と最も高く、次いで「近くにお店がない(なくなった)」が 20.8%、「バスなどの交通の便が悪い(または交通手段がない)」が 12.9%、「歩いて買い物に行くのが大変(または不安)」が 10.5%、「自分で車の運転ができない」が 9.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「自分で車の運転ができない」が 39.4%と最も高く、次いで「歩いて買い物に行くのが大変(または不安)」が 38.0%、「近くにお店がない(なくなった)」と「特に不便や不安はない」がともに 29.2%、「バスなどの交通の便が悪い(または交通手段がない)」が 25.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「近くにお店がない(なくなった)」が増加しています。

区分	回答者数 (件)	単位：%								無回答
		近くにお店がない (なくなった)	自分で車の運転ができない	歩いて買い物に行くのが 大変(または不安)	バスなどの交通の便が悪い (または交通手段がない)	買い物を手伝ってくれる人 がない	介護等によつて買い物に でかけにくくなつた	その他	特に不便や不安はない	
R7 一般高齢者	1,527	20.8	9.8	10.5	12.9	1.4	0.4	2.0	66.1	2.9
R4 一般高齢者	1,547	15.2	10.5	8.5	10.1	1.4	0.3	4.7	71.2	6.8
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	29.2	39.4	38.0	25.5	4.2	5.6	11.1	29.2	4.2

＜一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算＞

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「特に不便や不安はない」を除くすべての項目が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、90歳～94歳で「自分で車の運転ができない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽・笠原地域で「近くにお店がない（なくなった）」が、袋井南部地域で「自分で車の運転ができない」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	近くにお店がない （なくなった）	自分で車の運転ができない	大歩いて買物に行くのが （または買物に行くのが不安）	バスなどの交通手段の便が悪い （または交通手段の便が悪い）	買い物を手伝ってくれる人がいない	介護等によって買物に 行くことができない	その他	特に不便や不安はない	無回答
全体		1,785	21.6	13.7	13.8	14.5	1.8	1.2	3.1	61.0	3.5
性別	男性	804	17.5	7.5	8.6	10.4	1.1	0.5	2.6	69.4	2.6
	女性	970	24.7	18.8	17.8	17.6	2.4	1.8	3.4	54.6	4.0
年齢別	65歳～69歳	377	17.5	3.2	6.4	11.7	0.5	0.0	2.4	69.8	3.2
	70歳～74歳	422	18.0	6.2	9.5	9.5	1.9	0.5	2.6	70.6	2.6
	75歳～79歳	442	21.3	10.6	9.0	12.7	1.4	1.1	1.6	64.9	3.6
	80歳～84歳	274	22.6	22.3	18.2	20.1	3.3	0.4	3.3	53.6	4.4
	85歳～89歳	177	33.3	33.9	33.3	22.6	1.7	5.6	7.9	36.2	3.4
	90歳～94歳	70	32.9	48.6	40.0	27.1	5.7	2.9	4.3	28.6	5.7
	95歳～99歳	16	25.0	6.3	31.3	18.8	0.0	6.3	12.5	43.8	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	15.3	12.9	11.4	12.3	2.0	1.2	2.9	65.9	3.4
	袋井中部地域	380	25.3	11.8	15.3	13.9	2.1	1.1	3.9	61.3	2.6
	袋井南部地域	414	21.5	18.4	15.7	16.2	1.9	1.0	3.1	60.6	2.9
	浅羽・笠原地域	370	28.9	11.1	14.6	17.0	1.1	1.1	2.7	53.8	4.3

(6) 生きがい(喜びや楽しみ)を感じるのはどのような時ですか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「おいしいものを食べているとき」が65.2%と最も高く、次いで「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が62.7%、「友人や知人と過ごすとき」が54.2%、「家族との団らんのとき」が49.1%、「散歩や買い物をしているとき」が47.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が 65.3%と最も高く、次いで「おいしいものを食べているとき」が 53.7%、「家族との団らんのとき」が 41.2%、「友人や知人と過ごすとき」が 40.7%、「散歩や買い物をしているとき」が 29.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」、「おいしいものを食べているとき」が増加しています。

		単位：％																			
区分	回答者数（件）	仕事をしているとき	教養を身につけることをしているとき	健康づくりやスポーツをしているとき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	活動をしているとき	シニアクラブ・老人クラブ	地域活動に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき	聞いているとき	テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	パソコン、インターネットをしているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にな	無回答
R7 一般高齢者	1,527	38.2	21.5	32.7	49.1	54.2	7.9	15.7	35.9	47.0	62.7	22.9	30.7	33.7	65.2	19.4	4.0	2.9	1.3		
R4 一般高齢者	1,547	39.9	17.9	31.0	49.5	52.3	7.8	11.8	31.6	43.8	57.6	16.3	28.4	24.5	60.1	17.9	5.0	4.3	3.2		
R7 事業対象者、要支援認定者	216	16.2	11.6	17.1	41.2	40.7	15.7	11.6	13.0	29.2	65.3	9.3	17.1	16.7	53.7	10.6	9.7	4.2	0.9		

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別】

性別でみると、男性では「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が、女性では「おいしいものを食べているとき」が最も高くなっています。

年齢別でみると、65歳～74歳では「おいしいものを食べているとき」が、75歳～99歳では「テレビを見たり、ラジオを聞いているとき」が最も高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	仕事をしているとき	教養を身につけることをしているとき	健康づくりやスポーツをしているとき	家族との団らんのとき	友人や知人と過ごすとき	活動をしているとき	シニアクラブ・老人クラブ	地域活動に参加しているとき	旅行に行っているとき	散歩や買い物をしているとき	テレビを見たり、ラジオを聞いているとき	パソコン、インターネットをしているとき	他人から感謝されたとき	収入があつたとき	おいしいものを食べているとき	若い世代と交流しているとき	その他	特にない	無回答
全体		1,785	35.2	19.9	30.5	48.1	52.6	9.0	15.2	33.0	44.7	63.0	21.0	28.8	31.4	63.7	18.4	4.7	3.1	1.4	
性別	男性	804	40.7	15.7	30.8	47.5	39.9	7.0	17.4	32.5	35.9	59.2	31.6	24.1	31.3	54.2	15.9	3.7	4.7	1.1	
	女性	970	30.8	23.6	30.3	48.8	63.4	10.7	13.6	33.7	52.2	66.2	12.4	33.0	31.3	71.5	20.4	5.6	1.9	1.4	
年齢別	65歳～69歳	377	41.9	21.2	33.2	55.7	50.4	0.3	13.3	43.2	43.5	56.2	28.9	32.4	42.2	67.9	19.6	6.1	2.9	1.3	
	70歳～74歳	422	40.3	20.1	31.0	50.5	53.3	2.8	11.6	40.8	45.3	61.1	23.5	31.3	32.5	64.7	19.2	3.6	4.5	1.4	
	75歳～79歳	442	32.6	21.0	31.7	50.5	57.5	8.4	19.5	33.9	48.9	64.9	23.8	29.9	31.4	63.8	18.3	2.7	2.0	0.9	
	80歳～84歳	274	31.4	20.1	29.6	36.5	53.6	16.8	16.1	24.5	47.8	66.4	16.4	23.7	25.2	63.1	17.2	6.2	2.9	1.5	
	85歳～89歳	177	24.3	15.8	29.4	42.4	49.2	24.9	15.3	15.3	38.4	70.1	7.3	23.2	22.6	54.8	16.9	5.1	4.0	1.7	
	90歳～94歳	70	28.6	18.6	18.6	38.6	41.4	25.7	20.0	11.4	34.3	64.3	1.4	25.7	20.0	60.0	15.7	7.1	1.4	2.9	
	95歳～99歳	16	37.5	12.5	12.5	56.3	37.5	18.8	12.5	6.3	6.3	68.8	6.3	18.8	6.3	62.5	31.3	18.8	6.3	0.0	
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(7) 今後、やってみたいと思うものは何ですか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「趣味の活動」が 44.9%と最も高く、次いで「健康づくりやスポーツ」が 40.9%、「特にない」が 23.9%、「働くこと」が 23.5%、「学習や教養を高めるための活動」が 21.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「特にない」が 39.4%と最も高く、次いで「趣味の活動」が 31.0%、「健康づくりやスポーツ」が 25.0%、「シニアクラブ・老人クラブ活動」が 15.7%、「学習や教養を高めるための活動」が 12.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「趣味の活動」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	働くこと	学習や教養を 高めるための活動	健康づくり やスポーツ	趣味の活動	シニアクラブ・ 老人クラブ活動	社会奉仕活動	町内会、自治会の活動	その他	特にない	無回答
R7 一般高齢者	1,527	23.5	21.0	40.9	44.9	7.0	7.7	6.3	2.7	23.9	1.8
R4 一般高齢者	1,547	19.3	17.5	34.2	36.7	5.7	8.5	3.4	2.6	31.2	5.5
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	10.6	12.0	25.0	31.0	15.7	3.2	4.6	5.6	39.4	2.8

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「働くこと」、「趣味の活動」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「特にない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「特にない」が高くなる傾向があります。また、他に比べ、90歳～94歳で「シニアクラブ・老人クラブ活動」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	働くこと	学習や 活動のための 活動	健康づくり スポーツ	趣味の活動	シニア クラブ・ 老人クラブ活動	社会奉仕活動	町内会、 自治会の活動	その他	特にない	無回答
全体		1,785	21.7	19.6	38.5	42.9	8.3	7.3	6.1	3.1	26.1	2.0
性別	男性	804	27.5	18.2	39.9	47.9	6.1	7.2	7.2	2.0	23.0	1.5
	女性	970	17.1	20.8	37.4	38.8	9.9	7.4	5.2	4.0	28.7	2.5
年齢別	65歳～69歳	377	32.1	25.7	42.7	54.1	1.3	6.6	4.2	3.2	17.2	1.3
	70歳～74歳	422	23.9	22.5	41.2	46.9	3.3	9.0	4.5	3.6	21.6	1.9
	75歳～79歳	442	19.9	18.8	40.3	41.4	9.0	10.4	7.7	2.5	27.1	1.4
	80歳～84歳	274	16.1	16.4	36.9	34.7	12.0	3.6	8.8	2.2	31.4	2.6
	85歳～89歳	177	11.9	10.7	29.4	32.8	19.8	4.5	6.8	5.1	35.6	3.4
	90歳～94歳	70	11.4	12.9	25.7	27.1	27.1	2.9	4.3	2.9	44.3	4.3
	95歳～99歳	16	18.8	6.3	6.3	37.5	12.5	6.3	0.0	0.0	43.8	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

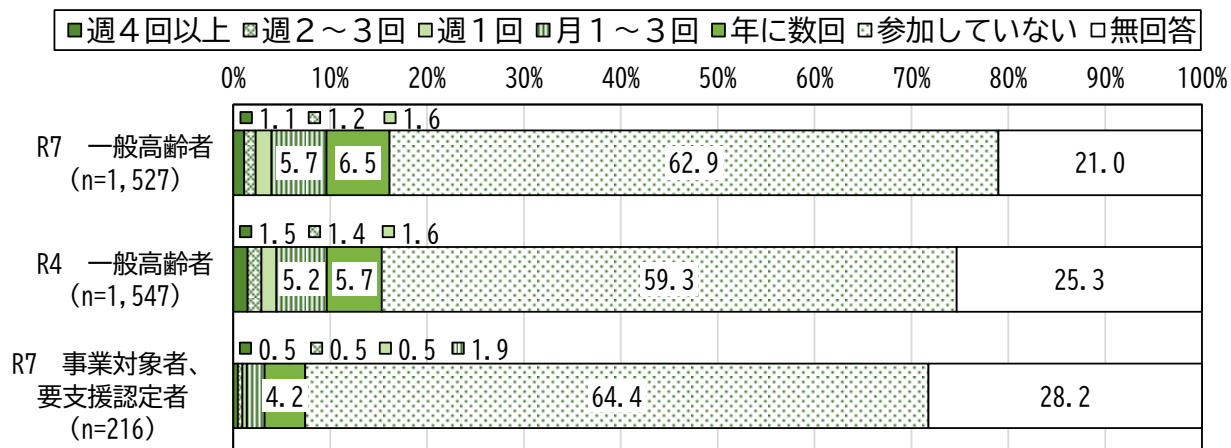
※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ☐は1つ）

①ボランティアのグループ

一般高齢者では、「参加していない」が62.9%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が64.4%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「年に数回」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～69歳で「参加していない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「参加していない」が低くなっています。

単位：％

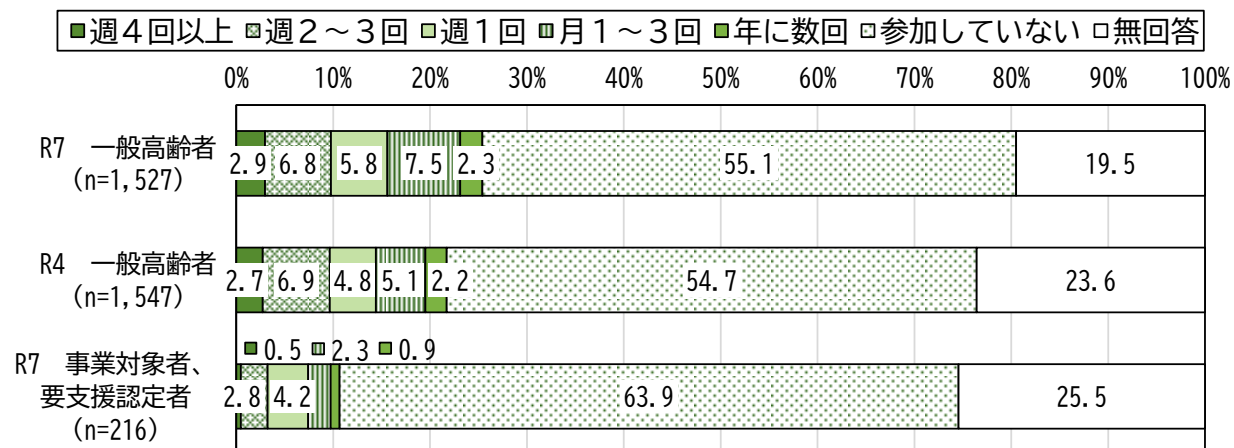
区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,785	1.0	1.1	1.5	5.2	6.3	62.6	22.3
性別	男性	804	1.9	0.6	1.6	5.3	9.5	64.1	17.0
	女性	970	0.3	1.5	1.4	5.1	3.7	61.6	26.3
年齢別	65歳～69歳	377	0.8	0.5	1.3	4.0	8.2	73.2	11.9
	70歳～74歳	422	1.4	1.4	1.9	6.4	5.9	67.1	15.9
	75歳～79歳	442	1.6	2.0	2.3	6.6	7.0	59.3	21.3
	80歳～84歳	274	0.4	1.1	1.1	4.4	4.7	56.9	31.4
	85歳～89歳	177	0.0	0.0	0.6	3.4	5.6	52.0	38.4
	90歳～94歳	70	1.4	0.0	0.0	2.9	2.9	47.1	45.7
	95歳～99歳	16	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	68.8	25.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	1.0	0.9	1.2	6.5	6.1	63.0	21.3
	袋井中部地域	380	1.3	0.5	1.8	4.7	8.2	58.7	24.7
	袋井南部地域	414	0.7	2.4	1.0	4.8	5.6	64.3	21.3
	浅羽・笠原地域	370	1.1	0.8	2.2	4.1	5.7	65.7	20.5

② スポーツ関係のグループやクラブ

一般高齢者では、「参加していない」が55.1%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が63.9%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「月1～3回」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～74歳と95歳～99歳で「参加していない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽・笠原地域で「参加していない」が高くなっています。

単位：％

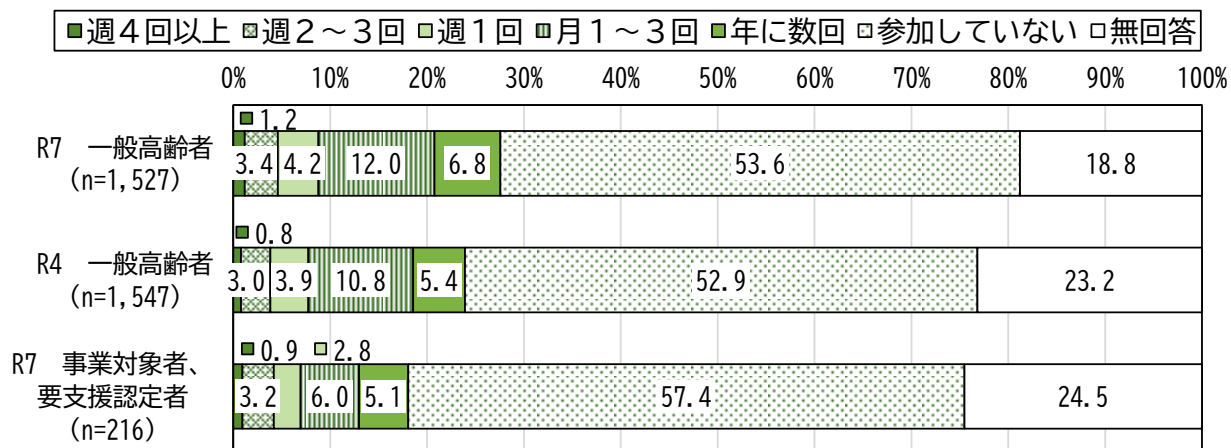
区分		回答者数 (件)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,785	2.7	6.2	5.5	6.8	2.1	55.9	20.8
性別	男性	804	2.4	5.2	3.5	6.1	3.6	61.8	17.4
	女性	970	2.9	7.1	7.2	7.4	0.9	51.0	23.4
年齢別	65歳～69歳	377	3.2	6.6	5.3	7.2	2.1	63.7	11.9
	70歳～74歳	422	3.3	6.6	6.4	6.2	1.9	61.4	14.2
	75歳～79歳	442	2.0	7.0	6.1	7.2	2.9	52.9	21.7
	80歳～84歳	274	2.6	5.8	5.5	8.0	1.5	48.2	28.5
	85歳～89歳	177	2.3	5.6	4.0	5.6	2.3	47.5	32.8
	90歳～94歳	70	2.9	1.4	4.3	4.3	1.4	47.1	38.6
	95歳～99歳	16	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	62.5	31.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	2.6	7.3	5.3	7.2	2.9	55.2	19.6
	袋井中部地域	380	2.6	5.8	4.5	6.1	1.6	56.1	23.4
	袋井南部地域	414	3.6	5.8	7.5	7.0	2.4	54.8	18.8
	浅羽・笠原地域	370	1.9	5.7	4.9	6.8	1.4	59.7	19.7

③ 趣味関係のグループ

一般高齢者では、「参加していない」が53.6%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が57.4%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、『年に数回以上参加』が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」が高くなっています。また、女性で「月1～3回」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～74歳で「参加していない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽・笠原地域で「参加していない」が高くなっています。

単位：％

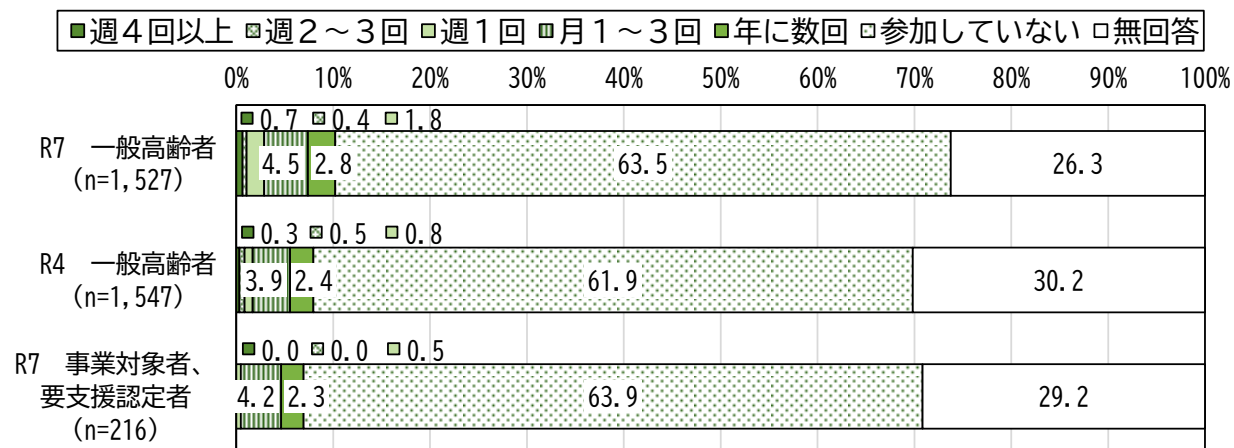
区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,785	1.2	3.3	4.0	11.4	6.4	53.9	19.8
性別	男性	804	1.4	3.5	3.0	8.7	8.2	58.0	17.3
	女性	970	1.0	3.2	4.7	13.6	4.9	50.7	21.8
年齢別	65歳～69歳	377	1.1	2.4	3.7	10.6	6.4	63.9	11.9
	70歳～74歳	422	1.4	2.8	5.9	9.5	7.1	60.0	13.3
	75歳～79歳	442	1.4	3.6	3.6	14.0	5.9	49.8	21.7
	80歳～84歳	274	0.4	4.0	3.3	15.3	6.9	44.9	25.2
	85歳～89歳	177	1.7	4.5	4.0	7.9	7.3	44.6	29.9
	90歳～94歳	70	1.4	4.3	1.4	5.7	2.9	45.7	38.6
	95歳～99歳	16	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	56.3	31.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	1.0	2.2	3.7	12.3	7.5	54.7	18.6
	袋井中部地域	380	1.6	2.9	2.9	9.2	7.6	51.8	23.9
	袋井南部地域	414	1.0	4.8	4.3	12.6	4.3	53.9	19.1
	浅羽・笠原地域	370	1.1	4.1	5.1	11.6	5.7	56.8	15.7

④ 学習・教養サークル

一般高齢者では、「参加していない」が63.5%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が63.9%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～74歳で「参加していない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井北部地域と浅羽・笠原地域で「参加していない」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,785	0.6	0.3	1.7	4.5	2.7	63.0	27.2
性別	男性	804	0.4	0.4	1.1	2.0	2.9	69.9	23.4
	女性	970	0.7	0.3	2.2	6.6	2.6	57.5	30.1
年齢別	65歳～69歳	377	0.3	0.0	2.4	2.9	2.4	75.6	16.4
	70歳～74歳	422	1.4	0.2	2.6	3.8	1.7	70.1	20.1
	75歳～79歳	442	0.5	0.5	1.8	5.2	4.1	59.3	28.7
	80歳～84歳	274	0.4	1.1	0.4	4.7	3.3	53.6	36.5
	85歳～89歳	177	0.0	0.0	0.6	7.3	2.3	50.3	39.5
	90歳～94歳	70	0.0	0.0	0.0	5.7	1.4	44.3	48.6
	95歳～99歳	16	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	62.5	31.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	0.7	0.2	0.7	4.4	2.0	66.4	25.6
	袋井中部地域	380	0.8	0.0	2.4	4.7	3.2	58.9	30.0
	袋井南部地域	414	0.5	0.7	1.9	4.8	2.7	61.1	28.3
	浅羽・笠原地域	370	0.3	0.5	2.2	4.1	3.8	66.5	22.7

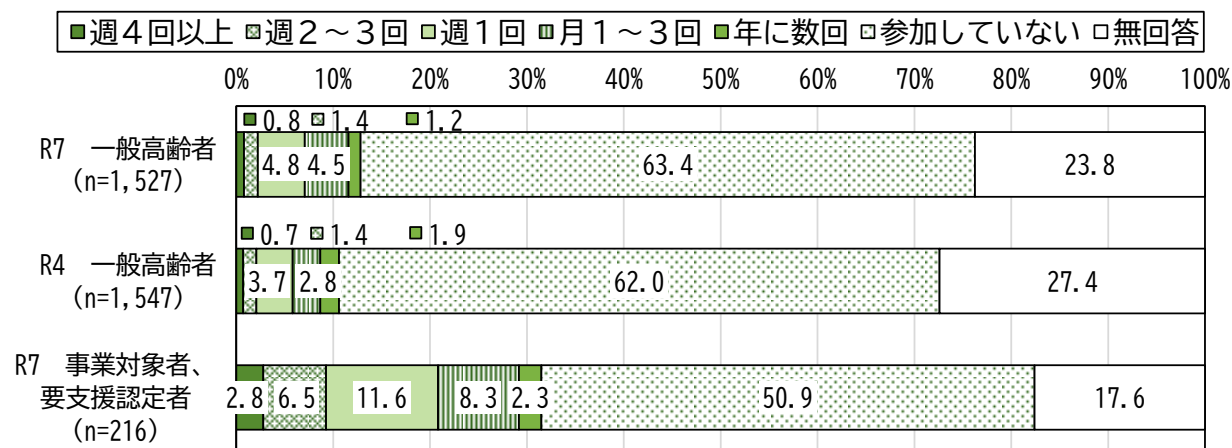
⑤ 介護予防のための通いの場（サロン・居場所・しぞ〜かでん伝体操など）

一般高齢者では、「参加していない」が63.4%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が50.9%と最も高くなっています。

また、一般高齢者より事業対象者、要支援認定者のほうが参加している割合が高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「週1回」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～74歳で「参加していない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽・笠原地域で「参加していない」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,785	1.1	2.1	5.7	5.0	1.4	61.3	23.5
性別	男性	804	0.0	1.1	2.4	2.2	1.2	69.9	23.1
	女性	970	2.0	2.8	8.1	7.3	1.5	54.6	23.6
年齢別	65歳～69歳	377	0.0	0.3	1.3	2.1	1.1	77.7	17.5
	70歳～74歳	422	0.2	0.9	3.3	3.6	1.4	70.4	20.1
	75歳～79歳	442	1.4	2.5	6.3	6.1	1.6	56.8	25.3
	80歳～84歳	274	2.2	1.5	9.1	6.6	1.5	50.7	28.5
	85歳～89歳	177	0.6	4.5	10.7	8.5	1.7	43.5	30.5
	90歳～94歳	70	7.1	11.4	11.4	7.1	1.4	35.7	25.7
	95歳～99歳	16	0.0	6.3	6.3	6.3	0.0	56.3	25.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	0.2	1.7	4.4	4.8	2.4	63.5	23.0
	袋井中部地域	380	1.1	2.4	6.8	5.0	0.8	57.6	26.3
	袋井南部地域	414	1.7	2.7	4.6	6.3	0.5	59.2	25.1
	浅羽・笠原地域	370	1.6	1.9	7.3	3.8	1.4	67.3	16.8

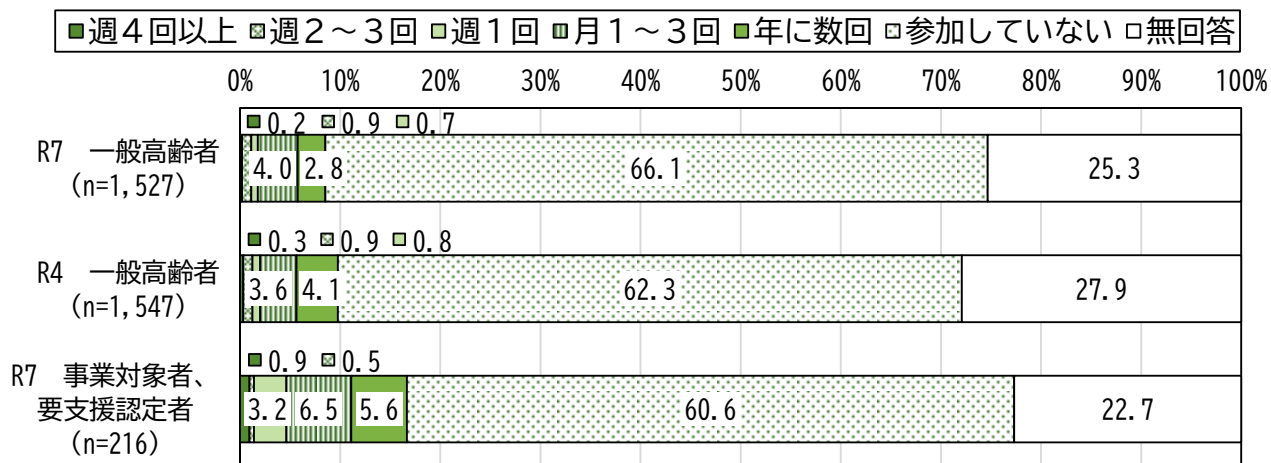
⑥ シニアクラブ・老人クラブ

一般高齢者では、「参加していない」が66.1%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が60.6%と最も高くなっています。

また、一般高齢者より事業対象者、要支援認定者のほうが参加している割合が高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「参加していない」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～74歳で「参加していない」が、90歳～99歳で「月1～3回」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、浅羽・笠原地域で「参加していない」が高くなっています。

単位：％

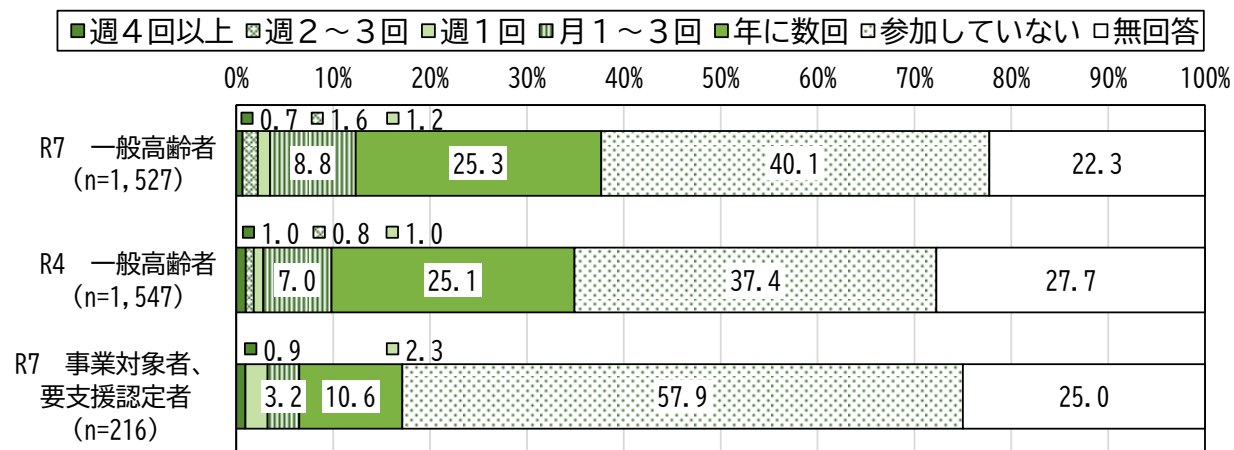
区分		回答者数 (件)	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない	無回答
全体		1,785	0.3	0.9	1.0	4.3	3.1	65.0	25.4
性別	男性	804	0.2	0.9	0.7	3.7	3.2	69.7	21.5
	女性	970	0.3	0.9	1.1	4.8	3.0	61.5	28.2
年齢別	65歳～69歳	377	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	79.8	19.6
	70歳～74歳	422	0.2	0.5	0.2	1.4	1.4	73.9	22.3
	75歳～79歳	442	0.2	0.2	0.7	5.2	4.1	62.0	27.6
	80歳～84歳	274	0.4	1.8	1.8	8.0	4.7	53.6	29.6
	85歳～89歳	177	0.6	3.4	4.0	6.8	7.9	46.9	30.5
	90歳～94歳	70	1.4	2.9	2.9	15.7	2.9	42.9	31.4
	95歳～99歳	16	0.0	0.0	0.0	12.5	6.3	50.0	31.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	0.3	0.9	1.0	4.9	4.6	64.6	23.7
	袋井中部地域	380	0.0	0.8	1.6	4.7	2.4	63.2	27.4
	袋井南部地域	414	0.5	1.2	0.5	3.9	1.7	65.2	27.1
	浅羽・笠原地域	370	0.3	0.5	1.1	3.5	3.0	69.7	21.9

⑦ 町内会・自治会

一般高齢者では、「参加していない」が40.1%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が57.9%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな差はみられません（無回答が減った分が同じ割合で増加）。



＜一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算＞

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「月１～３回」、「年に数回」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「参加していない」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「参加していない」が高くなる傾向があります。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井北部地域と浅羽・笠原地域で「参加していない」が高くなっています。

単位：％

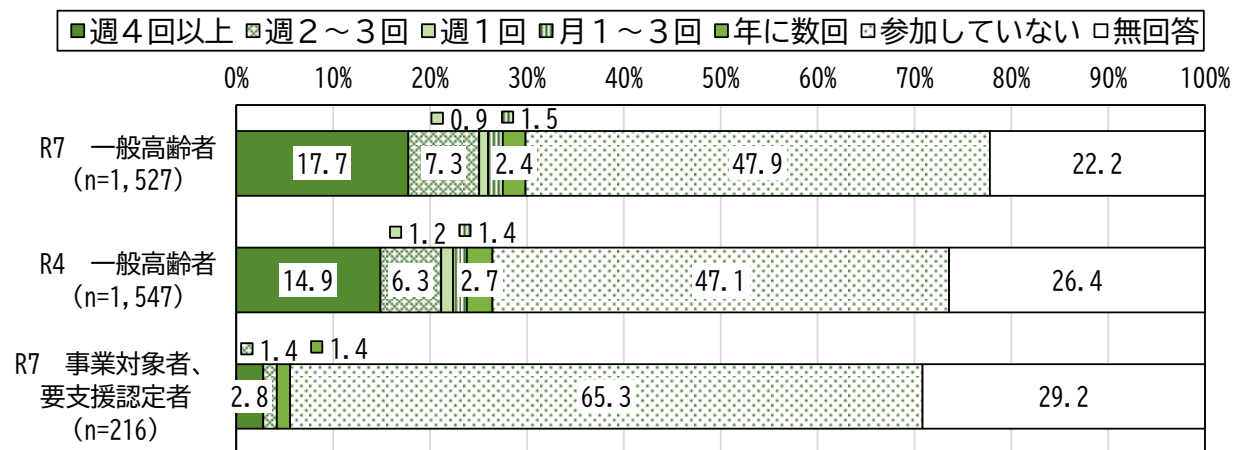
区分		回答者数 (件)	週 ４ 回 以上	週 ２ ～ ３ 回	週 １ 回	月 １ ～ ３ 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,785	0.7	1.3	1.3	8.1	23.3	42.1	23.1
性別	男性	804	1.1	2.4	1.9	13.3	30.2	36.2	14.9
	女性	970	0.3	0.5	0.9	3.7	17.8	47.2	29.5
年齢別	65歳～69歳	377	1.6	3.2	2.7	12.7	31.6	36.1	12.2
	70歳～74歳	422	0.5	1.2	0.7	10.2	27.7	42.7	17.1
	75歳～79歳	442	0.0	1.1	0.5	7.5	23.8	43.7	23.5
	80歳～84歳	274	0.7	0.4	1.1	4.0	17.5	44.9	31.4
	85歳～89歳	177	1.1	0.6	1.7	3.4	12.4	42.9	37.9
	90歳～94歳	70	0.0	0.0	4.3	2.9	5.7	42.9	44.3
	95歳～99歳	16	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	62.5	31.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	0.9	1.0	1.4	7.7	24.0	44.5	20.6
	袋井中部地域	380	0.0	1.6	1.6	9.5	23.9	38.4	25.0
	袋井南部地域	414	1.2	1.7	1.2	10.6	23.2	39.4	22.7
	浅羽・笠原地域	370	0.5	1.4	1.4	5.1	23.0	46.2	22.4

⑧ 収入のある仕事

一般高齢者では、「参加していない」が47.9%と最も高くなっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加していない」が65.3%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加していない」が最も高くなっていますが、仕事をしている人も増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「週4回以上」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「週4回以上」が低くなっています。また、他に比べ、95歳～99歳で「参加していない」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「参加していない」が低くなっています。

単位：％

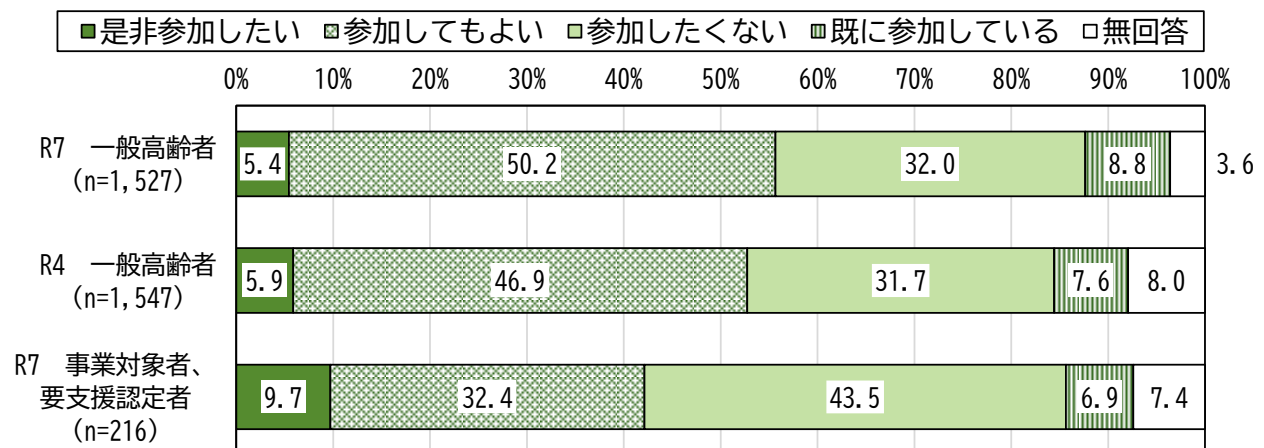
区分		回答者数 (件)	週 4 回 以上	週 2 ～ 3 回	週 1 回	月 1 ～ 3 回	年 に 数 回	参 加 し て い な い	無 回 答
全体		1,785	15.7	6.6	0.8	1.3	2.3	49.7	23.6
性別	男性	804	18.8	7.2	0.7	1.7	3.4	49.5	18.7
	女性	970	13.2	6.2	0.8	0.9	1.4	50.1	27.3
年齢別	65歳～69歳	377	35.8	11.4	1.3	1.3	1.6	38.7	9.8
	70歳～74歳	422	17.5	11.4	1.2	1.9	2.1	50.2	15.6
	75歳～79歳	442	12.4	5.2	0.5	0.5	3.6	53.8	24.0
	80歳～84歳	274	4.4	0.7	0.7	2.2	1.1	55.1	35.8
	85歳～89歳	177	1.1	0.6	0.0	1.1	3.4	52.5	41.2
	90歳～94歳	70	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	48.6	48.6
	95歳～99歳	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.8	31.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	16.9	4.9	0.9	1.4	1.9	51.6	22.5
	袋井中部地域	380	16.8	8.2	0.5	1.6	1.6	45.8	25.5
	袋井南部地域	414	12.6	6.5	0.7	0.7	3.1	51.7	24.6
	浅羽・笠原地域	370	16.2	7.6	0.8	1.6	2.7	50.8	20.3

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「参加してもよい」が 50.2%と最も高く、次いで「参加したくない」が 32.0%、「既に参加している」が 8.8%、「是非参加したい」が 5.4%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加したくない」が 43.5%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 32.4%、「是非参加したい」9.7%、「既に参加している」が 6.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加してもよい」と「既に参加している」が増加しています。

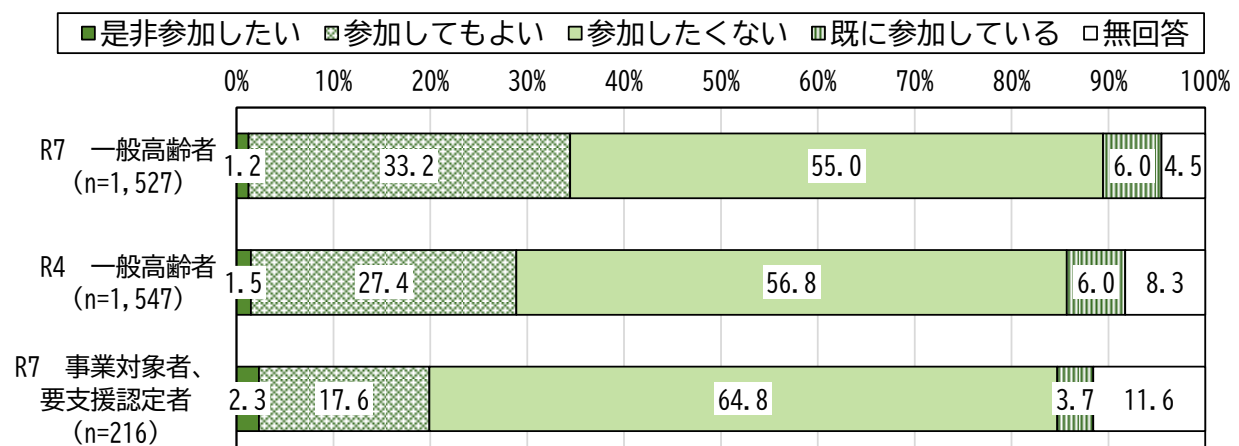


(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「参加したくない」が 55.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 33.2%、「既に参加している」が 6.0%、「是非参加したい」が 1.2%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「参加したくない」が 64.8%と最も高く、次いで「参加してもよい」が 17.6%、「既に参加している」が 3.7%、「是非参加したい」が 2.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「参加してもよい」が増加しています。



問6 あなたとまわりの人の「たすけあい」について

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」が62.9%と最も高く、次いで「友人」が45.3%、「別居の子ども」が35.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が32.2%、「同居の子ども」が24.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「別居の子ども」が33.8%と最も高く、次いで「友人」が31.9%、「配偶者」が31.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が31.0%、「同居の子ども」が25.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「配偶者」、「近隣の人」、「友人」が増加しています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣の人	友人	その他	いそないうな人は	無回答
R7 一般高齢者	1,527	62.9	24.9	35.6	32.2	15.0	45.3	2.6	2.3	1.6
R4 一般高齢者	1,547	57.3	24.1	34.4	29.3	6.9	40.4	2.6	4.1	3.4
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	31.5	25.9	33.8	31.0	19.0	31.9	4.6	5.1	3.7

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」が60.3%と最も高く、次いで「友人」が42.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が35.8%、「別居の子ども」が30.5%、「同居の子ども」が22.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「友人」が29.6%と最も高く、次いで「配偶者」が27.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が26.9%、「別居の子ども」が24.1%、「同居の子ども」が19.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「配偶者」、「近隣の人」が増加しています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣の人	友人	その他	いそないうな人は	無回答
R7 一般高齢者	1,527	60.3	22.3	30.5	35.8	16.4	42.4	1.8	3.9	2.2
R4 一般高齢者	1,547	55.0	21.0	30.8	31.4	7.2	40.5	2.1	6.2	4.5
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	27.8	19.9	24.1	26.9	19.4	29.6	3.2	9.3	6.0

**(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
(☑はいくつでも)**

一般高齢者では、「配偶者」が67.0%と最も高く、次いで「同居の子ども」が32.0%、「別居の子ども」が28.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が12.2%、「そのような人はいない」が3.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「別居の子ども」が37.0%と最も高く、次いで「同居の子ども」が36.6%、「配偶者」が33.8%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が14.8%、「そのような人はいない」が6.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「配偶者」が増加しています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣の人	友人	その他	いそ ない よう な 人 は	無 回 答
R7 一般高齢者	1,527	67.0	32.0	28.0	12.2	1.2	3.0	1.5	3.9	1.8
R4 一般高齢者	1,547	63.3	32.8	27.4	11.5	1.0	2.5	1.7	6.2	3.2
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	33.8	36.6	37.0	14.8	3.2	1.4	2.8	6.0	5.6

(4) 反対に、看病や世話をしあける人はどなたですか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「配偶者」が69.2%と最も高く、次いで「同居の子ども」が29.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が24.0%、「別居の子ども」が23.6%、「そのような人はいない」が8.6%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「配偶者」が29.6%と最も高く、次いで「そのような人はいない」が26.4%、「同居の子ども」が19.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が15.3%、「別居の子ども」が12.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「配偶者」が増加しています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟姉妹・親戚・孫	近隣の人	友人	その他	いそ ない よう な 人 は	無 回 答
R7 一般高齢者	1,527	69.2	29.2	23.6	24.0	2.5	4.1	1.8	8.6	2.8
R4 一般高齢者	1,547	63.7	26.2	23.8	20.9	1.9	4.2	2.1	13.8	4.1
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	29.6	19.0	12.5	15.3	2.8	2.3	6.5	26.4	12.0

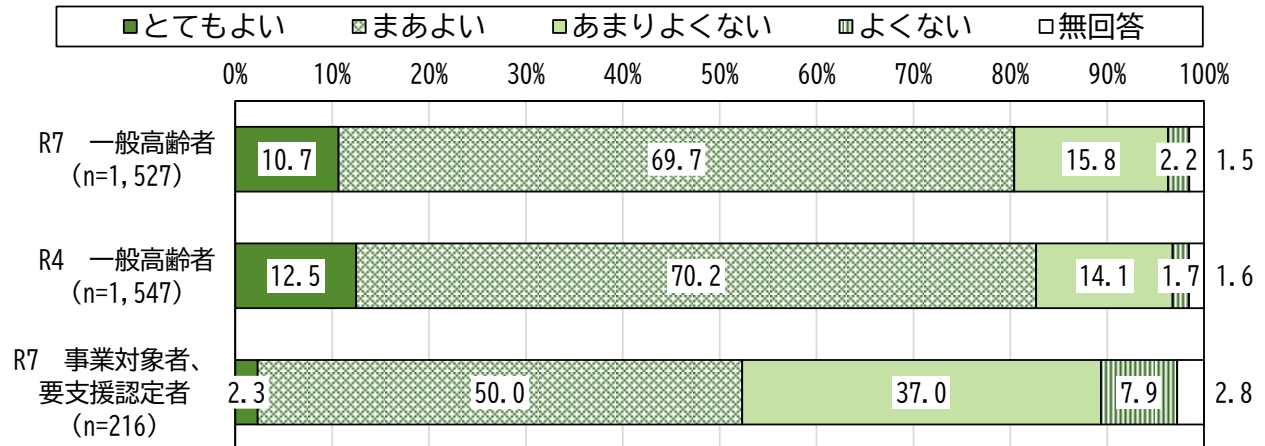
問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「とてもよい」と「まあよい」をあわせた“よい”が80.4%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”が18.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、“よい”が52.3%、“よくない”が44.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、“よい”が減少しています。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(☑は1つ) (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください)

一般高齢者では、「8点」が26.0%と最も高く、次いで「7点」が17.0%、「5点」が15.9%、「10点」が13.1%、「9点」が9.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「5点」が22.2%と最も高く、次いで「8点」が15.7%、「7点」が14.8%、「6点」が12.5%、「10点」が9.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「8点」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
R7 一般高齢者	1,527	0.4	0.2	1.0	2.4	3.3	15.9	8.8	17.0	26.0	9.8	13.1	2.0
R4 一般高齢者	1,547	0.3	0.5	0.7	1.8	3.6	17.6	8.9	19.1	20.7	10.2	14.5	2.1
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	0.9	1.4	2.3	5.6	4.2	22.2	12.5	14.8	15.7	5.1	9.3	6.0

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、健康状態別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「7点」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「8点」、「9点」、「10点」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、95歳～99歳で「5点」が高くなっています。

健康状態別でみると、健康状態がよい人ほど高い点数になる傾向があります。

単位：％

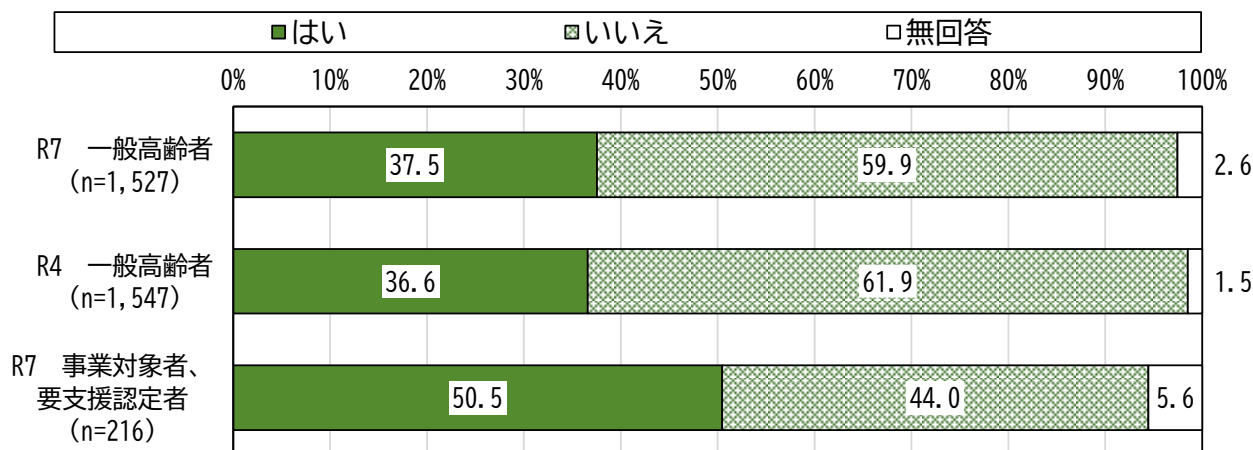
区分		回答者数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
全体		1,785	0.5	0.3	1.2	2.7	3.5	16.5	9.1	16.7	24.6	9.2	12.7	2.7
性別	男性	804	0.5	0.4	1.1	3.9	4.5	17.8	10.2	19.7	22.4	7.0	10.1	2.6
	女性	970	0.4	0.3	1.2	1.8	2.8	15.6	8.2	14.3	26.8	11.1	14.6	2.8
年齢別	65歳～69歳	377	0.0	0.0	1.9	2.9	3.7	16.2	7.4	21.0	23.3	10.6	11.9	1.1
	70歳～74歳	422	1.2	0.5	1.4	2.4	4.0	14.7	8.3	15.2	28.7	9.2	12.3	2.1
	75歳～79歳	442	0.2	0.0	0.9	2.9	4.5	15.8	7.7	17.4	24.7	9.3	14.7	1.8
	80歳～84歳	274	0.7	0.7	0.0	1.5	2.6	15.0	14.2	15.7	22.3	9.1	12.8	5.5
	85歳～89歳	177	0.6	1.1	1.1	5.6	2.3	22.0	10.7	12.4	22.0	7.9	9.6	4.5
	90歳～94歳	70	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	20.0	11.4	14.3	22.9	8.6	14.3	5.7
	95歳～99歳	16	0.0	0.0	6.3	0.0	6.3	25.0	0.0	18.8	25.0	0.0	18.8	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
健康状態別	とてもよい	171	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	4.7	3.5	7.6	28.7	17.0	37.4	0.0
	まあよい	1,199	0.0	0.2	0.7	1.8	1.9	15.2	9.3	18.8	28.6	10.2	12.3	1.3
	あまりよくない	332	1.8	0.6	1.8	6.6	10.2	27.1	13.0	15.7	13.6	3.3	3.6	2.7
	よくない	52	5.8	3.8	13.5	9.6	9.6	26.9	3.8	11.5	1.9	5.8	5.8	1.9

**(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(☑は1つ)**

一般高齢者では、「はい」が37.5%、「いいえ」が59.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が50.5%、「いいえ」が44.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

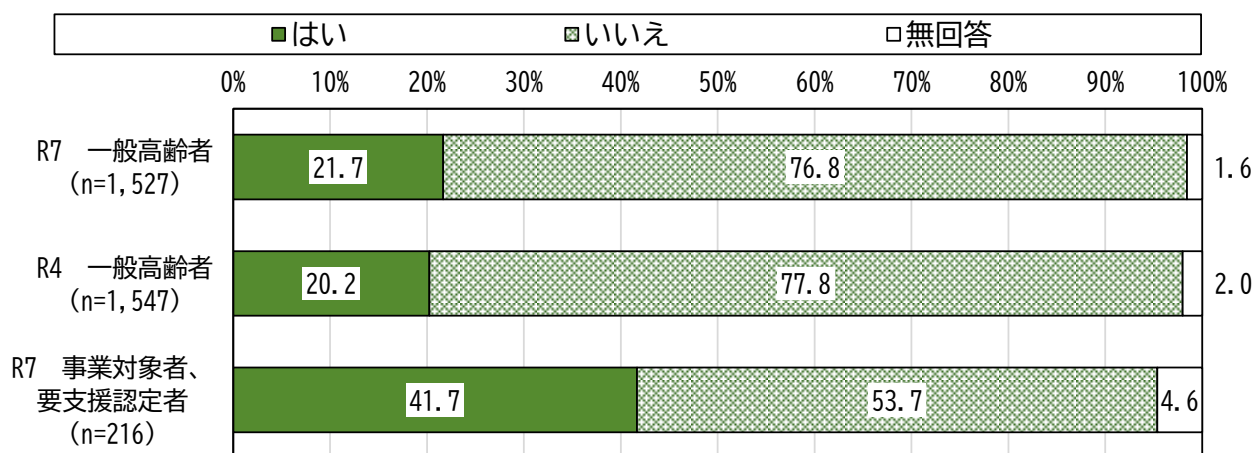


(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「はい」が21.7%、「いいえ」が76.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が41.7%、「いいえ」が53.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。

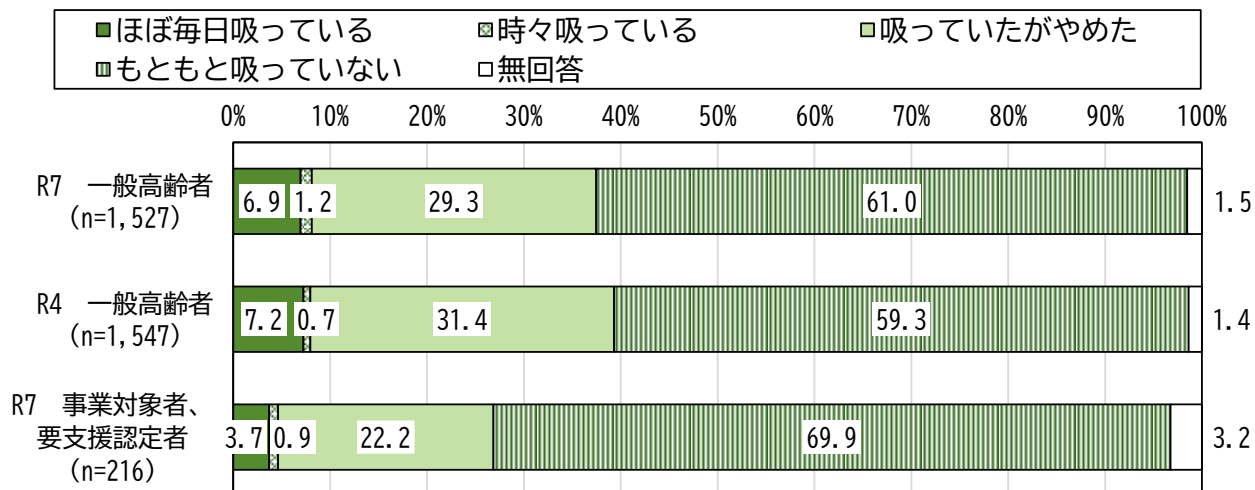


(5) タバコは吸っていますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「もともと吸っていない」が61.0%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が29.3%、「ほぼ毎日吸っている」が6.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「もともと吸っていない」が69.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が22.2%、「ほぼ毎日吸っている」が3.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、大きな変化はみられません。



(6) ご自身の健康のためにどんなことを心がけていますか。(☑は3つまで)

一般高齢者では、「休養や睡眠を十分にとる」が65.2%と最も高く、次いで「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」が60.8%、「健康診断などを定期的に受ける」が36.7%、「歯や口の中を清潔に保つ」が35.6%、「散歩やスポーツをする」が25.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「休養や睡眠を十分にとる」が67.1%と最も高く、次いで「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」が49.1%、「身の回りのことはなるべく自分で行う」が38.4%、「歯や口の中を清潔に保つ」が34.3%、「健康診断などを定期的に受ける」が25.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「散歩やスポーツをする」、「気持ちをなるべく明るく持つ」、「身の回りのことはなるべく自分で行う」、「仕事をする」が減少しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	休養や睡眠を十分にとる	食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）	歯や口の中を清潔に保つ	健康診断などを定期的に受ける	酒、タバコを控える	散歩やスポーツをする	地域の活動に参加する	教養や学習活動などの楽しみを持つ	気持ちをなるべく明るく持つ	身の回りのことはなるべく自分で行う	仕事をする	その他	特に心がけていない	無回答
R7 一般高齢者	1,527	65.2	60.8	35.6	36.7	1.7	25.3	2.5	3.1	13.1	25.1	11.1	0.4	1.6	1.0
R4 一般高齢者	1,547	64.1	60.0	35.8	38.2	4.5	34.3	6.0	6.3	24.8	37.6	19.5	1.1	4.2	0.9
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	67.1	49.1	34.3	25.9	0.0	17.1	3.2	1.4	17.1	38.4	3.2	1.9	2.3	1.9

＜一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算＞

【性別、年齢別、健康状態別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「散歩やスポーツをする」、「仕事をする」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）」、「歯や口の中を清潔に保つ」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「休養や睡眠を十分にとる」、「身の回りのことはなるべく自分で行う」が高くなる傾向があります。

健康状態別でみると、他に比べ、（健康状態が）とてもよいで「休養や睡眠を十分にとる」、「散歩やスポーツをする」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	休養や睡眠を十分にとる	食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）	歯や口の中を清潔に保つ	健康診断などを定期的に受ける	酒、タバコを控える	散歩やスポーツをする	地域の活動に参加する	教養や学習活動などの楽しみを持つ	気持ちをなるべく明るく持つ	身の回りのことはなるべく自分で行う	仕事をする	その他	特に心がけていない	無回答
全体		1,785	65.5	59.3	35.4	35.4	1.5	23.9	2.6	2.9	13.4	26.9	10.1	0.6	1.6	1.2
性別	男性	804	67.5	52.0	29.4	36.1	2.9	28.7	2.1	2.2	10.3	25.1	14.4	1.1	2.4	1.2
	女性	970	64.0	65.1	40.4	35.1	0.4	20.1	3.0	3.4	15.8	28.4	6.6	0.2	1.0	1.1
年齢別	65歳～69歳	377	64.5	60.2	33.4	39.5	1.6	26.3	1.3	3.2	14.1	17.5	15.1	0.8	1.6	0.8
	70歳～74歳	422	64.5	58.8	35.8	41.5	1.9	25.8	2.1	2.4	13.7	20.6	12.6	0.5	1.4	0.9
	75歳～79歳	442	67.2	61.8	37.3	33.5	2.0	26.7	3.8	4.3	13.6	25.6	8.6	0.2	1.6	0.5
	80歳～84歳	274	62.8	60.6	37.2	31.8	1.5	19.7	1.8	2.2	13.1	35.4	8.8	0.7	1.1	2.6
	85歳～89歳	177	65.0	58.2	30.5	26.6	0.0	19.2	5.1	1.7	13.0	42.9	4.0	0.6	2.8	1.7
	90歳～94歳	70	74.3	45.7	40.0	30.0	0.0	12.9	1.4	1.4	10.0	44.3	1.4	1.4	1.4	2.9
	95歳～99歳	16	81.3	43.8	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	43.8	6.3	6.3	6.3	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
健康状態別	とてもよい	171	71.9	64.9	31.0	39.2	1.8	35.7	3.5	2.3	9.4	12.9	18.1	0.6	0.0	0.0
	まあよい	1,199	67.1	61.7	36.5	38.1	1.1	25.4	2.7	3.0	13.7	25.2	10.5	0.4	1.1	0.1
	あまりよくない	332	62.7	53.9	34.3	28.3	3.3	14.8	2.1	3.0	16.3	39.2	6.3	1.2	2.7	0.3
	よくない	52	55.8	40.4	40.4	25.0	0.0	11.5	1.9	1.9	9.6	42.3	5.8	1.9	13.5	0.0

(7) 健康についてどのようなことが知りたいですか。(☑は3つまで)

一般高齢者では、「認知症の予防について」が 55.9%と最も高く、次いで「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が 43.0%、「望ましい食生活について」が 35.7%、「寝たきりや介護の予防について」が 22.5%、「運動の方法について」が 20.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「認知症の予防について」が 50.0%と最も高く、次いで「寝たきりや介護の予防について」が 40.7%、「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」と「望ましい食生活について」がともに 29.2%、「運動の方法について」が 19.4%、「健康診断・各種検診の内容や受け方などについて」が 16.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「認知症の予防について」が増加しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	寝たきりや介護の予防について	歯の健康について	認知症の予防について	うつ病の予防について	その他	無回答
R7 一般高齢者	1,527	43.0	35.7	20.0	12.5	22.5	10.0	55.9	8.0	3.8	6.2
R4 一般高齢者	1,547	41.7	36.1	17.9	12.3	21.3	9.6	51.1	7.9	5.4	9.4
R7 事業対象者、要支援認定者	216	29.2	29.2	19.4	16.2	40.7	9.3	50.0	9.7	5.6	10.2

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、健康状態別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「寝たきりや介護の予防について」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、85歳～99歳で「寝たきりや介護の予防について」が高くなっています。

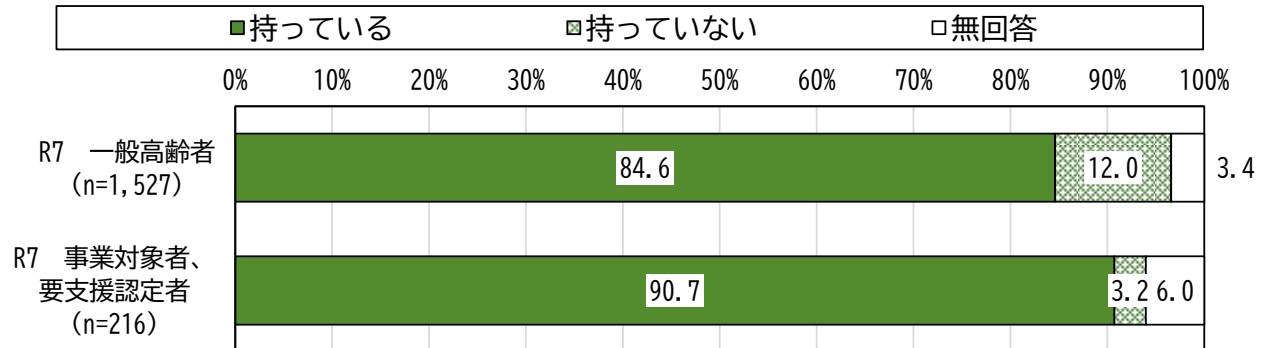
健康状態別でみると、他に比べ、（健康状態が）よくないで「寝たきりや介護の予防について」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について	望ましい食生活について	運動の方法について	健康診断・各種検診の内容や受け方などについて	寝たきりや介護の予防について	歯の健康について	認知症の予防について	うつ病の予防について	その他	無回答
全体		1,785	41.1	35.2	19.7	12.9	24.6	10.0	55.0	8.2	4.0	6.9
性別	男性	804	48.1	33.5	19.5	15.2	20.6	9.5	52.1	8.6	4.0	7.3
	女性	970	35.1	36.4	20.0	10.9	27.9	10.3	57.3	7.8	4.0	6.6
年齢別	65歳～69歳	377	48.3	34.0	22.5	10.3	16.7	12.2	54.9	10.9	4.8	4.8
	70歳～74歳	422	38.9	34.6	20.9	12.8	19.4	9.2	55.0	7.6	4.7	7.1
	75歳～79歳	442	42.5	38.5	19.5	14.9	26.2	9.0	56.6	6.3	3.8	6.8
	80歳～84歳	274	39.1	29.9	18.2	14.6	25.2	10.2	48.9	10.2	3.6	12.0
	85歳～89歳	177	37.3	37.9	16.4	15.3	41.8	8.5	58.8	6.8	2.3	2.8
	90歳～94歳	70	25.7	34.3	14.3	5.7	40.0	12.9	65.7	5.7	2.9	7.1
	95歳～99歳	16	25.0	43.8	12.5	0.0	43.8	6.3	37.5	0.0	0.0	12.5
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
健康状態別	とてもよい	171	48.5	40.4	22.8	12.3	12.9	7.0	55.6	5.3	5.3	5.8
	まあよい	1,199	43.2	34.7	19.8	13.4	26.2	10.4	56.1	7.8	3.3	6.0
	あまりよくない	332	32.8	35.2	19.9	13.0	25.0	10.5	53.0	9.0	4.8	8.1
	よくない	52	23.1	26.9	15.4	5.8	32.7	5.8	34.6	15.4	11.5	13.5

(8) かかりつけ医を持っていますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「持っている」が84.6%、「持っていない」が12.0%となっています。
事業対象者、要支援認定者では、「持っている」が90.7%、「持っていない」が3.2%となっています。



(9) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「高血圧」が44.1%と最も高く、次いで「目の病気」が22.4%、「高脂血症（脂質異常）」が20.0%、「糖尿病」が14.6%、「ない」が14.2%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「高血圧」が56.0%と最も高く、次いで「目の病気」が31.0%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が26.9%、「糖尿病」が20.8%、「心臓病」が19.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「高血圧」、「高脂血症（脂質異常）」、「目の病気」が増加しています。

単位：％

区分	回答者数（件）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
R7 一般高齢者	1,527	14.2	44.1	3.7	10.7	14.6	20.0	5.6	4.3	8.3	12.4	2.4	4.9	2.6	1.0	0.9	0.3	22.4	4.1	8.4	2.4
R4 一般高齢者	1,547	16.8	40.3	3.0	9.6	13.3	14.8	5.9	3.4	6.7	11.6	1.8	3.4	1.4	0.5	0.6	0.2	17.8	4.1	8.1	5.7
R7 事業対象者、要支援認定者	216	2.3	56.0	12.5	19.4	20.8	11.1	11.1	6.0	13.4	26.9	12.5	6.0	4.2	3.2	5.6	1.9	31.0	10.2	9.3	0.9

＜一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算＞

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「心臓病」、「糖尿病」、「腎臓・前立腺の病気」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「高脂血症（脂質異常）」、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「高血圧」、「心臓病」が高くなる傾向があります。

単位：％

区分		回答者数（件）	ない	高血圧	脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	心臓病	糖尿病	高脂血症（脂質異常）	呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	胃腸・肝臓・胆のうの病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	外傷（転倒・骨折等）	がん（悪性新生物）	血液・免疫の病気	うつ病	認知症（アルツハイマー病等）	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体		1,785	12.7	45.5	4.9	11.9	15.6	18.8	6.3	4.4	9.1	14.2	3.7	5.0	2.8	1.3	1.5	0.5	23.6	4.8	8.5	2.4
性別	男性	804	12.7	47.6	6.8	15.2	20.1	14.2	6.5	5.1	16.5	5.5	2.4	6.3	2.4	0.6	1.6	0.4	20.9	4.4	8.3	2.5
	女性	970	12.8	43.6	3.3	9.2	11.8	22.7	6.2	3.8	2.7	21.3	4.6	3.9	3.1	1.9	1.2	0.6	25.6	5.2	8.7	2.3
年齢別	65歳～69歳	377	21.2	37.1	2.9	7.4	12.2	21.5	3.4	2.7	5.0	8.0	0.5	4.5	1.3	1.6	0.0	0.3	14.6	2.7	9.5	2.4
	70歳～74歳	422	14.7	38.9	4.7	8.3	16.8	22.5	6.6	4.5	8.3	13.3	2.4	3.8	3.1	0.9	0.7	0.7	21.3	4.3	10.2	2.6
	75歳～79歳	442	10.9	50.2	6.8	10.4	16.1	22.2	6.8	4.3	8.6	13.1	2.5	7.9	3.6	1.1	1.1	0.2	26.0	4.5	8.1	1.8
	80歳～84歳	274	6.2	51.8	5.1	16.8	17.9	15.7	7.7	6.2	11.7	16.8	5.8	4.7	2.2	1.8	1.1	1.5	30.7	5.1	6.6	2.6
	85歳～89歳	177	6.8	49.2	5.6	20.3	16.9	7.9	7.9	6.2	14.1	26.6	9.6	2.8	4.0	1.1	5.1	0.0	29.9	8.5	7.3	2.8
	90歳～94歳	70	8.6	58.6	1.4	25.7	11.4	4.3	8.6	4.3	17.1	21.4	11.4	1.4	4.3	1.4	8.6	0.0	28.6	12.9	5.7	1.4
	95歳～99歳	16	12.5	68.8	6.3	12.5	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	12.5	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	6.3	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

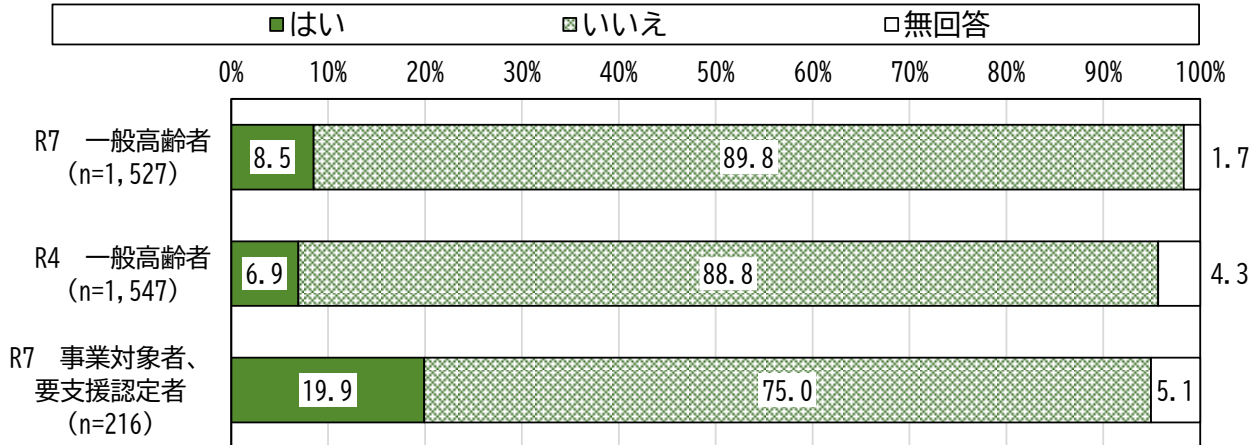
問8 認知症について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「はい」が8.5%、「いいえ」が89.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が19.9%、「いいえ」が75.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「はい」が増加しています。

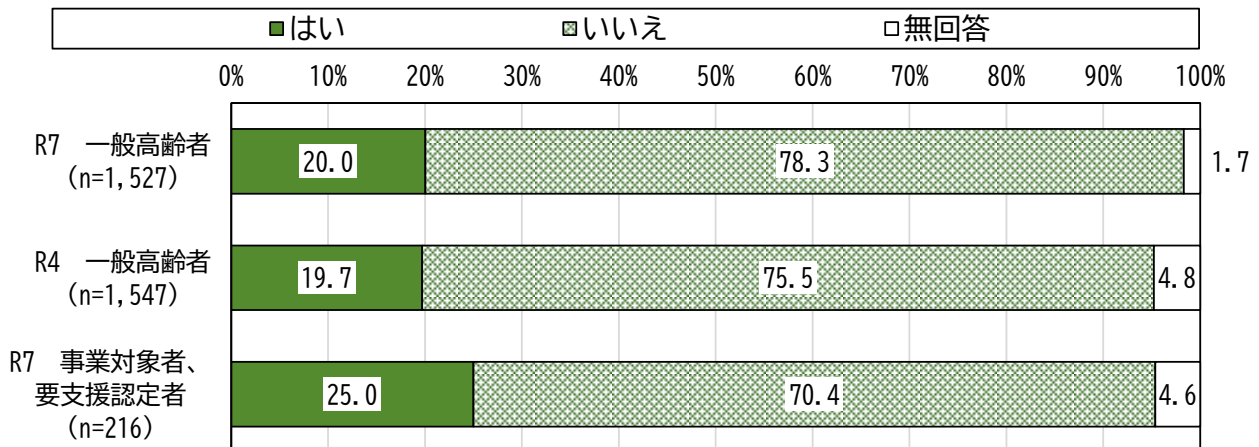


(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「はい」が20.0%、「いいえ」が78.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「はい」が25.0%、「いいえ」が70.4%となっています。

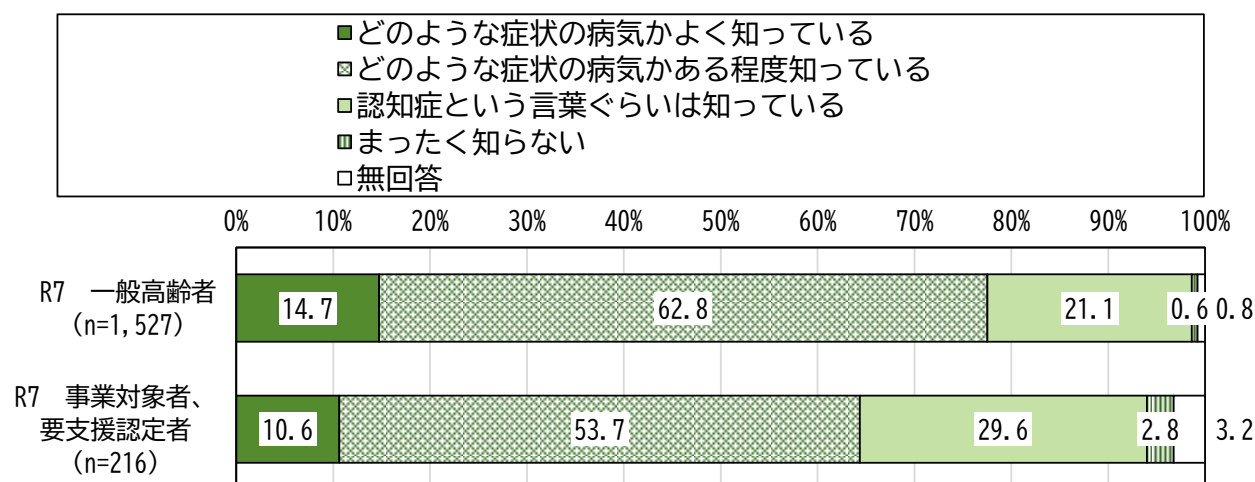
令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「いいえ」が増加しています。



(3) 認知症という病気について、どの程度知っていますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「どのような症状の病気かある程度知っている」が 62.8%と最も高く、次いで「認知症という言葉ぐらいいは知っている」が 21.1%、「どのような症状の病気かよく知っている」が 14.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「どのような症状の病気かある程度知っている」が 53.7%と最も高く、次いで「認知症という言葉ぐらいいは知っている」が 29.6%、「どのような症状の病気かよく知っている」が 10.6%となっています。



(4) 市で実施している認知症支援で知っているものはどれですか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「知っているものはない」が 76.4%と最も高く、次いで「はいかい SOS ネットワーク事業」が 11.1%、「認知症サポーター養成講座」が 6.5%、「オレンジカフェ」が 4.6%、「認知症ハートフルブック」が 3.9%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「知っているものはない」が 71.8%と最も高く、次いで「はいかい SOS ネットワーク事業」が 9.7%、「認知症サポーター養成講座」が 7.4%、「オレンジカフェ」が 4.2%、「認知症ハートフルブック」が 2.8%となっています。

区分	回答者数 (件)	オレンジ カフェ	認知症サ ポーター 養成講座	はいかい SOS ネットワーク 事業	認知症 初期集中 支援	認知症ハ ートフル ブック	その他	単位：%	
								知っている もの は	無 回 答
R7 一般高齢者	1,527	4.6	6.5	11.1	2.1	3.9	0.6	76.4	3.5
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	4.2	7.4	9.7	2.3	2.8	1.4	71.8	8.3

(5) 認知症予防（認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を穏やかにする）に効果があると考えられるものの中で、ご自身で現在取り組んでいるものはありますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「バランスの取れた食事」が39.2%と最も高く、次いで「定期的な運動」が38.8%、「運動と頭の体操の組み合わせ」が32.0%、「特にない」が29.7%、「社会参加・活動」が18.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「特にない」が34.7%と最も高く、次いで「運動と頭の体操の組み合わせ」が28.7%、「バランスの取れた食事」が26.4%、「定期的な運動」が24.5%、「かかりつけ医や保健師、管理栄養士等の専門職による健康相談」が23.6%となっています。

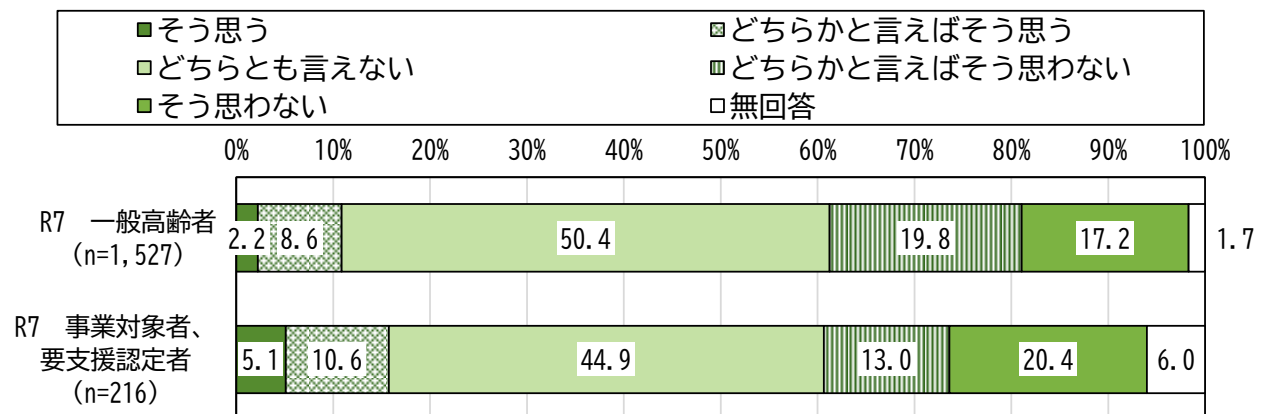
単位：%

区分	回答者数 (件)	定期的な運動	運動と頭の体操の組み合わせ	バランスの取れた食事	禁煙、 飲酒制限	社会参加・活動	かかりつけ医や保健師、 管理栄養士等の専門職による健康相談	その他	特にない	無回答
R7 一般高齢者	1,527	38.8	32.0	39.2	10.2	18.1	15.3	2.7	29.7	1.4
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	24.5	28.7	26.4	8.3	11.1	23.6	3.7	34.7	4.6

(6) あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」をあわせた“思う”が10.8%、「どちらとも言えない」が50.4%、「どちらかと言えばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“思わない”が37.0%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、“思う”が15.7%、「どちらとも言えない」が44.9%、“思わない”が33.4%となっています。



(7) 認知症になったときに地域で安心して暮らすために、どのような施策があれば安心ですか。
(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が 63.4%と最も高く、次いで「認知症のことを相談できる窓口体制の充実」が 62.9%、「認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり」が 58.5%、「認知症への正しい知識や接し方を広める啓発活動」が 35.9%、「認知症の人が一人でも安心して外出するための支援」が 33.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり」が 50.0%と最も高く、次いで「家族の身体的・精神的負担を減らす取組」が 47.7%、「認知症のことを相談できる窓口体制の充実」が 46.3%、「認知症の人が一人でも安心して外出するための支援」が 31.9%、「認知症への正しい知識や接し方を広める啓発活動」が 31.0%となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	認知症の 窓口体制を 相談 充実	認知症への 正しい 啓発 活動や	早期 発見 の・	認知症 の 人 を 支 援 す る	家族の 身体的 ・ 精神的 負担を 減らす 取組	介護 職 の 取 組 に あ た る	安心 な 外 出 が す る 人 た め も	そ の 他	無 回 答
R7 一般高齢者	1,527	62.9	35.9	58.5	26.3	63.4	19.6	33.1	1.5	3.7
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	46.3	31.0	50.0	28.2	47.7	19.9	31.9	5.6	9.3

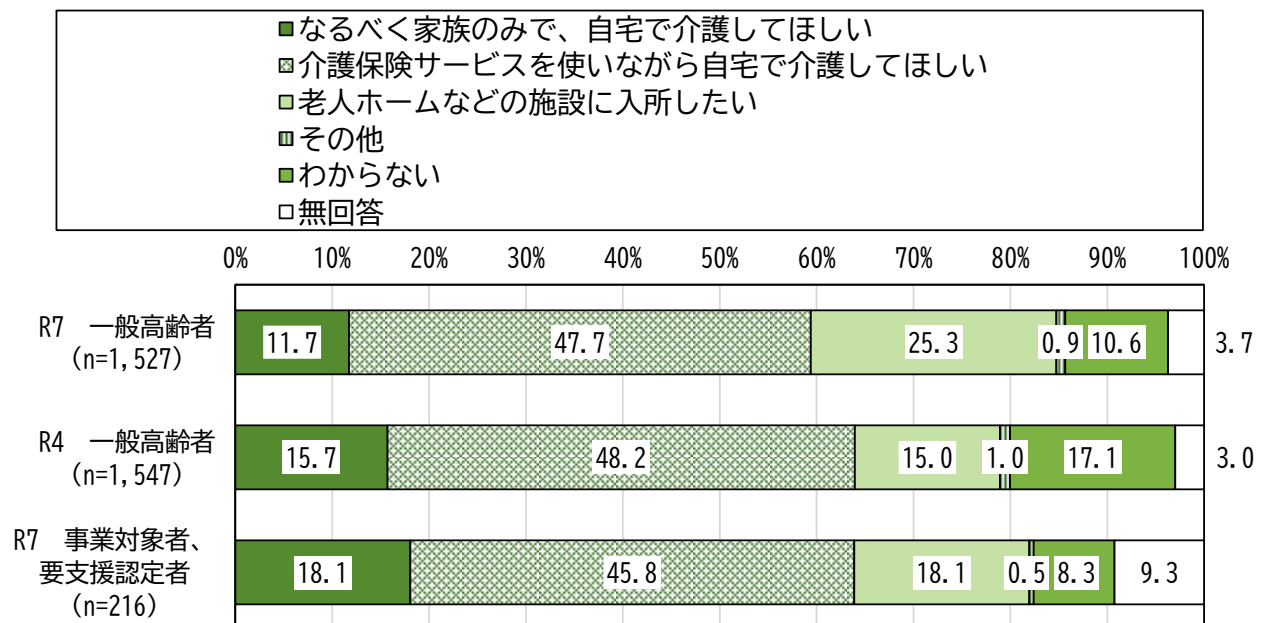
問9 介護保険サービスなどについて

(1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい」が47.7%と最も高く、次いで「老人ホームなどの施設に入所したい」が25.3%、「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が11.7%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい」が45.8%と最も高く、次いで「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」と「老人ホームなどの施設に入所したい」がともに18.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「老人ホームなどの施設に入所したい」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、95歳～99歳で「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい」が高くなっています。

単位：％

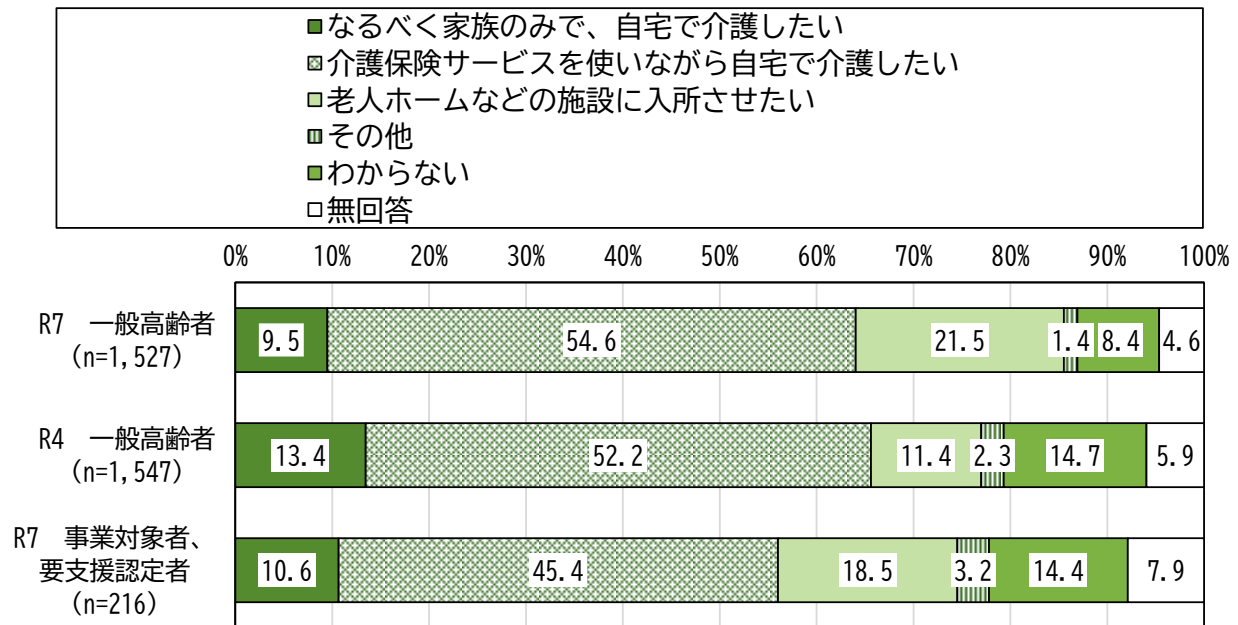
区分		回答者数 (件)	なるべく家族のみで、 自宅で介護してほしい	介護保険サービス を使いながら自宅で 介護してほしい	老人ホームなどの 施設に入所したい	その他	わからない	無回答
全体		1,785	12.5	47.6	24.0	0.9	10.3	4.7
性別	男性	804	15.2	47.0	22.8	0.5	10.3	4.2
	女性	970	10.0	48.5	25.1	1.1	10.3	5.1
年齢別	65歳～69歳	377	8.0	43.0	31.3	1.1	14.6	2.1
	70歳～74歳	422	10.7	46.0	27.0	1.2	11.8	3.3
	75歳～79歳	442	11.1	51.4	21.7	0.5	10.2	5.2
	80歳～84歳	274	13.1	52.6	18.6	1.5	6.2	8.0
	85歳～89歳	177	22.0	49.7	16.9	0.6	5.1	5.6
	90歳～94歳	70	20.0	40.0	21.4	0.0	10.0	8.6
	95歳～99歳	16	50.0	31.3	12.5	0.0	0.0	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—

(2) あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。(☑は1つ)

一般高齢者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」が54.6%と最も高く、次いで「老人ホームなどの施設に入所させたい」が21.5%、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が9.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護したい」が45.4%と最も高く、次いで「老人ホームなどの施設に入所させたい」が18.5%、「わからない」が14.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「老人ホームなどの施設に入所させたい」が増加しています。



<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、95歳～99歳で「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」が高くなっています。

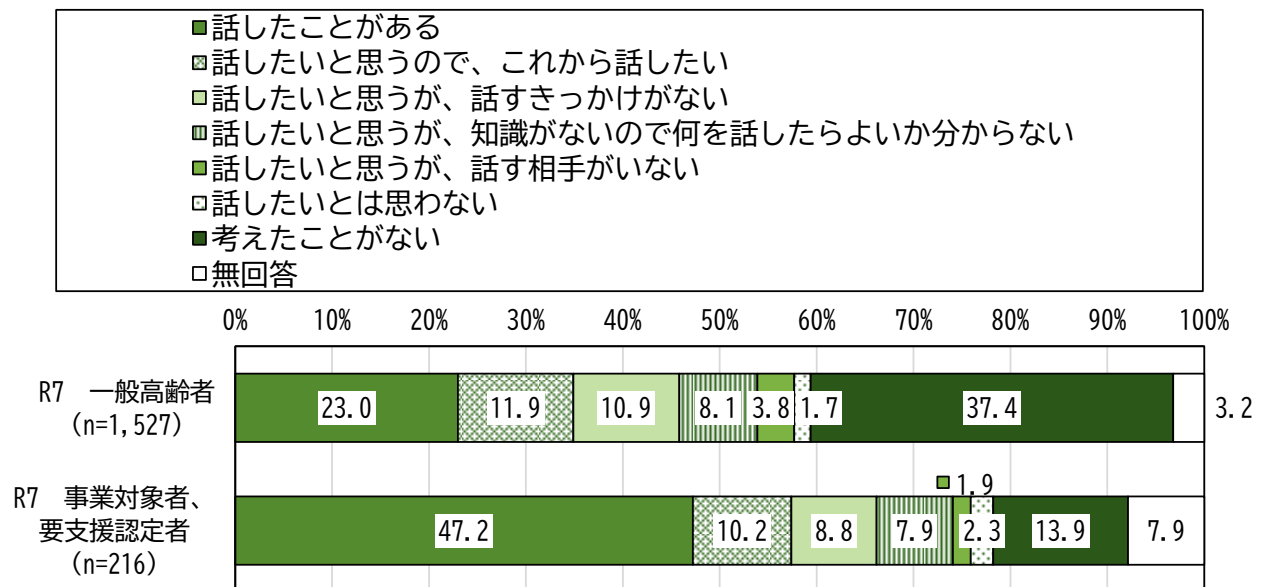
単位：％

区分		回答者数（件）	なるべく家族のみで、 自宅で介護したい	介護保険サービス を使いながら自宅で 介護したい	老人ホームなどの 施設に入所させたい	その他	わからない	無回答
全体		1,785	9.6	53.3	20.8	1.6	9.2	5.4
性別	男性	804	12.3	51.9	22.0	2.0	7.7	4.1
	女性	970	7.2	54.8	19.8	1.2	10.6	6.3
年齢別	65歳～69歳	377	5.3	55.7	26.8	1.3	8.0	2.9
	70歳～74歳	422	10.2	56.4	19.9	2.4	8.1	3.1
	75歳～79歳	442	9.5	56.6	19.0	1.8	7.7	5.4
	80歳～84歳	274	9.9	48.5	19.0	1.5	10.9	10.2
	85歳～89歳	177	13.0	49.7	19.8	0.6	10.7	6.2
	90歳～94歳	70	14.3	32.9	20.0	1.4	21.4	10.0
	95歳～99歳	16	43.8	31.3	0.0	0.0	18.8	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—

(3) 病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者（例：医師や看護師、ケアマネジャー等）と話したことはありますか。（☑は1つ）

一般高齢者では、「考えたことがない」が37.4%と最も高く、次いで「話したことがある」が23.0%、「話したいと思うので、これから話したい」が11.9%となっています。

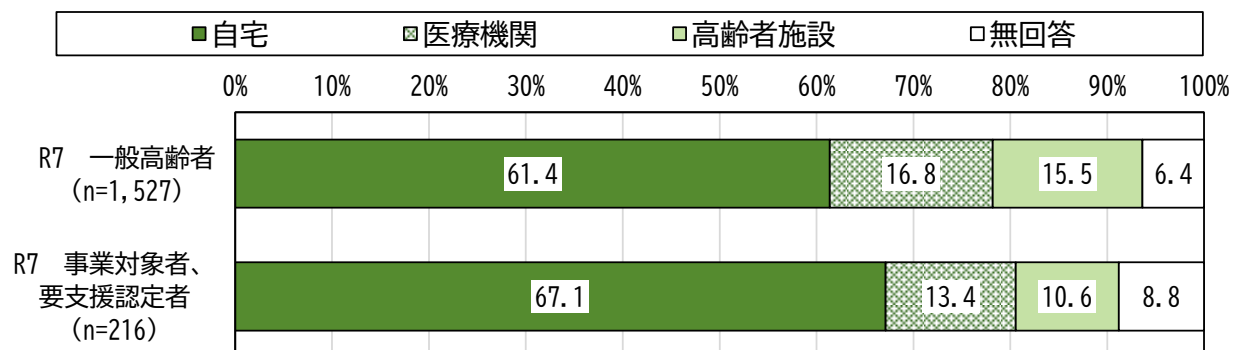
事業対象者、要支援認定者では、「話したことがある」が47.2%と最も高く、次いで「考えたことがない」が13.9%、「話したいと思うので、これから話したい」が10.2%となっています。



(4) 人生の最期はどこで過ごしたいですか。（☑は1つ）

一般高齢者では、「自宅」が61.4%と最も高く、次いで「医療機関」が16.8%、「高齢者施設」が15.5%となっています。

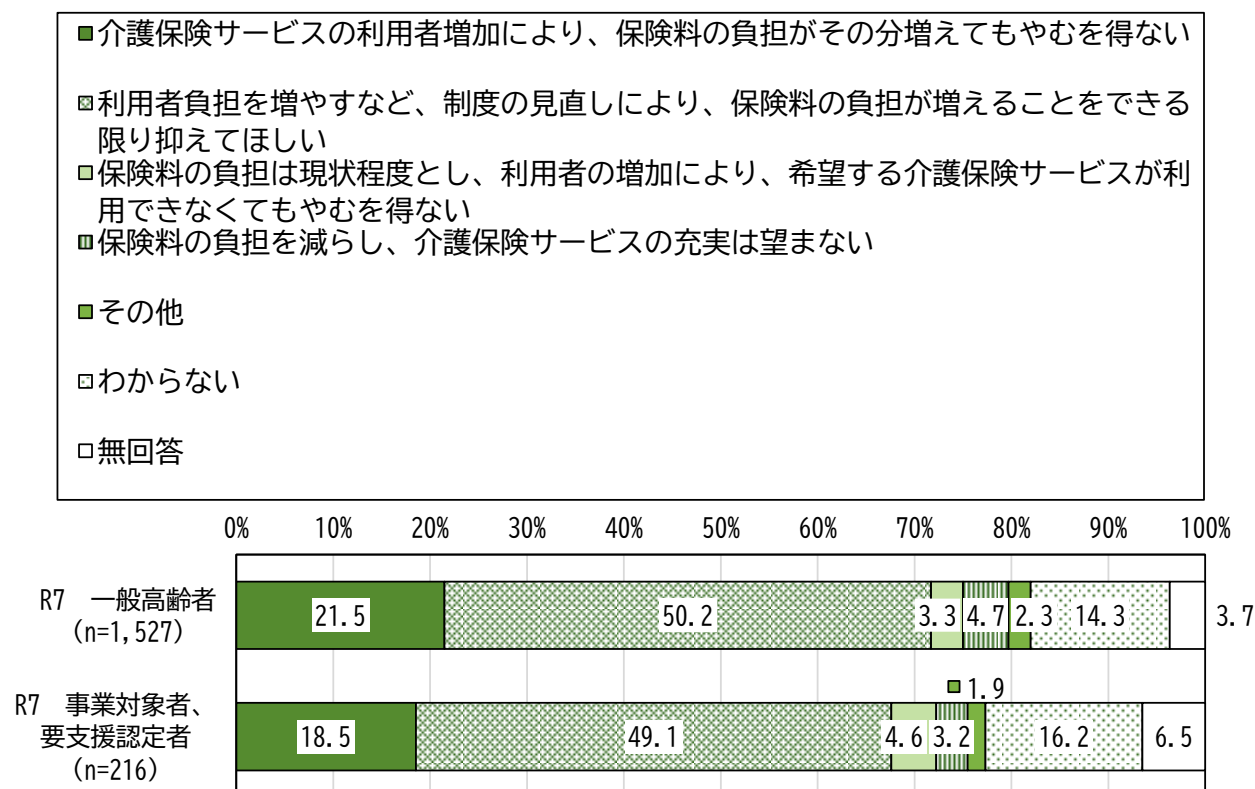
事業対象者、要支援認定者では、「自宅」が67.1%と最も高く、次いで「医療機関」が13.4%、「高齢者施設」が10.6%となっています。



**(5) 介護保険サービスの利用者増加により、保険料の負担が増えることについてどう思いますか。
(☑は1つ)**

一般高齢者では、「利用者負担を増やすなど、制度の見直しにより、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい」が50.2%と最も高く、次いで「介護保険サービスの利用者増加により、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」が21.5%、「わからない」が14.3%、となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「利用者負担を増やすなど、制度の見直しにより、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい」が49.1%と最も高く、次いで「介護保険サービスの利用者増加により、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」が18.5%、「わからない」が16.2%となっています。



(6) あなたに介護が必要となった場合、どのような介護保険サービスを利用したいですか。
(☑は3つまで)

一般高齢者では、「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス」が47.2%と最も高く、次いで「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が44.8%、「ホームヘルプや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」が38.1%、「特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設」が31.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス」が44.4%と最も高く、次いで「ホームヘルプや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」が42.6%、「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が41.2%、「特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設」が28.7%となっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	ホームヘルプや訪問看護などのサービス	施設（短期の宿泊サービス）などのデイサービス	医師や薬剤師などの管理指導を行う訪問サービス	介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス	特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設	グループホーム（認知症の方が共同生活をする施設）	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
R7 一般高齢者	1,527	38.1	44.8	16.3	47.2	31.8	7.4	14.4	0.8	9.0	2.2
R7 事業対象者、要支援認定者	216	42.6	41.2	16.2	44.4	28.7	5.1	12.0	0.9	7.9	6.0

(7) 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービスなどについて、あなたは、どのようなサービスの充実を望みますか。(☑は3つまで)

一般高齢者では、「公的または民間による配食サービス」が44.1%と最も高く、次いで「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が42.8%、「ひとり暮らし高齢者の方の見守りをするサービス」が41.3%、「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」が40.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」が38.0%と最も高く、次いで「公的または民間による配食サービス」と「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」がともに37.0%、「ひとり暮らし高齢者の方の見守りをするサービス」が31.9%、「自宅への訪問理美容サービス」が21.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「ひとり暮らし高齢者の方の見守りをするサービス」、「公的または民間による配食サービス」が増加しています。

単位：%

区分	回答者数（件）	介護支援ボランティアポイント制度	自宅への訪問理美容サービス	ひとり暮らし高齢者の方の見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	施術費を助成するサービス	はり・きゅう・マツサージの施術費を助成するサービス	補聴器の購入費を助成するサービス	認知症の方が所持するGPS機器を貸与するサービス	その他	特にない	無回答
R7 一般高齢者	1,527	10.4	18.9	41.3	44.1	40.3	6.1	42.8	9.7	15.9	0.9	6.6	3.0
R4 一般高齢者	1,547	6.4	14.3	31.4	32.4	35.3	7.8	40.9	10.1	10.0	1.9	13.3	7.4
R7 事業対象者、要支援認定者	216	8.8	21.8	31.9	37.0	38.0	8.3	37.0	9.7	13.9	1.4	7.9	7.4

＜一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算＞

【性別、年齢別、居住地区別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「自宅への訪問理美容サービス」、「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～79歳で「公的または民間による配食サービス」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井南部地域で「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	介護支援ボランティア	自宅への訪問理美容サービス	ひとり暮らし高齢者の方の見守りをするサービス	公的または民間による配食サービス	緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス	はり・きゅう・マツサージの施術費を助成するサービス	タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス	補聴器の購入費を助成するサービス	認知症の方が所持するGPS機器を貸与するサービス	その他	特にない	無回答
全体		1,785	10.2	19.2	40.0	43.1	39.8	6.3	42.1	9.5	15.5	0.9	6.8	3.9
性別	男性	804	11.8	14.7	40.8	43.3	41.3	7.1	38.2	9.2	16.8	1.0	7.3	3.4
	女性	970	9.0	22.5	39.4	43.0	38.6	5.5	45.5	9.8	14.4	0.8	6.4	4.1
年齢別	65歳～69歳	377	10.3	17.5	43.2	46.2	40.1	6.1	40.1	8.8	17.2	0.8	6.9	2.9
	70歳～74歳	422	10.2	19.2	41.9	46.0	42.4	5.9	44.1	7.8	16.6	1.2	6.2	2.1
	75歳～79歳	442	10.6	17.6	41.2	43.2	42.8	7.5	45.2	11.3	14.5	0.0	7.7	2.7
	80歳～84歳	274	8.8	20.1	34.7	39.4	36.5	5.5	43.4	9.5	17.5	1.8	3.3	7.3
	85歳～89歳	177	11.3	22.0	35.6	39.0	38.4	6.2	37.3	9.6	10.7	1.1	8.5	5.6
	90歳～94歳	70	7.1	24.3	40.0	35.7	30.0	5.7	35.7	14.3	12.9	1.4	12.9	5.7
	95歳～99歳	16	18.8	31.3	31.3	31.3	12.5	0.0	12.5	6.3	6.3	0.0	12.5	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	10.9	19.8	40.0	42.9	41.9	5.3	41.9	9.9	16.0	0.5	6.1	3.1
	袋井中部地域	380	9.7	15.3	42.4	40.3	41.3	6.8	37.4	9.2	15.5	1.3	7.9	5.3
	袋井南部地域	414	10.6	22.9	39.6	45.7	39.4	5.8	45.2	8.0	15.2	1.0	6.3	4.1
	浅羽・笠原地域	370	8.9	17.6	39.7	43.8	37.6	8.4	44.3	10.5	15.4	0.8	6.8	2.7

(8) あなたは、どのような医療サービスの充実を望みますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「レスパイト入院」が53.3%と最も高く、次いで「往診」が46.9%、「訪問看護」が46.4%、「訪問診療」が42.7%、「訪問リハビリテーション」が30.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「レスパイト入院」が44.4%と最も高く、次いで「往診」が43.1%、「訪問看護」が39.4%、「訪問診療」が37.5%、「訪問リハビリテーション」が32.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「その他」を除くすべての項目が増加しています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問 歯科診療	訪問 リハビリ	訪問 薬剤指導	レス パイト入院	その他	無 回答
R7 一般高齢者	1,527	42.7	46.9	46.4	17.6	30.5	7.7	53.3	1.6	7.2
R4 一般高齢者	1,547	39.5	41.6	36.4	12.0	21.1	4.9	39.4	4.4	16.3
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	37.5	43.1	39.4	14.8	32.9	7.9	44.4	4.6	11.6

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別、居住地区別、要介護度別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「訪問診療」、「訪問看護」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「レスパイト入院」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳～69歳、95歳～99歳で「訪問診療」が、70歳～84歳で「レスパイト入院」が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、袋井北部地域で「レスパイト入院」が、袋井南部地域で「訪問リハビリテーション」が、浅羽・笠原地域で「往診」、「訪問看護」が高くなっています。

要介護度別でみると、他に比べ、一般高齢者、事業対象者で「レスパイト入院」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問歯科診療	訪問リハビリ	訪問薬剤指導	レスパイト入院	その他	無回答
全体		1,785	42.3	46.2	45.4	17.1	30.9	7.7	51.8	2.0	8.0
性別	男性	804	47.6	47.5	49.6	15.4	30.7	7.7	41.9	2.0	6.5
	女性	970	37.6	45.5	41.9	18.6	31.1	7.8	60.2	2.0	9.1
年齢別	65歳～69歳	377	52.5	46.2	48.3	22.0	32.4	9.8	49.6	1.6	5.3
	70歳～74歳	422	42.7	49.8	50.9	19.0	35.3	5.7	54.0	1.9	5.5
	75歳～79歳	442	42.1	48.9	45.9	16.5	31.7	8.8	54.1	1.6	7.0
	80歳～84歳	274	32.8	42.3	39.1	14.2	25.2	6.6	56.2	1.5	11.7
	85歳～89歳	177	37.3	42.9	40.7	14.1	26.6	9.0	42.9	3.4	13.6
	90歳～94歳	70	34.3	35.7	32.9	8.6	30.0	4.3	47.1	5.7	11.4
	95歳～99歳	16	56.3	37.5	31.3	0.0	6.3	6.3	31.3	6.3	12.5
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
居住地区別	袋井北部地域	587	41.7	45.7	44.0	16.5	30.0	8.0	53.8	2.0	7.8
	袋井中部地域	380	40.3	45.8	44.2	14.7	30.5	7.1	49.2	2.6	8.4
	袋井南部地域	414	44.7	44.9	45.9	19.3	34.5	8.0	51.4	1.2	8.2
	浅羽・笠原地域	370	42.7	51.4	50.0	17.3	28.6	7.3	51.6	2.2	6.2
要介護度別	一般高齢者	1,527	42.7	46.9	46.4	17.6	30.5	7.7	53.3	1.6	7.2
	事業対象者	15	20.0	46.7	40.0	26.7	26.7	13.3	53.3	0.0	13.3
	要支援認定者	201	38.8	42.8	39.3	13.9	33.3	7.5	43.8	5.0	11.4

問 10 その他について

(1) あなたは、携帯電話を持っていますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「スマートフォンを持っている」が 81.4%と最も高く、次いで「持っていない」が 7.7%、「ガラケー（フィーチャーフォン）を持っている」が 6.5%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「スマートフォンを持っている」が 45.8%と最も高く、次いで「持っていない」が 21.8%、「ガラケー（フィーチャーフォン）を持っている」が 19.9%となっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	持っていない	スマートフォンを持っている	ガラケー（フィーチャーフォン）を持っている	持っているが何か分から	無回答
R7 一般高齢者	1,527	7.7	81.4	6.5	2.0	2.5
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	21.8	45.8	19.9	6.9	6.0

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「スマートフォンを持っている」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「持っていない」が高くなる傾向があります。

単位：％

区分		回答者数 (件)	持 っ て い な い	ス マ ー ト フ ォ ン を 持 っ て い る	ガ ラ ケ ー （ フ ァ イ ー チ ャ ー フ ォ ン ） を 持 っ て い る	持 っ て い る が 何 か 分 か ら な い	無 回 答
全体		1,785	9.5	76.8	8.2	2.6	3.1
性別	男性	804	8.5	79.4	7.2	2.6	2.4
	女性	970	10.3	75.1	8.9	2.5	3.5
年齢別	65歳～69歳	377	2.7	94.2	1.1	0.5	1.6
	70歳～74歳	422	2.4	90.0	4.5	1.2	1.9
	75歳～79歳	442	6.3	81.7	7.9	2.0	2.0
	80歳～84歳	274	10.2	66.8	13.9	4.4	4.7
	85歳～89歳	177	25.4	39.5	22.6	6.8	6.8
	90歳～94歳	70	52.9	24.3	11.4	5.7	7.1
	95歳～99歳	16	68.8	12.5	0.0	12.5	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—

【(1) で「スマートフォンを持っている」と回答された方にお伺いします。】

(1) - ① あなたは、スマートフォンをどのように利用していますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「電話連絡」が94.9%と最も高く、次いで「LINE などでのコミュニケーション (SNS)」が78.8%、「インターネットでの情報収集」が58.9%、「YouTube などの動画視聴」が35.6%、「買物・決済 (インターネットショッピング)」が25.8%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「電話連絡」が94.9%と最も高く、次いで「LINE などでのコミュニケーション (SNS)」が65.7%、「インターネットでの情報収集」が24.2%、「YouTube などの動画視聴」が18.2%、「買物・決済 (インターネットショッピング)」が6.1%となっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	電話 連絡	イン ター ネッ ト で の 情 報 収 集	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン (S N S)	動 画 視 聴 Y o u T u b e な ど の	シ ョ ッ ピ ン グ (イ ン タ ー ネ ッ ト)	買 物 ・ 決 済 そ の 他	無 回 答
R7 一般高齢者	1,243	94.9	58.9	78.8	35.6	25.8	2.7	0.2
R7 事業対象者、 要支援認定者	99	94.9	24.2	65.7	18.2	6.1	6.1	1.0

<一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算>

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「インターネットでの情報収集」、「YouTubeなどの動画視聴」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「LINEなどでのコミュニケーション（SNS）」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「電話連絡」を除くすべての項目が低くなる傾向があります。

単位：％

区分		回答者数 (件)	電話 連絡	イン ター ネ ット で の 情 報 収 集	LINE など の コ ミ ュ ニ ケー ション (SNS)	Y o u T u b e な ど の 動 画 視 聴	買 物 ・ 決 済 (イン ター ネ ット シ ョ ッ ピ ン グ)	そ の 他	無 回 答
全体		1,370	95.0	55.8	77.7	34.0	24.2	2.9	0.2
性別	男性	638	93.7	64.9	72.9	38.9	27.1	2.4	0.2
	女性	728	96.2	47.9	82.1	29.8	21.8	3.4	0.3
年齢別	65歳～69歳	355	92.7	78.3	90.1	51.5	39.7	3.4	0.0
	70歳～74歳	380	94.2	61.8	83.4	32.6	29.2	2.6	0.5
	75歳～79歳	361	96.4	47.6	73.1	31.3	16.6	2.8	0.0
	80歳～84歳	183	97.8	31.7	62.3	18.6	9.3	2.2	0.0
	85歳～89歳	70	97.1	25.7	58.6	15.7	1.4	5.7	0.0
	90歳～94歳	17	88.2	17.6	41.2	0.0	5.9	0.0	5.9
	95歳～99歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 災害時の情報はどこから入手していますか。(☑はいくつでも)

一般高齢者では、「テレビ・ラジオ」が77.6%と最も高く、次いで「同報無線」が55.0%、「メローねっと（袋井市Eメール）」が46.6%、「家族・近所・友人など」が44.3%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「テレビ・ラジオ」が73.1%と最も高く、次いで「同報無線」が46.8%、「家族・近所・友人など」が45.4%、「メローねっと（袋井市Eメール）」が22.2%となっています。

また、「何もしていない」は、一般高齢者で1.5%、事業対象者、要支援認定者で4.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「その他」、「何もしていない」を除くすべての項目が増加しています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	メローねっと (袋井市Eメール)	同報無線	袋井市ホームページ	インターネット	テレビ・ラジオ	家族・近所・友人など	その他	何もしていない	無回答
R7 一般高齢者	1,527	46.6	55.0	15.7	30.5	77.6	44.3	0.3	1.5	2.1
R4 一般高齢者	1,547	29.8	40.7	7.3	9.5	45.1	22.0	0.5	3.1	3.7
R7 事業対象者、 要支援認定者	216	22.2	46.8	9.7	6.9	73.1	45.4	1.4	4.2	7.4

＜一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算＞

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「インターネット」が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家族・近所・友人など」が高くなっています。

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「メローねっと（袋井市Eメール）」、「インターネット」が低くなる傾向があります。

単位：％

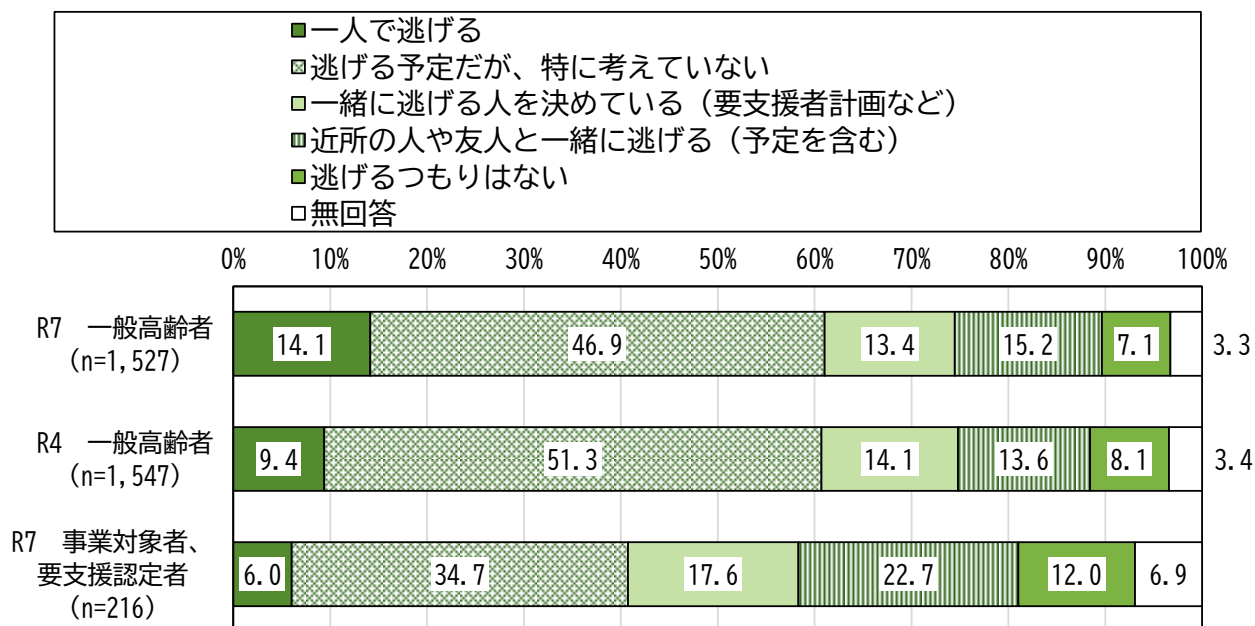
区分		回答者数 (件)	メローねっと (袋井市Eメール)	同報無線	袋井市ホームページ	インターネット	テレビ・ラジオ	家族・近所・友人など	その他	何もししていない	無回答
全体		1,785	43.1	53.9	14.9	27.2	76.9	44.5	0.5	1.8	3.0
性別	男性	804	45.5	53.1	15.4	36.9	76.2	38.1	0.6	1.6	2.6
	女性	970	41.3	54.7	14.4	19.3	77.8	49.9	0.4	1.9	3.0
年齢別	65歳～69歳	377	59.7	49.3	17.8	46.9	72.1	35.8	0.0	1.9	1.9
	70歳～74歳	422	53.8	57.3	18.5	35.8	79.6	42.7	0.9	1.2	1.2
	75歳～79歳	442	41.6	57.2	16.7	25.3	81.4	48.0	0.0	1.4	1.8
	80歳～84歳	274	32.1	54.7	10.9	12.8	77.0	48.5	0.7	1.5	4.0
	85歳～89歳	177	20.9	53.7	6.8	5.6	74.0	46.9	1.7	3.4	6.8
	90歳～94歳	70	10.0	41.4	4.3	1.4	65.7	64.3	0.0	4.3	11.4
	95歳～99歳	16	6.3	25.0	12.5	0.0	68.8	31.3	0.0	6.3	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(3) 災害時にどのように避難しますか。(図は1つ)

一般高齢者では、「逃げる予定だが、特に考えていない」が46.9%と最も高く、次いで「近所の人や友人と一緒に逃げる（予定を含む）」が15.2%、「一人で逃げる」が14.1%となっています。

事業対象者、要支援認定者では、「逃げる予定だが、特に考えていない」が34.7%と最も高く、次いで「近所の人や友人と一緒に逃げる（予定を含む）」が22.7%、「一緒に逃げる人を決めている（要支援者計画など）」が17.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者では、「一人で逃げる」が増加しています。



＜一般高齢者、事業対象者、要支援認定者合算＞

【性別、年齢別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「一緒に逃げる人を決めている（要支援者計画など）」が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、95歳～99歳で「一緒に逃げる人を決めている（要支援者計画など）」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	一人で逃げる	逃げる予定だが、特に考えていない	一緒に逃げる人を決めている（要支援者計画など）	近所の人や友人と一緒に逃げる（予定を含む）	逃げるつもりはない	無回答
全体		1,785	13.1	45.3	13.8	16.4	7.6	3.9
性別	男性	804	14.3	43.8	16.3	15.3	7.6	2.7
	女性	970	12.1	46.4	11.8	17.2	7.7	4.8
年齢別	65歳～69歳	377	17.2	48.8	13.5	11.9	6.6	1.9
	70歳～74歳	422	12.1	48.8	12.6	15.2	7.6	3.8
	75歳～79歳	442	12.9	44.6	13.8	16.7	7.9	4.1
	80歳～84歳	274	12.8	42.0	13.1	19.7	7.3	5.1
	85歳～89歳	177	9.0	40.7	15.3	19.8	9.0	6.2
	90歳～94歳	70	10.0	37.1	18.6	22.9	10.0	1.4
	95歳～99歳	16	12.5	31.3	31.3	12.5	6.3	6.3
	100歳以上	—	—	—	—	—	—	—

Ⅲ 生活機能判定結果

Ⅲ 生活機能判定結果

1 機能別リスク該当者割合の分析

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、運動器機能、閉じこもり、転倒、認知機能、うつ各リスク該当者を判定しました。

【判定設問】

判定項目	問番号	設問	該当する選択肢	リスク該当者判定条件
運動器機能	問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できない	5項目のうち3項目以上に該当する人
	問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できない	
	問2(3)	15分位続けて歩いていますか。	できない	
	問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある 1度ある	
	問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である やや不安である	
閉じこもり	問2(6)	週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない 週1回	該当する人
転倒	問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある 1度ある	該当する人
認知機能	問4(1)	物忘れが多いと感じますか。	はい	該当する人
うつ	問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	はい	2項目のうち1項目以上に該当する人
	問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	はい	

(1) 運動器機能

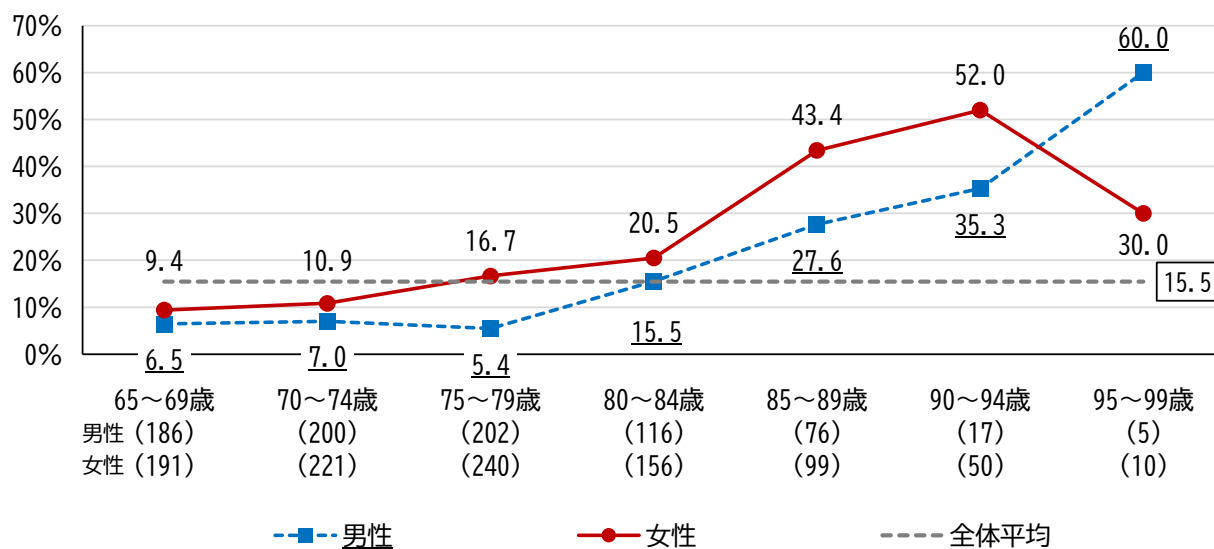
【リスク該当状況】

●性別・年齢別

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で 15.5%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢別にみると、男性、女性ともに高齢になるにつれて該当者割合が高くなる傾向があり、男性では 95～99 歳で 60.0%と 70～74 歳に比べて 53.0 ポイント増加、女性では 90～94 歳で 52.0%と、70～74 歳に比べて 41.1 ポイント増加しています。また、95～99 歳を除く年齢で男性より女性でリスクが高くなっています。

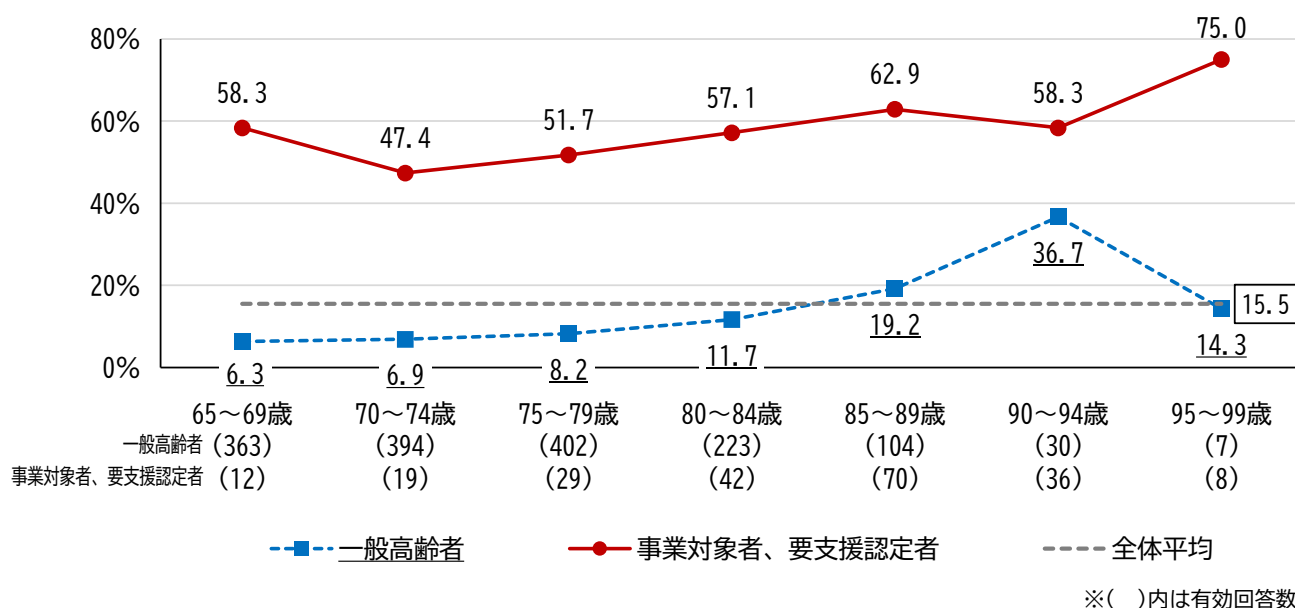
男性では 85 歳以上、女性では 75 歳以上で全体平均を上回る結果となっています。



※()内は有効回答数

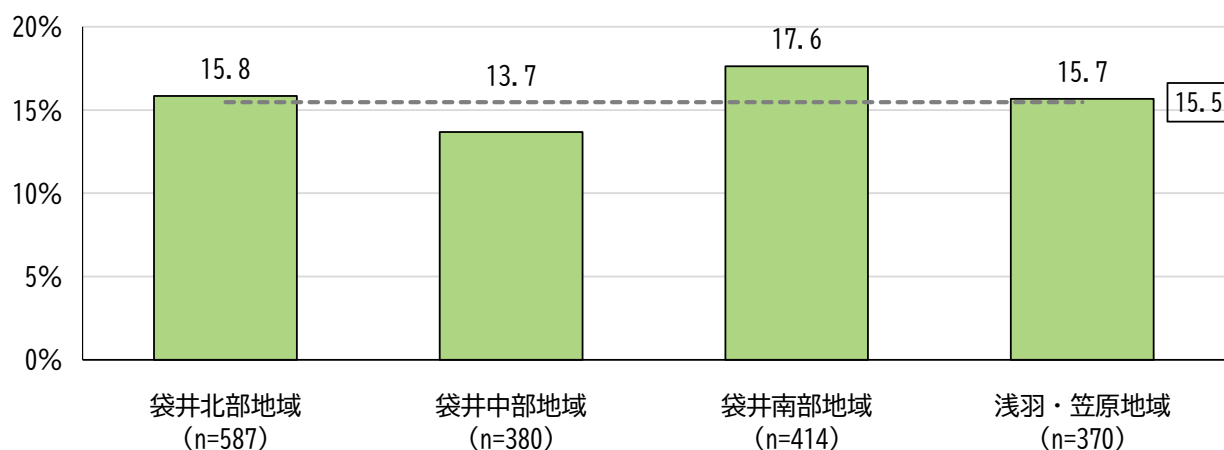
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢別にみると、いずれの年齢も一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者は割合が高くなっており、95～99 歳では一般高齢者は 14.3%なのに対し、事業対象者、要支援認定者では 75.0%と 60.7 ポイントの差があります。



●居住地区別

居住地区別にみると、袋井北部地域、袋井南部地域、浅羽・笠原地域で全体平均の 15.5%より高くなっています。



(2) 閉じこもり

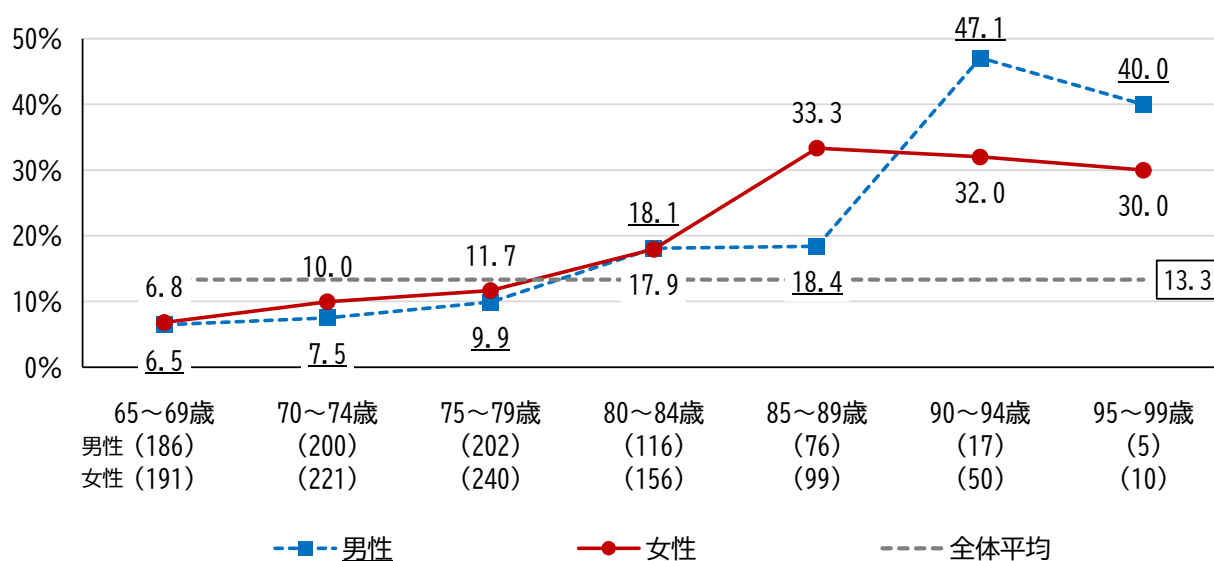
【リスク該当状況】

●性別・年齢別

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で 13.3%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢別にみると、男性、女性ともに高齢になるにつれて該当者割合が高くなる傾向があり、男性では 90～94 歳で 47.1%と 70～74 歳に比べて 39.6 ポイント増加、女性では 85～89 歳で 33.3%と、70～74 歳に比べて 23.3 ポイント増加しています。

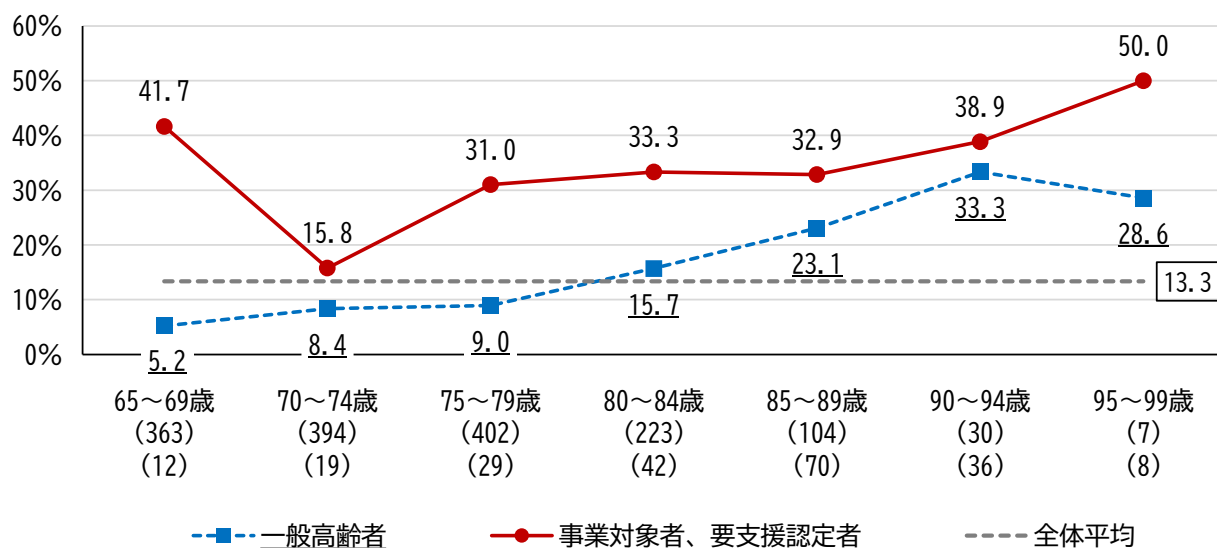
男性、女性ともに 80 歳以上で全体平均を上回る結果となっています。



※()内は有効回答数

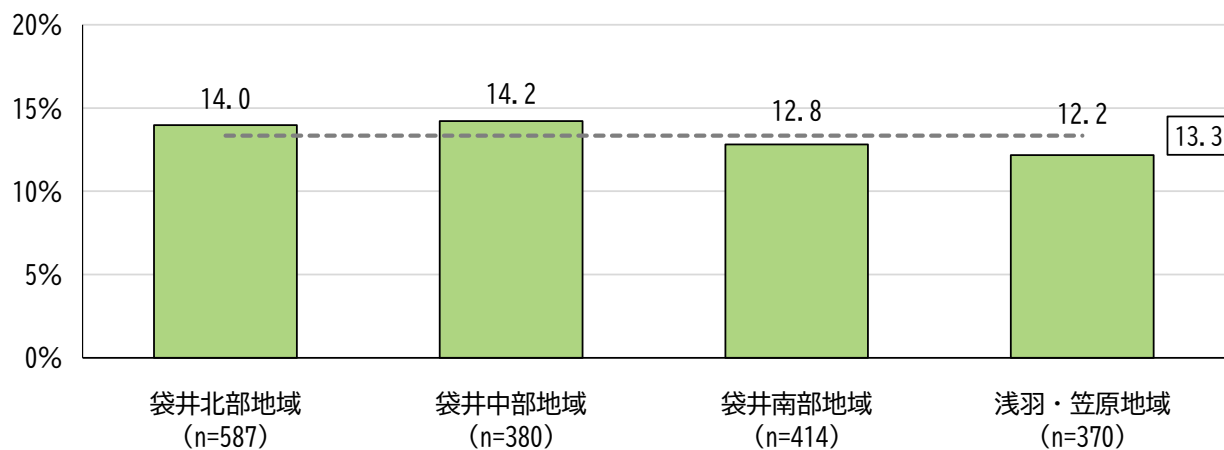
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢別にみると、いずれの年齢も一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者では割合が高くなっており、65～69歳では一般高齢者は5.2%なのに対し、事業対象者、要支援認定者では41.7%と36.5ポイントの差があります。



●居住地区別

居住地区別にみると、袋井北部地域、袋井中部地域で全体平均の13.3%より高くなっています。



(3) 転倒

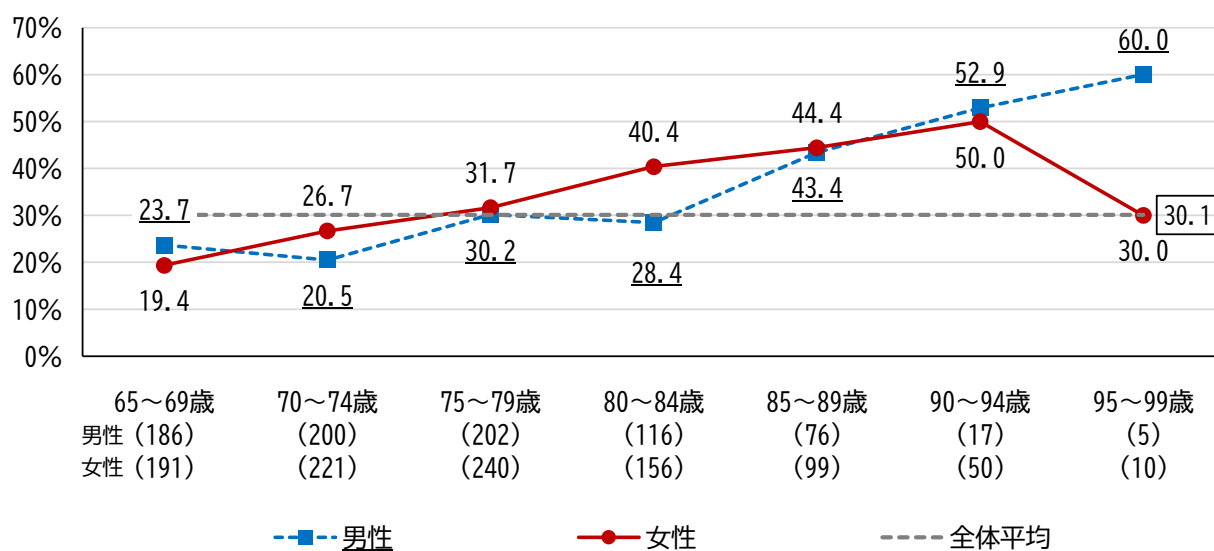
【リスク該当状況】

●性別・年齢別

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で 30.1%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢別にみると、男性、女性ともに高齢になるにつれて該当者割合が高くなる傾向があり、男性では 95～99 歳で 60.0%と 70～74 歳に比べて 39.5 ポイント増加、女性では 90～94 歳で 50.0%と、70～74 歳に比べて 23.3 ポイント増加しています。

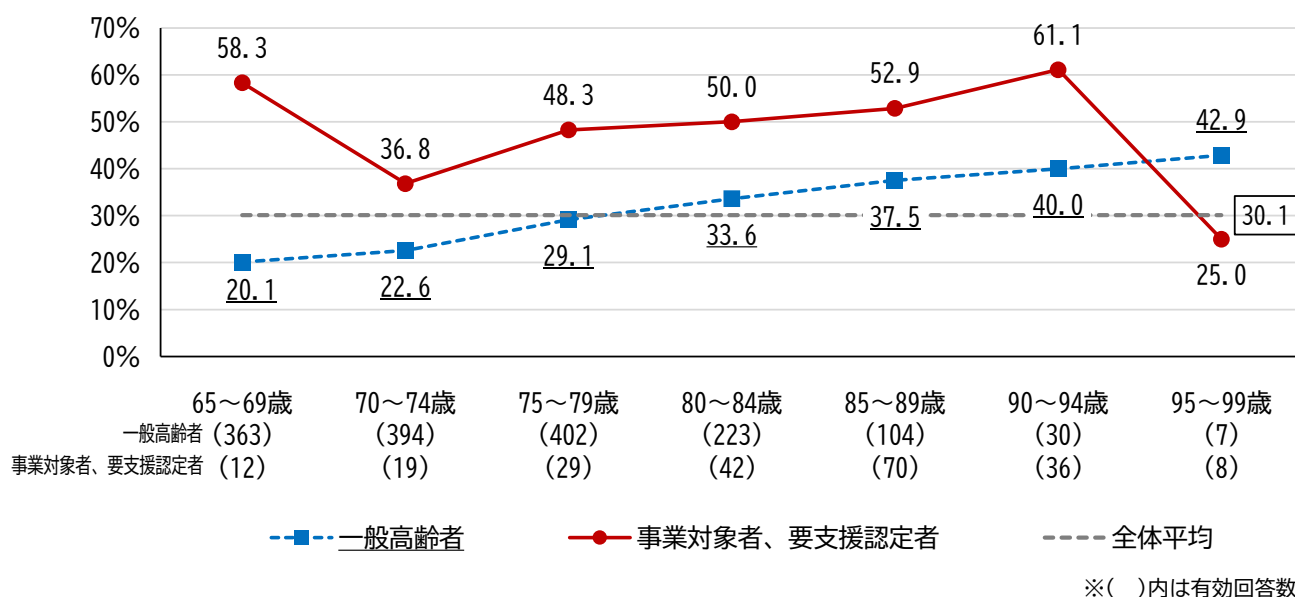
男性では 75～79 歳と 85 歳以上、女性では 75 歳以上で全体平均を上回る結果となっています。



※()内は有効回答数

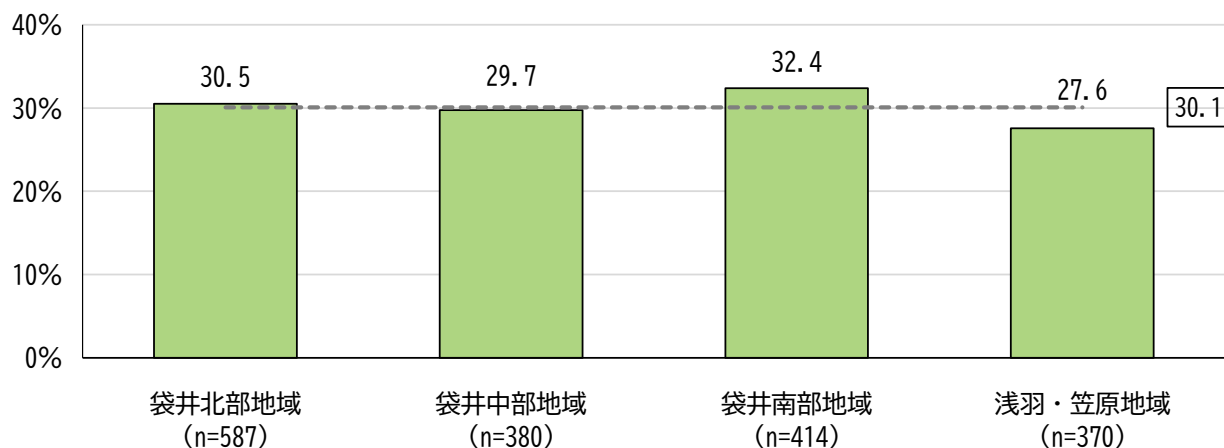
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢別にみると、95～99 歳を除き、一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者では割合が高くなっており、65～69 歳では一般高齢者は 20.1%なのに対し、事業対象者、要支援認定者では 58.3%と 38.2 ポイントの差があります。



●居住地区別

居住地区別にみると、袋井北部地域、袋井南部地域で全体平均の 30.1%より高くなっています。



(4) 認知機能

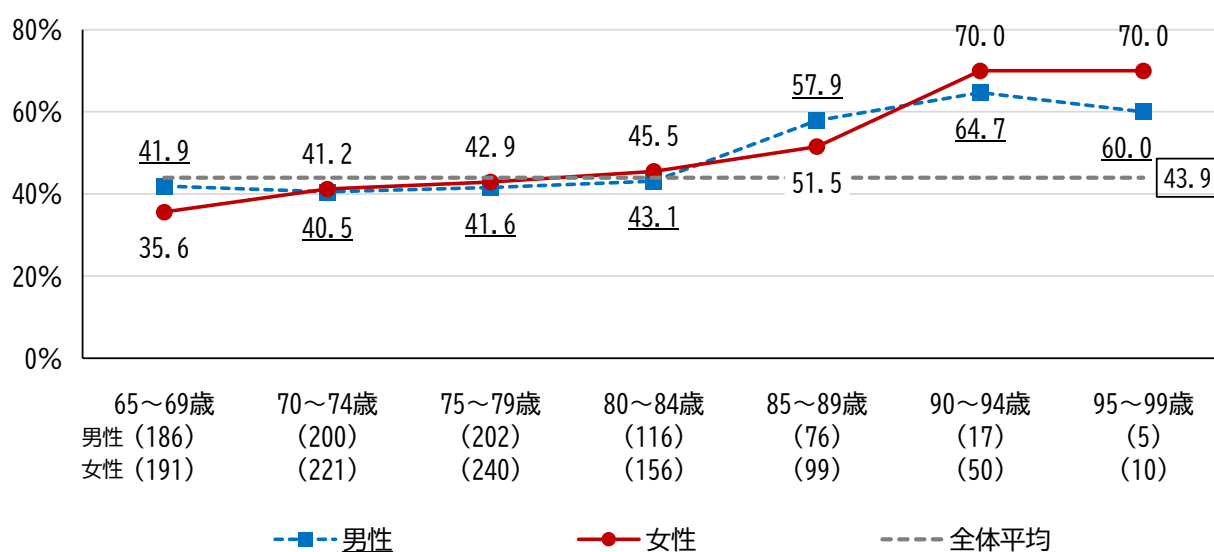
【リスク該当状況】

●性別・年齢別

国の手引きに基づく認知機能の評価結果をみると、全体平均で 43.9%が認知機能低下の該当者となっています。

性別・年齢別にみると、男性、女性ともに高齢になるにつれて該当者割合が高くなる傾向があり、男性では 90～94 歳で 64.7%と 70～74 歳に比べて 24.2 ポイント増加、女性では 90 歳以上で 70.0%と、70～74 歳に比べて 29.5 ポイント増加しています。

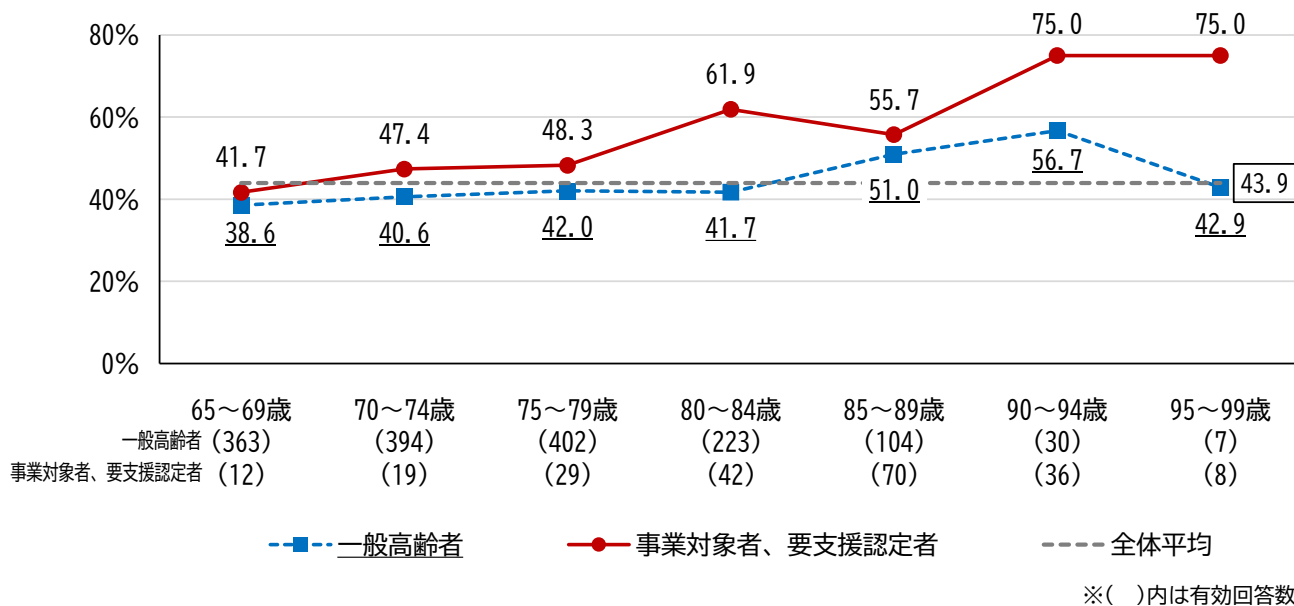
男性では 85 歳以上、女性では 80 歳以上で全体平均を上回る結果となっています。



※()内は有効回答数

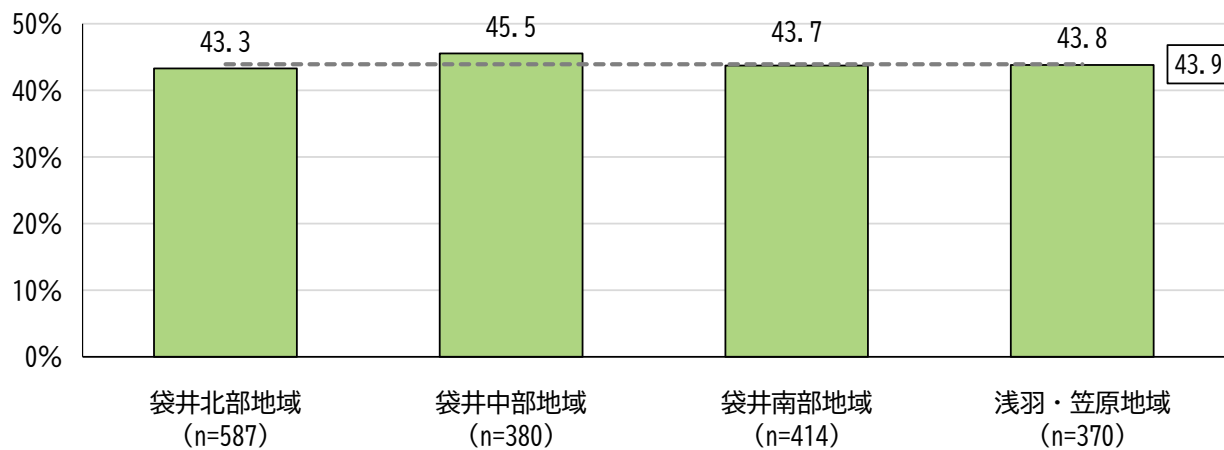
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢別にみると、いずれの年齢も一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者では割合が高くなっています。特に95～99歳では、一般高齢者は42.9%なのに対し、事業対象者、要支援認定者は75.0%と32.1ポイントの差があります。



●居住地区別

居住地区別にみると、袋井中部地域で全体平均の43.9%より高くなっています。



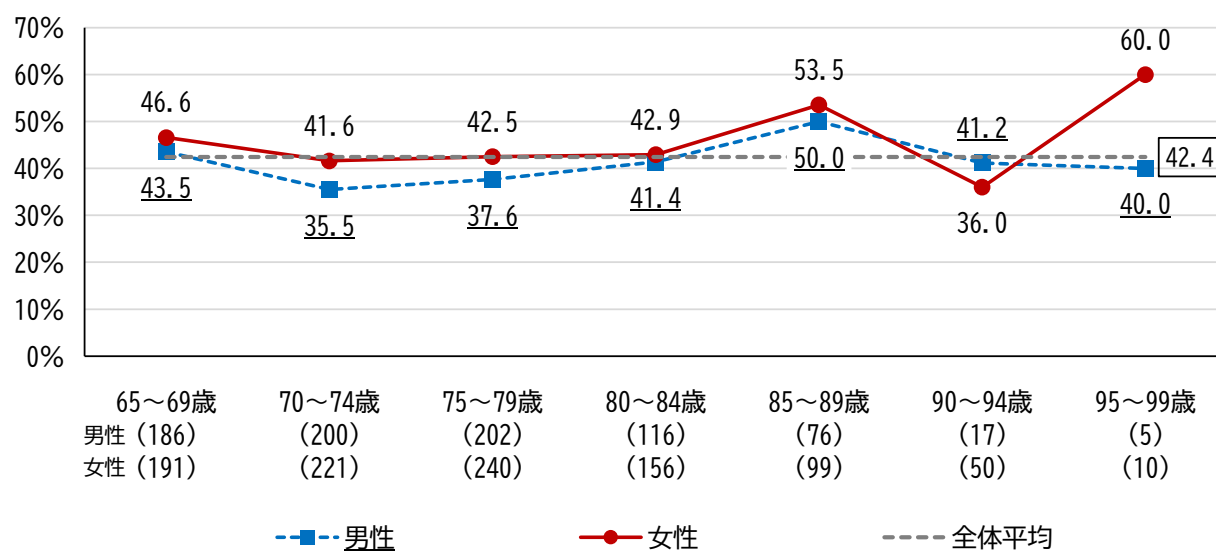
(5) うつ

【リスク該当状況】

●性別・年齢別

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で 42.4%がうつのリスク該当者となっています。

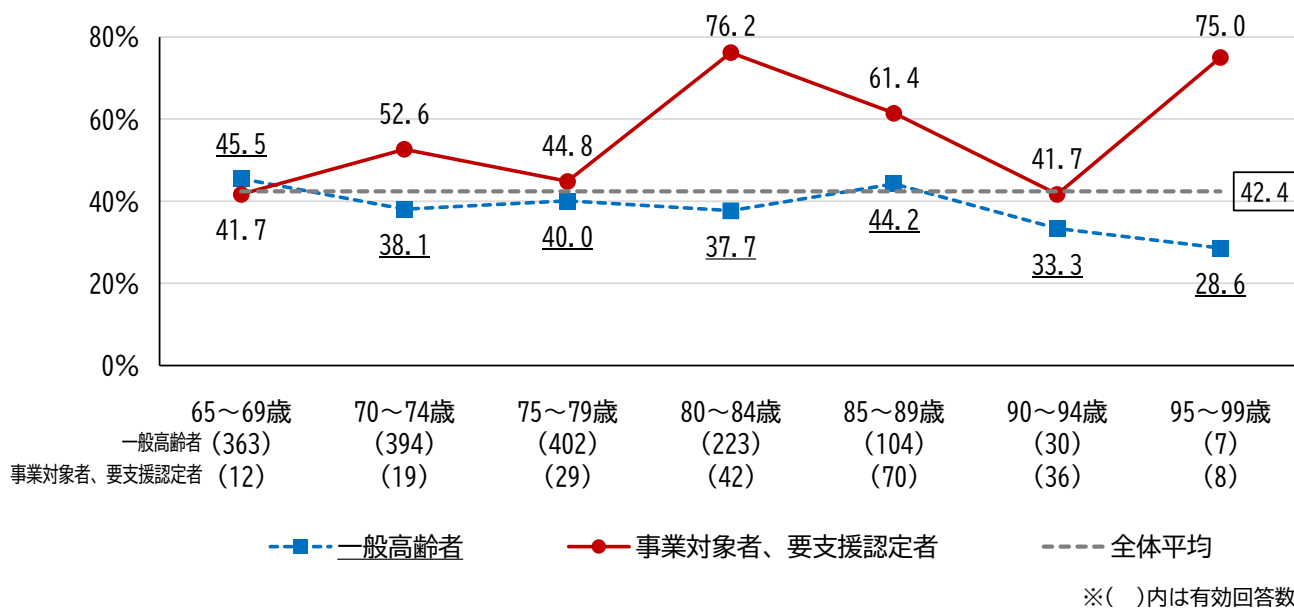
性別・年齢別にみると、男性、女性ともにいずれの年齢も該当者割合が高くなっています。また、90～94 歳を除く年齢で男性より女性でリスクが高くなっています。



※()内は有効回答数

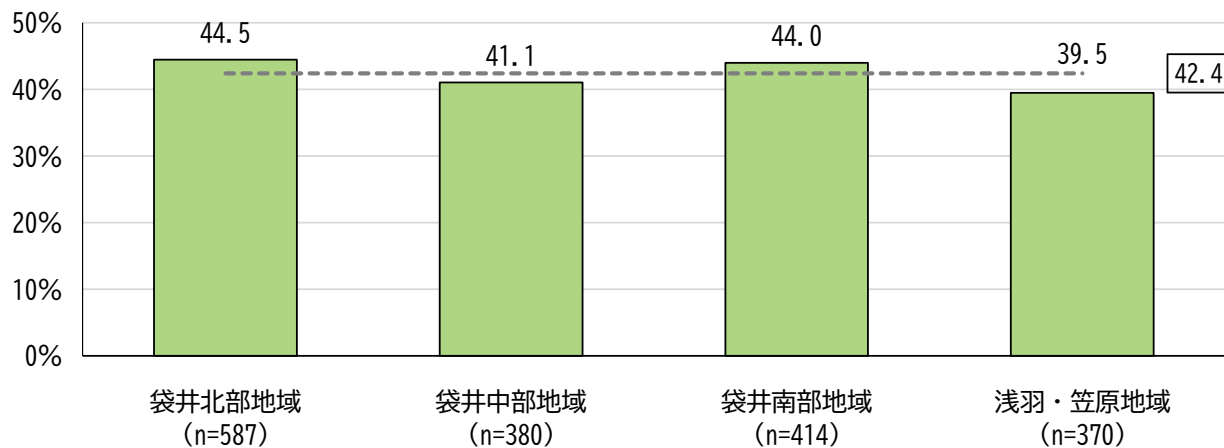
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢別にみると、65～69 歳を除き、一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者では割合が高くなっており、95～99 歳では一般高齢者は 28.6%なのに対し、事業対象者、要支援認定者では 75.0%と 46.4 ポイントの差があります。



●居住地区別

居住地区別にみると袋井北部地域、袋井南部地域で全体平均の 42.4%より高くなっています。



2 日常生活

(1) 手段的自立度（IADL）

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度（IADL）に関する設問が5問あり、「手段的自立度（IADL）」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者としています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問4（2）①	バスや電車を使って1人で外出していますか。	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問4（2）②	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問4（2）③	自分で食事の用意をしていますか。	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問4（2）④	自分で請求書の支払いをしていますか。	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点
問4（2）⑤	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	できるし、している：1点 できるけどしていない：1点

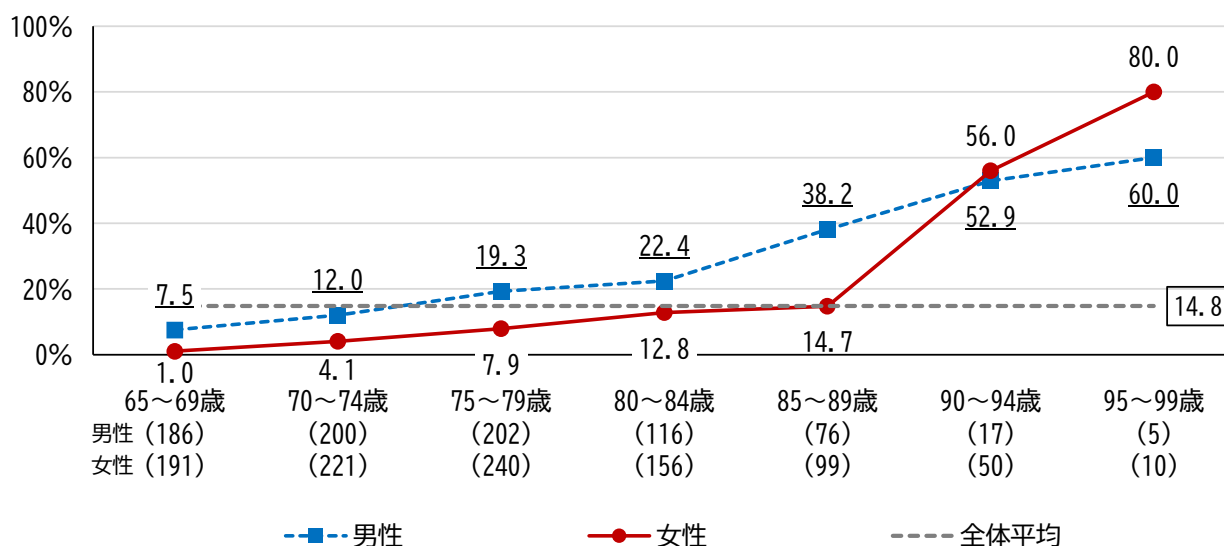
【該当状況】

●性別・年齢別

全体平均では14.8%が手段的自立度の低下者（「やや低い」）＋「低い」となっています。

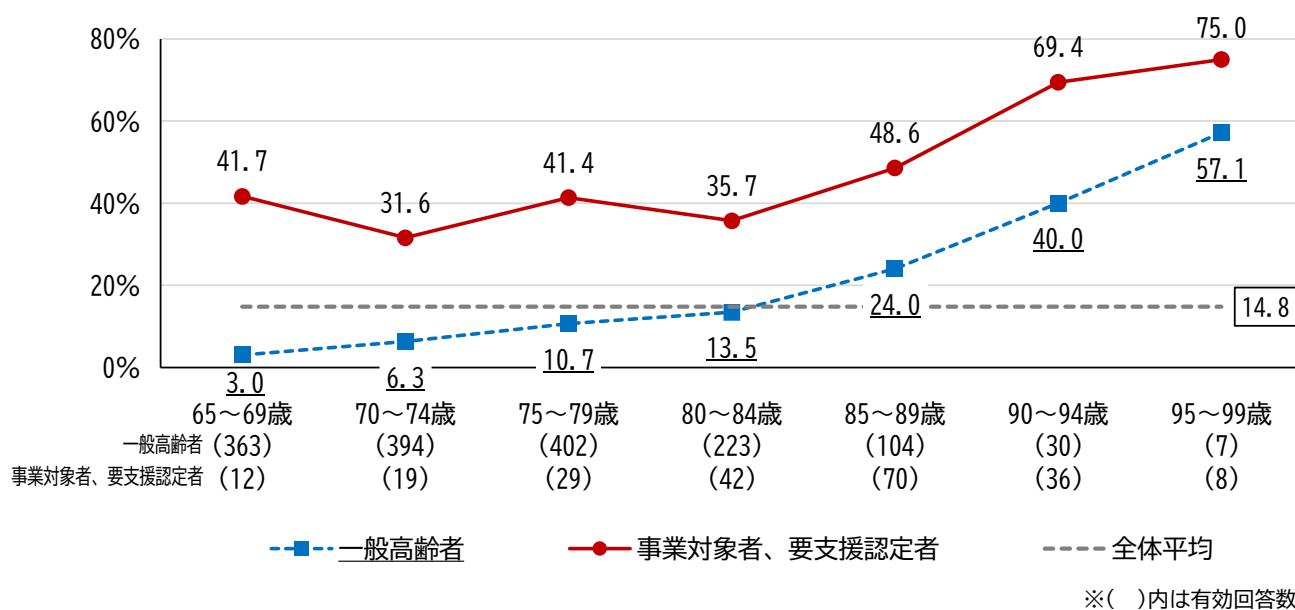
性別・年齢別でみると、男性、女性ともに高齢になるにつれて低下者の割合が高くなる傾向があり、男性では95～99歳で60.0%と70～74歳に比べて48.0ポイント増加、女性では95～99歳で80.0%と、70～74歳に比べて75.9ポイント増加しています。

男性では75歳以上、女性では90歳以上で全体平均を上回る結果となっています。



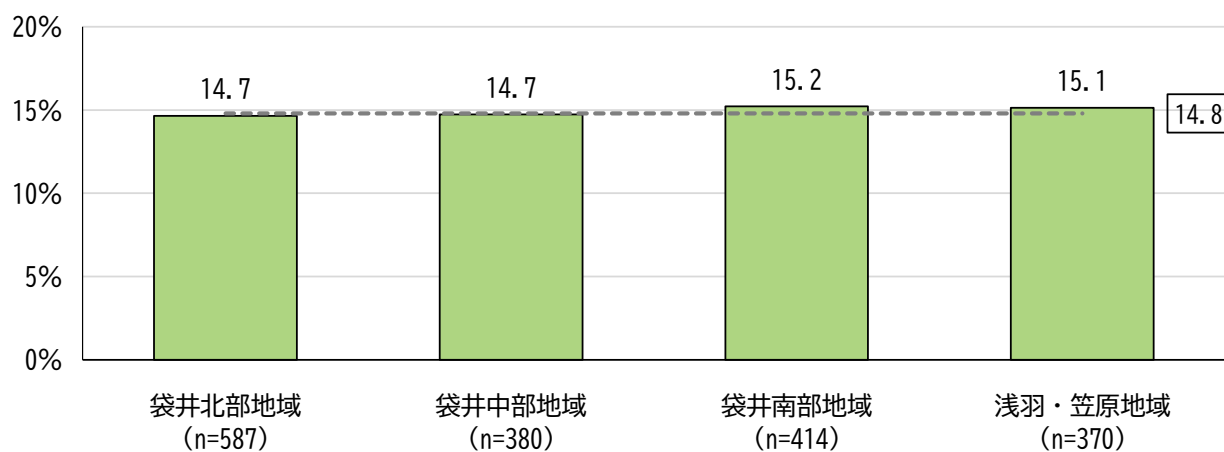
●認定・該当状況別・年齢別

認定・該当状況別・年齢別でみると、いずれの年齢も一般高齢者に比べて事業対象者、要支援認定者で低下者の割合が高くなっており、65～69 歳では一般高齢者は 3.0%なのに対し、事業対象者、要支援認定者では 41.7%と 38.7 ポイントの差があります。



●居住地区別

居住地区別にみると、袋井南部地域、浅羽・笠原地域で全体平均の 14.8%より高くなっています。



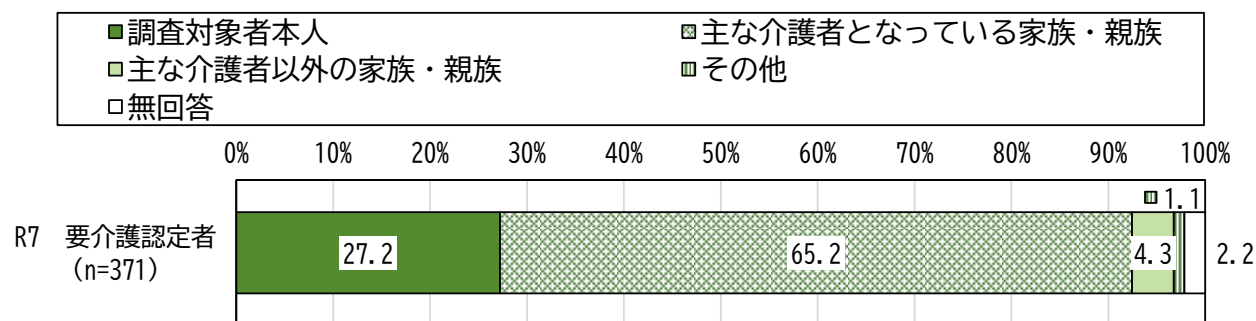
IV 在宅介護実態調査結果

IV 在宅介護実態調査結果

1 【A票】調査対象者様ご本人のことについて

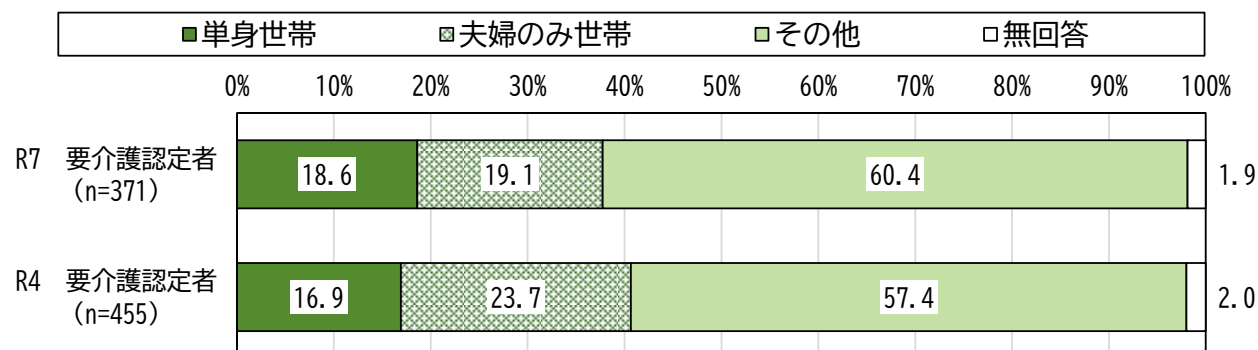
問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(☑は1つ)

「主な介護者となっている家族・親族」が65.2%と最も高く、次いで「調査対象者本人」が27.2%、「主な介護者以外の家族・親族」が4.3%となっています。



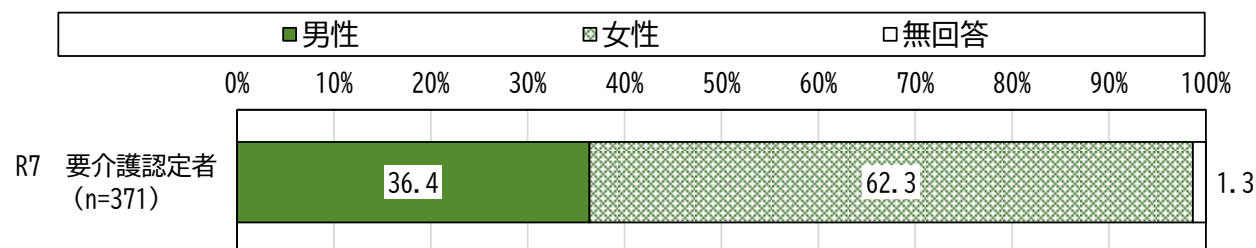
問2 世帯類型について教えてください。(☑は1つ)

「単身世帯」が18.6%、「夫婦のみ世帯」が19.1%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「単身世帯」が増加しています。



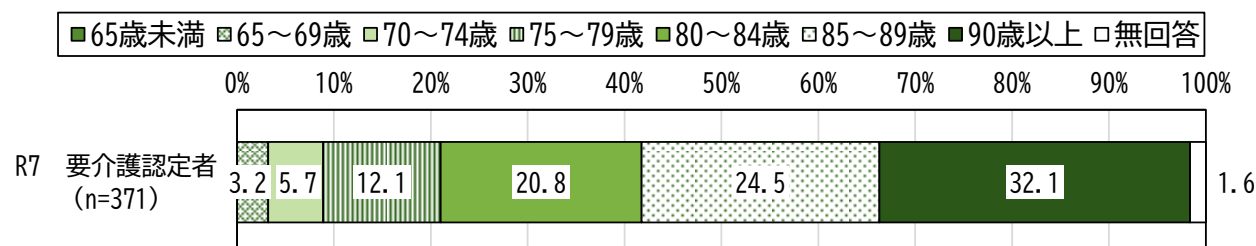
問3 ご本人の性別について教えてください。(☑は1つ)

「男性」が36.4%、「女性」が62.3%となっています。



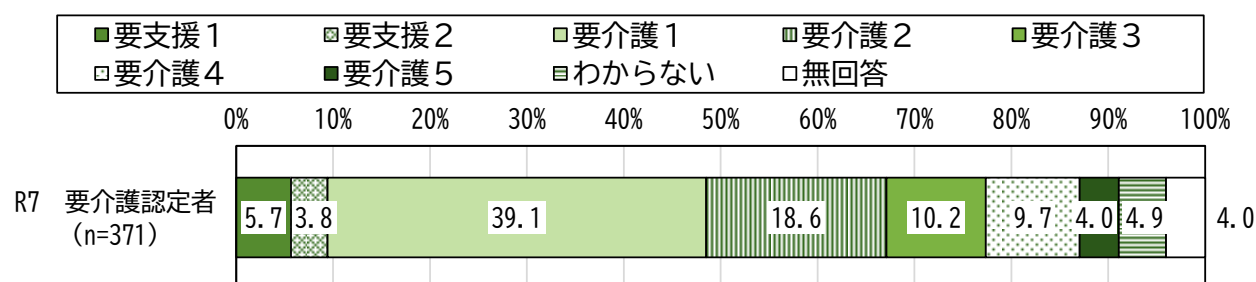
問4 ご本人の年齢について教えてください。(令和8年1月1日現在の年齢をお答えください。)
(☑は1つ)

「90歳以上」が32.1%と最も高く、次いで「85～89歳」が24.5%、「80～84歳」が20.8%となっています。



問5 ご本人の要介護度について教えてください。(☑は1つ)

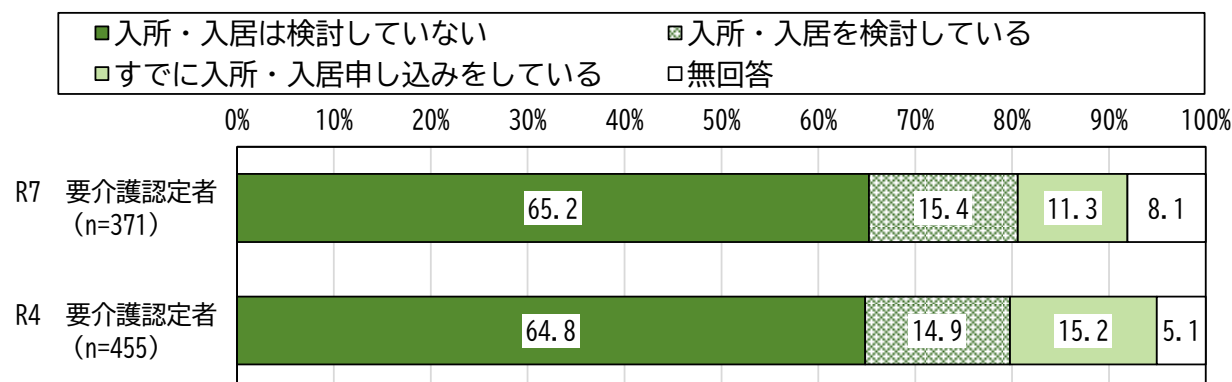
「要介護1」が39.1%と最も高く、次いで「要介護2」が18.6%、「要介護3」が10.2%となっています。



問6 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(☑は1つ)

「入所・入居は検討していない」が65.2%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が15.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が11.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「すでに入所・入居申し込みをしている」が減少しています。

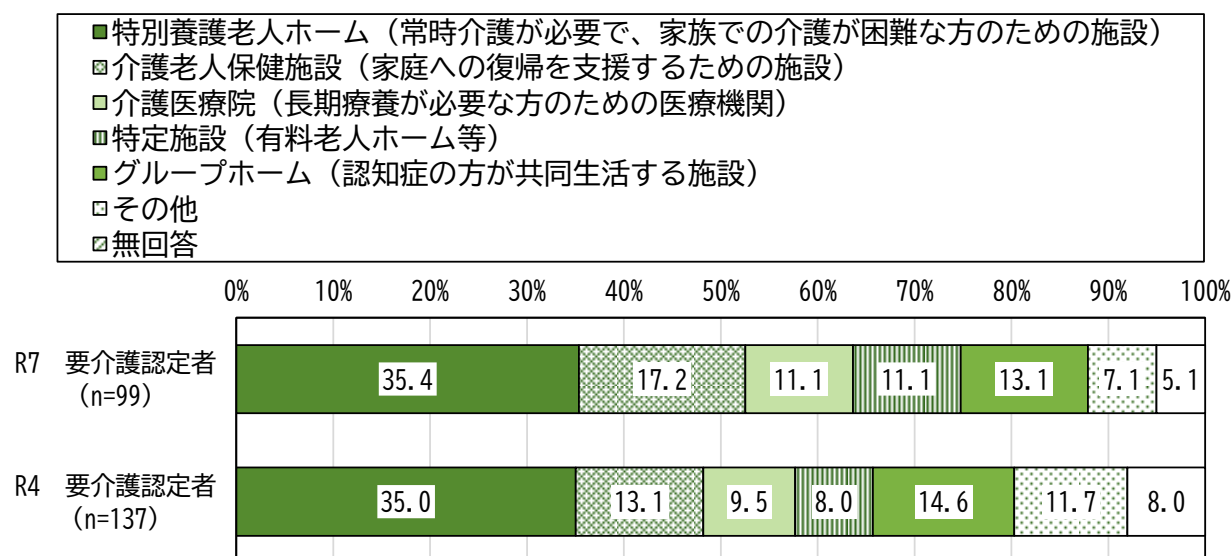


【問6で「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居の申し込みをしている」と回答された方にお伺いします。】

問7 現時点で検討しているまたは、申し込みをしている施設等はどこですか。(☑は1つ)

「特別養護老人ホーム（常時介護が必要で、家族での介護が困難な方のための施設）」が35.4%と最も高く、次いで「介護老人保健施設（家庭への復帰を支援するための施設）」が17.2%、「グループホーム（認知症の方が共同生活する施設）」が13.1%となっています。

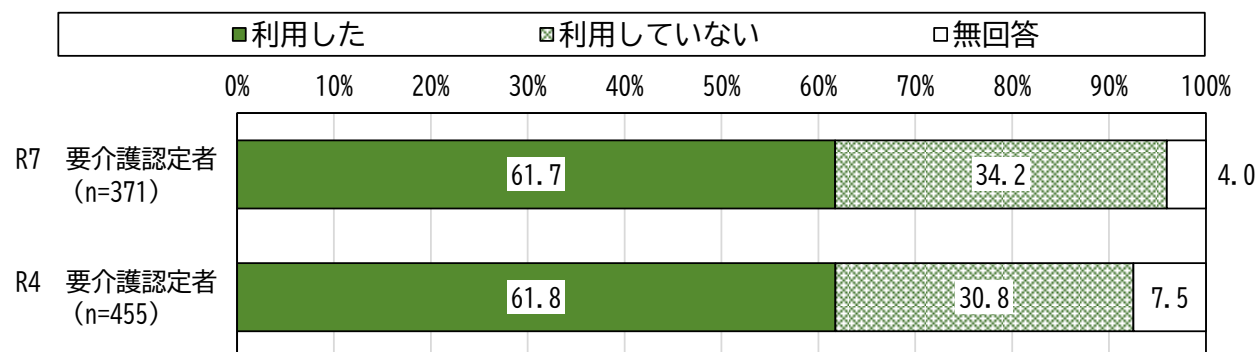
令和4年度調査と比較すると、「介護老人保健施設（家庭への復帰を支援するための施設）」が増加しています。



問8 令和7年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。(☑は1つ)

「利用した」が61.7%、「利用していない」が34.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



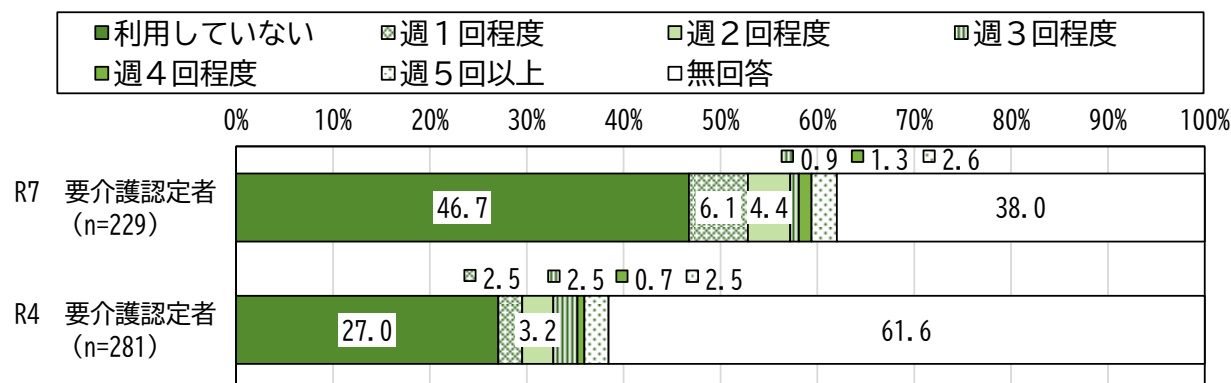
【問8で「利用した」と回答された方にお伺いします。】

問9 以下の介護保険サービスについて、令和7年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。
対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ☑は1つ）

A. 訪問介護（ホームヘルプサービス）

「利用していない」が46.7%と最も高く、次いで「週1回程度」が6.1%、「週2回程度」が4.4%となっています。

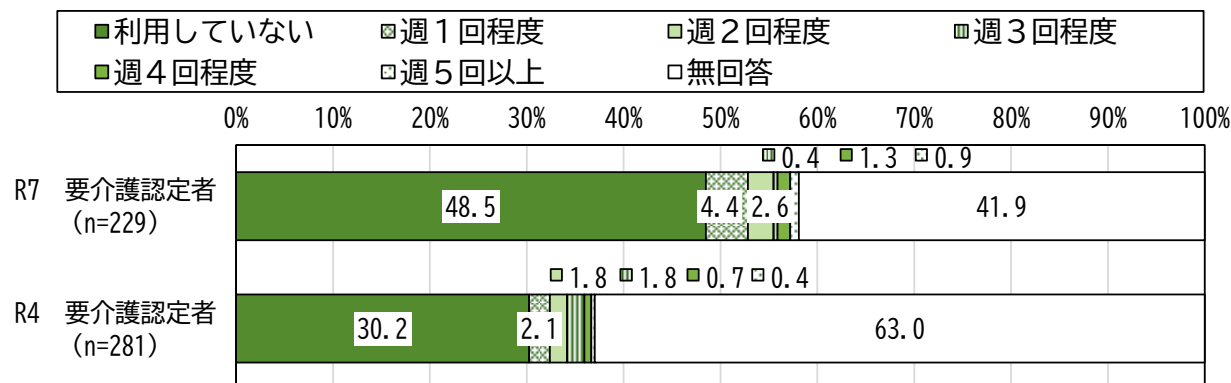
令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



B. 訪問入浴介護

「利用していない」が48.5%と最も高く、次いで「週1回程度」が4.4%、「週2回程度」が2.6%となっています。

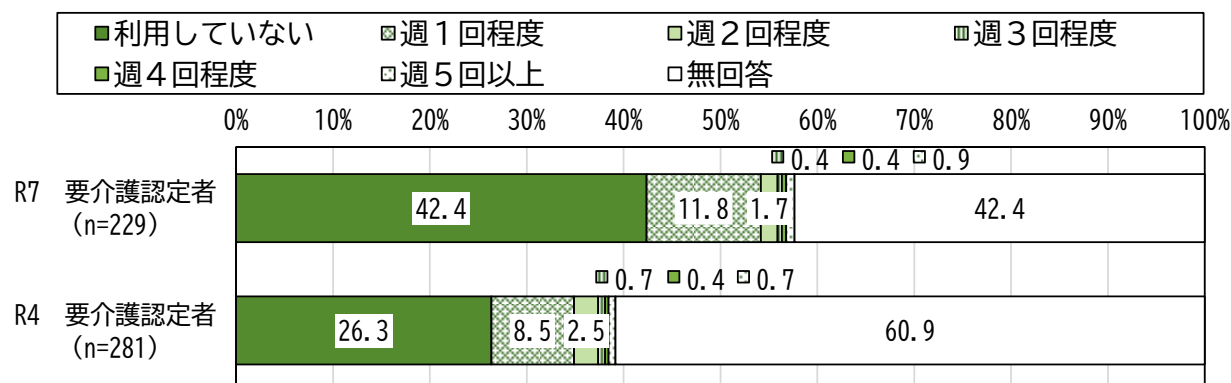
令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



C. 訪問看護

「利用していない」が42.4%と最も高く、次いで「週1回程度」が11.8%、「週2回程度」が1.7%となっています。

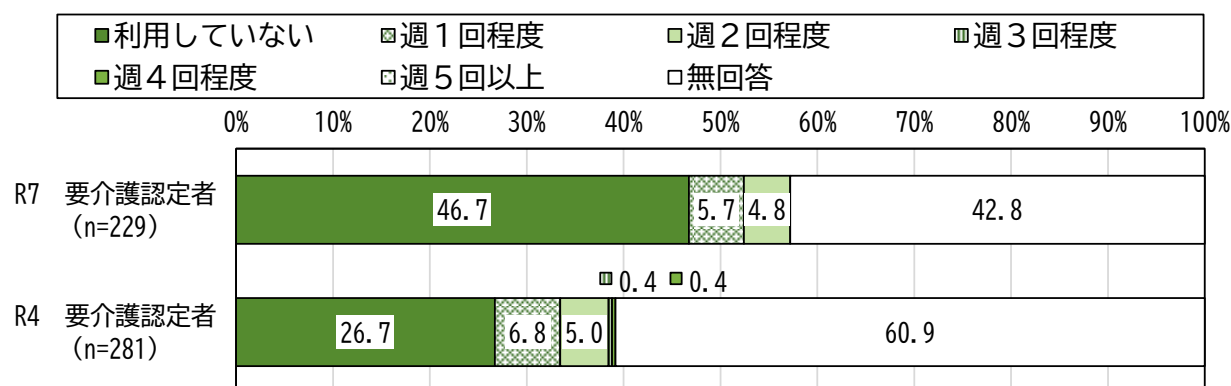
令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



D. 訪問リハビリテーション

「利用していない」が46.7%と最も高く、次いで「週1回程度」が5.7%、「週2回程度」が4.8%となっています。

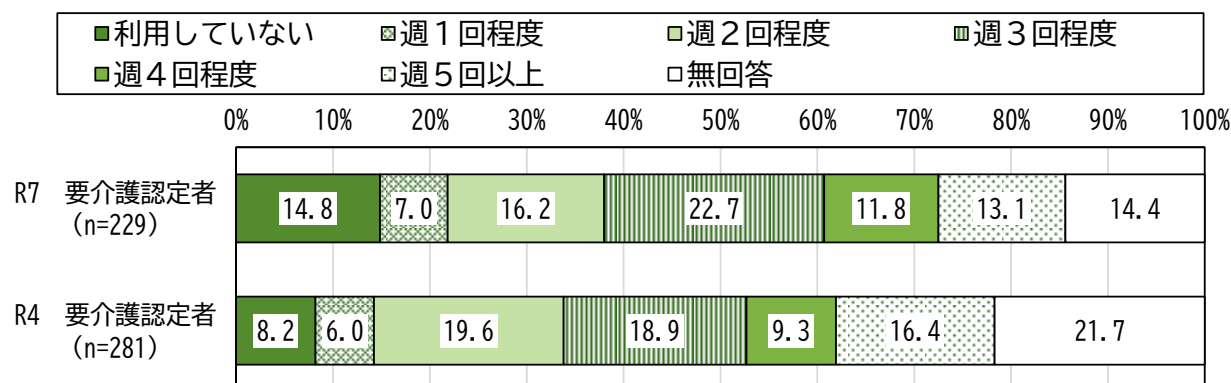
令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



E. 通所介護（デイサービス）

「週3回程度」が22.7%と最も高く、次いで「週2回程度」が16.2%、「利用していない」が14.8%となっています。

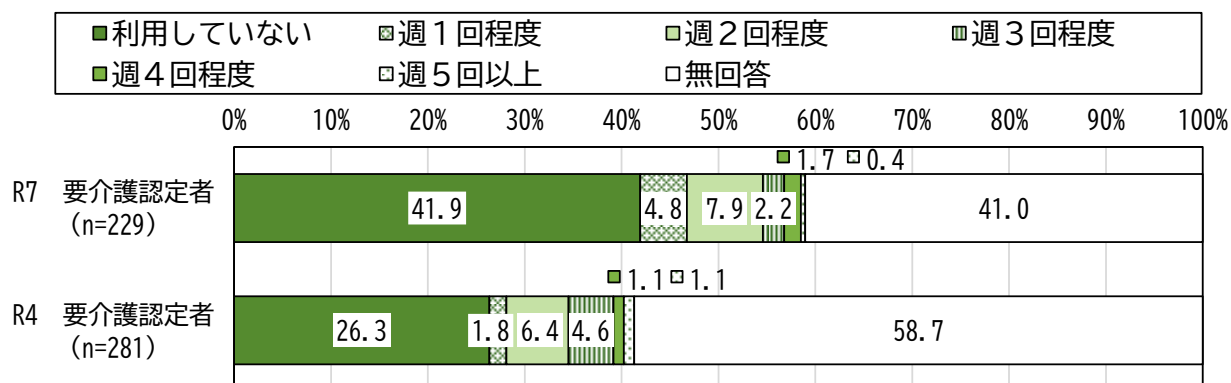
令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



F. 通所リハビリテーション（デイケア）

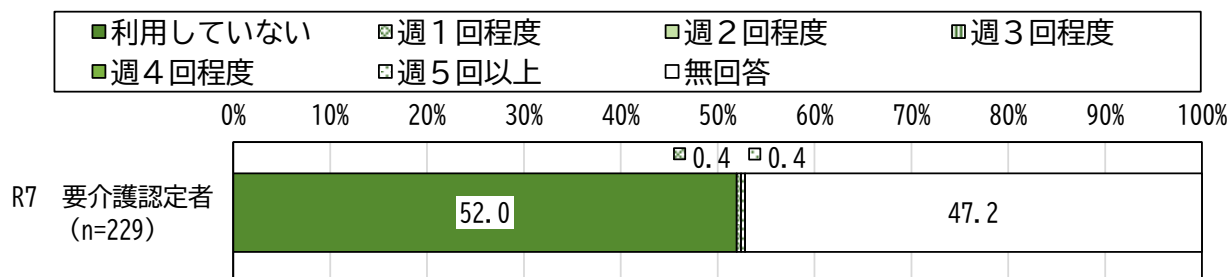
「利用していない」が41.9%と最も高く、次いで「週2回程度」が7.9%、「週1回程度」が4.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



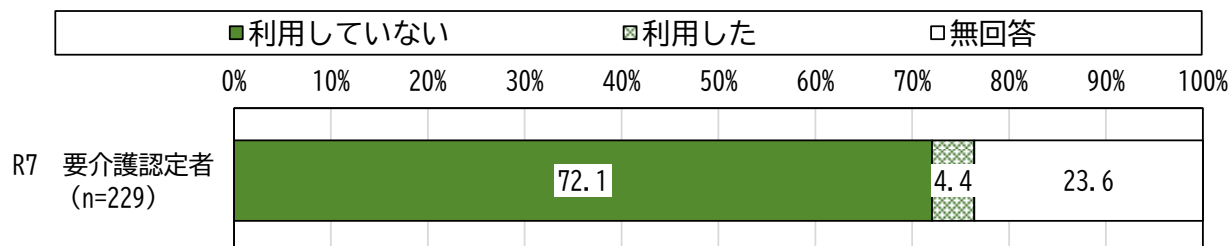
G. 夜間対応型訪問介護

「利用していない」が52.0%と最も高く、次いで「週1回程度」と「週5回以上」がともに0.4%となっています。



H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

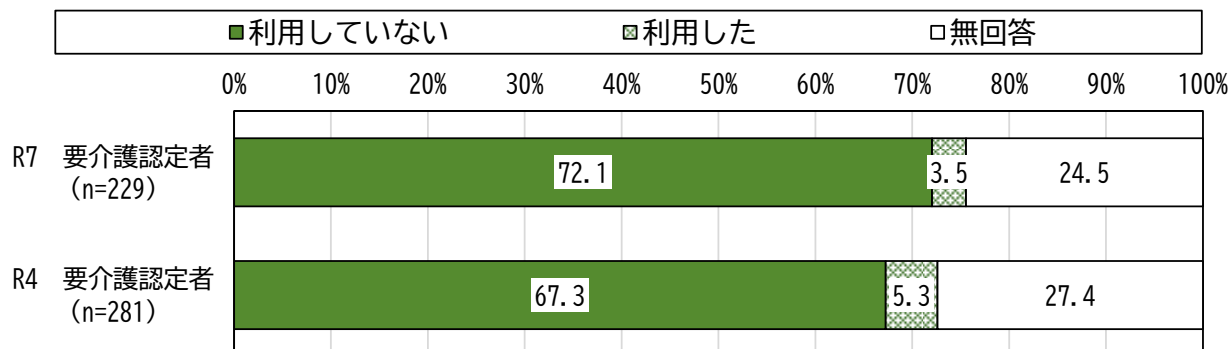
「利用していない」が72.1%、「利用した」が4.4%となっています。



I. 小規模多機能型居宅介護

「利用していない」が72.1%、「利用した」が3.5%となっています。

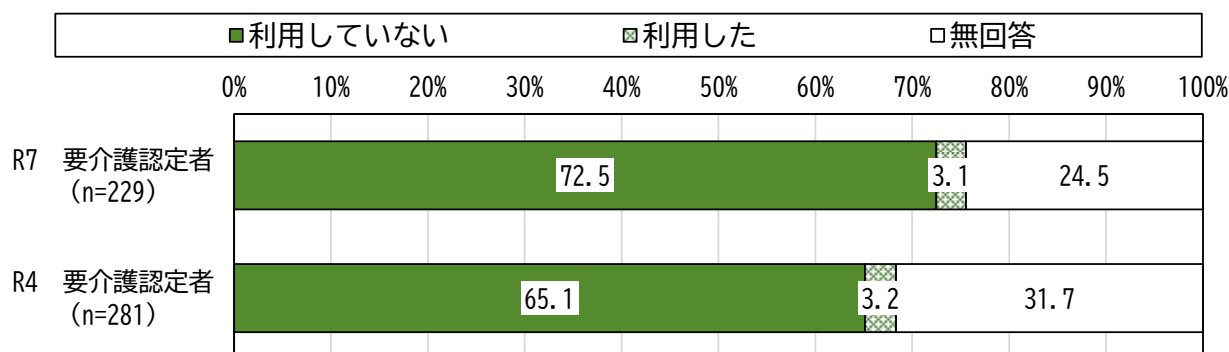
令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



J. 看護小規模多機能型居宅介護

「利用していない」が72.5%、「利用した」が3.1%となっています。

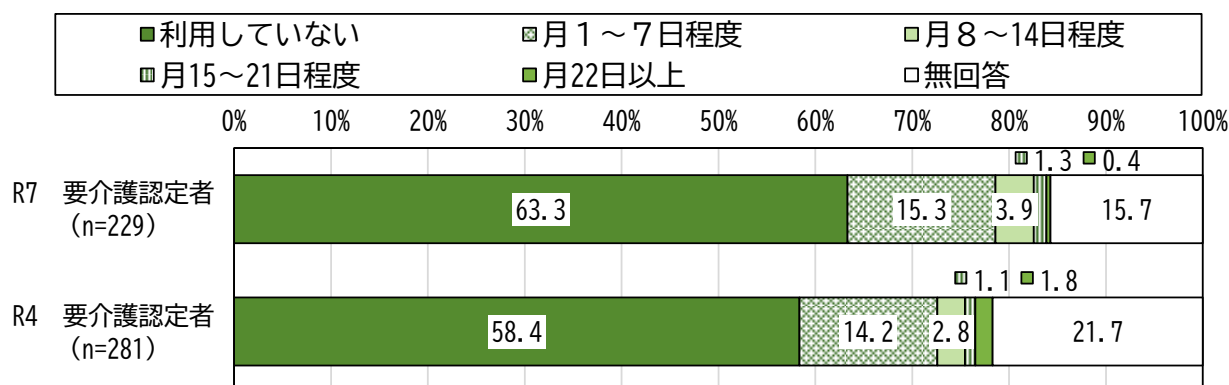
令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



K. ショートステイ

「利用していない」が63.3%と最も高く、次いで「月1～7日程度」が15.3%、「月8～14日程度」が3.9%となっています。

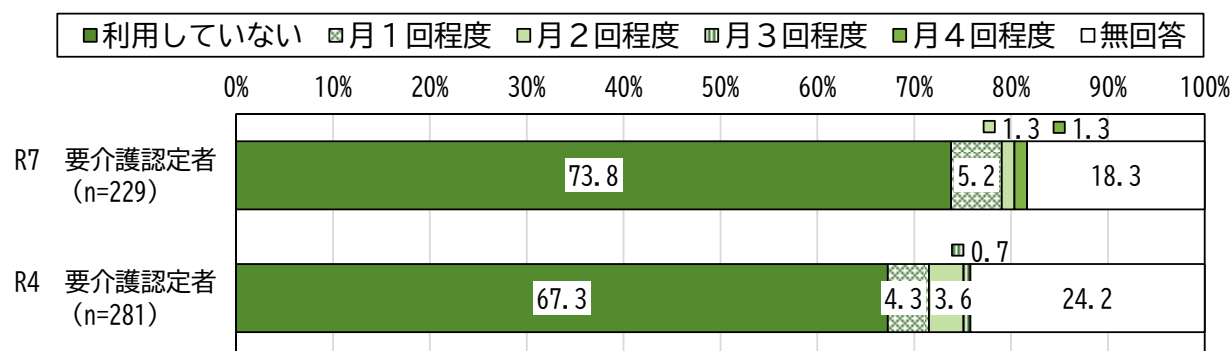
令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。



L. 居宅療養管理指導

「利用していない」が73.8%と最も高く、次いで「月1回程度」が5.2%、「月2回程度」と「月4回程度」がともに1.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用していない」が増加しています。

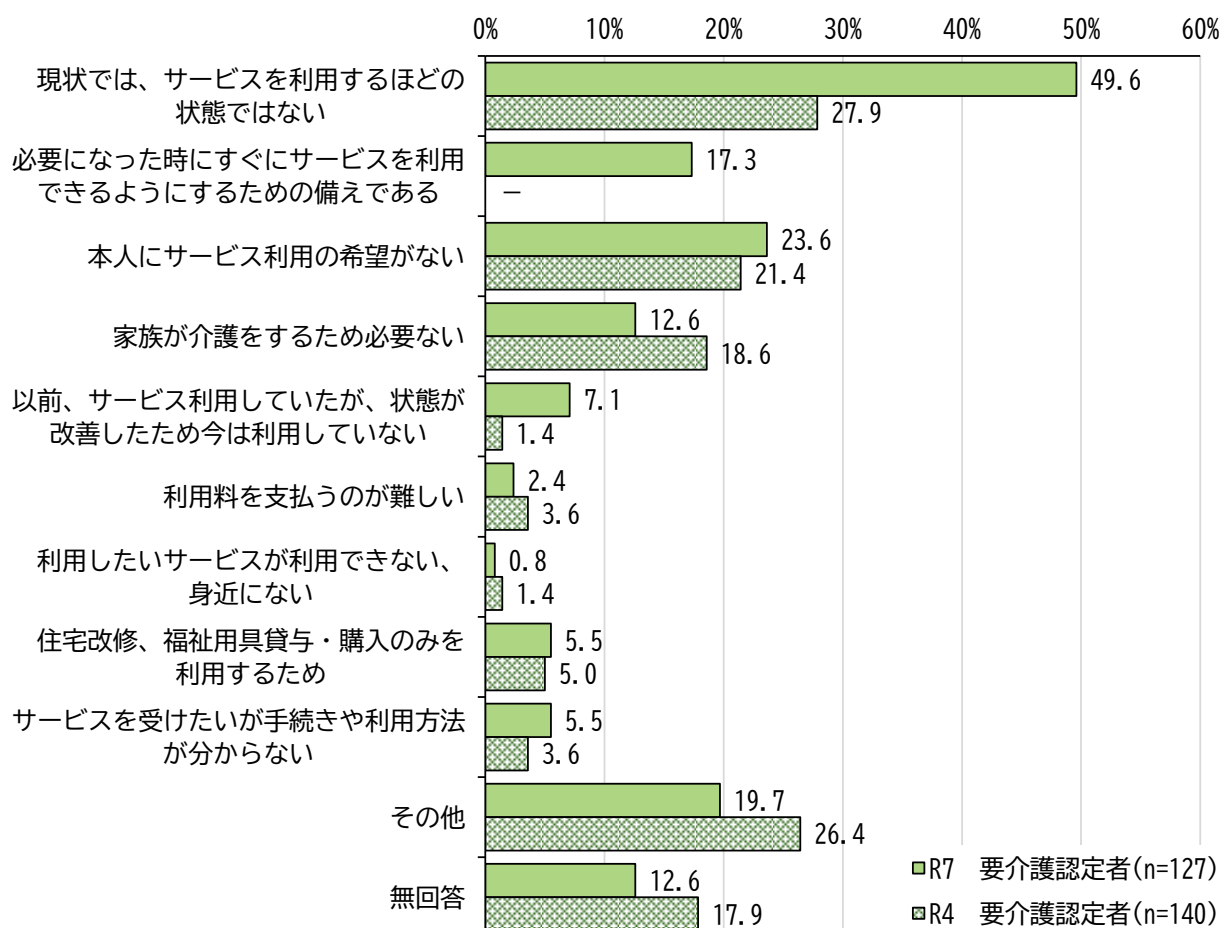


【問8で「利用していない」と回答された方にお伺いします。】

問10 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(☑は3つまで)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が49.6%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が23.6%、「必要になった時にすぐにサービスを利用できるようにするための備えである」が17.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が増加しています。



【要介護度別】

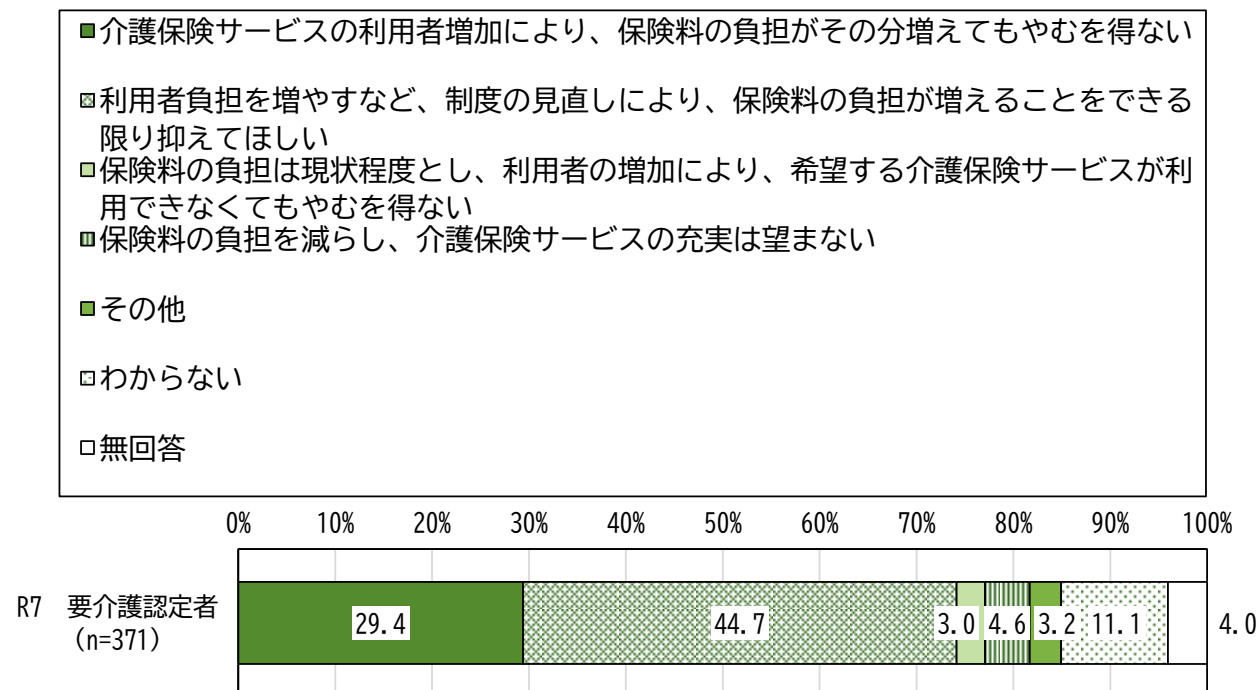
要介護度別でみると、他に比べ、要支援2で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、「本人にサービス利用の希望がない」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	備えを利用できるようにするためにサービスの必要になった時にすぐにサービスを利用できる	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、サービス利用していたが、状態が改善したため今は利用していない	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他	無回答
全体		127	49.6	17.3	23.6	12.6	7.1	2.4	0.8	5.5	5.5	19.7	12.6
要介護度別	要支援1	10	60.0	40.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0
	要支援2	6	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7
	要介護1	42	47.6	26.2	28.6	11.9	2.4	4.8	0.0	7.1	4.8	11.9	11.9
	要介護2	17	35.3	5.9	23.5	17.6	11.8	5.9	0.0	11.8	5.9	29.4	17.6
	要介護3	15	33.3	0.0	20.0	20.0	13.3	0.0	0.0	13.3	0.0	26.7	13.3
	要介護4	8	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	75.0	25.0
	要介護5	4	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
	わからない	17	76.5	17.6	23.5	5.9	11.8	0.0	5.9	0.0	11.8	17.6	5.9

問 11 介護保険サービスの利用者増加により、保険料の負担が増えることについてどう思いますか。(☑は1つ)

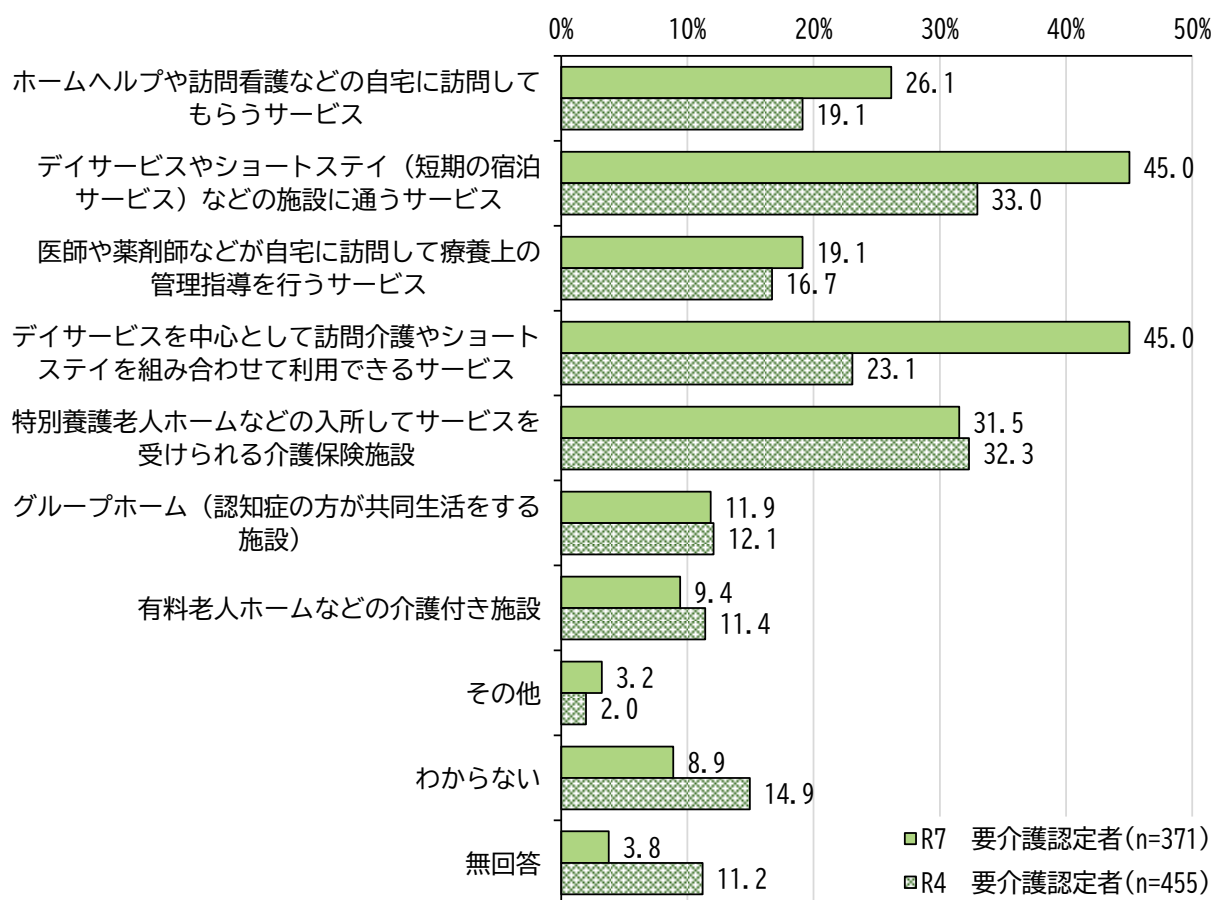
「利用者負担を増やすなど、制度の見直しにより、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい」が44.7%と最も高く、次いで「介護保険サービスの利用者増加により、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない」が29.4%、「わからない」が11.1%となっています。



問 12 あなたは、どのような介護保険サービスの充実を望みますか。(☑は3つまで)

「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」と「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせ利用できるサービス」がともに 45.0%と最も高く、次いで「特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設」が 31.5%、「ホームヘルプや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」が 26.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」、「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせ利用できるサービス」が増加しています。



【要介護度別、居住地区別】

要介護度別でみると、他に比べ、要介護１・２で「デイサービスやショートステイなどの施設に通うサービス」が、要介護４・５で「ホームヘルプや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」が高くなっています。

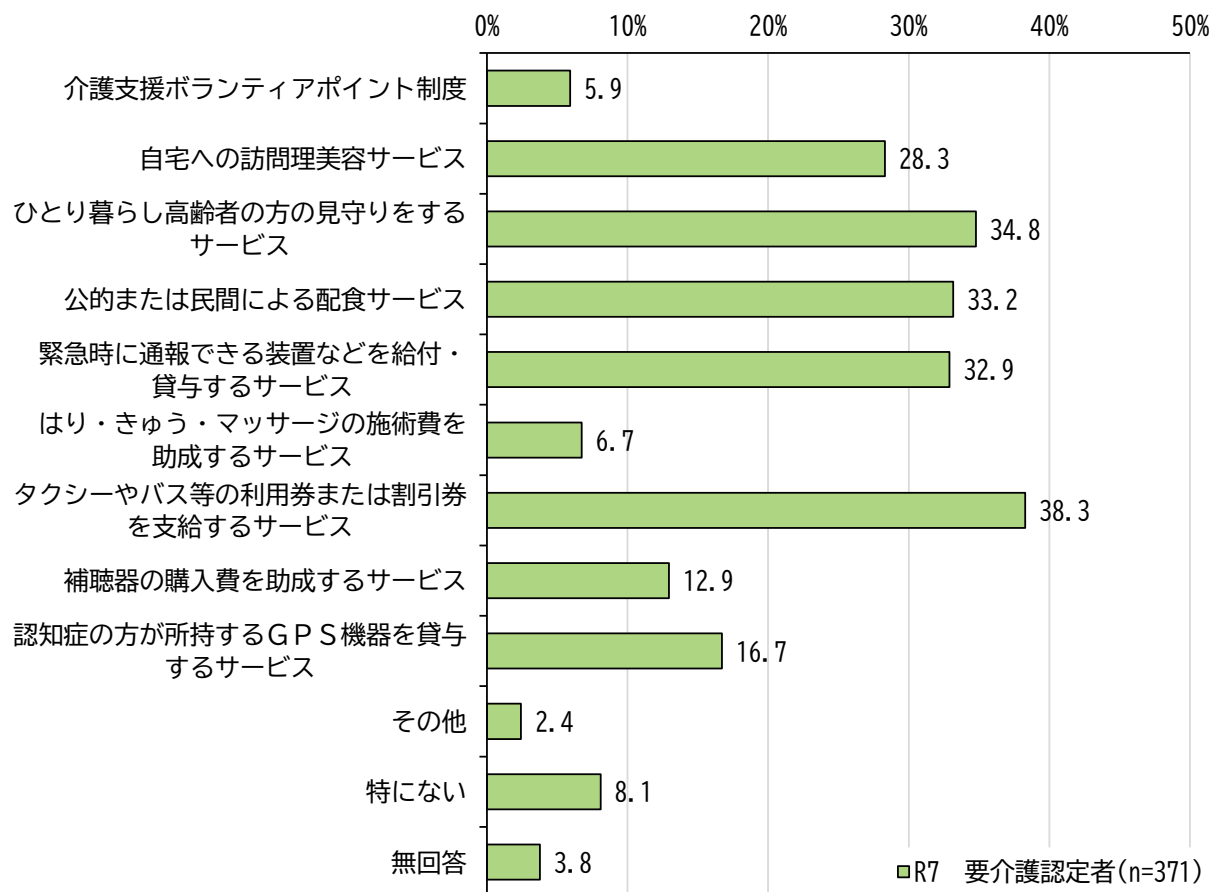
居住地区別でみると、他に比べ、袋井中部地域で「デイサービスやショートステイなどの施設に通うサービス」、「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせる利用できるサービス」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	ホームヘルプや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービスの割合	デイサービスやショートステイなどの施設に通うサービスの割合	医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービスの割合	デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせる利用できるサービスの割合	特別養護老人ホームなどの入所施設でサービスを受ける介護保険施設サービスの割合	グループホーム	有料老人ホームなどの介護付き施設	その他	わからない	無回答
全体		371	26.1	45.0	19.1	45.0	31.5	11.9	9.4	3.2	8.9	3.8
要介護度別	要支援１	21	28.6	33.3	19.0	28.6	19.0	9.5	14.3	14.3	9.5	0.0
	要支援２	14	28.6	35.7	21.4	21.4	35.7	7.1	0.0	0.0	21.4	7.1
	要介護１	145	24.1	49.7	17.2	49.0	30.3	14.5	8.3	2.8	7.6	2.8
	要介護２	69	18.8	59.4	14.5	52.2	43.5	11.6	11.6	1.4	5.8	4.3
	要介護３	38	23.7	28.9	31.6	47.4	34.2	15.8	5.3	2.6	13.2	2.6
	要介護４	36	38.9	41.7	16.7	47.2	30.6	8.3	13.9	5.6	0.0	8.3
	要介護５	15	40.0	40.0	13.3	46.7	33.3	0.0	6.7	0.0	6.7	6.7
	わからない	18	27.8	27.8	16.7	33.3	27.8	16.7	11.1	5.6	22.2	0.0
居住地区別	袋井北部地域	94	29.8	42.6	18.1	42.6	33.0	8.5	11.7	4.3	6.4	2.1
	袋井中部地域	88	25.0	51.1	19.3	53.4	29.5	9.1	8.0	1.1	9.1	3.4
	袋井南部地域	82	22.0	41.5	19.5	41.5	28.0	17.1	13.4	2.4	14.6	4.9
	浅羽・笠原地域	107	27.1	44.9	19.6	43.0	34.6	13.1	5.6	4.7	6.5	4.7

問 13 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービスなどについて、あなたは、どのようなサービスの充実を望みますか。(☑は3つまで)

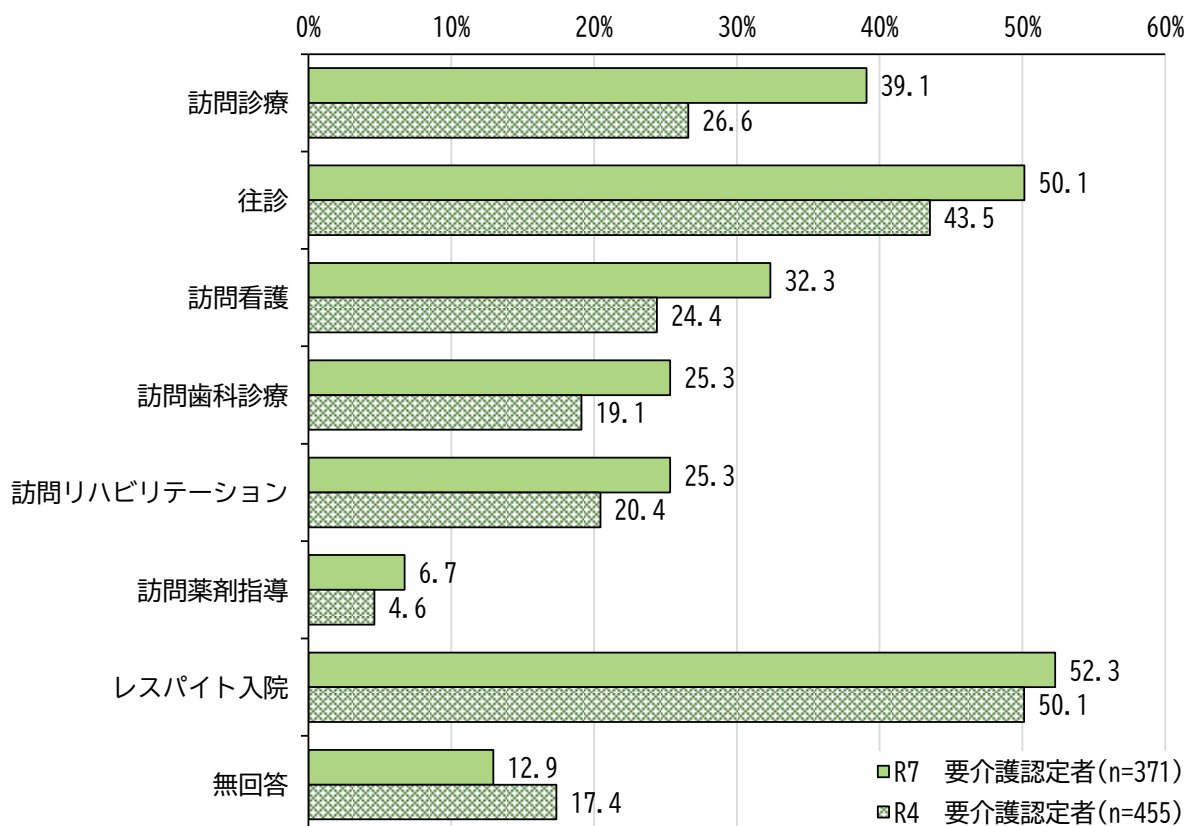
「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が38.3%と最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者の方の見守りをするサービス」が34.8%、「公的または民間による配食サービス」が33.2%となっています。



問 14 あなたは、どのような医療サービスの充実を望みますか。(☑はいくつでも)

「レスパイト入院（介護者の事情により在宅での介助が一時的に困難になった場合に、短期入院できる仕組み）」が 52.3%と最も高く、次いで「往診（急変時などに、患者や家族の要望で、不定期に自宅に訪問して診療する）」が 50.1%、「訪問診療（医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療する）」が 39.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、すべての項目が増加しています。



【要介護度別、居住地区別】

要介護度別でみると、他に比べ、要介護2で「レスパイト入院」が、要介護4で「訪問看護」が、要介護5で「訪問診療」が高くなっています。

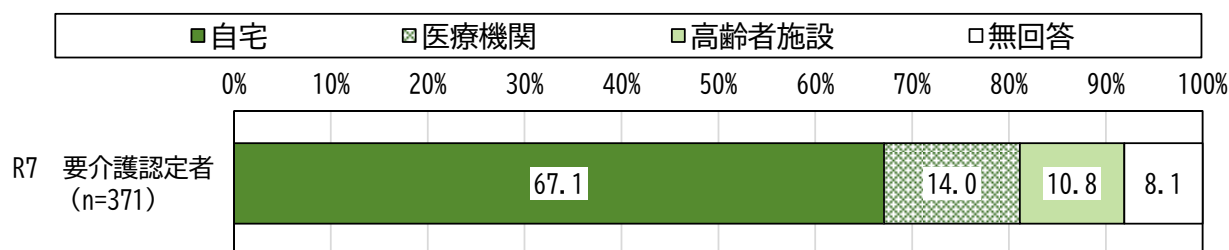
居住地区別でみると、他に比べ、浅羽・笠原地域で「往診」が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	訪問診療	往診	訪問看護	訪問歯科診療	訪問リハビリ テーション	訪問薬剤指導	レスパイト入院	無回答
全体	371	39.1	50.1	32.3	25.3	25.3	6.7	52.3	12.9
要介護度別	要支援1	21	42.9	28.6	33.3	28.6	33.3	4.8	23.8
	要支援2	14	35.7	50.0	35.7	21.4	14.3	7.1	21.4
	要介護1	145	33.1	53.1	31.0	19.3	22.1	7.6	15.2
	要介護2	69	36.2	50.7	31.9	33.3	26.1	4.3	66.7
	要介護3	38	52.6	57.9	34.2	28.9	34.2	2.6	60.5
	要介護4	36	50.0	55.6	50.0	33.3	33.3	13.9	55.6
	要介護5	15	60.0	33.3	40.0	40.0	40.0	0.0	33.3
	わからない	18	33.3	44.4	0.0	11.1	22.2	11.1	44.4
居住地区別	袋井北部地域	94	43.6	48.9	30.9	24.5	25.5	7.4	57.4
	袋井中部地域	88	37.5	44.3	36.4	25.0	26.1	6.8	53.4
	袋井南部地域	82	35.4	48.8	30.5	24.4	22.0	4.9	41.5
	浅羽・笠原地域	107	39.3	57.0	31.8	27.1	27.1	7.5	55.1

問15 人生の最期はどこで過ごしたいですか。(☑は1つ)

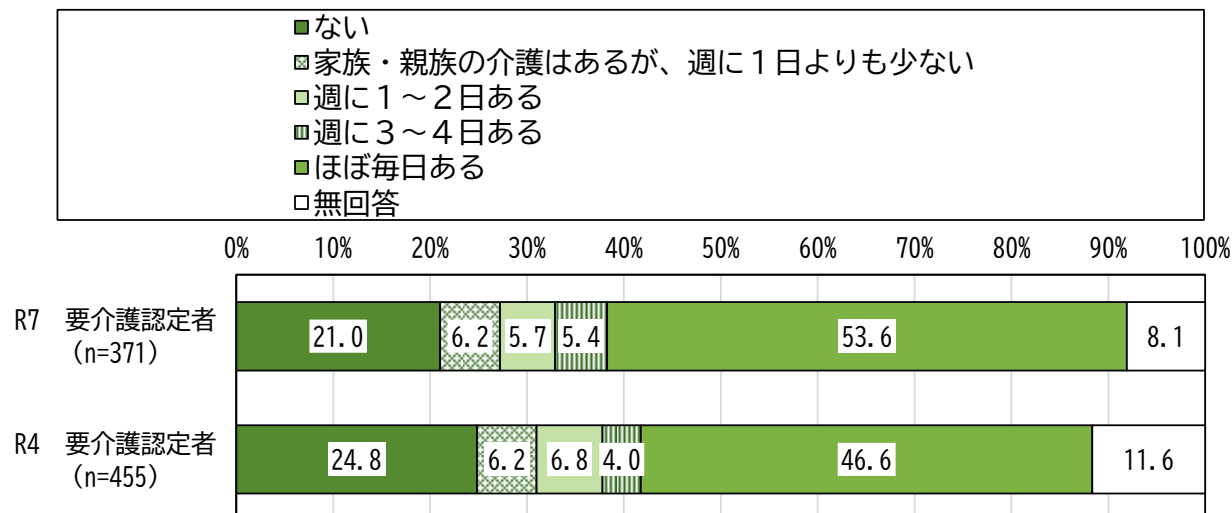
「自宅」が67.1%と最も高く、次いで「医療機関」が14.0%、「高齢者施設」が10.8%となっています。



問 16 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (☑は1つ)

「ほぼ毎日ある」が53.6%と最も高く、次いで「ない」が21.0%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」が6.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「ほぼ毎日ある」が増加しています。



【要介護度別】

要介護度別でみると、他に比べ、要介護1で「ほぼ毎日ある」が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	ない	家族・親族の介護はあるが、週に１日よりも少ない	週に１～２日ある	週に３～４日ある	ほぼ毎日ある	無回答
全体		371	21.0	6.2	5.7	5.4	53.6	8.1
要介護度別	要支援１	21	28.6	0.0	19.0	0.0	42.9	9.5
	要支援２	14	35.7	0.0	14.3	7.1	35.7	7.1
	要介護１	145	13.8	6.9	4.8	5.5	62.8	6.2
	要介護２	69	13.0	7.2	1.4	7.2	59.4	11.6
	要介護３	38	15.8	7.9	13.2	10.5	52.6	0.0
	要介護４	36	27.8	5.6	0.0	2.8	55.6	8.3
	要介護５	15	20.0	13.3	0.0	0.0	53.3	13.3
	わからない	18	66.7	5.6	0.0	0.0	16.7	11.1

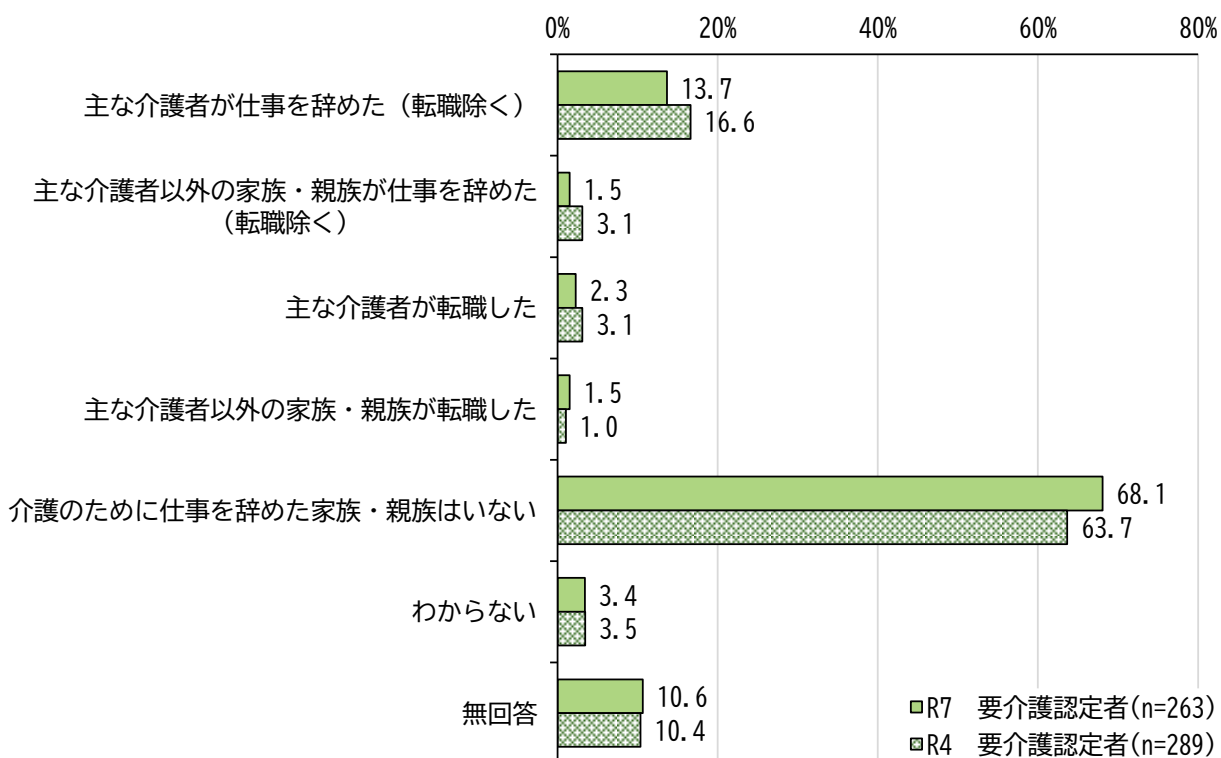
- 問 16 で「家族・親族の介護はあるが、週に 1 日より少ない」、「週に 1～2 日ある」、「週に 3～4 日ある」、「ほぼ毎日ある」を選択された場合は、「主な介護者」の方に「2【B票】 問 1」からご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

2 【B票】主な介護者の方について

問 1 ご家族やご親族の中で、ご本人様（調査対象者様）の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。
（☑はいくつでも）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 68.1%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 13.7%、「わからない」が 3.4%となっています。

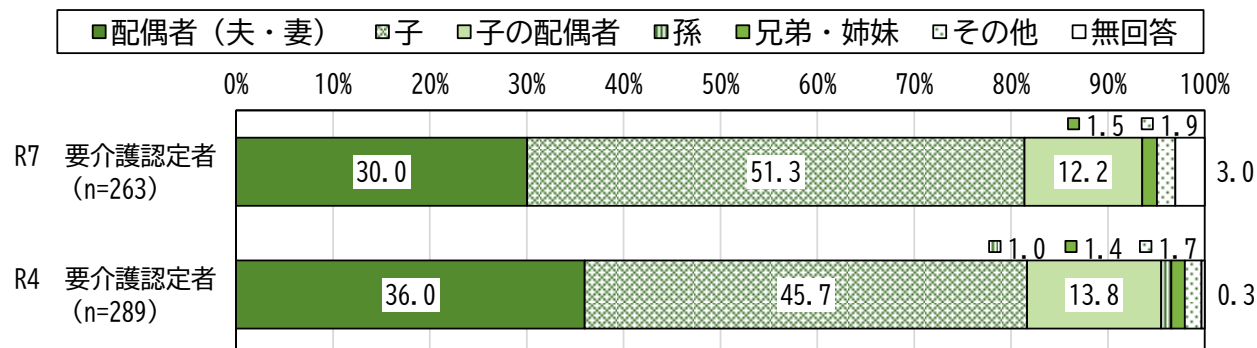
令和 4 年度調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が増加しています。



問2 主な介護者の方は、どなたですか。(☑は1つ)

「子」が51.3%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」が30.0%、「子の配偶者」が12.2%となっています。

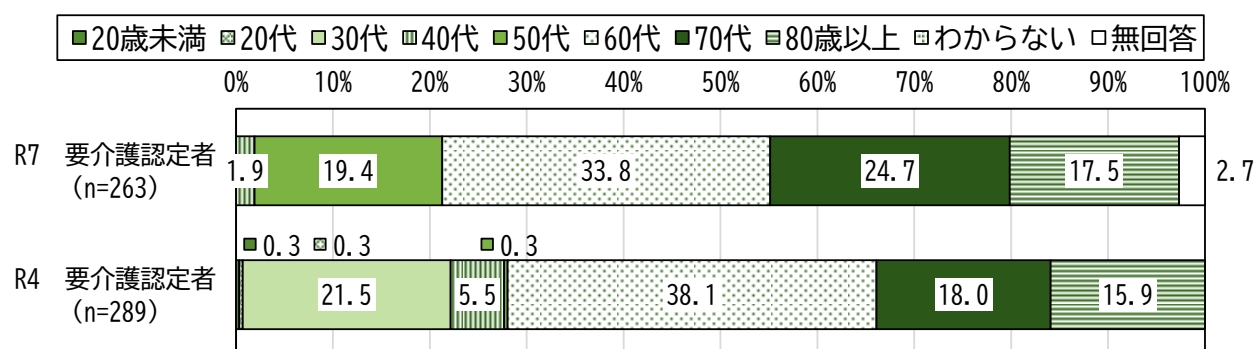
令和4年度調査と比較すると、「子」が増加しています。



問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(☑は1つ)

「60代」が33.8%と最も高く、次いで「70代」が24.7%、「50代」が19.4%となっています。

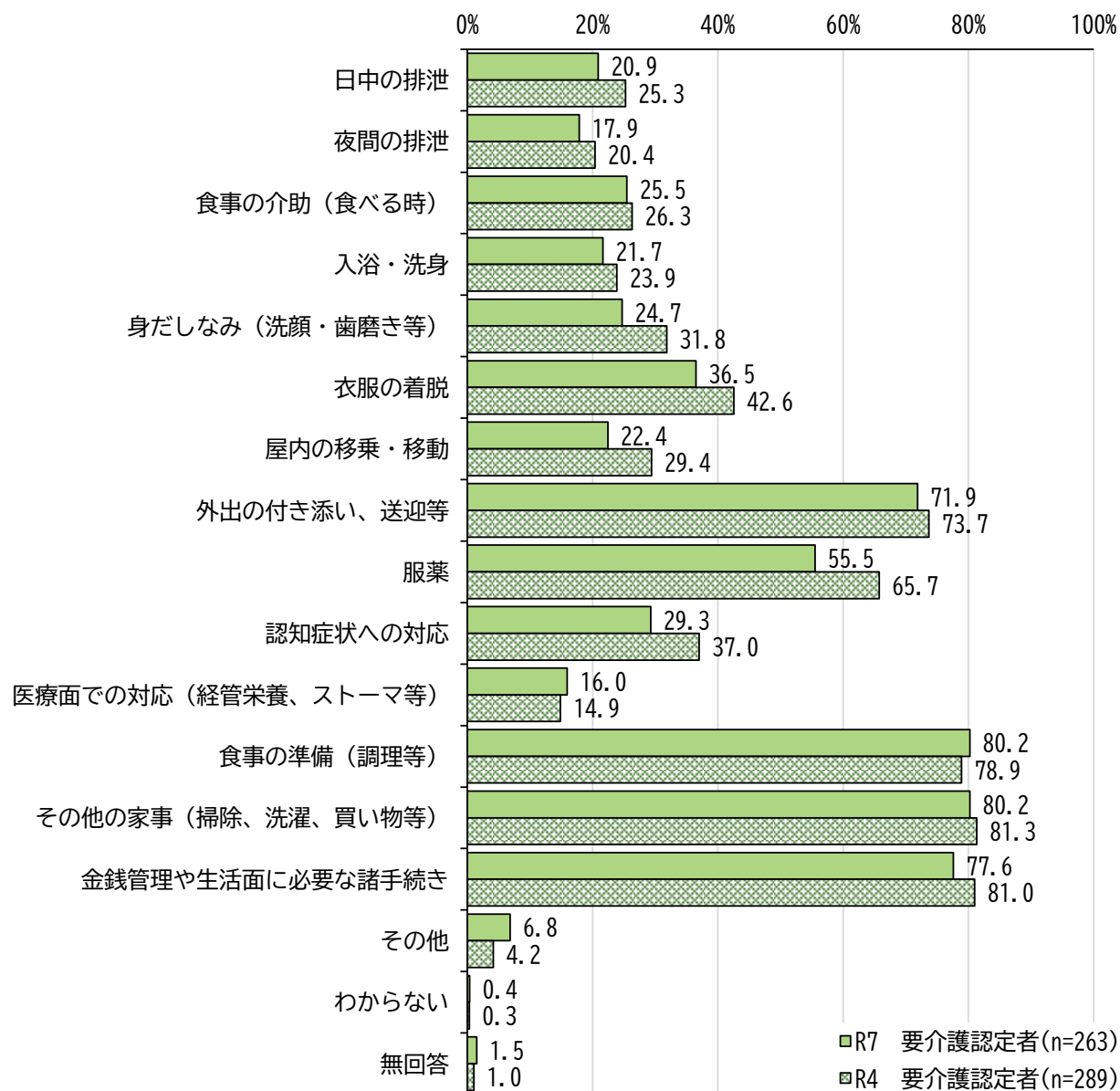
令和4年度調査と比較すると、「50代」、「70代」が増加しています。



問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(☑はいくつでも)

「食事の準備（調理等）」と「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」がともに80.2%と最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が77.6%、「外出の付き添い、送迎等」が71.9%となっています。

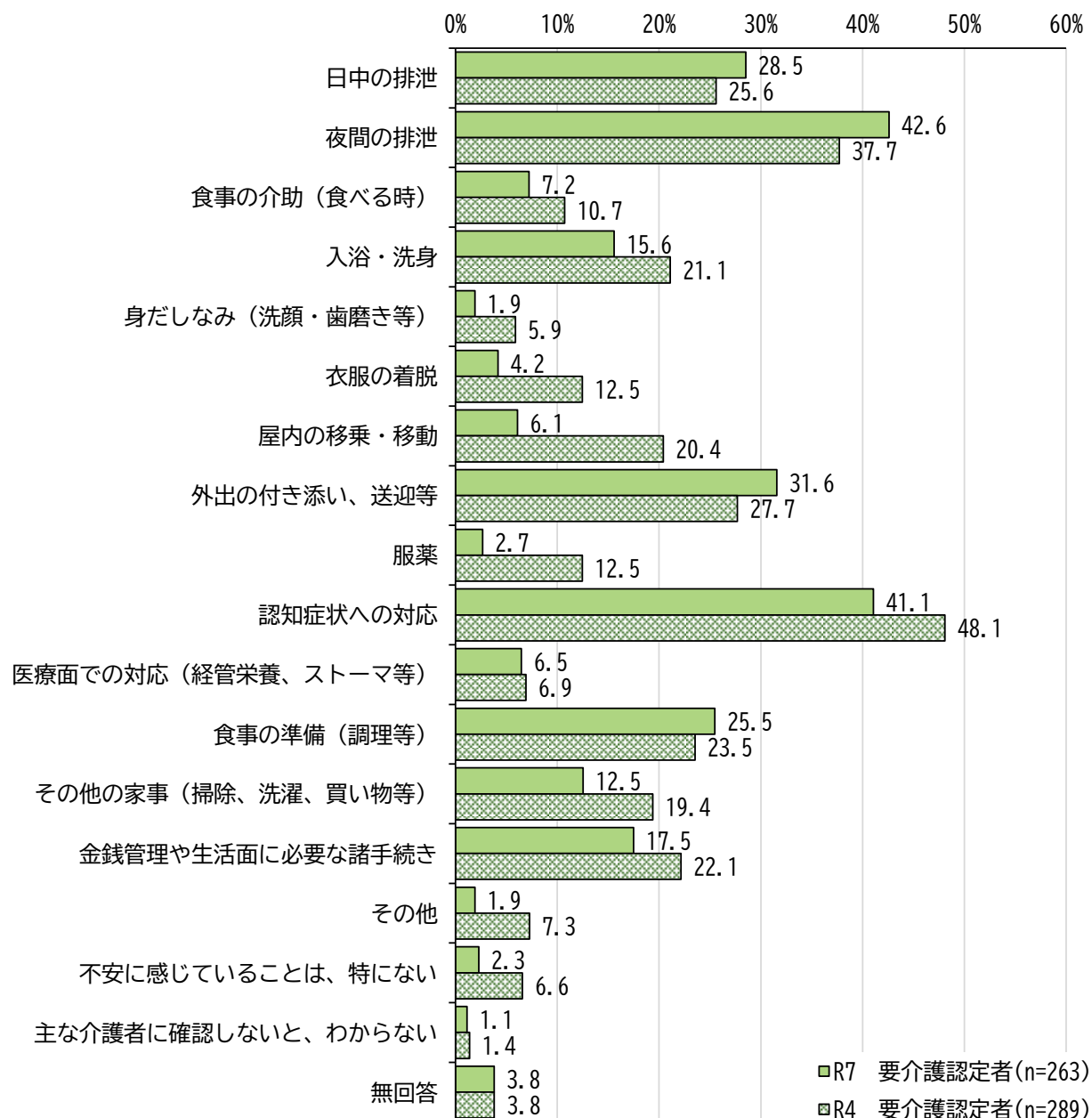
令和4年度調査と比較すると、「服薬」、「認知症状への対応」が減少しています。



問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）（☑は3つまで）

「夜間の排泄」が42.6%と最も高く、次いで「認知症状への対応」が41.1%、「外出の付き添い、送迎等」が31.6%となっています。

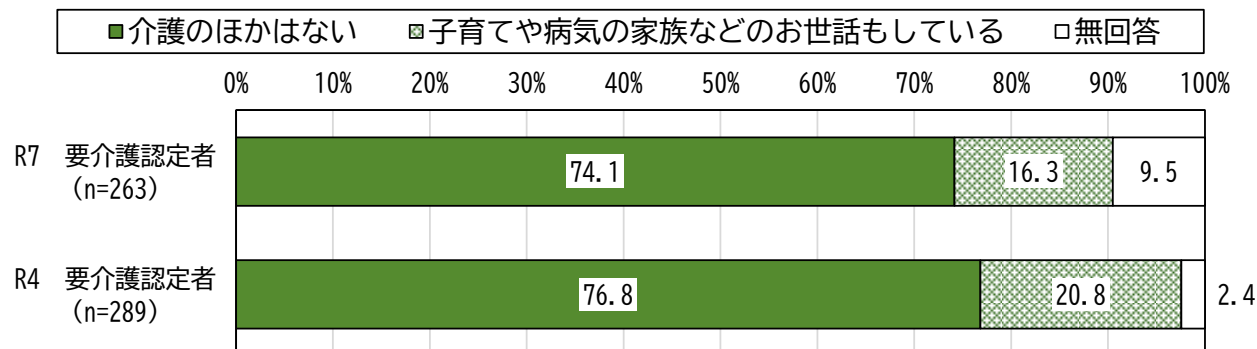
令和4年度調査と比較すると、「夜間の排泄」、「外出の付き添い、送迎等」が増加しています。



問6 主な介護者の方は、介護のほかに子育てや病気の家族などのお世話（ダブルケア）をしていますか。（☑は1つ）

「介護のほかはない」が74.1%、「子育てや病気の家族などのお世話もしている」が16.3%となっています。

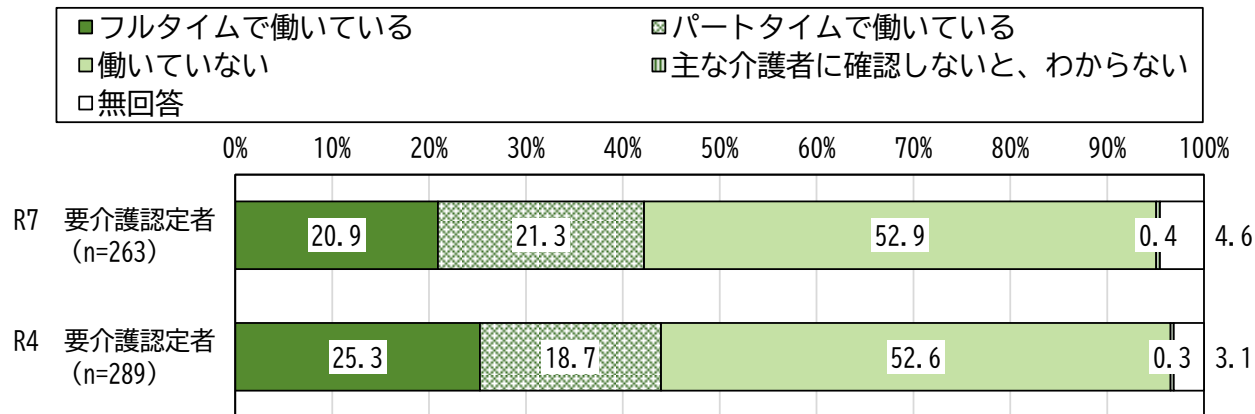
令和4年度調査と比較すると、どちらの項目も減少しています。



問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（☑は1つ）

「働いていない」が52.9%と最も高く、次いで「パートタイムで働いている」が21.3%、「フルタイムで働いている」が20.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「パートタイムで働いている」が増加しています。

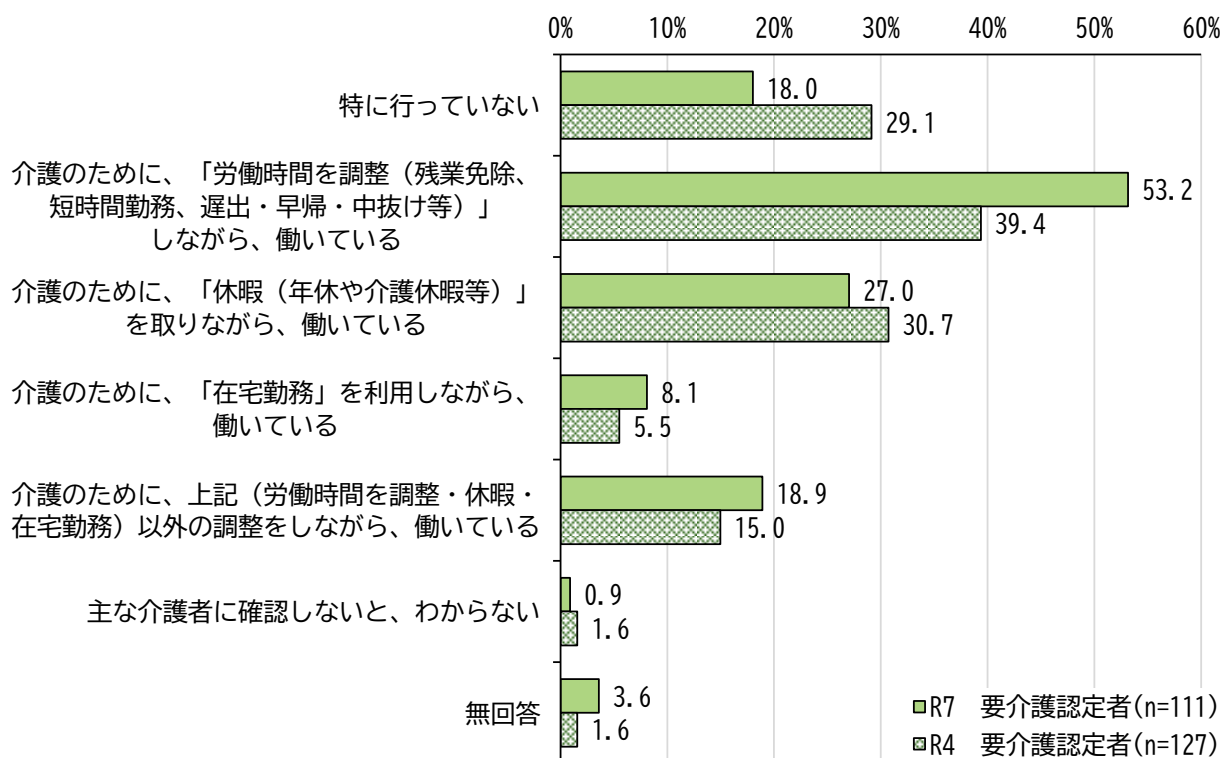


【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答された方にお伺いします。】

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
(☑はいくつでも)

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が53.2%と最も高く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が27.0%、「介護のために、上記（労働時間を調整・休暇・在宅勤務）以外の調整をしながら、働いている」が18.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が増加しています。

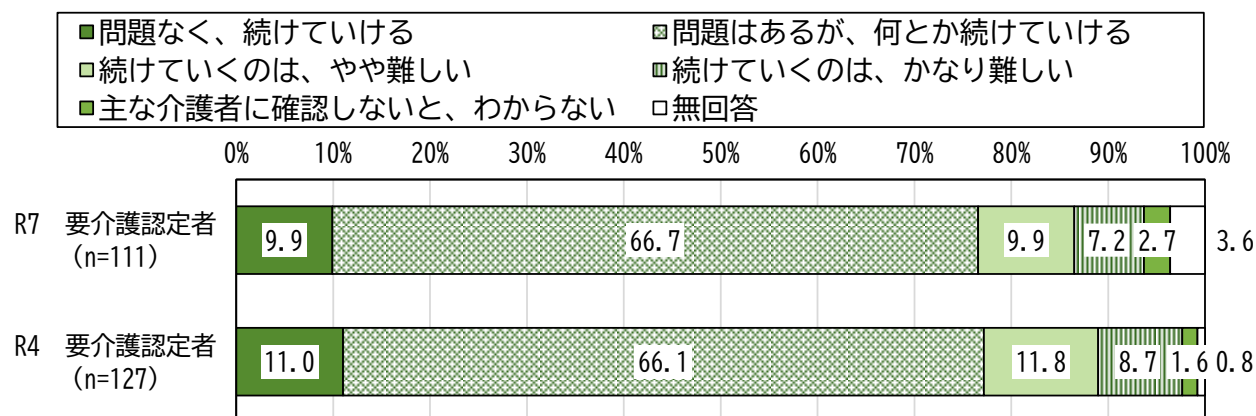


【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答された方にお伺いします。】

問9 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(☑は1つ)

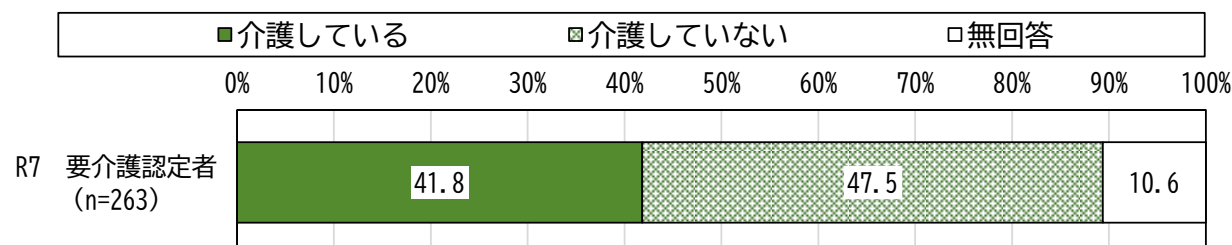
「問題はあるが、何とか続けていける」が66.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」と「続けていくのは、やや難しい」がともに9.9%、「続けていくのは、かなり難しい」が7.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問10 主な介護者の方は、認知症の方を介護していますか。(☑は1つ)

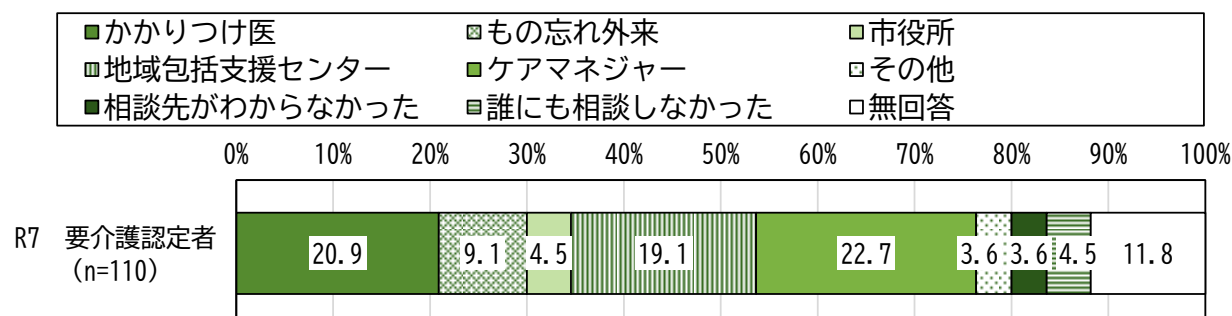
「介護している」が41.8%、「介護していない」が47.5%となっています。



【問10で「介護している」と回答された方にお伺いします。】

問11 認知症の疑いを感じたとき、家族・親戚・知人以外で最初にどこに（だれに）相談（受診）しましたか。(☑は1つ)

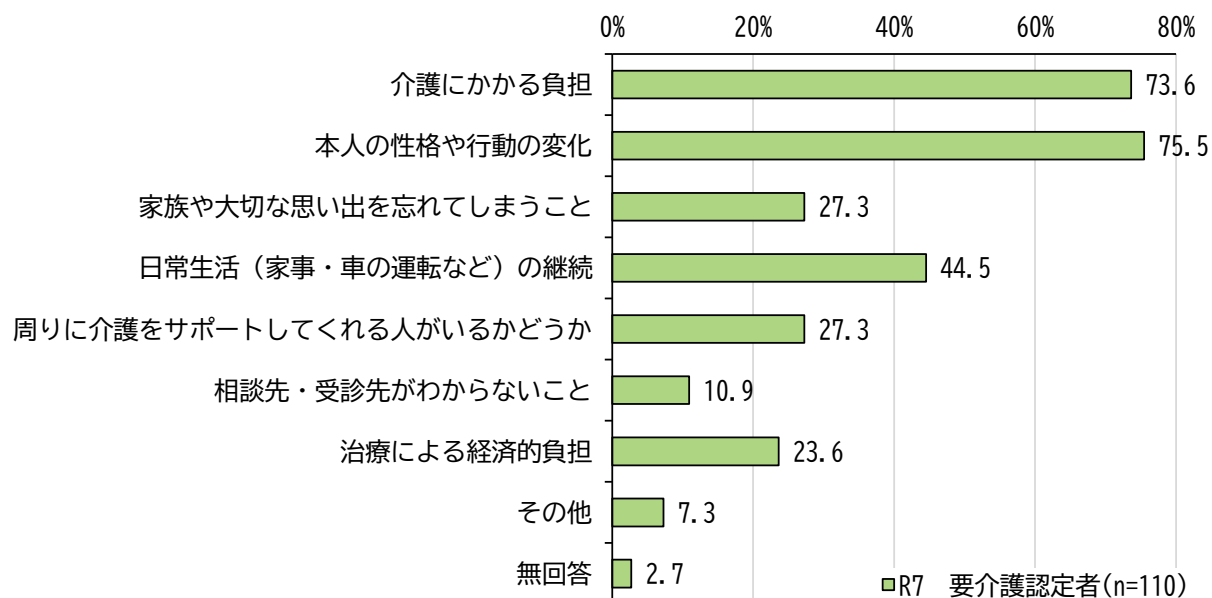
「ケアマネジャー」が22.7%と最も高く、次いで「かかりつけ医」が20.9%、「地域包括支援センター」が19.1%となっています。



【問 10 で「介護している」と回答された方にお伺いします。】

問 12 ご本人様（調査対象者様）が認知症になって主な介護者の方はどのようなことに不安を感じましたか。（☑はいくつでも）

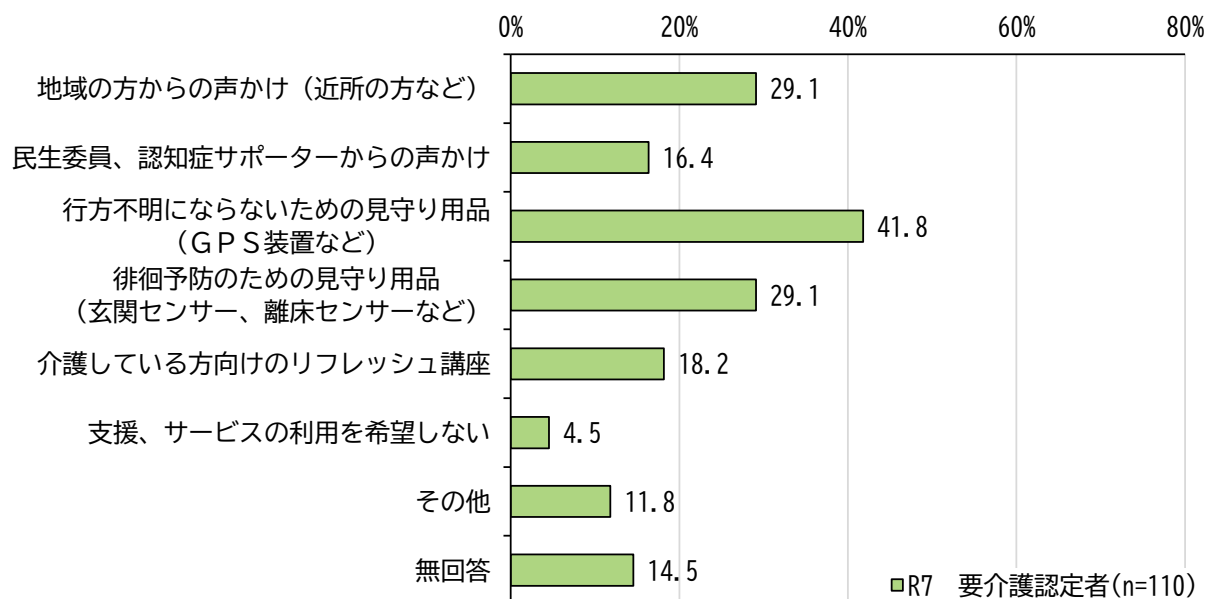
「本人の性格や行動の変化」が 75.5%と最も高く、次いで「介護にかかる負担」が 73.6%、「日常生活（家事・車の運転など）の継続」が 44.5%となっています。



【問 10 で「介護している」と回答された方にお伺いします。】

問 13 介護保険サービス以外でどのような支援、サービスを希望されますか。（☑はいくつでも）

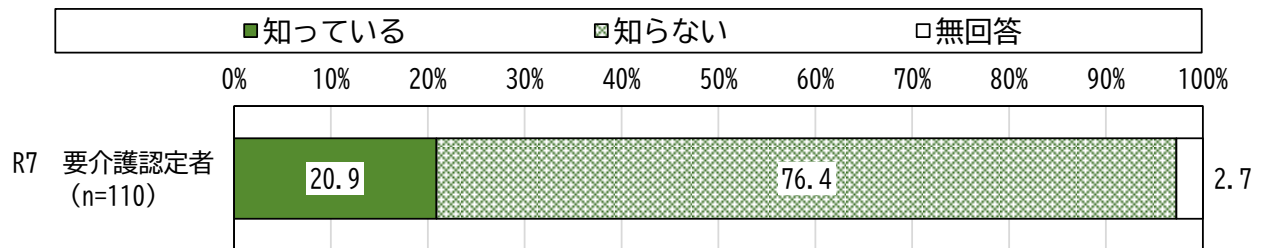
「行方不明にならないための見守り用品（GPS装置など）」が 41.8%と最も高く、次いで「地域の方からの声かけ（近所の方など）」と「徘徊予防のための見守り用品（玄関センサー、離床センサーなど）」がともに 29.1%、「介護している方向けのリフレッシュ講座」が 18.2%となっています。



【問 10 で「介護している」と回答された方にお伺いします。】

問 14 認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加できる交流の場「オレンジカフェ」が市内にあることを知っていますか。(☑は1つ)

「知っている」が20.9%、「知らない」が76.4%となっています。



V 今後に向けての課題

V 今後に向けての課題

アンケート調査結果を受け、今後に向けての課題をまとめました。

1 家族構成とライフスタイルの課題

(1) 高齢者のみ世帯の増加と将来的な介護について

『家族構成 (P9)』について、「1人暮らし」と「夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)」を合わせた高齢者のみの世帯は、一般高齢者で 49.5%、事業対象者、要支援認定者で 48.1%となっており、特に一般高齢者については令和4年度調査と比較して高齢者2人暮らしの世帯が増加しています。

これらの世帯は将来的に老老介護となる可能性が高いと考えられますが、『自身に介護が必要になった場合に介護を受けたい場所 (P86)』では「なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい (11.7%)」と「介護保険サービスを使いながら自宅で介護してほしい (47.7%)」を合わせた“自宅で介護してほしい”が一般高齢者では約 60%ですが、「老人ホームなどの施設に入所したい (25.3%)」が前回調査と比較し増加 (10.3 ポイント) しており、施設入所の希望も増加しています。

高齢者のみの世帯が増加傾向にある中で、在宅での介護が可能な介護保険サービスや高齢者福祉サービス、気軽に相談できる場に加え、介護者の負担が軽減される老人ホーム等の施設入所など、介護者に寄り添いつつ、高齢者本人や家族が選択できる情報提供が必要です。

(2) 外出支援について

『外出の用件 (P23)』は、一般高齢者、事業対象者及び要支援認定者ともに、「医療機関への通院」「買い物」が 60%超と最も多くなっています。

『外出する際の移動手段 (P25)』については、一般高齢者では「自動車 (自分で運転)」、事業対象者、要支援認定者では「自動車 (人に乗せてもらう)」が多く回答されています。

今後、高齢に伴う運転免許証の返納後の生活や、公共交通などについて、市民が生活を維持することができるように移動販売や移動支援などの仕組みにも配慮する必要があります。

(3) 介護予防・健康づくりについて

『介護・介助が必要となった主な原因 (P12)』としては、一般高齢者では、「骨折・転倒」が 21.9%と最も高く、事業対象者、要支援認定者では、「高齢による衰弱」が 21.5%と最も高くなっています。

また、生活習慣病をみると「脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)」が一般高齢者で 13.7%、事業対象者、要支援認定者で 15.7%、「心臓病」が一般高齢者で 13.7%、事業対象者、要支援認定者で 14.9%、「がん (悪性新生物)」が一般高齢者で 15.1%、事業対象者、要支援認定者で 5.0%となっており、令和4年度よりも各々が上昇していますが、「糖尿病」は一般高齢者で 9.6%、事業対象者、要支援認定者で 13.2%と、令和4年度 (7.9%と 15.7%) と同程度の割合です。

『現在治療中、または後遺症のある病気（P80）』については、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者のいずれも「高血圧」が最も高くなっており、次いで「目の病気」となっています。この他に一般高齢者では「高脂血症」、「糖尿病」、事業対象者、要支援認定者では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」、「糖尿病」、「心臓病」が高くなっています。

また、『健康のために心がけていること（P76）』として、「健康診断などを定期的に受ける」が一般高齢者では36.7%、事業対象者、要支援認定者では25.9%と3～4人に1人という現状であり、介護保険、医療、健診も利用していない健康状態が把握できていない方も一定数いることから、健康状態不明の高齢者への対策と後期高齢者健診の対象者を拡大した後期高齢者健診の受診率の向上対策が必要です。

加えて、生活習慣病予防が介護予防にも影響が大きいと考えられることから、「高血圧」「糖尿病」等の高齢者への対策として、壮年期から生活習慣病予防や介護予防として保健事業や介護予防事業を一体的に推進していくことが必要です。

（４）認知症について

『家族又は本人に認知症の症状がある人がいますか（P82）』については、一般高齢者で8.5%、事業対象者、要支援認定者で19.9%となっています。『認知症という病気について、どの程度知っていますか（P83）』については、一般高齢者で「認知症という言葉ぐらいは知っている」と「全く知らない」を合わせた割合が21.7%、事業対象者、要支援認定者では32.4%となっていて、認知症に対する理解がまだまだ進んでいない状況です。

また、『認知症予防に効果があると考えられるもの（P84）』については、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者ともに約30%が「特になし」と回答されているが、『健康についてどのようなことが知りたいですか（P78）』の質問でも、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者ともに「認知症の予防について」が50%以上と最も高く、認知症に対する関心はあることがうかがえます。

そのため、認知症予防の取り組みについては、市が発行している各種手引きやガイドブックを有効活用しながら周知啓発、広報を進めていくほか、各種介護予防教室提供など、幅広い世代に対して早期介入ができる仕組みが必要です。

加えて、『認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか（P84）』については、「どちらとも言えない」が一般高齢者、事業対象者、要支援認定者ともに約5割であるとともに、『認知症になったときに地域で安心して暮らすために、どのような施策があれば安心ですか（P85）』では、「認知症のことを相談できる窓口体制の充実」や「認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり」が上位にきています。

認知症への理解を進めるための啓発活動や、相談窓口や居場所の周知、住み続けるための認知サポーターの養成や確保などを一層推進する必要があります。

(5) 介護者への支援について

『現在の生活を継続していく（P142）』にあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、「夜間の排泄」が42.6%と最も高く、次いで「認知症状への対応」が41.1%、「外出の付き添い、送迎等」が31.6%となっています。

介護は介護者にとって大きな負担となるため、相談窓口の周知啓発、及び介護施設の充足など介護者の負担軽減につながる取り組みを一層推進していく必要があります。

また、高齢者の主要な困りごとである IADL の低下に対応するため、住民主体の支え合い活動の活性化や新たな取り組みの推進が不可欠であり、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう介護者のリフレッシュを図る短期入所（レスパイト）利用の促進、ヘルパー不足の解消、そして P147 で紹介されるオレンジカフェの普及による介護者の交流の場づくりも併せて進める必要があります。

2 高齢者の生きがいくりの課題

(1) 生活について

『今後、やってみたいと思うものは何ですか（P51）』について、一般高齢者は「特にない」が23.9%、事業対象者、要支援認定者では39.4%であり、令和4年度調査よりもいずれも減少し、改善しています。

そして、『地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（P69）』について、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向のある人”は、一般高齢者では55.6%、事業対象者、要支援認定者では42.1%となり、令和4年度調査よりも微増しています。

高齢者の社会参加促進、閉じこもり防止、介護予防等のために、運動や趣味活動といった様々な地域活動の紹介や参加促進を図ることが重要ですが、こうした地域活動の担い手としても元気な高齢者の活躍が求められていることから、地域活動の企画・運営支援を通じた生きがいくりの方法を検討していく必要があります。

3 介護保険サービスの課題

(1) 介護保険サービスについて

『介護保険サービスの利用者増加により、保険料の負担が増えること（P91）』について、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者いずれも「利用者負担を増やすなど、制度の見直しにより、保険料の負担が増えることをできる限り抑えて欲しい」が最も高くなっています。このことから、介護保険料が高齢者にとって経済的な負担となっており、できる限り介護保険料の上昇は抑えて欲しいという意向がうかがえます。

『どのような介護保険サービスの充実を望むか（P92：一般高齢者、事業対象者、要支援認定者、P133：要介護認定者）』については、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者では、「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせ利用できるサービス」や「デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス」が高くなっており、要介護認定者では「デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせ利用できるサービス」や「ホームヘルプや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス」が高くなっています。

主に通所系サービスの充実が求められていることがうかがえますが、一方で介護保険料の負担を抑えてほしいという意向も強いことから、これまでの介護保険サービスの利用実績を精査し、介護保険料と介護サービス利用料について将来の負担を考慮しながら適切に見込んでいくことが必要です。

また、『介護サービス以外の保健福祉サービスなどについて充実を望むこと（P93）』として、一般高齢者は、「公的または民間による配食サービス」が44.1%と最も高く、次いで「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」が42.8%であり、事業対象者、要支援認定者は、「緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス」が38.0%と最も高く、次いで「公的または民間による配食サービス」と「タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス」がともに37.0%となっており、介護保険サービスではフォローしきれない日常生活における見守りや移動支援に関するサービスの充実が求められていることがうかがえます。

こうしたサービスは行政だけでは取り組みを進めることはできず、事業所・ボランティアといった支援者や企業等との連携が欠かせません。高齢者福祉分野だけではなく、地域福祉や都市計画、ICTに関係する分野など、様々な分野の関係者との連携・協力を図り、高齢者が安心して暮らし続けていけるよう、サービスの量・質の充実に向けて取り組んでいくことが重要であると考えられます。

4 情報提供の課題

(1) 携帯電話について

『携帯電話を持っていますか (P97)』では、一般高齢者、事業対象者、要支援認定者のいずれも「スマートフォンまたはフィーチャーフォン（ガラケー）を持っている」が60%以上であり、携帯電話が多くの高齢者に普及していることがうかがえます。また、『スマートフォンの利用 (P99)』については一般高齢者、事業対象者、要支援認定者いずれも「電話連絡」が最も高く、その次に「LINE などでのコミュニケーション (SNS)」「インターネットでの情報収集」の割合も高くなっており、インターネット通信等を通じて情報収集されていることがうかがえます。

今後は、一般高齢者、事業対象者及び要支援認定者への効果的な情報発信・提供手段として、メールやホームページといったインターネットを活用した方法を積極的に推進するとともに、必要な方に届くように特定の方法に偏ることなく丁寧な情報提供も必要です。

5 生活機能評価からみる課題

(1) 後期高齢者における生活機能低下の課題

生活機能評価について、運動器機能、閉じこもり、転倒、認知機能については、75 歳～80 歳以上となるとリスク該当者の全体平均を概ね上回る傾向にあります。

70 歳代前半でフレイル状態となる高齢者も増えてくることから、介護予防については、早いうちから積極的に介入することが重要です。

(2) 日常生活での機能低下の課題

『手段的自立度 (IADL) (P118)』において、男性では 75 歳以降、女性では 90 歳以降で IADL 低下者の割合が全体平均より高くなっています。

住み慣れた地域で安心して暮らすためには、IADL の困りごとを地域住民同士で支え合うことが重要であるため、既存の組織の活性化及び新たな支え合い活動の支援が必要です。

VI 自由意見

VI 自由意見

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

介護保険サービスや保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。

分類回答	件数
1. 福祉全般について	5
2. 介護保険制度について	61
3. 生活環境について	3
4. 公共交通機関、外出支援について	31
5. 経済的状況について	6
6. 広報、相談窓口について	30
7. 健康づくり、予防について	13
8. 自立自助（生きがい、楽しみ）について	14
9. 地域活動について	8
10. 医療について	3
11. 施設サービス、介護保険サービスについて	72
12. 介護サービス（介護保険によるものを除く）について	21
13. 介護者が抱える問題（老老介護等）	15
14. 今後の不安について	23
15. 災害について	3
16. アンケートについて	19
17. 行政について	3
18. その他	15

カテゴリーごとの主な意見の方向性は以下のとおりです。なお、同一または類似の趣旨の意見については集約し、代表的なものを抜粋して掲載しています。

(1) 福祉全般について

1	介護制度の充実は大変重要ですが、前提として少子高齢化の防止が必要です。袋井市は県内でも人口の減少率が低い方だと認識していますが、その理由を分析し、少子化防止に役立つ施策を実行するべきと考えます。
2	袋井市には外国人（ブラジル人等）が多いので医療機関やスーパー、コンビニ等通訳機があればいいと思います。
3	世の中が急激に変化している。各種仕組み、制度が全く追いついていない。時にこれだけインフレが進み格差が広がり、それを容認せざるを得ない状況ではその日を生きるのが精一杯。ぜひ明るい話題を提供してもらいたい。
4	高齢者に対し介護保険や保健福祉サービスの金額があまりに高額であると思います。私だけか？低年齢者の医療の無償化が進み国家財政が苦しい事はわかるが。ただし低年齢者（少子化）オンリーではないか。高齢者（年金受給者）を含め、現在の高齢者扱いはあまりにもひどすぎる。現役時代は8時間働き続け残業も低額で働き、土曜日も休日ではなかったはず。あえて言わせてもらおう、あまりにも高齢者を粗末扱いし少子化オンリー主義ではないかと思えるのだが。

(2) 介護保険制度について

1	2つのサービスの内容が勉強不足でわかりません。
2	60歳を過ぎたあたりから体の衰えを感じ、老化とはこんなに進行していくものなんだと、70歳を過ぎた今でも信じられないのですが、これが現実なんですね。今後自分ではどうしようもない衰えの部分を介護等のサービスで補っていただいて、納得のできる人生と言いますか、老後を過ごせたら良いなと思っています。
3	まだ夫婦ともに介護保険を受ける状態ではないのでよく分かりませんが、ピンピンコロリで介護されないように生きていけたらと思っています。
4	家政婦代わりに利用しているように見える元気な人が認定されています。若い人の負担増につながっているのではと思います。必要な人の為のサービスになってほしいと思います。
5	家族が介護保険を利用するようになり、たいへんありがたい制度だと実感している。
6	介護とか認知症などあまりピンとこなかったが、このアンケートをやってみて少しずつ考えていかないといけないと思った。今67歳なので、あと3年で前期高齢者になります。
7	介護施設の利用者が多くなり介護保険料の負担が多くなるのは反対。利用者の負担増は当たり前。介護保険を利用しているのだからね。自業自得。
8	介護認定、申請手続き、医師の申請、訪問等、家族立会い、家族の見舞い（悪い時）もっと簡単に手続できないか？これからは1人暮らしが当たり前になる時どうするか、悩みの種です。
9	介護認定の条件が厳しすぎる。
10	介護認定の手続きが申請から利用開始まで1か月以上かかるようなので、もっと早く利用できるようにしてほしい。
11	介護保険（現在、要支援2）を認定する査定が厳しすぎる。必要な人に必要な認定を希望する。現在の袋井市はその点の疑問が大きいと思う。
12	介護保険サービスについて、デイサービスは朝からカラオケ、お絵かき、折り紙など軽症の人に介護保険を使うのではなく、家で老老介護をしている寝たきりの人の為に使ってほしい。要支援などの人は自治会にてボランティア等で週一回～二回くらいでやってほしい。本当に困っている人々のために介護保険を使ってほしい。

13	介護保険サービスに期待していない。保険料は高いが、サービスはほぼ受けられないと思っている。介護等級が実際の生活と合っていない。介護等級が問診に来る人によりバラバラであてにできない。
14	介護保険サービスや保健福祉サービスをほとんど受けたことがないのでイメージがわからないが、社会保険料が制限なく増えていくのは問題と思う。長生きを追求するのはきりがないので、どこかでサービスや処置を段階的に減らすようなコンセンサス作りも必要だと思います。
15	介護保険は実際には使用する側にならないと詳しくはわかりません。払ってはいますが出来たら使わない生活でたいです。民生委員として九年間活動してきましたが、介護保険に関しては勉強不足です。
16	介護保険を使わないと損をするような考えの老人が多いので、実費負担を増やしてほしい。今まででは保険料が増えるのみ。
17	介護保険を使用していない老人の介護保険料はもっと安くしてほしい。
18	介護保険を使用しないで亡くなる人もいるのに、保険料がどんどん上がるのはなぜでしょうか？それだけ使用する人が多いという事ですか？一生涯、払い続けても認定されないと使用できないし、面談になると頑張ってしまうと認定が下りなかった両親を見ているとなんかつらいです。人の手を借りたい時に借りられる社会になるといいと思います。老人がもっと増えると思うのでよろしくお願いします。
19	介護保険を利用している人の介護保険料が高すぎる。
20	介護保険高いですね。何かあったら医者に行かなくては。薬局で買っている場合ではないです。主人が「脳梗塞」をやっている、もの忘れがひどくて、でも今警備の仕事をしています。旗振りです。少しは認知の可能性があると思います。袋井市の認知について勉強なくてはいけません。今勉強していることはありませんが、もっとひどくなったら病院に行って脳を検査して、認知を認めなくてはいけません。主人 25 年生まれ。主人と暮らしていて老人だなあと感じます。9歳違うので。
21	介護保険制度は良いと思う。若い人には掛け金の負担を減らしてあげたい。
22	介護保険制度自体、内容がわかりにくく理解しにくい。
23	介護保険料の値上げが心配です。
24	介護保険料もう少し安くしてほしい。
25	介護保険料や後期高齢者医療保険料などが勝手に値上げされ、年金から引かれていく。わずかな国民年金で暮らしている者にとってどうなっていくのかとても心配。弱者に優しい政治を望む。
26	現在 79 歳、数年後にはお世話になると思いますが、その時はよろしくお願いします。
27	現在は仕事をしておりますので今の所人手を煩わせるようなことはありませんが、年には勝てませんので、今後介護や福祉サービスが必要となった場合にいろいろな選択肢のある社会であってほしいと願っております。
28	現在元気で働いているので、あまりピンと来ませんでしたが、自分の介護について考えてみる良い機会となりました。
29	現状では知らないことが多いが、考えたことはない。
30	現状の介護保険、保健福祉サービスが満足とは言えない。年金から天引きされている金額は大きい。今後高齢者が多くなるのは間違いない。人間誰でも年を取ることは間違いない。このことはやはり国がしっかり今後を見据えて予算を確立すべきと考える。国民からの保険料だけではことははっきりしているのだから、政治の責任である。
31	現段階で年齢なりに働けているので、半分他人事のように思っていました。今回のアンケートで改めて近い将来の自分ごとと再認識しました。
32	高齢者にとっては非常に厳しい時代になっていると思います。現役世代にがんばってきたのだから、もっと優しい施策を実施してほしいです。

33	今のところ自分の身の回りの事が出来ているので、このアンケートで改めて「明日は我が身」と考えなければならぬと思いました。正直今までは介護、保健、福祉サービスという行政のある事すら、あまり考えたこともありませんでした。グループの友達の一人在認知症でその家族（夫）が主に面倒をみていますが、大変だと痛切に感じています。介護の方が倒れないかと案じています。
34	今はまだ自分で何でもできるため深く考えたことはなかったが、今後近づいてくる介護（自身または配偶者）について学びたいと思いました。介護保険料を納めるようになり、健康で保険を使わずに生活できたらご褒美も欲しいなって思っていました。励みになります。健康で過ごそうと頑張れる気がしますので。健康を保てるようがんばります。
35	今まで健康で過ごしてきたので特に必要を感じなかったが、だんだん年齢と共に考える必要があるのかと感じ始めた。
36	今現在困っていないので実感がわきません。ありがとうございます。
37	自分や家族に介護の必要がある人がいないと、まだ現実に考えていないと思います。
38	自分自身が未だ健康体につき、具体的に思いつきませんが、その時が来たらよろしくお願いします。
39	自立できているのであまり考えていません。
40	実際、介護予防などあまり考えていなかった。今回のアンケートを答えるにあたり、自分の考えをまとめるきっかけになりました。
41	社会保険料の負担。介護保険料及び後期高齢者医療保険額の負担が高すぎて、年金の支給額が少ないので大変である。病院の負担も今まで1割負担でしたが、前年10月より2割負担になり、生活が大変である。全体の社会保険料の負担をもっと下げていただきたい。
42	手続きが面倒でもう少し簡潔化してほしい。
43	周囲に自分で車を運転し畑仕事をしている方が介護2になり、デイサービスを受けているとのことを聞きびっくりしています。1人暮らしで80歳以上の人が周りに多数いて、私も一人暮らしで要支援認定を受けていません。たまたま聞いた話で一緒に暮らしているお子さんが市役所勤務とのこと、制度がどのようになっているのか理解できかねます。この家の母親が介護2だそうですが、皆々どうしてなんだろうと私たちにはわからないねとのことでした。
44	親の介護経験から、今からやっておくことなど初めて介護して分かりました。その経験から自分の老後を考えて日々過ごしています。
45	途中にも要望らしきことを書きましたが、社会保険料の値下げを願っています。
46	夫婦二人ともに90歳を超えている。介護保険料は二人で約15万円/年納入している。50年近く全く介護サービスは利用していない。長い年月納入しているが「誰のために？」相互扶助は分かるが、数百万円の納入のみで、利用しないのは健康のおかげかもしれないが、何らかの形で「バックペイ」的な制度があっても良いのでは。静岡県は全国的に見て、介護保険料は高額と聞く。袋井市は県内で高額上位と聞いている。保険料はもう少し引き下げるべきだ。安易に有料老人ホームの開設は検討すべきだ。特老施設とのバランスが重要だ。
47	保険料の負担が増大している。自らできることはできる限り行い、医療負担の軽減に心掛けて、現役や健常者の負担を軽くしていくことに尽力したい。
48	要求提出書類が多いため、窓口に足が向かない。
49	令和6年の後半に骨にひび、ちょっとした骨折で動けなくなり、初めて介護支援の申請をしたのですが一カ月後の受理でした。もう少し簡素化できればありがたいと思いました。

(3) 生活環境について

1	近所に車椅子の人がいます。各施設に二階まで上がるリフトのようなものがあればいいと思います。各公民館で車椅子卓球ができれば良いと思います。現在公民館や体育センターは車イスで上がれないし、卓球台也没有せん。
2	自分が90歳を越え「こんなに大変なんだ」と時々考えてしまいます。でもなるべく自分の力で出来ることはと心して生活しています。家には幸い二男が同居（独身で60代）していますので外出はもちろん、家事や地域の行事等やってくれますので大助かり。磐田に娘、長男は千葉の生活ですが家の修理、電気器具の様子まで帰省の度に見たり直したりしてくれます。月に一度は2〜3泊してくれます。
3	話をしても怒る（怒られるだけで）どうする事も出来ません。今は退職して大金が入ってきたときに家庭内別居になってしまい入院しても入院費もくれない。そんな生活です。

(4) 公共交通機関、外出支援について

1	その時によって考えが違ってきます。思いのままを書いてみます。介護保険料を相当額支払っています。今の所、何のメリットもありません。例えばタクシーのようにすぐ来てくれる車が欲しいです。金額はタクシーの1/3位が良い。
2	タクシーの割引の割合をもっとしてほしいです。
3	デマンドタクシーは家の前まで来てくれないと乗り場まで行けない。介護者も乗せてほしい（他の町民はダメと言いました）。掛川市のようなデマンドタクシーが欲しい。
4	バスが無くなり大変不便。デマンドタクシーもバス停まで行かなければならない。遠いと不便（体調不良の時等）。河津町1月24日のテレビでバスの事をやっていた。とても参考になると思う。愛知県新城市の山奥でも100円で病院等送迎してくれるサービスがある。袋井市はもっと、移動サービスについて考えていただきたい。デマンドタクシー、市の小型バス、土日が休みではメロープラザ、月見の里等不便です。理工科大送迎バス（大型）が空に近い状態で通るのをよく見かけます。もったいないです。
5	宇刈地区にはバスが無く、免許返納後が心配。
6	我が家では今のところ2人とも健康で困ってはいませんが、お友達の家庭では一人が車イス（外出時）で二人とも免許返納済で外出時にはフーちゃん号を利用しています。停留所が自宅から遠い所が多く、大変なようです。
7	介護タクシーをお願いするのに予約が取れない。介護タクシーを増やして欲しい。一般のタクシーは乗せてくれない（車イスの場合）。
8	外出の際、7〜8人乗りバスを利用し、なるべく自宅近くから乗車できるサービスがあったら良い。個人タクシーは大変。また個人福祉タクシーも非常に高額であるため。市の循環バスはあっても、そこ（停留所）へ行くまでが苦労となる。7〜8人乗りサービスも代金を徴収しても良い。
9	割引タクシーを増やしてほしい（半額位に）。老人の人、車をやめると思う（返納すると思う）。
10	現在は、車の運転出来ますが、80歳過ぎには免許返納も考えています。買物等の交通手段が心配です。
11	現在身の回りの事は自分で何とかできているが、病気の関係上移動（外出）がむずかしいので、一人だけの息子の車を頼っているのが現状でありがたい。頼れる人がいないと身動きできない。頼れる人・移動手段がないのは本当に不幸だと思う。
12	交通の便が悪いのでタクシーを使いたいです料金が割と高いので考えてしまいます（バスの本数を増やして欲しいです）。

13	交通の便も少なく、バスも数えるほどになりました。メローバスもなくて出かけるのにも足がなく困ります。なかなか働いている家族にも自由な事も言えません。お薬はどうか歩けますので、手押し車で一人で行きます。薬局さんで薬を配達して下さるところもあると聞きますが助かりますね。年も重ねると数多くのイベントを計画して頂いても足がなく参加も出来ません。今から何年生きられるか分かりませんがお世話になります。ありがとうございます。
14	今のところ、夫婦で元気にくらしているがこの先高齢になった場合、娘たちは遠方に嫁いでいるため頼ることは出来ず、車の運転も出来なくなった時交通機関もなく、幸浦地区は西同笠まででないバスにも乗れません。西同笠まで行く手段もない。通院・買い物等幸浦地区の高齢者が安心して暮せるサービスをもっと充実させてほしい。
15	今の所車で移動出来ますが、免許がなくなった時はどのようにしたらいいか不安です。バスも電車も通っていないため、先が望めない。相談できる所を示してほしい。
16	今は車で自分でどこへも行けますが、車に乗れなくなると移動するのに困ります。行動範囲が狭くなり、ひきこもりがちになってしまうと思います。メローバスの充実やタクシーの割引などあったら良いなと思います。
17	参加したいと思ってもそこまで行く方法がない。
18	車に乗れなくなると、公共交通機関に頼る必要がある。バスの利用券やタクシー券を交付してほしい。オンデマンドタクシーは不便である。予約なしに周遊していただくことを望む。
19	車の運転ができなくなると病院とか買物に行く足がなく困るため、交通手段が何とかできるようにしてくれたら大変ありがたく助かると思います。
20	浅羽南地区、公的交通移動手段が無い（以前は地区循環バスがあった）。
21	袋井市に限ってはありますが、田舎は車が必需品ですが、もっともっとタクシー券等配布して頂いて（予算もありますが）高齢者が早く免許が返納できるようになれば良いと思います。
22	大型タクシーを利用して買物等できるようにしてほしい。
23	通院のときに使用するタクシーの数を多くして下さい。
24	田舎に住んでいるとまず不安で困る事は免許返納で車に乗れなくなることと思います。皆さん心配事の一番だと思います。これで日常の生活が一変すると思います。まずこれを解決するには足の確保の方法、対応が喜ばれると思います。これにより、お金をおろす、買物に行ける。病院に行ける等心配事が解消されると思います。きっとお年寄りの皆さんが喜ばれると思います。①簡単で、②安く、③気軽に、に対応できるような方法、アイデアをみなさんより吸い上げて欲しいと考えます。
25	病院に行く際負担が少なく行ける方法。助けて欲しい人の力になってくれるような交通機関。高齢者で免許返納した人の助け。歩行困難の人の助け。移動に力を入れて欲しい。よろしくお願いします。
26	病院もタクシー使うようになりました。デマンドはバス停まで行かなければならないのでそれも困難になりつつあります。高齢者にタクシーの割引券があると助かります（2割くらい）。
27	万が一急に具合が悪くなった場合（一人暮らし）一人では病院に行けない。夜中であったり熱があると近所に（感染の恐れあり）頼めない。救急車しかないが。
28	万事車での行動で歩く自信なく。返納すればその途端にタクシーで、病院とか頼む人がいない。
29	免許返納などでの交通手段。片道でも良いのでタクシーなどの割引券。
30	免許返納後は本当に不自由を感じます。
31	老人 80 歳以上は通院時に歩いて行けない時に使うタクシー券が欲しいです。

(5) 経済的状況について

1	お金が無いので何もサービスを受けられません。市で負担して下さるサービスをのぞみます。
2	介護・福祉サービスの充実以前に、経済的な支援の充実を望みます。定年 65 歳までしっかり働いて、やっと 200 万円／年程度の年金です。現役で 800 万円はあった収入が極端に下がる為、生活もままならなくなり、趣味や地域活動に使える資金は不足し、ほとんど動けなくなります。また、200 万円からさらに介護保険や所得税も引かれると本当に厳しいです。「現役世代の半分程度は確保する。」との話はどうなったのでしょうか？健康寿命を延ばすためにも資金に余裕がないと積極的に動き回るのは無理で、食費や冷房・暖房も我慢して不健康にならざるを得ません。今回の趣旨とは違いますが、まず年金額の増額を政府に働きかけて頂きたいです。
3	介護保険料が高く、年金収入で苦しい。
4	生活に余裕のない(金銭的に)中、考えることもしたくない。考えてもどうにもならない。世の中全てにおいて金が必要。金がなければ介護も受けられないと思っています。
5	年金生活のため生活が大変であり、物価高のため年金だけではとてもむり。
6	老人ホームに入所する費用に余裕はない。

(6) 広報、相談窓口について

1	サービスの内容が分りやすく説明されていることを望む。各種窓口の存在が誰にでもわかるような告知。難しい言葉を避け、多くの人がわかる言葉での説明が必要。
2	これからサービスが必要となるので詳細を聞きたい。
3	シニアクラブ等で特養入居申込の方法、手順などを教えてくれるので助かる。
4	どこに相談していいかわからないので細かく知りたいと思う。
5	まだ介護が必要でないが、もし必要を感じ始めたら、どの様に相談を始めれば良いのか知っているようでわかってないことが多いと思う。相談の窓口をわかりやすく！
6	家族だけで悩みを抱え込まないような誰でも相談ができる窓口。まだまだ簡単に相談ができる窓口がないような気がします。気軽に相談ができる所を要望します。
7	介護、介護保険福祉についての相談窓口。
8	介護が必要になった時、どのような保険サービスを利用したらよいか、元気うちに調べる必要があると思います。それらの資料はどのようにしたら入手できるでしょうか(金銭的な面で…)？
9	介護が必要になってからの説明ではなく、たとえば 60 歳になった時に説明会を開催するなど、紙だけでの説明ではなくしっかりとサービスの内容を教えてほしいです。
10	介護保険サービス、保健福祉サービス、市の方でも本腰を入れて取り組んでほしい。アンケートのみで終わらないようにアンケートの実施のみでは何にもならない。アンケート結果に対しての具体的な取り組みの広報が必要と考えます。
11	介護保険サービスや健康福祉サービスを今のところ自分も主人もサービスを受けるような状態ではありませんが、もしそうなったときに市役所のどこに相談すればいいのか窓口が分かりません。広報ふくろいなどに記載されているのでしょうか？それとも自治会の民生委員の方に相談してもいいのでしょうか？
12	各サービスについてもっと一般的に知られるように努力してほしい。年齢に関係なく知っていることが全体としての助けになる。介護は年齢が高い人だけの問題ではない。
13	健康維持に努めるにはどんな生活・食事・運動をしたらいいか頻繁に情報発信を。
14	県内でサポート事業が袋井市、湖西市に2か所あると聞いています。しかし市内の人たちが案外知らないように思います。

15	現状は毎日スポーツをしているので問題なし。今後フレイル→介護へ向かう中での、現状（状態変化・必要な対応やサービス、資金など）、今後の変化予測（状態変化・必要な対応やサービス、資金など）など、冊子等でより詳細で袋井市に合わせた選考情報をネットデータでも良いのでまとめ、毎年改訂して欲しい。
16	高齢化時代に入り、心配と不安を抱えているが、当市として現状から将来の姿、問題点を具体的に市民に示してほしい。実態を知り、自覚して自分の姿を落とし込みたい。その上でどうするか考えていきたい。不安が先行してどのようにすべきか考えられない。
17	高齢者のニーズに沿った制度を企画して欲しいです。ガイドブック配布、介護が必要になったら相談先や保健センターと福祉機関の連携などノウハウが大事なことだと思います。
18	今のところ利用する予定はありませんが、その時が来たら家族がすぐ相談できるように分かりやすい連絡方法を教えてほしいです。なるべく家族に負担をかけないよう、健康に気をつけて歳を重ねていきたいです。
19	困りごとの直通電話があればいいと思います。
20	参加したいと思っても情報が入らない。市が何をしてくれるのかははっきりしない。
21	市内に地区ごとに TEL 等で 24 時間相談室。
22	自身の健康状態により、その時に詳しく（費用面も含めて）相談できる場所はどなかにか教えて欲しい。
23	自分達が核家族で育ち、親たちの介護も無かったため、離れている子供達と最低限どこまで準備しておけばいいのか、広報等で「ワンポイントアドバイス」風に載せてほしいと思います。今は困ったら「地域包括」へまず相談と思っています。
24	若い人達に国として最大限の情報を流すなどして知り得やすい状況を作っていただきたいと思います。こんな制度がありますと若者に知らしめてほしい。
25	相談内容により窓口が複雑すぎる（縦割り行政）ので簡素化（横割り行政）してほしい。
26	対象年齢ではありますが経験がないので、どんなところにどんな問い合わせをしたら良いか心配です。
27	同報無線がまわりになく聞こえない。
28	福祉サービスの現状について、情報がないので、公知化出来る様にして欲しい。
29	様々な配信を広報、県民だよりからも得て見ようと思っています。
30	要支援、要介護のサービスを受けたいとするときの段階式判別基準となる身体の状態がどの程度になったら受けられるのか（介護認定）、またサービスの内容がわかる冊子を（例えば 70 歳以上の方に）配布していただきたいと思います。

（7）健康づくり、予防について

1	75 歳を過ぎた人の健康診断は過度な治療で生活の質を落とすのでやめた方がいい。国は確かなデータに基づいて適正な血圧値などを決めてほしい（無駄な薬の服用を防ぎ、医療費軽減のため）。・早期の免許返納は認知を増やしてしまうので啓蒙活動は止める。
2	2025 年 1 月に「ふく研」を受けたが非常に参考になった。血液検査等の健康診断レベルは年 1～2 回、かかりつけ医にて実施しているが、自分の体力・体質等はなかなか調べる事が客観的に出来ないのも、良い機会になった。特に 70 歳を過ぎ、体力低下防止に取り組んでいる最中でもあり、年に 1 回程度の定期的実施を希望したい。
3	2 年前から袋井ウォークをやっているが励みになりとても良いと思います。もう少し皆さんが参加できるよう周知するといい。予算がもう少し付いてアポイントが増すと皆さんの健康増進になると思います。
4	でん伝体操や保健センターからの講習会に積極的に参加して、将来介護を少しでもされないよう気をつけています。日頃の市からのご指導に感謝しています。
5	もの忘れは時々とか、誰にでもありそうですが、回数が増えたと感じている時は、どんな対処をしていいのかわからない。

6	医療予防（発症予防、重症化予防、再発予防）に「運動」が必要だという認識が広まると良いと思う。
7	高齢者世帯の多い町内です。私もその中の一人で 1 人暮らしです。フレイルになりつつあり、体力、筋力が欲しいと努力はしています。身近で歩いて行けるような所にリハビリ体操をしてくれるような所が欲しいと思います。町内会会堂では週一回でんでん体操しておりますので参加しています。年々衰えつつある身なのでなんとかしなければ…と焦りますが、持病持ちで思うようにはいきません。「カーブス」は私達にはきつすぎます。無料とは言いません。年金生活で払えるくらいなら出しますが。
8	最近参加している「しそーかでん伝体操」は家の近くの公会堂で実施されていて、気軽に参加でき、運動不足解消や近所の人達と楽しく会話ができて、いろんな効果がある。
9	袋井市は健康宣言をしているのでエコパのジム無料やプール等のシニア割引に力を入れているので今後とも持続してほしい。磐田、掛川の住人の方々から上記の事で羨ましがられています。
10	認知症はその程度の差が大きく、常にボケている訳ではないので対応の仕方は難しいと思う。自分はボランティア活動も少額ながら報酬を得る活動をしているので、できるだけ長く続けボケないよう気を付けたい。
11	年を取り、病気になったり入院したりするようになった。医者からの薬も多くなった。病気に気をつけてボチボチやっていくつもり。歩きは心がけている。
12	物忘れがたまにあるが、切実にまだ考えていないので、この先何年も自分のことは自分でできるよう頑張っていきたい。
13	老人は体も動かないし頭もしっかりしていないので、いろいろ判断できないので適切な指導が欲しいです。

(8) 自立自助（生きがい、楽しみ）について

1	70 歳を過ぎても働ける仕事環境の整備もお願いしたいです。まだまだ体も頭も動くのですが、働ける場所がありません。そのような方は沢山おられると思います。もったいない話で健康寿命の延長にも繋がると思います。企業様の協力も必要かと思いますが、市としても働ける場所の確保をぜひお願いいたします。介護・福祉サービスの充実も必要だと思いますが、健康寿命を延ばす事で福祉費の負担も減ると思います。そのためにも経済的な安心と、活躍できる場所があるということが大事だと思います。
2	いろいろなサービスがあり有難いですがまだまだ自分の力で生活できるようにがんばります。車に乗れなくなってもグラウンドゴルフ等出来るような所が近くに欲しいです。
3	コロナ後、個々の生活を大事にするようになり集団で楽しむことが中止になりました。車社会になり玄関から車へと、お隣の人とも話をする事なく個人でお金を払って好きな習い事をするようになった気がします。高齢になり、近場の公会堂で皆さんと交友を高めたいと思って誘いますが、もう 70 歳以下の方は無理な気がしました。私も一人暮らしですが、出来るだけ皆さんに迷惑かけないよう体を動かし、本を読み、頑張っていきたいと思います。
4	犬猫の保護施設へ定期的に訪問を行い、犬猫を友とした遊びの時間をもつこと、生活に変化を与えることがよいのではないのでしょうか。この場合もいろいろと問題もあり簡単なことではないですね。高齢者の 90 歳以上になるとなかなかグループ、サークルに入り活動しにくくなる。犬猫などと毎日でなくとも月 1・2 回の時間をもつことが出来れば、生活に微笑みを得ることもできるのではないのでしょうか。
5	現在私は 85 歳、数 10 年前から歩いていきます約 1 時間。そのためか、健康で元気です。畑で少しばかりの野菜を育てていて畑を見に行くことがなにより気が晴れます。好きな事をして、毎日過ごしています。お布団を干したり、お掃除等は日課です。健康でいる事に感謝しています。同封の調査の結果、参考になることがありましたら連絡ください。よろしく願いいたします。
6	個人的にはなるべく健康でいられるように生活したいので、身近な所に居場所が増えるといい。

7	高齢1人暮らしの男性も多いので、昆布と鰹節からだしをとる面倒くさい物でなく、簡単なだしのもとや冷凍食品、レトルト食品、レンジで出来る時短料理の講習会を毎月開いて頂ければいいと思います。
8	高齢者が多く、物価や人件費の高騰もあろうかと思われるのが「袋井市は少ない」と言われる高齢者への保健福祉サービスの一つである「楽笑教室」も2027年3月で終了してしまうので、利用者の数も減らしてしまっている現在ですが、これだけが生きがいという利用者もおります。各自治会も高齢者に声かけして「何かやろうか」ということもほとんどない状態です。何とか継続して頂きたい。
9	今の所は自己管理ができる状態であるが、70代80代になったら気持ちの持ち方に変化も出てくると思います。自分の時間を自分らしく持ち続けられるよう、情報収集をして、興味のある事、関心のある分野への参加を心掛け、地域コミュニケーションなどは大切にしようと思います。
10	実施しているか不明だが、後期高齢者等を対象として各支援部門が一同に会しての講習会の開催（2～3時間程度、質疑含む）。
11	初めまして、こんにちは。今、体は健康ですが、もし一人になった時に皆様沢山人が集まる場所があると私は大変助かります。私は外出するのが大好きです。幸浦センターに今の所出掛けまして先生の指導のもと楽しんでます。
12	同年代の人達が他地域から入居した地区で強制的な交わりが少なかった分、若い時は楽でしたが、退職後は自分で行動しなければ交わりがなく、何気ない集まりを見つけるのが難しい。相談できる友達がいても、家へ入り込んでということはありません。
13	老後の楽しみができる施設がほしい（スポーツ、教養等）。
14	老人が集う場所。

（9）地域活動について

1	70歳以上の方でボランティア等したいと思う方を募集したり、地元のコミュニティセンターで参加させるなどの情報の提供を、あらゆる場で発信していくことが必要だと思います。
2	もう少し近所パワーを活用することも考えても良いのではないのでしょうか。
3	介護の必要なもの同士がそれぞれ役割をもって、手助けしあうような（ヨーロッパのある国のように）コミュニティが築けたらいいと思います。育ちの違う人達が高齢になってからは難しいことだと思いますが。また、お互いに離れている田舎では難しいと思いますが、都市のアパート等ではトライする価値があるのではないのでしょうか。
4	核家族も多い中、高齢者のみの家庭も多く、一人暮らしも増えている。しかし、一人でも元気に暮らしている方もいらっしゃるの、そうした中、健康な人も少し不自由があっても安心してその暮らしをなるべく長く続けられるようにしたいと思うので、地域など繋がりをもてるようなネットワークづくりをしてほしい。地域全体で高齢者の暮らしの見守りができるシステム作り等を行政で考えて欲しい。
5	居住地区も高齢者ばかりになっている。将来的にどのような地区にしたいのか、知見者と住民で話し合う機会をもてるよう、考えていただければ良いのだが。
6	高齢者同士が助けあいながら通いの場や学習活動を通じてコミュニケーションをとれるよう、行政が働きかけて欲しい。自治体ごとに活動の場があることが望ましい。
7	地域での助け合いの出来る近所づきあいは、本当に大切な事だと感じています。
8	一人暮らしはさみしい限りです。せめてサロンへ2回行きたいです。

(10) 医療について

1	現在 70 歳の老人が 90 歳の母を介護しており、なかなか医者に連れて行く事ができません。ぜひとも、袋井市内のお医者様の訪問診療を月一回でいいのでしていただけるよう強く望みます（車いす生活の母の移動は 2 人がかりでも大変です）。
2	病気になった時、必要（痛みの緩和）以上の事は望まないが、意に反して治療が行われないうように願います。意思表示カードの有効化（書面にしてあるが、公的な費用年会費の必要ないカードを希望）。
3	友人の親が投薬をやめたら認知症が改善した話を聞いたことがあります。予防医学を進めて欲しいです。

(11) 施設サービス、介護保険サービスについて

1	「和」のデイサービスに通っているが、よそのデイサービスも含め昼食をおいしくしてほしい。窓から見える景観にも気を使ってほしい（他に楽しみがないから）。
2	サービスが充実することを願っています。
3	デイサービスに良い印象をもっていないため、介護サービスを利用しようという気持ちになれない。他人が自宅に来ることも嫌で、家族以外の世話を受けるつもりがない。この様な人を説得する方法や仕組みが欲しい。今は私の意思が尊重され過ぎて介護する人が死んでしまう可能性がある。認知症外来も気軽に行けない（紹介状が必要だし、本人が拒否する。明らかに怪しくても行けない）ため、診断に来る（自宅に来てほしい）仕組みがあると便利。
4	以前右手首を骨折した時、明和苑のデイサービスを利用しました。職員の皆様の細やかな対応に頭が下がる思いでした。
5	以前母親が保険サービスを利用して家のリフォームを行い、段差なし、廊下、トイレ、風呂等の手すりをつけるなどをしていただき、今後においても私達が利用できるためありがたいと思っています。
6	介護・福祉サービスをする人が、働きやすくやりがいをもって行えるよう環境待遇を良くすることは難しいとは思いますが出来るだけ努力を。
7	介護が必要になった時、無料でまたは安価で介護施設に入所出来る施設を増やしてほしい。
8	介護が必要になった時には、介護サービスを安心して利用したいと思います。家族にはあまり負担をかけないように生活出来れば良いかと思います。
9	介護サービス・福祉サービスで訪問して下さる方々に心より感謝します。
10	介護サービスの充実。
11	介護施設や老人ホームへの待機者がありませんように。
12	介護にたずさわる人の増加と供に賃金の改革。
13	介護や福祉サービスが充実していますから安心しています。
14	介護をしてくれるサービスに人手不足が言われておりますが。その事が少し不安です。
15	介護員さんみんな親切で良い。賃金をもっと上げる。
16	介護保険サービス、保健福祉サービス等の利用の仕方などの知識を知りたい。
17	介護保険サービスの仕組がよくわかりません。同じく保健福祉サービスもよくわかりません。
18	介護保険サービスを週に 2 回くらいにしてもらいたい。
19	介護保険サービスを利用している（夫がいる）。一時的にショートステイなどを受けるが袋井市にもショートステイを受けることのできる福祉施設がほしいです。
20	義母が特養に入所していて 4 年間。昨年暮れに亡くなりましたが、国民年金での毎月 15 万は大変でした。国保と厚生年金では入所費用の支払いも違っていいのではないかな？国民年金だけでは預金もない人は入所したくても中々お金の面で出来ないと思いますので。

21	義母の介護のため介護保険を利用しました（五年くらい前）。ケアマネジャーの人が熱心にしてくれて、ケアマネとの相性の大切さを感じました。介護する側の健康状態もとても重要ですし、運転が出来るかどうかも随分違ってくると思います。お金の負担の大きさもあり、公的に支援して頂く事によって負担軽減してもらえると助かると思います。レンタルできる用具の種類も増やして欲しいと思います。市からオムツの支給があったのは助かりました。まわりの地域や人々への周知も恥ずかしがらずにやって行く事も手助けになると思いました（徘徊などのとき）。
22	急病になった時すぐにサポートしてくれるように出来たら良い。
23	現在、介護・介助が必要ないので保険サービスや福祉サービスに対しての知識がなく、身につまされていません。いずれ必要になるので、今の状況で情報収集して学習しようとアンケートを通じて思いました。
24	現在母親がデイサービスを利用させて頂き大変助かっております。今後もこのようなサービスを充実させて頂きたいと希望いたします。
25	高齢化により保険料の増加だけでなく、介護の担い手不足、施設の不足等、公的な介護が十分受けられるのかが不安になる。市の高齢者人口とそれに見合うサービスが整えられるのか、長期的な見通しをもって計画を立ててほしい。
26	高齢者が増加する中、ケア等をしていただける要員数が不足しないよう、給与面で優遇できるような制度をしっかりと整えていただきたい。
27	今の所、実際に介護保険サービス等受けていないのでわからないのですが、介護保険サービスや保健福祉サービスはより充実してほしいと思います。
28	今の年金額では老人ホームに入れないのが心配です。どこも高額すぎて。
29	今は特養に入りたくても介護度が3級以上でないと入れないのが現状です。私の兄が脳内出血になって後遺症が2級だったため施設探しが大変でした。一人もので年金では足りなく、見る人がいないため兄妹が負担しました。中途半端な人が入れる施設が必要だと思います。私は主人が心筋梗塞であっけなく逝ってしまったため、介護保険は使いませんでしたが、自分はどうなるのか分かりません。年金だけでは収まらない事も考え、子供達に迷惑がかからないよう必要な分は残しておかなければと思っています。
30	今は普通の状態にいるが、84歳、少しずつ体に異常が出るのでその時になったらサービスについてお願いいたします。
31	今後高齢者が増え続ける時代に突入します。その時に誰でも介護サービスを受けられる仕組みを今から考えておく必要があると思います。待ったなしの対策ができれば、より良い暮らしが待っています。
32	今実施されているサービスを同じレベルでサービスを継続してほしい。値上げをしないで福祉を後退しないようにお願いしたい。
33	今主人が介護サービスを受けていました。最近入院してリハビリなどをして少しずつ回復しています。
34	最近母がデイサービス、特別養護老人ホームに入所し大変お世話になりました。皆さんいい方ばかりで良かったと思っています。
35	最低年金生活なので具合が悪くなった時入れるか心配です。
36	昨年主人が介護など。うちだけではとても出来ません。いろいろありがとうございました。
37	市の高齢者担当者が定期的にわが家に来宅され、私の生活状況を聞きながら適切な指導助言をされております。人生終末の者として大変ありがたいです。これからも出来るだけ、他人に手間を取らせないようにして人生を終えたいです。
38	市の財政が大変と聞いているので介護保険サービスにどんな影響が出るか不安です。
39	施設・サービスは補強してほしいが、経費がかかりすぎて立ち行かなくなるという面があると思うので、そのあたりの調整がむずかしいと思う。
40	死亡するまで、どのような経過をたどるのか、時間の長さなど良くわからない事が多く、その為どんなサービスを必要とするかわからない。

41	私の両親も介護サービスや施設でお世話になっておりました。施設の方には大変お世話になっています。私は今現在、普通に生活ができますが、少し体調を崩した時期には、娘の世話になり病院の方にも世話になりました。自分では出来ない事ばかりです。こういう時が近づいています。不安もありますが、介護・福祉の充実でいくらかは気持ちも楽になります。行政の力でより良い充実をお願いしたいです。
42	資産状況に応じた施設に入れるようにして欲しいです。
43	自宅に手すりをつけたりするのには経済的に大変です。少しでも、支援と言いますか、補助を受けられるようになれば良いかと思っております。
44	自分に決められた（要支援１）中でやってもらえる事に努力するようにがんばります。
45	実母が市内のケアハウス（自立型）にいますが、夜の当直者が不在になる日が多く、入居時の書面と違っていています。不安で夜寝ていられないようで自律神経が不安定になるから、入居時の書面通りに当直者を常駐させてほしい（毎月ちゃんと料金を支払っているのに不安が募る。サービス（料）も上がっているのに、サービスは悪化していると思う）。噛み切れないような豚肉が食事に出てきたり、みそ汁がものすごくしょっぱい日も多いと聞いている。古い建物で、廊下はエアコンがなく、冬はものすごく寒いから各部屋の温度差がこわい。事務員も少なくなっているらしい。
46	週に何回通ったデイサービスの金額が知りたい。
47	身元保証人がいない人でも安心して入所できる公的な施設がほしい。
48	脊椎疾患のため体の可動域が狭く、体幹トレーニングのリハビリを希望したい。首の上下、左右への可動域が狭くて困っている。背骨をまっすぐ伸ばせない。歩行に不自由を感じている。上記を改善できるサービスを受けたい。
49	誰でも入所できる特別養護老人ホーム、介護保険サービスの充実を希望します。
50	知識不足な考えかもしれませんが、なるべく自宅で看護をと言われますが、多人数を一カ所に集めまとめて介護をした方が介護従事者やお金も少なくて済むように思われます。どうしても本人と特に家族が自宅で介護を望む方は別として。
51	特養老人ホームを増やして年金だけの支払いで経済的にまかなえるように安心した老後。
52	入院になればいいけど帰宅してからの暮らしが心配。大きな病気であれば入院になるだろうけど、包括センターにTELしても、実際のところ手を出さず、こうして下さいと指示のみ。包括の仕事内容が分からない。何でも相談して下さいというが、どこまで助けてもらえるか正直わからない。施設に入居を考えているが、いまひとつ自分として納得いくところがわからない。施設を見て面談しつつあるが、うんと病状が悪いなら見てくれるだろうが、介護度もつかない人達も助けてもらえる何か欲しい。
53	年金が少なく、なかなか十分な介護が受けられないので、安く誰でも入所出来る施設が沢山出来ると良い。
54	年金受給者のうち、特に低所得者（年間200万以下）の受給者に対応する介護施設（医療付き介護施設等）に入所できる（金額的に）施設の充実（増設）を望みます。
55	年金生活者でも安心して入居できる老人ホームの増設。
56	必要になった時にいい形に希望が通ればよいなと思います。
57	病気やけがの部位により、介護してもらいたい・必要としている援助が変わってくると思います。我が家の場合、2人とも今年70歳以上ですが元気です。歯・眼は定期的に通院しているものの、入院までにはいたっていません。足が動かなくなれば歩行が困難になり、手を怪我すれば洗濯、掃除、買物も不便になるし、自分の背中さえ洗えなくなるでしょう。そういうことになっても、主人がいればどうにかなるのではと思いますが、1人になれば何もできなくなってしまう。老人ホームに入る前の段階として、一人住まいの方を集めたシニアハウスが沢山あればいいのと思っています。食事の心配や入浴の心配を時々見守って下さる方が常駐していて、その施設から病院、スーパーまで連れて行ってくれるシャトルバスみたいなのがあったら心配なく生活していけそうです。

58	夫が亡くなるまで、自宅で看取りましたがその間訪問看護でケアをして下さる方、二人一組で見てくださいますが、来るたびノートを書くのに、二人で一時間かけて書いています。医者も同じことを言ってくれているのに、時間がもったいないと思います。「お母さんは、仕事をしています」と言ってくれますが、体を拭く際はお湯を持って行ったらとほとんど手伝います。時間で代金を支払うので、もっと効率よくできないのかと何度も思いました。
59	夫が要介護 1 から要介護 2 に。ケアマネジャーと相談する。問題は年金生活貯蓄なしで、サービス受けることを減らす選択しかない。夫を見守る生活にもっと良いプランがないか探す必要性は今夜のやるべきこととしている。
60	夫の認知症によりレンタル品のサービスは助かりました（ベッド、歩行器など）。その家庭により何が必要か、また進行していく上でどのような知識が役に立つのか、ケアマネジャーさんの存在は大きいと思いました。
61	夫を介護した時にいろいろお世話になり、とても心強かったです。介護、福祉サービスのおかげで自分でお世話ができて（老人ホームに入れず）感謝しています。
62	母がグループホームに 4 か月入所して亡くなりました。職員のいじめがあった。そのため自分はできる限り自宅で過ごしたいと思っています。ひどい認知症の場合はそうはいかないかと思いますが。
63	亡母が生前、介護認定を受け介護保険サービスを受けていました。本人も家族にもサービスを受けることは精神的にも大変助かりました。ケアマネジャーにも親身な相談ができました。
64	毎月ケアマネジャーさんがみえていろいろお話をしてくれます。今後も彼女の助言をお願いしたいです。
65	ありがとうございます。福祉サービスに行っています。親切に気を付けて細かい事にも注意して下さいます。大変にありがたく感謝しております。
66	利用者に対して親切・丁寧な言葉づかいを望みます。弱者に優越感や上からの目線で強く話されないよう、話し合いの輪に入りやすい空気を期待します。お世話になる方も素直に聞く耳を持ちたいです。今回この調査をしていただきありがとうございました。
67	両親が袋井市の介護保険サービスを受けて 102、103 歳まで生きることが出来ました。母は皆様の心温まる介護サービスでデイサービスに行くことが大好きで喜んでいました。102 歳ごろまで元気でしたが、病弱になりショートステイも受けて本当に助けていただきました。袋井市の進んだシステムをどうぞ今後とも、続けて頂きたいと思います。
68	両親を自宅で介護出来ました。訪問診療などいろいろなサービスを受けられました。ありがとうございました。私も高齢になってきましたので同じようなサービスが受けられるか（介護保険サービス）、制度がまだ使用できるか心配です。

(12) 介護サービス（介護保険によるものを除く）について

1	宅食便を利用出来る。理美容師の家庭訪問。
2	80 歳過ぎの高齢者宅には毎月 1 回くらいは様子を見に来て欲しい。
3	オムツ、パット等の無料（介護 4・5）を月 2 回位してあげると良いと思います。
4	お互いの助け合いで余裕のあるお手伝いができる方が増えるとありがたいと思います。
5	ひとり暮らし高齢者における毎日の見守り体制を開発する。終活の取り組みを考慮してほしい。
6	一人住まいの老人の孤独死などがないような連絡手段。
7	一人暮らしの方や病気の方の訪問を 1 週間に一度実施してほしい。
8	一人暮らし家にいる時に急に具合が悪くならすぐ通報できる機械？機具が欲しいです。
9	一定の年齢に達した人にタクシー券の配布、マッサージ券の配布等少しでも日常の生活に役立つこと、ものを考えて欲しい。

10	介護保険サービスと保険料の負担の件で、介護支援ボランティア制度の活用を柔軟に進める事。
11	緊急通報システムの貸し出しは耳の悪い人は不可との事。それでは困るしHP等にも書いてないので申請時に断られ、困惑した。情報はきっちり書いてほしい。
12	見守りをしっかりやってもらいたい。
13	後期高齢者、そして一人暮らしになると色々のサービス等あると聞きましたが、民生委員等一度も来ていただいたことはありません。一度だけセンターから血圧を測りにみえたことがあります。通院しているから必要ないと断りました。本当に助けて欲しい時に間に合うサービス。難しい問題だと思います。
14	公会堂までの資源ゴミ出しなど、様変わりの生活に心配です。どんなことがお願いできるか詳しく知りたいです。
15	高齢者「一人暮らし」の方々へのサービス・支援の充実を望みます。知人に、92歳の一人暮らしの婦人がいらっしゃいます。身内も近くにはいなくて、ひとりで必死に一日一日を過ごしている様子を見ているからです。私達の仲人という関係で1日/月の割合で訪問し様子を伺っています。
16	手厚くしてもらっていると思う。緊急通報はきめ細かく見守ってくれている。
17	認知症であっても人の手伝いや家事が出来る人もいます。夫も子供に簡単な学習（見守り）もしていましたし、子供と一緒に遊ぶこともできました。社会から遠ざけるのではなく、見守りながら生活ができる期間を長くのばすことは本人にとっても幸いなのかもしれません。例）ボランティアの参加、またそれを見守るサービス。保育園や学童保育で子供と一緒に過ごす時間を作る。保育士や介護スタッフとの共存など。
18	半年でもいいから民生委員さんに訪問していただき、地域の事何でもいいから話を聞かせてほしい。
19	磐田・掛川・袋井市でオムツ利用助成、タクシー券等の助成事業に差がありすぎ。よく近隣の市と歩調を合わせてと聞くと袋井市は劣っていると思う。歩調を合わせてほしい。
20	福祉サービスが少しずつ充実していることは承知しています。後期高齢者で今は元気ですが、やはり見回りをしてくれると安心です。民生委員は名前だけで一度も町を回ったり自宅訪問はありません。民生委員は報酬こそありませんが、活動費が支給されますので名前だけの人も多いです。市の相談員もあるとの事ですが、だれかも知らず、訪問を受けたことはありません。
21	老人一人住まいの安全・生活支援要件整理とその早期対応・検討を実施。

(13) 介護者が抱える問題（老老介護等）

1	これから先もっともっと老老介護が増えていくと思います。その時なんとか孤立しないで周りに手助けが頼めるような世の中になってほしいと思います。災害のときもしかり。
2	一番大変なのは、一番身近でお世話をしている人です。お世話をしている人が元気で、動けるのならいいのですが、家での介護で自身が病気になったり、心が折れてしまったりとどこかで休まないと続けられません。デイサービスやショートはとても助かりました。
3	家族が見守りやすいような制度、環境作成を望む。
4	家族介護について、祖父母・母と介護してきましたが、やはり家族全員でいつでも気にかけていなければなりません。子供は子供なりに出来ることを手伝ってもらい、仕事も自由がありません。従って、介護している人は外に勤めに出ることもできず、保険がないので自分が老いた時、年金が少なく、施設へも入所できず、保険サービスも使えません。よって働けるときに保険をかけ、施設に入所なり、保険サービスを受けるようにした方がいいと思います。お金さえ（年金）があれば、何でもできる現在、老後を安心して過ごしたいものです。上下の差の少ない方法をお願いします。
5	介護は義父、義母（80代）を家でデイサービスを利用しながら11年間みてきました。その時に思った事は、突然用事ができたとき預けられる所がなかったことです。ショートステイなどで予定が前もってわかっていればお願いできるのですが、孫が生まれた事などで突然予定が入る時になかなかお願いできなかった事です。

6	介護をするために仕事をやめなければならなくなると生活自体が困窮する。そんなことにならないよう、必要な時に必要なサービスを受けられて、若い人達に負担がかかりすぎない行政を望みます。
7	現在私は妻が認知症で困っています。知的障がいの孫と同居していて妻と孫の間でトラブルが多くて困っています。家の中で事件が起きないように願っています。妻の介護度が低いので金銭的な面で施設に入ることもできません。
8	自宅介護のため、離職して収入を失っている人が存在する半面、祖父母両親など施設に入居させて、息子夫婦、孫まで全員が会社勤めをして収入を得ている。家族の収入合計金額により入居者の負担額に差をつけるべきだ。現状、介護経費の付け替え状態で不公平を生じているのでは？
9	実際今の自分の周りに介護を必要としている人がいないため、具体的にと言われてもピンとこないのが実情。介護を受けるようになった時、家族への負担が最小限にできるようサービスの充実もしてほしいと思います。
10	親の介護のために仕事を辞さざるをえない方々を見ると私はそうなりたくないと思いました。
11	親の介護を頑張っていたら自分が病気になってしまいました。もっと早く療養型の病院に入れていたら、自分の不調にも気付いたのではないかと悔やまれます。今でも抗がん剤治療を受けながら恒例の姑の食事を作り、実母の洗濯物を取りに病院へ週一回夫に運転してもらい通っている。親より先に死ぬことを考えると本当に長生きが良いのかわからない。自分は子供たち（遠方にいる）の世話にはなりたくないと思う。
12	世間ではおひとり様（シングル親）ばかり取り沙汰されて優遇されていますが、ひとりっ子の場合、父母の介護が必要になった時、老老介護の方々と同様大変な苦労を強いられます。子供が生きていくために仕事をしなければ生活できず、仕事と介護の両立は大変困難な事態になります。
13	認知症が少しある配偶者と生活していますが、少しばかり振り回される時もある（感情の起伏がある）ので疲れる。自分が朝から一日中家を空けることは出来なくなっています。自分の楽しみは犠牲にしています。支援1ですがデイサービスには行きたくありませんので行ってないです。夫86歳、妻84歳、老老介護状態です。
14	訪問看護も家族（主人）の負担は大きく大変。

(14) 今後の不安について

1	所有している不動産の処理に苦悩しています。1人なので死後の遺骨の散骨の依頼に困っています。
2	1人暮らしだと年を追うごとに毎日が不安でなりません。
3	1人暮らしゆえ、最後の自分をどのように処理したら良いか心配である。
4	70歳に近い年齢なので、いつ何が起こるか分からず、知識もあまりないので本当に対象者になった時は不安だろうと、健康な今は思っています。どんなサービスがあろうと、精神的には不安定になると思っています。ストレスのたまらない生活を希望しています。
5	79歳の高齢者になりましたが、今のところたいした不便もなく、日常生活を送ることが出来ていますが、今後どんな風に身体や脳がおかされてくるのかと不安にかられます。欲を言うと、後10年15年は今の元気がそのまま続けられたら幸せと願い生きていきます。まわりに介護者、介助者が居ないので、知らない事ばかりでちょっとまずい。
6	まだ自分の中でやれる事が多いので、介護を受けることについて実現的ではないけど、だんだん忘れることが多くなり、主人と二人きりなので生活に不安を感じるがあります。
7	介護1の主人と要支援2の二人で生活しています。以前と比べたらいろいろ遅くなったり、面倒に思う時もあります。でも2人暮らしはどうせやらなくてはと思い、今のところは買物・食事の支度をやっています。しかし、いつやれなくなるかと心配はあります。本年は車の運転をしています、いつも注意しています。調査ありがとうございます。

8	現在義母が認知症でデイサービスに通っていますので、介護に直面している毎日です。現実を目の当たりにしている今、将来の自分に置き換えてしまいます。私達夫婦は60代後半で二人とも国民年金です。このまま老老介護とか将来のことを思うと不安しかありません。保険サービスを利用するにしても、利用料金が発生しますので今やれる事をやるしかないと思っています。毎日明るい気持ちで前向きに節約しながら時には思いっきりストレス解消です。
9	現在健康や体力に生活する上で不安はないが、年金を考えるといつ介護が必要となるか心配ではある。いざ介護が必要になった時のために今から調べておくこととどのようにすべきか考えておくことが必要と思われる。
10	後期高齢者となり不安を感じるようになりました。色々な援助があることに安心と感謝です。出来るだけ支援など受けることをしなくても良いように常日頃考えて生活したいと今は思っています。認知症については身近にまだおらず、知識は少ないです。今は自分がそうなる事は考えたくもない思いです。元気でできる限り自分達に対処してもらって判断をしてもらいたいと思っています。よろしくお願いいたします。
11	高齢者世帯ではどちらか一方の介護が必要になった場合、手続きをしてもらえる親族がいないので不安です。親の介護をしてきた世代が自分達の時は誰も居ない状況になって、サービスに任せる時代になるのでしょうか。
12	今の所はなんとか自分で出来るが出来なくなったらと不安があります。長女も三ヶ日なのですぐにはかけつけられない。義妹は浜松なので30分はかかります。倒れた時が不安です。
13	今は自分の事は自分で出来るが、出来なくなった時、子供との同居は出来ないで不安がある。介護施設に入る事は構わないがお金が足りないで（年金が少ない）今後の不安がある。
14	今は主人と普通に生活できている。実家の母が89歳の高齢で週一回のデイサービスに通っていてとてもありがたく思っている。でも「家が一番」と常々言っている母を見ると自分が高齢になった時、施設に入る気持ちになれるものなのか、想像がつかない。せめて子どもたちに迷惑をかけないように、健康に気をつけていきたいと思っています。
15	今現在は車の運転もでき、日常生活を送ることが出来ている。今後、一人暮らしになり病気になる、精神的肉体的に追い込まれ、認知症になり危険な行動をとってしまう自分を思い描くと大変不安になる。介護保険サービスや保健福祉サービスが今より充実されるとしても、死ぬまで穏やかな日々を送ることは到底無理な話である。出来るだけ、皆様に迷惑をかけない老後を過ごすよう努めたい。
16	自宅介護は家族に負担がかかり大変なので、施設介護が希望です。施設入所が楽にできるようになるといいと思います。介護度がないと入所できないと聞きます。それが心配です。
17	自分が働いている間は何も問題がありませんが、病気で働くことが出来なくなり、収入が減少し、支出が増えることが一番の心配ごとです。色々なサービスがあるのはありがたいのですが、皆様に負担がかかり、生きている意味があるのか？とつくづく思ってしまう自分が想像できるので不安です。精神的なケアをしてもらうことが出来れば少しは生きて行けるかなあ？
18	主人（84歳）妻（79歳）とりあえず二人で普通に過ごしています。今回のアンケートは妻（私）が代筆しました。バランスのとれた食事、歩く事を毎日の心構えとして生活しています。やはりこの先の不安はあります。今回のアンケートにより改善されることを願っています。
19	杖を利用しないと歩行できないのでとっても心配になりますが、今のところ主人が介護人なので安心ですが、これから先の事を思うと心配になります。
20	身内（別居一人暮らし）の介護が必要で、今は問題ないが将来的に自分が動けなくなってきたときにどうすれば良いかわからない。
21	人生いつ介護を必要とするか不明（不安）である。対処方法を常に変えておくように気を付けます。

22	令和4年交通事故で身体全身手術して、いろいろと制限が出てきて不自由な身体になってしまった。夫婦2人暮らしのため今後の生活が不安です。介護認定使って利用できるサービスがあればうれしいです。
23	老人なんか生きていたくない。生きる希望がない。生きていても仕方がない。安楽死させてもらいたい。良い人生でないし生きているのが大変で苦しい日々である。生きている楽しみがない。出来ない。

(15) 災害について

1	今日を一生懸命生きて災害にあったらその時考える。災害時に必要な水・レトルト食品は準備してあります。
2	災害時にどのように避難しますかについて。家族がいれば一緒に。留守の場合は1人では動けない。
3	私の居住地で（小字で20戸ほど）自身は高齢者のみの世帯であり、近所も高齢者単独や高齢者世帯が多く昼間は若い人は仕事でほとんどおりません。災害はいつ起こるかわからないので不安です。何か良い施策があればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(16) アンケートについて

1	（4）について考えたことがなかったが、読んで答えてみるともっと考えておくべきだし、今後も常に考えるべきだと感じた。この様な調査を時々してくれると市民も自分の事として考えるようになるので時々計画してくれるとありがたいです。
2	P9ー問7（2）の質問、「幸せ度」、抽象的で答えづらいです。
3	アンケートの質問が多い。
4	このアンケートも質問が多くて何日にも分けて書きました。高齢の方にはちょっと酷ではではないかなと思います。
5	この設問で何を知りたいのかどのような計画をやりたいのかわからない。設問はこのような統一的なものではなく、袋井市に対応したもっと具体的なものにすべきである。これでは新しい計画に期待は持てない。袋井市は地域住民の声をもっと直接聞くべきである。
6	質問が多く疲れました。
7	介護保険サービスや保健福祉サービスやその他の質問に関して、袋井市ではなにより市民重視で考えていただいていることに深く感謝いたします。今回のアンケートでは内容的に少し踏み込んだ質問が多かったように思います。今現在はまだ利用するまでにはいたっておりませんが、将来よくなったらいいなあと思いながら正直に回答させて頂きました。
8	現時点で自分の介護の事が想像できずに、よい回答が出来ていないかもです。すみません。
9	抗がん剤治療でしびれがあり字が書けません。
10	高齢者に対するアンケートにしては設問が多いと思われ、途中で止めたくまりました。
11	字が小さいから読みにくくかすんで見えません。
12	返信先が袋井市ではなく栃木県に。業務委託している旨の記入が一言ほしい。
13	本アンケートはなぜ県外宛か、不信感。他事務処理も市外業者多いが要再考。
14	無駄遣いをやめ、例えばこのアンケートの集計を外部に依頼するのではなく市の担当者がする。
15	問9の（6）（7）（8）は同居家族がいるのでお答えしにくく思いました。
16	量が多く高齢者では回答が無理なように感じました。介護保険制度など十分理解していません。

(17) 行政について

1	市役所窓口での手続きについて、規則に基づかないとの理由から対応が難しく、結果として何度も来庁する事となりました。規則遵守の重要性は理解しておりますが、実際の運用においては市民一人一人の事情に配慮した柔軟な対応も必要であると思います。特に高齢者や子供、支援を必要とする方にとっては、再来庁の負担は大きなものです。規則の範囲内での代替案や状況に応じた臨機応変な対応について、改善をご検討いただけたらと思います。市民に寄りそったより利用しやすい、窓口対応の実現をお願いいたします。
2	大きな費用が必要な時の無利息無担保での借り出し制度を国・自治体に作る。無期限。
3	余計なことかもしれないが一言言わせていただく。国会議員を一割削減すると言っているが、それは違う。議員を減らせば国民の意見は届かなくなる。議員の数を減らすのではなく、議員と歳費（給料を大幅に減らすことを考えるべきと思う。秘書の大幅削減もその一つだ）、もっと議員自身が働いてほしい。足で動けと言いたい。国民の生活向上もどうすれば良いかしっかり考えて欲しい。

(18) その他

1	80代に入り、のんびりしているので元気なうちに断捨離をやり始め、具体的に前に進めていこうと思います。
2	ありがとうございました。皆様に助けられて過ごしています。
3	高齢者に対する教育指導をする。
4	介護保険サービスなどほとんど無知な私でいろいろご迷惑をおかけしました。感謝申し上げます。
5	今のところ自分の事はすべて自分で出来ますので。
6	私は足が悪いので、その日その日を過ごしている。
7	認知症かなと思われる方がいても本人には言えず、どのように見守って安心して暮らしていただけるかの確かな対処法がむずかしい。
8	本人が各種サービスについて良くわかっていないため意見、要望は無い。家族としてはいろいろあるが、記入するのも違うと思うため記入しませんでした。ケアマネ従事の長男より。
9	毎日大変お疲れ様です。今の所ありませんがこれから具体的に出てくる（2～3年後）かと。
10	目が悪くなり、書く事が無理になった。

2 在宅介護実態調査

介護保険サービスや保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

意見の内容を分野に応じて整理したところ、主な意見は以下のとおりとなります。

分類回答	件数
1. 介護保険制度について	30
2. 公共交通機関、外出支援について	6
3. 経済的状況について	1
4. 広報、相談窓口について	8
5. 医療について	4
6. 施設サービス、介護保険サービスについて	23
7. 介護サービス（介護保険によるものを除く）について	11
8. 介護者が抱える問題（老老介護等）について	19
9. 今後の不安について	6
10. アンケートについて	6
11. その他	5

カテゴリーごとの主な意見の方向性は以下のとおりです。

(1) 介護保険制度について

1	ここで言うのは違うかもしれませんが、要介護度についての質問がありましたので、思っていることを書かせていただきます。本人は、介護者や子どもということとはわかりません。自宅にいても家に帰りたいと毎日言うのですが、説明しても納得しません。日々、認知症の症状が少しずつ進行しているのがわかります。よく怒るようになりました。要介護度の認定は厳しく感じます。と言っても、高齢者が増加し金銭のことを考えるとしょうがないですね。あきらめなければいけないことを書いてしまいました。失礼しました。
2	この度、父（義父）が介護保険サービスを受ける手続きをしたが間に合わずに亡くなってしまった。困った時に伝えたらすぐに対応して欲しいと思いました。お忙しいのは十分理解しているつもりですが、介護が必要な方は待ってはくれず、その日その日がピンチとされている人が多いと思うので。今後もよろしくお願いします。
3	サービス等を受けるために、申請主義なので、常に情報等に気を付けていなければならない事が大変です。最近も、今まで更新手続きのお知らせを頂いていた手続きも、「次回からはもう出しません。自分で覚えていて更新手続きを忘れないでして下さい」と言われた。高齢になっていくのに弱者に対しての不親切さを感じました。
4	家族が入院してしばらくは回復の見込みがないような状態でとても不安でした。介護認定をはやく受けてと思い、浅羽支所に伺ってお話をさいてもらい、親切に手際よく動いていただいて本当に感謝しています。おかげで歩けるようにまで回復しました。
5	介護サービスを受け、大変助かっています。財源不足が心配されますが、保険料、利用者負担公費、それぞれ増加し、皆さんで負担していくしかないのではと思います。
6	介護している自分も大変で要介護4でも年金で生活しているので、デイとかショートを増やすことは出来ません。老人ホームも生活の事を考えるとそれも出来ない。私たちの子育ては自分達で全部やってきたのに、今は子供に対してすごく良い時代だと思う。介護していると時々長生きはしない方が良いのかと思う時があります。介護保険が出来たことは使う身になって、それは大変助かっています。
7	介護は大変なので利用者の負担が減るように内容を充実させて欲しいです。
8	介護施設に入居させると小金ではすまないので高嶺の花です。にっちもさっちもいなくなるまで自宅でみます。
9	介護認定を受けたために今まで受けてきた高齢者支援が受けられなくなりました。本人がとても悲しんでおります。
10	介護保険サービスの利用増加により、保険料の負担が増えてもやむを得ないが、その分介護支援ボランティアを行うことによって、負担分を返納したり、将来的に本人（家族）が要介護になった時にポイントバックしていただける制度をつくっていただければと思う。
11	客観的に調査し介護度が決定されていると思いますが、自分の状況、大変さを上手く調査員等に訴えられる方が有利に感じられることがあります。どの市町でもどの調査員の方が調査しても平等に行われ、納得のいく介護度が決定してほしいです。
12	今後心配なのは、今のサービス量を受けられて安定しているのに、次回更新時に介護度が下がり、現在のサービス量を受けられなくなってしまうことが非常に心配である。
13	在宅介護の継続をしていきたいので、調査の時に考慮して頂きたい。
14	子育てよりも介護の負担は大きいと思います。子育てはオムツが取れても介護はオムツが増える。国の制度で子育てと合わせて介護にも力を大きく入れてもらいたい。今の政治家はお手伝いさんがいる様な環境で育った方で、苦勞の経験もなく、介護者の苦勞を感じ取れないのでは。
15	子ども（子育て）支援を充実させているように思える（市も国も）。子どもだけではなく老人の介護者の負担、金銭面も含め負担は大きい。こちら支援して下さい。今回、11月～12月、2か月入院していて、後半リハビリ病院に入院しましたが出費が大きかった。

16	自宅で親族（子ども）が対応することが困難だったために現在の状況になっている。何が正解なのかわからないが、高齢者は増加の一方なので、元気な高齢者が助けを必要とする高齢者の助けになる様な仕組みが出来ると良いと思う。
17	手続の方法が高齢者だとわかりづらい。手続の場所の問い合わせ時間など、長い時間対応できる所、増やすなどの対応。
18	諸サービスにおいて国や県、地方公共団体において無料や補助等の施策を望みたい。
19	親の介護度が上がったと感じた時、市役所に審査のお願いを出しますが、けっこう時間がかかると感じます。もう少し、すみやかに審査が行なわれ認定されることを望みます。
20	日常で休むことなくいろんな介護があるのに介護度を軽くされてしまい苦痛に思うことがあります。
21	入所施設への個人負担が高すぎるため、生活に支障がある。保険料を上げてでも個人負担を（家族負担）を減額すべき。
22	認知症の夫、入所を希望するが年金生活で金銭的な負担がムリ（月 11～13 万入所費用）。
23	認知度が面接する方によって変わることもあるのですね。前回と変化ない、それよりは進んでいると思ったのですが、基準はあっても見方取り方によって違うことを知りました。
24	包括支援センターの方からは、成年後見人制度を利用するようにすすめられていますが、その際の費用を支払っていただけるのかどうか心配です。妹やその娘のように、先々身寄りのない者についての介護についてはどのようになっていくのでしょうか。今後の介護のことについて知りたいです。
25	本人は現在医療施設に入院しております。いつも、国や市による福祉で助かっております。ありがたいです。
26	本人は年金収入が多いので、施設入所も可能でしたが、実母は特養の空きを待ちましたが間に合いませんでした。年金が少ない人は施設入所をためらい、在宅介護で苦勞されていると思います。
27	要介護度の見直しの間隔が長すぎると感じます。
28	老人が増加する中で、決められた予算でのサービス大変です。
29	老人ホーム入所金額が年金額位（国民年金）で納まると良い。

（２）公共交通機関、外出支援について

1	外へ出かける時などの乗り物の手配はどういった方法で受ければ良いのか？
2	交通手段をもたない高齢者にとって、買物、病院への交通手段は少なく大変なものです。
3	自宅で介護しているとどうしても生活のための金銭的問題が出てくるため支援して欲しいです。緊急時のためのタクシーチケットがあると助かります。
4	自動車運転が出来ないため移動が大変不便です。バス利用も（長時間かかる）出来ず、外出は遠のく現状です。市からのご協力を願って、希望者にはタクシー券を増やして配布していただけたら大変ありがたいです。今、利用の方からは少なすぎるようです。
5	車椅子の生活で外出（病院）は介護タクシーを利用している。補助をしてもらいたい。
6	袋井市内を定期運航する小型バスなどの移動手段をもっと充実させてほしい。選挙や集団検診などの際に、シャトルバスのような手段を運行してほしい（有料可）。

（３）経済的状況について

1	私は脳の病気で神経が腰から下がだめで、杖を使っています。妻は老人ホームに入り、私の年金でくらしています。妻の年金は国保だったので少なく、私も少なく、これからどうして暮らすか困っています。字も上手に書けなくなり、困っています。
---	--

(4) 広報、相談窓口について

1	「問 14」でオレンジカフェとありましたが、どこにあるのか、どんな感じなのか知りたいです（認知症の家族は今いませんが、知っておきたいです）。
2	10 年以上介護保険制度についてまったく説明もないのに、市政への理解と協力ができるわけありません。お金を支払っている以上、知る権利があるはず。最低年 1 回の介護保険の運営説明で知らせてください（広報）。
3	GPS とか借してもらえるのですか？知らない制度がたくさんあるのでそういった情報はどこでおしえてくれるのでしょうか。
4	介護サービスの支援内容が知りたい。利用交通機関が知りたい。
5	介護事業所をどこにするかで電話番号はわかりましたが、内容等まではわからず、どうやって選べばいいのか悩みました。おかげ様で、なんとか普通に動けるようになり、手助けも必要としなくなりましたが、次回そのような時にどこへお願いするかと考えています。
6	介護者がどのような状態にあるのかを総合的に判断して利用出来るサービスを相談できる窓口をわかりやすくしていただきたいです。
7	月一度の個人医の受診を妻と一緒に受けていますが、一昨年より保険料が 2 名とも 3 割になり、一緒に受診すると医療と薬価で 2 名分が 26,000 円になり大変です。
8	後期高齢者の入り口にいる団塊の世代の方々の生きがいややりがいのある事がみつけれられる情報や集う場所の紹介や支援を紹介する場所や方法を知りたい。

(5) 医療について

1	医療費が高すぎる。
2	回復時リハ病院の充実。
3	去年本人が 2 か月入院した際、医療にかかった費用が 250 万を超えたにもかかわらず、負担が 7 万 5 千円程度であった。医療保険制度と併せてこれらの制度の存続を希望する。
4	現在、脳の病気、歯の病気、足、大腿骨骨折など様々な病になっています。いずれは医療施設にお世話にならなくてはならないと思います。その節は適切な所へ紹介して頂きたいと思います。よろしくお願いします。現在 87 歳です。現在要介護 2 です。デイサービスへ週 1 回通っています。

(6) 施設サービス、介護保険サービスについて

1	90 代後半になり、デイサービスを利用し始めて 3 年になります。週 4 日の利用でお風呂の心配もなく、本当にありがたいです。ショートステイも 1 か月に一度利用させてもらっています。その時は、ゆっくり過ごすことができます。
2	平成 26 年に肺炎で入院後介護 5 をもらったが、その後退院後、介護は一切使わずに、それ以降就寝時のみ吸入機器を現在も使用している。吸入のマスクは市人より借用していますが、借用代 18,000 円（月）は介護保険で軽減できないものか。
3	ありがとうございます。皆さんとてもよく理解してやってくれています。食事もおいしく作ってくれて、色々聞いてくれて、お話しもできるのでありがたく思っております。心のこもった優しい心の人達ばかりですのでとても幸せです。ありがとうございます。
4	オレンジカフェも参加したいと思うが、仕事やそれ以外の予定や介護など考えるとどうしても優先順位が低くなるというか。参加までに至っていない現実。実際どんな形で行っているのか、ケアマネに聞いてもわからないし。自分としては、介護者から「こういう時こうしている」など、認知症介護のコツを聞きたいが。そのような場なのか。
5	かかりつけ医師、看護師、ケアマネさん、デイサービスの方々等、お世話になり自宅で生活できています。とても助けていただいております。ありがとうございます。
6	ケアマネの方が話をよく聞いてくれるので何でも話やすく、それだけでも心強いです。近所の方もよく声をかけてくれ、気が紛れる事がよくあります。サービスはその都度選んでしてもらっています。

7	デイサービス2か所で閉鎖になりました。“みつはし”、最近では“アカリ”、週2回 10年以上通所しました。
8	デイサービスステーションにおいて、運動療法士において、一人一人に機能状況をあわせて指導した方が良い。
9	デイサービスに行っているけれど大変ありがたく行かせてもらっています。
10	デイやショートステイが利用できて良かったです。家に居ると寝てばかりで困るのでそういう施設があって本当に助かります。
11	以前訪問看護を依頼したことがありましたが、退院したばかりの主人の看病に不安を感じていましたが、とても気持ち的にも安心し、よかったと感じていますので、このようなシステムをこれからもぜひ続けていってほしいと考えます。今は夫婦2人の生活で何とか助け合いながら生活していますが、お互い1人になった時の不安を感じます。そんな時に介護保険のお世話になると思いますが、保険サービスのよりよい継続を希望します。
12	介護1で福祉用具をお借りしています。出来る限り自立した生活を送って家族に負担をかけないようにと思っています。レンタルがあって本当に助かっています（本人より）。
13	介護施設職員の方々、福祉関係の職員の方々にはとても感謝しております。見合った対価をといつも感じております。
14	介護職員の給料をもっと上げて、個別対応に人手を当てられるとよいと思います。
15	介護保険サービスの制度があるため非常に助かっている。
16	現在看多機の施設を利用しており大変助かっております。こうした施設を今後とも拡充・整備を望みます。
17	個人ではできないのでサービスを受けてとても助かっています。
18	今の現在の状態でいれるように頑張るつもりでいますが、88歳の高齢でもありますので必要な状態になりましたその時に考えていきたいと思います。その時はお力を貸してください。
19	今は入院しているため介護はありませんが、自宅介護しているときは訪問診療、ヘルパー、訪問看護、デイサービス、レンタルなど利用していて非常に助かりました。すべてケアマネさんが指導してくれましたが、その指導がなければできませんでした。老老介護が多くなっているのでもうこうしたサービスの利用は誰もが必要とするはずで。
20	不安定だった母が、介護サービスを目一杯利用し、生活のペースが安定したことで、以前に比べ、母の精神状態も安定して生活できている。
21	亡き母も袋井みつかわ病院に入院した父も、ケアマネさんにいろいろ考えてもらい相談もしやすかったのも、両親とも体の衰えが早かったですが、あまり困ることなく過ごせました。ただ両親とも蓄えがあったので受けられたことだと思います。

(7) 介護サービス（介護保険によるものを除く）について

1	おむつのサービス、隣接の市と同等にして欲しいです。
2	一人暮らしの方への見守り対策。
3	何年か前に退院後に介護1で1年程皆にお世話になりましたが、現在は夕食のみ届けて頂いて、レンジ使用等で自分で済ましています。医者は月1回通院しています。
4	介護用おむつの補助を手厚くして欲しい。月8,000円～10,000円位かかる。年間10万円。
5	支援して頂きたいこともありますが、対象外という事も多く、市町村により格差があるように思います（宅食、おむつ代）。あと知らない情報もあるかも。
6	紙のリハビリパンツやパッドの補助があるといいなあと思います。
7	自宅で介護しているとどうしても生活のための金銭的問題が出てくるため支援して欲しいです。お弁当の宅配サービスのチケットがあると助かります。
8	食事等の宅配サービスはどういった方法で受ければ良いのか？
9	大変かと思いますが、1人暮らしの方が多くなっています。できたら、見まわりや声かけしていただくと安心です。自分も1人でのいる時に心細い時があります。

10	年金頼りの者にとって毎日の食事は大変です。子ども食堂と同様の制度を検討して欲しい。子ども食堂とあわせて。
11	買物、通院してくれるヘルパーが欲しいです。

(8) 介護者が抱える問題（老老介護等）について

1	このアンケートをして何か変わるのですか？この時間も惜しく無駄に感じます。生活が一変します。家族がみんなうつやノイローゼになります。なんとかしてほしいです。
2	デイサービスの預かり時間が勤務時間より短いため、この先認知症が進んだ時に、介護者（私）の仕事を続けられるか心配している。
3	一人暮らしの母（精神疾患）を、子が介護している。サービスを目一杯利用させてもらい、何とか継続できている。子が自らの家庭もあるが、夜間は母の家に寝泊まりしながら介護しているところは無理を感じている。
4	介護をする側からしても、サービスを利用できてとても助かっています。いつまで続くのかなど、いろいろ不安はありますが、自分自身もサービスを利用するようになる年齢になり、今のような制度でできるだけ介護保険が続けられるように思います。
5	介護者に手当てをつけてほしい。通院のために休みをとって連れて行って、休んだ分給料が減って、生活が苦しい。
6	介護者の交流の場が1年に1、2回欲しい。
7	介護度がさほど高くなくても日中夜間一人にしておけない。見守りが必要な場合は単位数を超えたサービスが必要になる。家族が仕事をしながら在宅で介護を続けられるようにケースに応じて何かサポート（自費にならないように）があるといいと思う。
8	現在の状態が重くなった時、現状のように日中独居だとごはんを食べなかったり、寝てばかりになってしまっていて、日中仕事だと目が届かないため心配です。重度介護になったら、現在のサービス内容を変更し、施設入所も必要となると思っています。
9	今のところ週二回のデイサービスを利用していますが、世話する自分も年を重ねているので将来の事を考えると苦しくなります。施設は市内にも多く出来てきたが、金額の事もありますが、自分はとにかく健康でいなくては…と。老老介護はしかたありませんね。
10	今のところ良くしてくださり満足しています。ありがたいです。介護している家族の隙間時間の仕事の斡旋をしていただけると嬉しいです。
11	子どもが3人居るのになぜ私（子の配偶者）が。子どもが主になって介護をする仕組みをしてほしい。
12	主に介護している者です。子育てと、両親、義両親の介護が重なり、6人分の送迎や健康管理は大変です。1人1人の介護度により受けられるサービスが限定され、介護のために仕事もセーブしなければならない。介護者がどのような状態にあるのかを総合的に判断して利用出来るサービスを増やして欲しいです（収入の補助など）。
13	人は死の直前、他人様の厄介になる。その時間は長短様々である。また、その必要度は様々でも必ずやってくる。介護者の負担は極力さげなければならない。介助者は国が守っていかなければならないと考える。2人の子どもは妻の介護をしている。子ども達2人には子供がいない。そのことが気になる。私自身介護が必要となった時、施設に入る事になるかもしれない。その費用はどうなるのか。国家に甘えるしかない。気ままに書いてきたが意味が理解されたのか気になる。よろしくお願いします。必要あれば会って話をしてみたい。
14	痴呆症の妹の介護をしています。妹は夫に先立たれ、娘1人おりますが、障害者のため不能。兄弟は姉の私しかおりません。私は70歳後半の高齢ゆえ、老老介護となっております。現在何とか対応しておりますが、この後のことを考えると心配です。
15	独居老人に対する介護は大変です。介護者の家族への対応が後手となります。
16	認知症の人の入る場所にいれば介護者は安心してリフレッシュできる。

17	必要と思われるサービスは利用しているが、要介護3の母にもまだ自我があり、嫌がるものを無理にデイサービスに送り出すのもつらい。かといって自宅でみることは自分（介護者）の自由（働くこと、楽しみ）をかなりあきらめなければならないし、収入も減る。私は59～63歳の間、介護で働くことができなかった。年金をもらえる年齢でもないのに、経済的な不安も感じた。市から支援金もいただいたが、実際働いていたら得られる金額には程遠い。同じことを繰り返す認知症の症状につき合う精神的負担もあり、時々落ち込むこともある。介護者にしかわからない辛さというのはあると思う。最近やっと週2で仕事につくことができたが、2か月後、母が骨折入院。退院後どうなるのか。
18	夫婦で母の介護を行っています。二人とも今は元気でおりますが、仕事をそれぞれ持ち、生活していくため制度を使い、母にも協力してもらわなければ成り立っていきません。時間と金額の兼ね合いが必要不可欠です。母も不自由（立ち上がり等）な面もあり、1人では無理な面もあり。
19	老老介護で大変になる。

(9) 今後の不安について

1	介護保険サービスが高過ぎてどう考えてよいかわからない。今は、元気であるけど元気でなくなった時は、自分の体は変わっていると思いますが、市の方でどう考えてくれるかはわからないので心配です。高齢者は体が悪くなるとお金が必要になるので、病院へ行くようになるとそこでお金がまた必要になる。この場合はサービスだけど。生活が心配。何でも高いからね。
2	今はよいが、今後どうなるかわからない。
3	私は両親を介護しています。アンケート対象は母になり、父は施設に入っています。母の介護のためほぼ毎日自宅～実家に通っています。父も母も国民年金のみ。貯金も少なく、この先介護や金銭面でいつまで援助できるのか不安しかありません。
4	精神科へ入院と同時期コロナで退院が出来なくて長い間入院生活（コロナにかかる）で寝たきりになり、今は月1回外出または外泊出来るようになり、毎月の医療費も大変な状態です。早く退院してほしいけど全介護なので退院も不安です。
5	母の認知症状についてはおとなしい痴呆状態です。寝たきりになる直後に話が出来なくなってきて、今はうなずきも時々で、こちらが顔を見て判断しながら生活しています。寝たきりのため食事を食べさせたり、おむつを替えたり、手はかかりますが、痴呆で困っている感覚はありません。これから介護者（私）が高齢になってくるので介護がむずかしくなってくるかもしれないと不安を感じます。
6	迷子になったら困るので、TEL、氏名や住所を見える所に書いています。私の体にも不調が出ているので、これからどの位みてあげられるかちょっと不安です。

(10) アンケートについて

1	アンケートがわかりづらくて長すぎでした。
2	施設に入居しているため、どこの質問に解答すればよいのかわかりませんでした。
3	調査結果を「制度の円滑な運営に役立てて」下さい。どのように役立ったかそこも分かるようにして下さい。本当に大変な時は調査に回答することもままならないものです。
4	本人がアンケートに答えられないので、介護しながら私が答える事となり忙しいです。
5	本人ではないのでアンケートにはなっていないと思います。申し訳ありません。
6	問7のフルタイム、パートで勤務は、問8、9へとありますが、働いていない方が問10～となっています。私はフルタイムで働いていながら、昼間は月～土までデイサービスに預け、認知症の母を見えています。認知症の疑いをもった時には友達に相談し、包括支援センターへメールしました。こちらの問は、働いている、いないに限らず回答してもらった方がよいと思います。私は記入しましたのでご確認下さい。

(11) その他

1	2026年1月23日に特別養護老人施設に入所する予定です。
2	ショートステイで入所日まで過ごしているため。
3	どんどんひどくなっている、父（実家へ毎日行けなかった）。実家も両親2人とも介護が必要なのになかなか外に出られなかったので心残りがあります。みんな自分勝手になるから困ります。
4	パーキンソン病なので色々な症状が出ています。
5	横のつながりが欲しい。

VII 資料編

VII 資料編

1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 調査票

令和7年度 高齢者の生活と意識に関する調査 [介護予防・日常生活圏域ニーズ調査]

袋井市にお住まいの皆様

日頃から、市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

袋井市では、今後の保健福祉行政に役立てるために、皆様の普段の生活や健康などに関する調査を実施いたします。ご協力をお願いいたします。

なお、皆様からのご回答は、令和9年度～令和11年度を計画期間とした第11次高齢者保健福祉計画及び第10期介護保険事業計画策定の目的で統計的に処理するために利用し、個人のお名前が出ることは一切ありませんので、ご安心してご回答をお願い申し上げます。

令和8年1月

袋井市長 大場 規之

ご記入にあたって

- 1 この調査は、令和8年1月1日現在の状況でお答えください。
- 2 この調査票は、ご本人が記入してください。
もし、ご本人が記入できない場合は、ご家族等が代筆してください。
- 3 調査票を記入する際は、各項目で該当する選択肢に☒ (レ点チェック)をつけてください。また、複数回答の設問や文字、数値記入の設問がありますので、ご注意ください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、3つ折りにして同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**令和8年2月2日(月)まで**に投函してください。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

はーとふるプラザ袋井(袋井市総合健康センター)

健康長寿課地域包括ケア推進係

電話：0538-84-7836 / FAX：0538-84-7582

E-mail：chiikihoukatsu@city.fukuroi.shizuoka.jp

〒437-0061 袋井市久能2515-1

問1 調査対象者様ご本人のことについてお伺いします

(1) この調査票を記入されたのはどなたですか。(☑は1つ)

- ☐ あて名ご本人が記入
- ☐ ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄:)
- ☐ その他 ()

(2) ご本人の性別・年齢についてお教えてください。

①性別 (☑は1つ)

- ☐ 男性 ☐ 女性

②年齢 (☑は1つ) ※1月1日現在の年齢をお答えください。

- ☐ 65歳～69歳 ☐ 70歳～74歳 ☐ 75歳～79歳 ☐ 80歳～84歳
- ☐ 85歳～89歳 ☐ 90歳～94歳 ☐ 95歳～99歳 ☐ 100歳以上

(3) ご本人のお住まいはどの地域ですか。(☑は1つ)

- ☐ 袋井北部地域 ☐ 袋井中部地域
- ☐ 袋井南部地域 ☐ 浅羽・笠原地域
- ☐ 分からない方はお住まいの自治会名 ()

(4) 家族構成をお教えてください。(☑は1つ)

- ☐ 1人暮らし ☐ 夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)
- ☐ 夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下) ☐ 息子・娘との2世帯
- ☐ その他 ()

(5) 現在の要支援認定の状況 (要支援度) についてお教えてください。(☑は1つ)

※要支援度は介護保険被保険者証に記載してあります。

- ☐ 要支援認定は受けていない ☐ 事業対象者 (チェックリスト該当者)
- ☐ 要支援 1 ☐ 要支援 2

(6) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(☑は1つ)

- ☐ 介護・介助は必要ない ⇒ (7) へ
- ☐ 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒ (6) - ① へ
- ☐ 現在、何らかの介護を受けている ⇒ (6) - ①、(6) - ② へ
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(6) で「介護・介助は必要ない」以外を回答された方にお伺いします。】

(6) -① 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(☑はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| ☐ 脳卒中 (脳出血・脳梗塞など) | ☐ 心臓病 |
| ☐ がん (悪性新生物) | ☐ 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等) |
| ☐ 関節の病気 (リウマチ等) | ☐ 認知症 (アルツハイマー病等) |
| ☐ パーキンソン病 | ☐ 糖尿病 |
| ☐ 腎疾患 (透析) | ☐ 視覚・聴覚障害 |
| ☐ 骨折・転倒 | ☐ 脊椎損傷 |
| ☐ 高齢による衰弱 | ☐ その他 () |
| ☐ 不明 | |

【(6) において「現在、何らかの介護を受けている」と回答された方にお伺いします。】

(6) -② 主にどなたの介護、介助を受けていますか。(☑はいくつでも)

- | | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| ☐ 配偶者 (夫・妻) | ☐ 息子 | ☐ 娘 |
| ☐ 子の配偶者 | ☐ 孫 | ☐ 兄弟・姉妹 |
| ☐ 介護サービスのヘルパー | ☐ その他 () | |

(7) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(☑は1つ)

- | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------|
| ☐ 大変苦しい | ☐ やや苦しい | ☐ ふつう |
| ☐ ややゆとりがある | ☐ 大変ゆとりがある | |

問2 からだを動かすことについてお伺いします

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(☑は1つ)

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| ☐ できるし、している | ☐ できるけどしていない | ☐ できない |
|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(☑は1つ)

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| ☐ できるし、している | ☐ できるけどしていない | ☐ できない |
|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|

(3) 15分位続けて歩いていますか。(☑は1つ)

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
| ☐ できるし、している | ☐ できるけどしていない | ☐ できない |
|------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(☑は1つ)

- | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| ☐ 何度もある | ☐ 1度ある | ☐ ない |
|--------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(☑は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)

- ☐ 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 ☐ 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
☐ 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 ☐ 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし

(4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(☑は1つ)

- ☐ 毎日ある ☐ 週に何度かある ☐ 月に何度かある
☐ 年に何度かある ☐ ほとんどない

問4 毎日の生活についてお伺いします

(1) 物忘れが多いと感じますか。(☑は1つ)

- ☐ はい ☐ いいえ

(2) 日常生活について、次の①～⑤のそれぞれの項目について、あてはまるものに☑をつけてください。(各項目に、☑はひとつずつ)

	できるし、 している	できるけど していない	できない
① バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)	☐	☐	☐
② 自分で食品・日用品の買物をしていますか。	☐	☐	☐
③ 自分で食事の用意をしていますか。	☐	☐	☐
④ 自分で請求書の支払いをしていますか。	☐	☐	☐
⑤ 自分で預貯金の出し入れをしていますか。	☐	☐	☐

(3) ごみ出しで困難を感じていることはありますか。(☑はいくつでも)

- ☐ 分別することが難しい ☐ ごみ集積所までの運搬が困難
☐ 収集日や収集時間帯に出せない ☐ ごみ出しを頼める人がいない
☐ その他 () ☐ 困難を感じていることはない

(4) 必要な物の購入はどのようにしていますか。(☑はいくつでも)

- ☐ 自分で買い物に行く ☐ 家族・友人等に連れて行ってもらう
☐ 宅配・通販を利用している ☐ 移動販売を利用している
☐ 買い物ができず困っている

**(5) 食料品や日用品の買い物で、不便や不安を感じていることはありますか。
(☑はいくつでも)**

- ☐ 近くにお店がない (なくなった)
- ☐ 自分で車の運転ができない
- ☐ 歩いて買い物に行くのが大変 (または不安)
- ☐ バスなどの交通の便が悪い (または交通手段がない)
- ☐ 買い物を手伝ってくれる人がいない
- ☐ 介護等によって買い物にでかけにくくなった
- ☐ その他 ()
- ☐ 特に不便や不安はない

(6) 生きがい (喜びや楽しみ) を感じるのはどのような時ですか。(☑はいくつでも)

- ☐ 仕事をしているとき (農作業なども含む)
- ☐ 教養を身につけること (学習) をしているとき
- ☐ 健康づくりやスポーツをしているとき
- ☐ 家族との団らんのとき
- ☐ 友人や知人と過ごすとき
- ☐ シニアクラブ・老人クラブ活動をしているとき
- ☐ 地域活動 (町内会、自治会、ボランティア等) に参加しているとき
- ☐ 旅行に行っているとき
- ☐ 散歩や買い物をしているとき
- ☐ テレビを見たり、ラジオを聞いているとき
- ☐ パソコン、インターネットをしているとき
- ☐ 他人から感謝されたとき
- ☐ 収入があったとき
- ☐ おいしいものを食べているとき
- ☐ 若い世代と交流しているとき
- ☐ その他 ()
- ☐ 特にない

(7) 今後、やってみたいと思うものは何ですか。(☑はいくつでも)

- ☐ 働くこと
☐ 学習や教養を高めるための活動
☐ 健康づくりやスポーツ
☐ 趣味の活動
☐ シニアクラブ・老人クラブ活動
☐ 社会奉仕活動（ボランティア、高齢者の生活支援など）
☐ 町内会、自治会の活動
☐ その他（ ）
☐ 特にない

問5 地域での活動についてお伺いします

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ☑は1つ）

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
② スポーツ関係のグループやクラブ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
③ 趣味関係のグループ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
④ 学習・教養サークル	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑤ 介護予防のための通いの場 （サロン・居場所・しぞ～か でん伝体操など）	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑥ シニアクラブ・老人クラブ	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑦ 町内会・自治会	☐	☐	☐	☐	☐	☐
⑧ 収入のある仕事	☐	☐	☐	☐	☐	☐

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(☑は1つ)

- ☐ 是非参加したい ☐ 参加してもよい ☐ 参加したくない ☐ 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（☑は1つ）

☐ 是非参加したい ☐ 参加してもよい ☐ 参加したくない ☐ 既に参加している

問6 あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか。(☑はいくつでも)

☐ 配偶者
 ☐ 同居の子ども
 ☐ 別居の子ども

☐ 兄弟姉妹・親戚・親・孫
 ☐ 近隣の人
 ☐ 友人

☐ その他（ ）
 ☐ そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか。
(☑はいくつでも)

☐ 配偶者
 ☐ 同居の子ども
 ☐ 別居の子ども
☐ 兄弟姉妹・親戚・親・孫
 ☐ 近隣の人
 ☐ 友人
☐ その他（ ）
 ☐ そのような人はいない

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
(☑はいくつでも)

☐ 配偶者
 ☐ 同居の子ども
 ☐ 別居の子ども

☐ 兄弟姉妹・親戚・親・孫
 ☐ 近隣の人
 ☐ 友人

☐ その他（ ）
 ☐ そのような人はいない

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(☑はいくつでも)

[illegible]

問7 健康についてお伺いします

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(☑は1つ)

☐ とてもよい ☐ まあよい ☐ あまりよくない ☐ よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。(☑は1つ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください)

とても不幸

とても幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

□ □ □ □ □ □ □ □ □ □

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(☑は1つ)

☐ はい ☐ いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(☑は1つ)

☐ はい ☐ いいえ

(5) タバコは吸っていますか。(☑は1つ)

☐ ほぼ毎日吸っている ☐ 時々吸っている

☐ 吸っていたがやめた ☐ もともと吸っていない

(6) ご自身の健康のためにどんなことを心がけていますか。(☑は3つまで)

- ☐ 休養や睡眠を十分にとる
- ☐ 食事に気をつける（栄養バランスを意識する、体に良い食べ物をとるなど）
- ☐ 歯や口の中を清潔に保つ
- ☐ 健康診断などを定期的に受ける
- ☐ 酒、タバコを控える
- ☐ 散歩やスポーツをする
- ☐ 地域の活動に参加する
- ☐ 教養や学習活動などの楽しみを持つ
- ☐ 気持ちをなるべく明るく持つ
- ☐ 身の回りのことはなるべく自分で行う
- ☐ 仕事をする
- ☐ その他（ ）
- ☐ 特に心がけていない

(7) 健康についてどのようなことが知りたいですか。(☑は3つまで)

- ☐ がんや生活習慣病（高血圧など）にならないための工夫について
☐ 望ましい食生活について
☐ 運動の方法について
☐ 健康診断・各種検診の内容や受け方などについて
☐ 寝たきりや介護の予防について
☐ 歯の健康について
☐ 認知症の予防について
☐ うつ病の予防について
☐ その他（ ）

(8) かかりつけ医を持っていますか。(☑は1つ)

- ☐ 持っている ☐ 持っていない

(9) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(☑はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| ☐ ない | ☐ 高血圧 |
| ☐ 脳卒中（ <small>のうそっちゅう</small> 脳出血・ <small>のうしゅけつ</small> 脳梗塞等） | ☐ 心臓病 |
| ☐ 糖尿病（ <small>とうにょうびょう</small> ） | ☐ 高脂血症（ <small>こうしけっしょう</small> 脂質異常） |
| ☐ 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） | ☐ 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| ☐ 腎臓・前立腺の病気（ <small>じんぞう</small> 腎臓・ <small>ぜんりつせん</small> 前立腺） | ☐ 筋骨格の病気（ <small>きんこつかく</small> 骨粗しょう症、 <small>こつそ</small> 関節症等） |
| ☐ 外傷（ <small>がいしょう</small> 転倒・ <small>てんとう</small> 骨折等） | ☐ がん（悪性新生物） |
| ☐ 血液・免疫の病気（ <small>けつえき</small> 血液・免疫） | ☐ うつ病 |
| ☐ 認知症（アルツハイマー病等） | ☐ パーキンソン病 |
| ☐ 目の病気 | ☐ 耳の病気 |
| ☐ その他（ ） | |

問8 認知症についてお伺いします

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(☑は1つ)

- ☐ はい ☐ いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(☑は1つ)

- ☐ はい ☐ いいえ

(3) 認知症という病気について、どの程度知っていますか。(☑は1つ)

- ☐ どのような症状の病気かよく知っている
- ☐ どのような症状の病気かある程度知っている
- ☐ 認知症という言葉ぐらいは知っている
- ☐ まったく知らない

(4) 市で実施している認知症支援で知っているものはどれですか。(☑はいくつでも)

- ☐ オレンジカフェ
- ☐ 認知症サポーター養成講座
- ☐ はいかい SOS ネットワーク事業
- ☐ 認知症初期集中支援チーム
- ☐ 認知症ハートフルブック
- ☐ その他 ()
- ☐ 知っているものはない

(5) 認知症予防(認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を穏やかにする)に効果があると考えられるものの中で、ご自身で現在取り組んでいるものはありますか。(☑はいくつでも)

- ☐ 定期的な運動
- ☐ 運動と頭の体操の組み合わせ
- ☐ バランスの取れた食事
- ☐ 禁煙、飲酒制限
- ☐ 社会参加・活動
- ☐ かかりつけ医や保健師、管理栄養士等の専門職による健康相談
- ☐ その他 ()
- ☐ 特にない

(6) あなたは、今の社会で認知症の人が自分らしく暮らしていると思いますか。(☑は1つ)

- ☐ そう思う ☐ どちらかと言えばそう思う
- ☐ どちらとも言えない ☐ どちらかと言えばそう思わない
- ☐ そう思わない

(7) 認知症になったときに地域で安心して暮らすために、どのような施策があれば安心ですか。(☑はいくつでも)

- ☐ 認知症のことを相談できる窓口体制の充実
☐ 認知症への正しい知識や接し方を広める啓発活動
☐ 認知症を早期発見・早期診断するための仕組みづくり
☐ 認知症の人を支援するボランティアの養成
☐ 家族の身体的・精神的負担を減らす取組
☐ 介護サービスにあたる専門職のスキルアップに資する取組
☐ 認知症の人が一人でも安心して外出するための支援
☐ その他 ()

問9 介護保険サービスなどについてお伺いします

(1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(☑は1つ)

- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護してほしい
☐ 介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護してほしい
☐ 老人ホームなどの施設に入所したい
☐ その他 ()
☐ わからない

(2) あなたの家族に介護が必要となった場合、どのように介護したいと思いますか。(☑は1つ)

- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護したい
☐ 介護保険サービス（デイサービスや短期の宿泊サービスなど）を使いながら自宅で介護したい
☐ 老人ホームなどの施設に入所させたい
☐ その他 ()
☐ わからない

(3) 病気やけがをしたときに、どのような治療や生活をしたいか、ご家族や医療・介護従事者（例：医師や看護師、ケアマネジャー等）と話したことはありますか。
(☑は1つ)

☐ 話したことがある

☐ 話したいと思うので、これから話したい

☐ 話したいと思うが、話すきっかけがない

☐ 話したいと思うが、知識がないので何を話したらよいか分からない

☐ 話したいと思うが、話す相手がいない

☐ 話したいとは思わない

☐ 考えたことがない

※アドバンス・ケア・プランニング（ACP）とは、将来の意思決定能力の低下に備え、本人と家族、医療・介護従事者が一緒になって、本人の終末期を含めた今後の医療や介護の方針について話し合い、共有する機会を持つことを指します。

(4) 人生の最期はどこで過ごしたいですか。(☑は1つ)

☐ 自宅	☐ 医療機関	☐ 高齢者施設
-----------------------------	-------------------------------	--------------------------------

(5) 介護保険サービスの利用者増加により、保険料の負担が増えることについてどう思いますか。(☑は1つ)

☐	介護保険サービスの利用者増加により、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない
☐	利用者負担を増やすなど、制度の見直しにより、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい
☐	保険料の負担は現状程度とし、利用者の増加により、希望する介護保険サービスが利用できるなくてもやむを得ない
☐	保険料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
☐	その他（ ）
☐	わからない

(6) あなたに介護が必要となった場合、どのような介護保険サービスを利用したいですか。(☑は3つまで)

- ☐ ホームヘルプや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス
- ☐ デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス
- ☐ 医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス
- ☐ デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせて利用できるサービス
- ☐ 特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設
- ☐ グループホーム（認知症の方が共同生活をする施設）
- ☐ 有料老人ホームなどの介護付き施設
- ☐ その他（ ）
- ☐ わからない

(7) 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービスなどについて、あなたは、どのようなサービスの充実を望みますか。(☑は3つまで)

- ☐ 介護支援ボランティアポイント制度
- ☐ 自宅への訪問理美容サービス
- ☐ ひとり暮らし高齢者の方の見守りをするサービス
- ☐ 公的または民間による配食サービス
- ☐ 緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス
- ☐ はり・きゅう・マッサージの施術費を助成するサービス
- ☐ タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス
- ☐ 補聴器の購入費を助成するサービス
- ☐ 認知症の方が所持するGPS機器を貸与するサービス
- ☐ その他（ ）
- ☐ 特にない

(8) あなたは、どのような医療サービスの充実を望みますか。(☑はいくつでも)

- ☐ 訪問診療（医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療する）
- ☐ 往診（急変時などに、患者や家族の要望で、不定期に自宅に訪問して診療する）
- ☐ 訪問看護（医師の指示に基づき、看護師が自宅に訪問し、療養上の世話や必要な診療補助などをおこなう）
- ☐ 訪問歯科診療（歯科医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療する）
- ☐ 訪問リハビリテーション（医師の指示に基づき、理学療法士などの専門職が自宅に訪問し、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けたリハビリテーションをおこなう）
- ☐ 訪問薬剤指導（薬剤師が自宅に訪問し、薬の正しい服薬方法等について指導する）
- ☐ レスパイト入院（介護者の事情により在宅での介助が一時的に困難になった場合に、短期入院できる仕組み）
- ☐ その他（ ）

問 10 その他についてお伺いします

(1) あなたは、携帯電話を持っていますか。(☑はいくつでも)

- ☐ 持っていない ☐ スマートフォンを持っている
- ☐ ガラケー（フィーチャーフォン）を持っている ☐ 持っているが何か分からない

【(1)で「スマートフォンを持っている」と回答された方にお伺いします。】

(1)－① あなたは、スマートフォンをどのように利用していますか。(☑はいくつでも)

- ☐ 電話連絡 ☐ インターネットでの情報収集
- ☐ LINEなどでのコミュニケーション(SNS) ☐ YouTubeなどの動画視聴
- ☐ 買物・決済（インターネットショッピング） ☐ その他（ ）

(2) 災害時の情報はどこから入手していますか。(☑はいくつでも)

- ☐ メローねっと（袋井市Eメール） ☐ 同報無線
- ☐ 袋井市ホームページ ☐ インターネット
- ☐ テレビ・ラジオ ☐ 家族・近所・友人など
- ☐ その他（ ） ☐ 何もしていない

(3) 災害時にどのように避難しますか。(☑は1つ)

- ☐ 一人で逃げる
- ☐ 逃げる予定だが、特に考えていない
- ☐ 一緒に逃げる人を決めている (要支援者計画など)
- ☐ 近所の人や友人と一緒に逃げる (予定を含む)
- ☐ 逃げるつもりはない

(4) 介護保険サービスや保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和8年2月2日(月)までにご投函(切手不要)をお願いいたします。

2 在宅介護実態調査 調査票

令和7年度 高齢者の生活と意識に関する調査 [在宅介護実態調査]

袋井市にお住まいの皆様

日頃から、市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

袋井市では、今後の介護保険制度のより円滑な運営に役立てるために、皆様の介護保険制度への意識に関する調査を実施いたします。ご協力をお願いいたします。

なお、皆様からのご回答は、令和9年度～令和11年度を計画期間とした第11次高齢者保健福祉計画及び第10期介護保険事業計画策定の目的で統計的に処理するために利用し、個人のお名前が出ることは一切ありませんので、ご安心してご回答をお願い申し上げます。

令和8年1月

袋井市長 大場 規之

ご記入にあたって

- 1 この調査は、令和8年1月1日現在の状況でお答えください。
- 2 この調査票は、ご本人が記入してください。
もし、ご本人が記入できない場合は、ご家族等が代筆してください。
- 3 調査票を記入する際は、各項目で該当する選択肢に☒ (レ点チェック)をつけてください。また、複数回答の設問や文字、数値記入の設問がありますので、ご注意ください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、3つ折りにして同封の返信用封筒(切手不要)に入れ、**令和8年2月2日(月)まで**に投函してください。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

【お問い合わせ先】

はーとふるプラザ袋井(袋井市総合健康センター)

健康長寿課地域包括ケア推進係

電話：0538-84-7836 / FAX：0538-84-7582

E-mail：chiikihoukatsu@city.fukuroi.shizuoka.jp

〒437-0061 袋井市久能2515-1

1 【A票】調査対象者様ご本人のことについてお伺いします

問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(☑は1つ)

- ☐ 調査対象者本人
 ☐ 主な介護者となっている家族・親族
☐ 主な介護者以外の家族・親族
 ☐ その他 ()

問2 世帯類型について教えてください。(☑は1つ)

- ☐ 単身世帯
 ☐ 夫婦のみ世帯
 ☐ その他 ()

問3 ご本人の性別について教えてください。(☑は1つ)

- ☐ 男性
 ☐ 女性

問4 ご本人の年齢について教えてください。

(令和8年1月1日現在の年齢をお答えください。)(☑は1つ)

- ☐ 65歳未満
 ☐ 65～69歳
 ☐ 70～74歳
 ☐ 75～79歳
☐ 80～84歳
 ☐ 85～89歳
 ☐ 90歳以上

問5 ご本人の要介護度について教えてください。(☑は1つ)

※要介護度は介護保険被保険者証に記載してあります。

- ☐ 要支援1
 ☐ 要支援2
☐ 要介護1
 ☐ 要介護2
 ☐ 要介護3
☐ 要介護4
 ☐ 要介護5
 ☐ わからない

問6 現時点での、施設等※への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。 (☑は1つ) ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームをいいます。	
☐ 入所・入居は検討していない ⇒ 問8へ	問7へ
☐ 入所・入居を検討している	
☐ すでに入所・入居申し込みをしている	
【問6で「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居の申し込みをしている」と回答された方にお伺いします。】 問7 現時点で検討しているまたは、申し込みをしている施設等はどこですか。 (☑は1つ)	
☐ 特別養護老人ホーム（常時介護が必要で、家族での介護が困難な方のための施設） ☐ 介護老人保健施設（家庭への復帰を支援するための施設） ☐ 介護医療院（長期療養が必要な方のための医療機関） ☐ 特定施設（有料老人ホーム等） ☐ グループホーム（認知症の方が共同生活する施設） ☐ その他（ ）	
問8 令和7年12月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。(☑は1つ)	
☐ 利用した ⇒ 問9、問11以降へ	☐ 利用していない ⇒ 問10へ

【問8で「利用した」と回答された方にお伺いします。】

問9 以下の介護保険サービスについて、令和7年12月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください。（それぞれ☑は1つ）

	1週間あたりの利用回数（それぞれ☑は1つ）					
	利用していない	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上
A. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
B. 訪問入浴介護	☐	☐	☐	☐	☐	☐
C. 訪問看護	☐	☐	☐	☐	☐	☐
D. 訪問リハビリテーション	☐	☐	☐	☐	☐	☐
E. 通所介護 (デイサービス)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
F. 通所リハビリテーション(デイケア)	☐	☐	☐	☐	☐	☐
G. 夜間対応型訪問介護 ※訪問のあった回数を回答	☐	☐	☐	☐	☐	☐

	利用の有無（それぞれ☑は1つ）	
	利用していない	利用した
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	☐	☐
I. 小規模多機能型居宅介護	☐	☐
J. 看護小規模多機能型居宅介護	☐	☐

	1か月あたりの利用日数（☑は1つ）				
	利用していない	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上
K. ショートステイ	☐	☐	☐	☐	☐

	1か月あたりの利用回数（☑は1つ）				
	利用していない	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度
L. 居宅療養管理指導※	☐	☐	☐	☐	☐

※ 居宅療養管理指導とは、医師、歯科医師、薬剤師、管理栄養士などが家庭を訪問して、療養上の管理や指導を行うことです。

【問8で「利用していない」と回答された方にお伺いします。】

問 10 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(☑は3つまで)

- ☐ 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
- ☐ 必要になった時にすぐにサービスを利用できるようにするための備えである
- ☐ 本人にサービス利用の希望がない
- ☐ 家族が介護をするため必要ない
- ☐ 以前、サービス利用していたが、状態が改善したため今は利用していない
- ☐ 利用料を支払うのが難しい
- ☐ 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- ☐ 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
- ☐ サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
- ☐ その他 ()

●ここから再び、全員の方にお伺いします。

問 11 介護保険サービスの利用者増加により、保険料の負担が増えることについてどう思いますか。(☑は1つ)

- ☐ 介護保険サービスの利用者増加により、保険料の負担がその分増えてもやむを得ない
- ☐ 利用者負担を増やすなど、制度の見直しにより、保険料の負担が増えることをできる限り抑えてほしい
- ☐ 保険料の負担は現状程度とし、利用者の増加により、希望する介護保険サービスが利用できなくてもやむを得ない
- ☐ 保険料の負担を減らし、介護保険サービスの充実は望まない
- ☐ その他 ()
- ☐ わからない

問 12 あなたは、どのような介護保険サービスの充実を望みますか。(☑は3つまで)

- ☐ ホームヘルプや訪問看護などの自宅に訪問してもらうサービス
- ☐ デイサービスやショートステイ（短期の宿泊サービス）などの施設に通うサービス
- ☐ 医師や薬剤師などが自宅に訪問して療養上の管理指導を行うサービス
- ☐ デイサービスを中心として訪問介護やショートステイを組み合わせ利用できるサービス
- ☐ 特別養護老人ホームなどの入所してサービスを受けられる介護保険施設
- ☐ グループホーム（認知症の方が共同生活をする施設）
- ☐ 有料老人ホームなどの介護付き施設
- ☐ その他（ ）
- ☐ わからない

問 13 介護保険制度における介護サービス以外の保健福祉サービスなどについて、あなたは、どのようなサービスの充実を望みますか。(☑は3つまで)

- ☐ 介護支援ボランティアポイント制度
- ☐ 自宅への訪問理美容サービス
- ☐ ひとり暮らし高齢者の方の見守りをするサービス
- ☐ 公的または民間による配食サービス
- ☐ 緊急時に通報できる装置などを給付・貸与するサービス
- ☐ はり・きゅう・マッサージの施術費を助成するサービス
- ☐ タクシーやバス等の利用券または割引券を支給するサービス
- ☐ 補聴器の購入費を助成するサービス
- ☐ 認知症の方が所持するGPS機器を貸与するサービス
- ☐ その他（ ）
- ☐ 特にない

問 14 あなたは、どのような医療サービスの充実を望みますか。(☐はいくつでも)

- ☐ 訪問診療（医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療する）
- ☐ 往診（急変時などに、患者や家族の要望で、不定期に自宅に訪問して診療する）
- ☐ 訪問看護（医師の指示に基づき、看護師が自宅に訪問し、療養上の世話や必要な診療補助などをおこなう）
- ☐ 訪問歯科診療（歯科医師が日時を約束して計画的に自宅に訪問して診療する）
- ☐ 訪問リハビリテーション（医師の指示に基づき、理学療法士などの専門職が自宅に訪問し、心身機能の維持回復や日常生活の自立に向けたリハビリテーションをおこなう）
- ☐ 訪問薬剤指導（薬剤師が自宅に訪問し、薬の正しい服薬方法等について指導する）
- ☐ レスパイト入院（介護者の事情により在宅での介助が一時的に困難になった場合に、短期入院できる仕組み）
- ☐ その他（ ）

問 15 人生の最期はどこで過ごしたいですか。(☐は1つ)

- ☐ 自宅 ☐ 医療機関 ☐ 高齢者施設

問 16 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(☐は1つ)

- ☐ ない } 「3 自由意見」へ
- ☐ 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない }
- ☐ 週に1～2日ある }
- ☐ 週に3～4日ある }
- ☐ ほぼ毎日ある }
- 「2【B票】」の回答をお願いします。

●問16で「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」、「週に1～2日ある」、「週に3～4日ある」、「ほぼ毎日ある」を選択された場合は、「主な介護者」の方に「2【B票】 問1」からご回答・ご記入をお願いします。

●「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします（ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

2 【B票】主な介護者の方についてお伺いします

問1 ご家族やご親族の中で、ご本人様（調査対象者様）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（☑はいくつでも）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

- ☐ 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
- ☐ 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
- ☐ 主な介護者が転職した
- ☐ 主な介護者以外の家族・親族が転職した
- ☐ 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
- ☐ わからない

問2 主な介護者の方は、どなたですか。（☑は1つ）

- ☐ 配偶者（夫・妻） ☐ 子 ☐ 子の配偶者
- ☐ 孫 ☐ 兄弟・姉妹 ☐ その他（ ）

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（☑は1つ）

- ☐ 20歳未満 ☐ 20代 ☐ 30代 ☐ 40代
- ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代 ☐ 80歳以上
- ☐ わからない

問4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。（☑はいくつでも）

〔身体介護〕

- ☐ 日中の排泄 ☐ 夜間の排泄 ☐ 食事の介助（食べる時）
- ☐ 入浴・洗身 ☐ 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） ☐ 衣服の着脱
- ☐ 屋内の移乗・移動 ☐ 外出の付き添い、送迎等 ☐ 服薬
- ☐ 認知症状への対応 ☐ 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）

〔生活援助〕

- ☐ 食事の準備（調理等） ☐ その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）
- ☐ 金銭管理や生活面に必要な諸手続き

〔その他〕

- ☐ その他（ ） ☐ わからない

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）
（☑は3つまで）

〔身体介護〕

- | | | |
|-----------------------------------|--|--------------------------------------|
| ☐ 日中の排泄 | ☐ 夜間の排泄 | ☐ 食事の介助（食べる時） |
| ☐ 入浴・洗身 | ☐ 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | ☐ 衣服の着脱 |
| ☐ 屋内の移乗・移動 | ☐ 外出の付き添い、送迎等 | ☐ 服薬 |
| ☐ 認知症状への対応 | ☐ 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | |

〔生活援助〕

- | | |
|---|---|
| ☐ 食事の準備（調理等） | ☐ その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| ☐ 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- ☐ その他（ ） ☐ 不安に感じていることは、特にない
- ☐ 主な介護者に確認しないと、わからない

問6 主な介護者の方は、介護のほかに子育てや病気の家族などのお世話（ダブルケア）をしていますか。（☑は1つ）

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ☐ 介護のほかはない | ☐ 子育てや病気の家族などのお世話もしている |
|-----------------------------------|---|

問7 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。（☑は1つ）

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

- | | | |
|---|---|--------|
| ☐ フルタイムで働いている | } | 問8、問9へ |
| ☐ パートタイムで働いている | | |
| ☐ 働いていない | } | 問10へ |
| ☐ 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答された方にお伺いします。】

問8 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。(☑はいくつでも)

- ☐ 特に行っていない
- ☐ 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
- ☐ 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
- ☐ 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- ☐ 介護のために、上記（労働時間を調整・休暇・在宅勤務）以外の調整をしながら、働いている
- ☐ 主な介護者に確認しないと、わからない

【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」と回答された方にお伺いします。】

問9 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(☑は1つ)

- ☐ 問題なく、続けていける ☐ 問題はあるが、何とか続けていける
- ☐ 続けていくのは、やや難しい ☐ 続けていくのは、かなり難しい
- ☐ 主な介護者に確認しないと、わからない

問10 主な介護者の方は、認知症の方を介護していますか。(☑は1つ)

- ☐ 介護している ☐ 介護していない

【問10で「介護している」と回答された方にお伺いします。】

問11 認知症の疑いを感じたとき、家族・親戚・知人以外で最初にどこに（だれに）相談（受診）しましたか。(☑は1つ)

- ☐ かかりつけ医 ☐ もの忘れ外来
- ☐ 市役所 ☐ 地域包括支援センター
- ☐ ケアマネジャー ☐ その他（ ）
- ☐ 相談先がわからなかった ☐ 誰にも相談しなかった

【問 10 で「介護している」と回答された方にお伺いします。】

問 12 ご本人様（調査対象者様）が認知症になって主な介護者の方はどのようなことに不安を感じましたか。（☑はいくつでも）

- ☐ 介護にかかる負担
- ☐ 本人の性格や行動の変化
- ☐ 家族や大切な思い出を忘れてしまうこと
- ☐ 日常生活（家事・車の運転など）の継続
- ☐ 周りに介護をサポートしてくれる人がいるかどうか
- ☐ 相談先・受診先がわからないこと
- ☐ 治療による経済的負担
- ☐ その他（ ）

【問 10 で「介護している」と回答された方にお伺いします。】

問 13 介護保険サービス以外でどのような支援、サービスを希望されますか。（☑はいくつでも）

- ☐ 地域の方からの声かけ（近所の方など）
- ☐ 民生委員、認知症サポーターからの声かけ
- ☐ 行方不明にならないための見守り用品（GPS 装置など）
- ☐ 徘徊予防のための見守り用品（玄関センサー、離床センサーなど）
- ☐ 介護している方向けのリフレッシュ講座
- ☐ 支援、サービスの利用を希望しない
- ☐ その他（ ）

【問 10 で「介護している」と回答された方にお伺いします。】

問 14 認知症の人と家族、地域住民、専門職等の誰もが参加できる交流の場「オレンジカフェ」が市内にあることを知っていますか。（☑は 1 つ）

- ☐ 知っている
- ☐ 知らない

3 自由意見

問1 介護保険サービスや保健福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などございましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和8年2月2日（月）までにご投函（切手不要）をお願いいたします。

袋井市
高齢者の生活と意識に関する調査
調査結果報告書

発 行 日 令和8年3月

発 行 袋井市総合健康センター健康長寿課

企画・編集 袋井市総合健康センター健康長寿課